ISSN 1883-132X

沖縄県立博物館・美術館年報

（平成28年度版）

No.10

２０１７

沖縄県立博物館・美術館

ISSN 1883-132X

沖縄県立博物館・美術館年報

（平成28年度版）

No.10

２０１７

沖縄県立博物館・美術館

目　次

概要・・・

10. 研修対応　11. 学校団体見学対応　12. 社会教育団体見学対応
13. 出前授業　14. アートミュージアムキッズクラブ　15. その他の取り組み
Ⅳ　資料収集・保存管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147
1．収蔵作品現在高　2．2016（平成28）年度新収蔵作品高
3．2016（平成28）年度新収蔵作品目録　4．作品収集事業　5．保存管理事業
6．作品貸出

一般財団法人　沖縄美ら島財団（指定管理者）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155

Ⅰ　一般財団法人　沖縄美ら島財団概要・・・・・・・・・・・ 156
Ⅱ　運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156
Ⅲ　組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 158
Ⅳ　教育・イベント活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
1．ワークショップ等　2．展示会等　3．しまくとぅばプロジェクト
Ⅴ　広報事業に関する業務・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 166
Ⅵ　調査・研究等の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 170
1．調査・研究等

全館共同事業・・ 171

Ⅰ　学芸員実習及び職場体験学習・・・・・・・・・・・・・・・ 172
1．博物館実習　2．美術館実習　3．職場体験受け入れ
Ⅱ　国際博物館の日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174
Ⅲ　移動展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174
Ⅳ　燻蒸・消毒処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 180
Ⅴ　刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 180
Ⅵ　展示会一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 181

その他の活動・・ 183

Ⅰ　沖縄県博物館協会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
Ⅱ　全国組織との関わり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
1．日本博物館協会　2．国立科学博物館主催　S-Net関連研修
3．九州博物館協議会
4．平成28年度地域の核となる美術館・歴史博物支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」
Ⅲ　沖縄博物館友の会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 186
Ⅳ　特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会　happ・・・・ 187
Ⅴ　沖縄ソフトパワー発信事業・・・・・・・・・・・・・・・・・ 189

関係法規抄録・・ 191

○博物館法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 192
○博物館法施行令・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 194
○博物館法施行規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 194
○博物館の登録に関する規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 197
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及び
その管理に属する行政機関の長に委任する規則・・・・・・・・・・・ 201
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための
組織に関する規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 201
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例・・・・・・・・ 203
○沖縄県立博物館・美術館管理規則・・・・・・・・・・・・・・・・・ 206
○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程・・・・・・・・・・・・・・・ 214
○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領・・・・・・ 214
○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領・・・・・・ 222

概　要

Ⅰ　沿革
Ⅱ　日誌抄
Ⅲ　施設・設備
Ⅳ　組織
Ⅴ　沖縄県立博物館・美術館協議会
Ⅵ　予算
Ⅵ　収蔵資料現在高

Ⅰ．沿革

【前史】

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・Ａ・ハンナ少佐とＪ・Ｔ・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）８月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）３月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

【創設】

1946年（昭和21）４月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

【発展】

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。５月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）９月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に２階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）３月に閉館した。

2007年（平成19）11月１日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

【あゆみ】

1946（昭和21）	４月	沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日）
1947（昭和22）	12月	前年３月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。
1953（昭和28）	３月	「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。
	５月	「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。 米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。 落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日）
1954（昭和29）	８月	ハワイから三線「江戸与那」が返還される。
1955（昭和30）	９月	「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。
1963（昭和38）	４月	米国民政府から河島コレクションが贈呈される。
1965（昭和40）	９月	大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。
1966（昭和41）	10月	米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。
	11月	新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（３日）
1968（昭和43）	９月	太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日）
1970（昭和45）	10月	沖縄タイムス社及びG．H．カー博士より前庭に花園を贈呈される。
1971（昭和46）	２月	八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。
1972（昭和47）	２月	サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。 サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日）
	５月	琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日） 日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。
1973（昭和48）	２月	国庫補助により２階部を増築し、展示室を３室増設する。
	５月	「田名家文書」の寄託をうける。（９日）
	７月	琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日）
	12月	琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の３巻を寄贈される。（17日）

1973（昭和48）　12月　多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。（19日）
1974（昭和49）　11月　大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける。（27日）
糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。
1976（昭和51）　４月　創立30周年記念式典を行う。(24日)
７月　大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。
12月　『博物館30年の歩み展』開催。
1977（昭和52）　９月　玉陵石獅子を玉陵へ移管。
11月　円覚寺の鐘、前庭に展示。
1978（昭和53）　３月　G. H. カー博士より資料寄贈。
７月　円覚寺の鐘楼が前庭に完成。
1979（昭和54）　２月　尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ２体が寄贈される。
６月　特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。
1980（昭和55）　１月　特別展『日本の美－救世熱海美術館名品展－』及び『沖縄県立博物館名品展』開催
２月　「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する。（2008年度からは「移動展」に改称）
８月　特別展『琉球のシダ植物』開催。
11月　特別展『失われた生物たち－大恐竜展』開催
1981（昭和56）　３月　博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。（３月30日付け）
５月　仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。
８月　G. H. カー博士より図書、写真等が寄贈される。
10月　特別展『沖縄の美－日本民芸館蔵－』及び『戦前の沖縄写真展』開催。
1982（昭和57）　５月　新たに常設展として自然部門を設置。
７月　企画展『沖縄の昆虫』開催。
10月　特別展『熊本県・沖縄県交流展－熊本の歴史と文化』開催。
1983（昭和58）　５月　企画展『琉球の漆工芸』開催。
11月　特別展『沖縄県・熊本県交流展－沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。
1984（昭和59）　６月　企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展－琉球芸能の世紀』開催。
７月　企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。
10月　企画展『今帰仁グスク展』開催。
1985（昭和60）　２月　企画展『紅型衣装と型紙展』開催。
３月　大嶺薫コレクションが贈呈される。
11月　特別展『グスク－グスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。
1986（昭和61）　２月　特別展『大嶺薫コレクション－美術工芸の美を求めて』開催。
12月　天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。
1987（昭和62）　７月　「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。
天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。
10月　スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然･歴史･文化』『沖縄近代の絵画－物故作家』開催。
企画展『田名家収蔵品展－ある首里士族の400年』開催。
12月　企画展『現代沖縄の陶芸－天野鉄夫コレクション』開催。
1988（昭和63）　８月　特別展『ヤンバルの自然』開催。
11月　特別展『三線名器100挺展』開催。
1989（平成元）　11月　特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。
12月　企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。
1990（平成２）　１月　特別展『大アンデス文明展』開催。
６月　湧田窯搬入。
８月　企画展『沖縄の野鳥』開催。
11月　企画展『沖縄の祭り』開催。
1991（平成３）　２月　企画展『技と美－大城志津子の世界－』開催。
８月　企画展『沖縄のチョウ展』開催。
９月　企画展『壺屋陶工遺作展』開催。
10月　特別展『アジアの祭りと芸能』開催。
1992（平成４）　２月　企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。
３月　仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。
４月　旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第１次埋蔵文化財発掘調査開始。（～７月３日）
６月　特別展『古代メキシコ至宝展』開催。

1992（平成４）　８月　特別展『沖縄の貝類－海からの贈りもの』開催。
　　10月　復帰20周年記念特別展『琉球王国－大交易時代とグスク』開催。
1993（平成５）　１月　特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。
　　２月　企画展『謝花雲石展』開催。
　　３月　ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクション寄贈される。
　　７月　旧中城御殿石垣工事にかかる第２次発掘調査開始。（～９月２日）
　　企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。
　　８月　特別展『沖縄の川と生きもの』開催。
　　10月　企画展『刻まれた歴史－沖縄の石碑と拓本』開催。
　　企画展『琉球王朝時代の楽器－三線と御座楽』開催。
1994（平成６）　７月　特別展『子どもの世界』開催。
　　旧中城御殿石垣工事にかかる第3次発掘調査開始。（～８月20日）
1995（平成７）　３月　横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。
　　６月　戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
1996（平成８）　３月　栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。
　　７月　特別展『大久米島展－しぜん・ひと・もの』開催。
　　10月　『新収蔵品展・ワラザン展』開催。
　　福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈
　　12月　企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
1997（平成９）　４月　特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
1998（平成10）　７月　企画展『琉球王国時代の植物標本－ペリーが持ち帰った植物たち』開催。
　　11月　特別展『包むこころ　ふろしき』開催。
1999（平成11）　８月　特別展『三線のひろがりと可能性』開催。
　　10月　企画展『日本の技－伝統のかたち』開催。
　　（第７回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展）
　　11月　ホノルル美術館からＧ．Ｈ．カー博士コレクション（考古資料6,000点余）寄贈。
2000（平成12）　２月　企画展『工芸王国－きらめく手わざの世界を沖縄から』開催。
　　７月　サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。
　　11月　ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民１世紀展－From Bento to Mixed Plate』開催。
2001（平成13）　２月　企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。
　　３月　企画展『工芸王国－人・技・心』開催。
　　11月　特別展『かざりとかたち』開催。
2002（平成14）　８月　特別展『港川人展』開催。
　　10月　企画展『沖縄の文化財展』開催。
2003（平成15）　２月　企画展『おきなわナースものがたり』開催。
　　７月　企画展『旅する種子－運ばれるための巧妙なしかけ』開催。
　　10月　企画展『あじまぁ　沖縄の伝統とくらし－沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。
　　特別企画展『沖縄織物へのメッセージ－田中俊雄の研究』開催。
2004（平成16）　２月　企画展『戦前・戦後の文化財保護－仲座久雄の活動をとおして』開催。
　　３月　企画展『工芸王国－てわざの今、そして未来へ』開催。
　　８月　企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』(沖縄コレクター友の会主催)開催。
　　11月　企画展『自然界のエイリアン－海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
2005（平成17）　２月　特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会－入江正彦　児童文化史コレクション』開催。
2006（平成18）　２月　閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼－柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。
　　３月　『ありがとう・さよなら』キャンペーン。（22日～31日　無料入館）
　　企画展『わたしの宝もの展』（博物館友の会主催）開催。
　　４月１日から博物館新館移転準備のため2007年（平成19）10月末まで休館する。
　　７月　博物館新館展示工事安全祈願祭。（於：波之上）
　　８月　鳥籠７点寄贈。（11日）
　　10月　尚順男爵関係資料寄贈。（19日）
　　謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。（26日）
　　12月　稲嶺一郎関係資料寄贈。（26日）
2007（平成19）　２月　坂口總之輔氏カメラ寄贈。（16日）

2007（平成19）　３月　新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
４月　新館での事務を開始する。（１日）
７月　沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
８月　指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめる。
11月　那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。（１日）
同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅－港川人の来た道－』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
2008（平成20）　２月　博物館企画展『新収蔵品展－平成17・18年度収蔵資料』開催。
３月　指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。
美術館常設展開会式（25日）
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成19年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間で－無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。
美術館企画展『新収蔵品展　ポリエドール－沖縄・アジアの多様性』開催。
７月　指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。
指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
９月　博物館企画展『ずしがめの世界』開催。
開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
11月　美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
2009（平成21）　１月　博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。
博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。
美術館企画展『移動と表現－変容する身体・言語・文化』開催。
４月　指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ　in　沖縄』開催。
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成20年度資料』開催。
指定管理者自主事業『王昭展』開催。
７月　指定管理者企画展『豊潤の美を求めて－金城安太郎と高畠華宵』開催。
指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
９月　指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
10月　博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く！』開催。
美術館企画展『名渡山愛順展－名渡山愛順が愛した沖縄』開催。
12月　博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
2010（平成22）　１月　美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
２月　博物館企画展『造礁サンゴ展－楽園をつくった偉大な建築家』開催。
博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
４月　総務班が設置され、３班体制となる
指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。
指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成21年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『遠き道－はて無き精進の道程』開催。
７月　指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
９月　指定管理者企画展『風土と建築』開催。
博物館特別展『海のクロスロード　八重山展』開催。
11月　美術館企画展『母たちの神－比嘉康雄』展開催。
12月　博物館・指定管理者企画展『アイヌ－美を求める心』開催。
2011（平成23）　１月　美術館企画展『安谷屋正義』展開催。
博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
２月　博物館企画展『骨の科学』開催。
３月　博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
４月　博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。
指定管理者企画展『國吉清尚』開催。
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成22年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『生誕100年記念展　岡本太郎と沖縄－ここが世界の中心だ』開催。
７月　指定管理者企画展『ロボット展』開催。
指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
９月　美術館企画展『東松照明展＜太陽へのラブレター＞』開催。

2011（平成23）　10月　博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。
博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国－受けつがれる琉球のわざと美」』開催。
11月　博物館特別展『宇宙－遙かなるロマンを求めて』開催。
2012（平成24）　１月　博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人－エイサーの起源をさぐる」』開催。
美術館企画展『沖縄の美術シリーズ３　玉那覇正吉』開催。
３月　指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展－琉球弧で開花した美の世界」』開催。
４月　博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型BINGATA　琉球王朝のいろとかたち」』開催。
５月　指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
６月　博物館企画展『新収蔵品展－平成23年度収蔵資料』開催。
博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
７月　指定管理者企画展『旅する仮面』開催。
指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。（沖縄テレビ共催）
９月　美術館企画展『山田實展－人と時の往来』開催。
博物館特別展『本土復帰40年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。
11月　美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐ－境界を生きる女たち1984-2012」』開催。
12月　博物館企画展『大山盛保生誕100年記念　発見への情熱』開催。
2013（平成25）　２月　指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。（沖縄タイムス共催）
指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
５月　博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』展開催。
博物館企画展『新収蔵品展－平成24年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『佐川美術館蔵　平山郁夫－大唐西域画への道－』開催。
７月　博物館特別展『海山川のおくりもの　目からウロコの大生き物展－生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。
指定管理者自主事業『ジミー大西作品展－挑戦と革新－』開催。
９月　美術館企画展『沖縄の美術シリーズ４　安次嶺金正展－緑の抒情－』開催。
11月　指定管理者企画展『京都　清水寺展』開催。
2014（平成26）　１月　美術館企画展『森山大道　終わらない旅　北/南』開催。
２月　博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。
博物館企画展『三線のチカラ－形の美と音の妙－』開催。
４月　指定管理者企画展『木下晋展　生命の旅路』開催。
５月　指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶－鎌倉芳太郎が発見した“美”』開催。
博物館企画展『新収蔵品展－平成25年度収蔵資料』開催。
７月　指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展－山形美術館　服部コレクション－』開催。
９月　博物館企画展　久米崇聖会創立100周年記念『久米村（クニンダ）－琉球と中国の架け橋－』開催。
美術館企画展『色彩と風のシンフォニー　内間安瑆の世界』開催。
11月　博物館企画展『大嶺薫コレクション－アジアへの眼差し－』開催。
博物館特別展『水中文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～』開催。
2015（平成27）　１月　美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展　こどもを通して見る世界』開催。
２月　博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。
３月　指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展－二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。
４月　博物館企画展『うちくい－沖縄のふろしき－』開催。
指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展－ミッキーマウスからピクサーまで』開催。
６月　美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展　ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。
７月　指定管理者企画展『深海探検　海底二万里の世界』開催。
指定管理者自主事業『大哺乳類展　ぼくらのなかまたち』開催。
９月　美術館企画展『石田尚志　渦まく光』開催。
博物館特別展『琉球弧の葬墓制－風とサンゴの弔い－』開催。

2015（平成27） 11月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ５　大嶺政寛展－情熱の赤瓦　沖縄の原風景を求めて－』開催。
12月 博物館企画展『新収蔵品展－平成26年度収蔵資料－』開催。
博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』開催。
2016（平成28） １月 博物館企画展『大気と気象～見えない空気の“力と技”～』開催。
九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館　企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』を九州歴史資料館にて開催。
２月 美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。
沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展～ものとひとを つくる～』開催。
３月 美術館企画展『パブロ・ピカソ　ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考える－』開催。
４月 美術館企画展　文化勲章受章記念『志村ふくみ－母衣への回帰－』開催。
５月 博物館企画展『大嶺コレクション展－美をもとめて－』開催。
博物館企画展『新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－』開催。
７月 博物館企画展『目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン！』開催。
９月 博物館企画展　日本民藝館80周年『沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄』開催。
11月 博物館特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－』開催。
12月 美術館企画展『夢の美術館－めぐりあう名画たち－　福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション』開催。
2017（平成29） １月 博物館企画展『琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～』開催。
３月 美術館企画展　沖縄の美術シリーズⅥ『山元恵一展－まなざしのシュルレアリスム－』開催。

【歴代館長】

東恩納博物館
大嶺　　薫（1946年４月～1953年３月）

首里博物館
豊平　良顕（1947年12月～1948年３月）
原田　貞吉（1948年８月～1953年３月）

沖縄民政府立首里博物館
原田　貞吉（1953年３月～1955年５月）

琉球政府立博物館
山里　永吉（1955年５月～1958年８月）
金城増太郎（1958年９月～1961年12月）
大城　知善（1962年２月～1969年11月）
外間　正幸（1969年12月～1972年４月）

沖縄県立博物館
外間　正幸（1972年５月～1981年３月）
大城徳次郎（1981年４月～1983年３月）
大城　立裕（1983年４月～1986年３月）
大城　宗清（1986年４月～1992年３月）
宜保榮治郎（1992年４月～1994年３月）
糸数　兼治（1994年４月～1996年３月）
當間　一郎（1996年４月～1999年３月）
大城　将保（1999年４月～2000年３月）
平田　與進（2000年４月～2002年３月）
當眞　嗣一（2002年４月～2005年３月）
名嘉　政修（2005年４月～2006年３月）
宮城　清志（2006年４月～2007年３月）
新垣　隆雄（2007年４月～2007年10月）

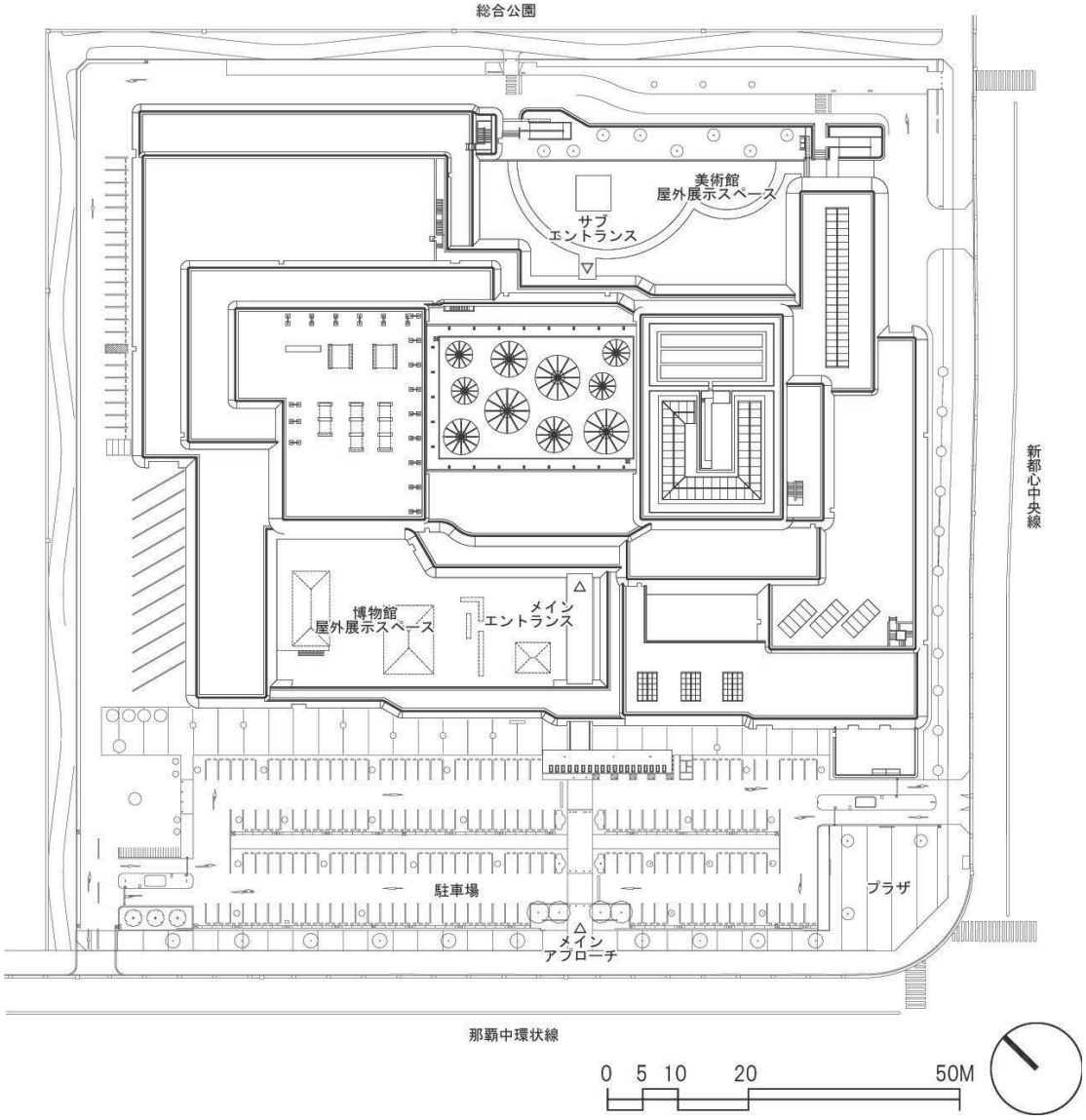
沖縄県立博物館・美術館
牧野　浩隆（2007年11月～2011年３月）
白保　台一（2011年４月～2013年２月）
安里　　進（2013年５月～2016年３月）
田名　真之（2016年４月～　　）

Ⅱ．日誌抄（2016年４月１日～2017年３月31日）

2016年（平成28年）
４月 １日 平成28年度辞令交付式
４日 館内IPM研修会
６日 館長就任あいさつ回り（～４/27）
12日 「志村ふくみ展」開会式、講演会
13日 新任職員歓迎会

	20日	久米国鼎会館長表敬
	22日	博物館ボランティア登録証交付式（館長）
	25日	長崎県文化振興課長館長表敬
	26日	「宮良瑛子展」開会式
５月	11日	博物館ボランティア養成講座開会式
	19日	九州博物館協議会理事会・総会・現地研修（館長）（～20日）
	24日	沖縄県博物館協議会総会（館長）（～25日）
	24日	大嶺薫コレクション展開会、展示解説会
	27日	「新収蔵品展」開会式（館長）
６月	７日	日本博物館協会参与会・支部長会（館長）（～８日）
	９日	全国博物館長会議（博物館副館長）（～10日）
	15日	「巨匠達の奇跡展」開会式（館長）
	16日	「目からウロコの生物実験展」開会
７月	12日	平成28年度博物館長研修（館長）（～15日）
	20日	美術館ボランティア証交付式（館長）
	27日	指定管理者制度運用委員会（館長ほか）
８月	26日	博物館実習生展示
	27日	博物館友の会文化講演会（館長）
	29日	全館避難訓練
９月	１日	全館燻蒸・消毒（～９日）
	17日	サキタリ洞調査成果記者発表
	21日	「沖縄の工芸展」開会式
10月	10日	「おきなわの観光」絵画コンクール審査会（館長）
	21日	「世界のウチナーンチュ大会博物館特別企画移民資料展」開会式
	26日	佐賀県議団表敬（館長）
	26日	JICA横浜所長朝倉氏表敬（館長）
11月	１日	「眞喜志勉展」開会式（館長）
	２日	沖縄ソフトパワー発信事業「紅型展」米国出張（館長）（～８日）
	10日	九州博物館協議会研修会（館長）（～11日）
	12日	沖縄県芸術文化祭開会式（館長）
	15日	「港川人の時代とその後」開会式
12月	16日	沖縄県立博物館・美術館「移動展」（～18日）
	20日	「夢の美術館展」開会式
	21日	美術館収集委員会
	28日	仕事納め
１月	４日	仕事始め
	４日	沖縄観光新春の集い（館長）
	14日	浦添市美術館「きらめきで飾る展」開会式出席（館長）
	15日	夢の美術館シンポジウム
	17日	宮崎県立美術館長来館
２月	１日	「琉球・沖縄の地図展」開会式
	４日	駐日中国大使来館
	12日	博物館常設展示室リニューアル作業（～20日）
	15日	沖縄県立芸術大学卒業・終了展開会式（館長）
	18日	「琉球・沖縄の地図展」シンポジウム（館長）
	20日	全館燻蒸・消毒（～23日）
３月	１日	沖縄県立博物館・美術館協議会
	３日	「山元恵一展」開会式
	９日	文化庁調査官来館
	22日	博物館屋外鐘楼除幕式
	31日	中国山東美術館芸術創作主任来館

Ⅲ. 施設・設備



建築概要

●敷地面積……	31,287㎡
●建築面積……	13,452㎡
●延床面積……	23,721㎡
博物館専有面積…	10,478㎡
美術館専有面積…	7,537㎡
共有面積……	5,708㎡
●高さ‥最高高さ…	GL＋21.8m
●駐車場	
一般駐車場……	158台
（うち身障者用4台）	
大型バス駐車場…	10台
駐輪場……	25台
関係者駐車場……	22台

供用施設

●エントランスホール	724㎡
●情報センター……	217㎡
●講堂（212席）…・	349㎡

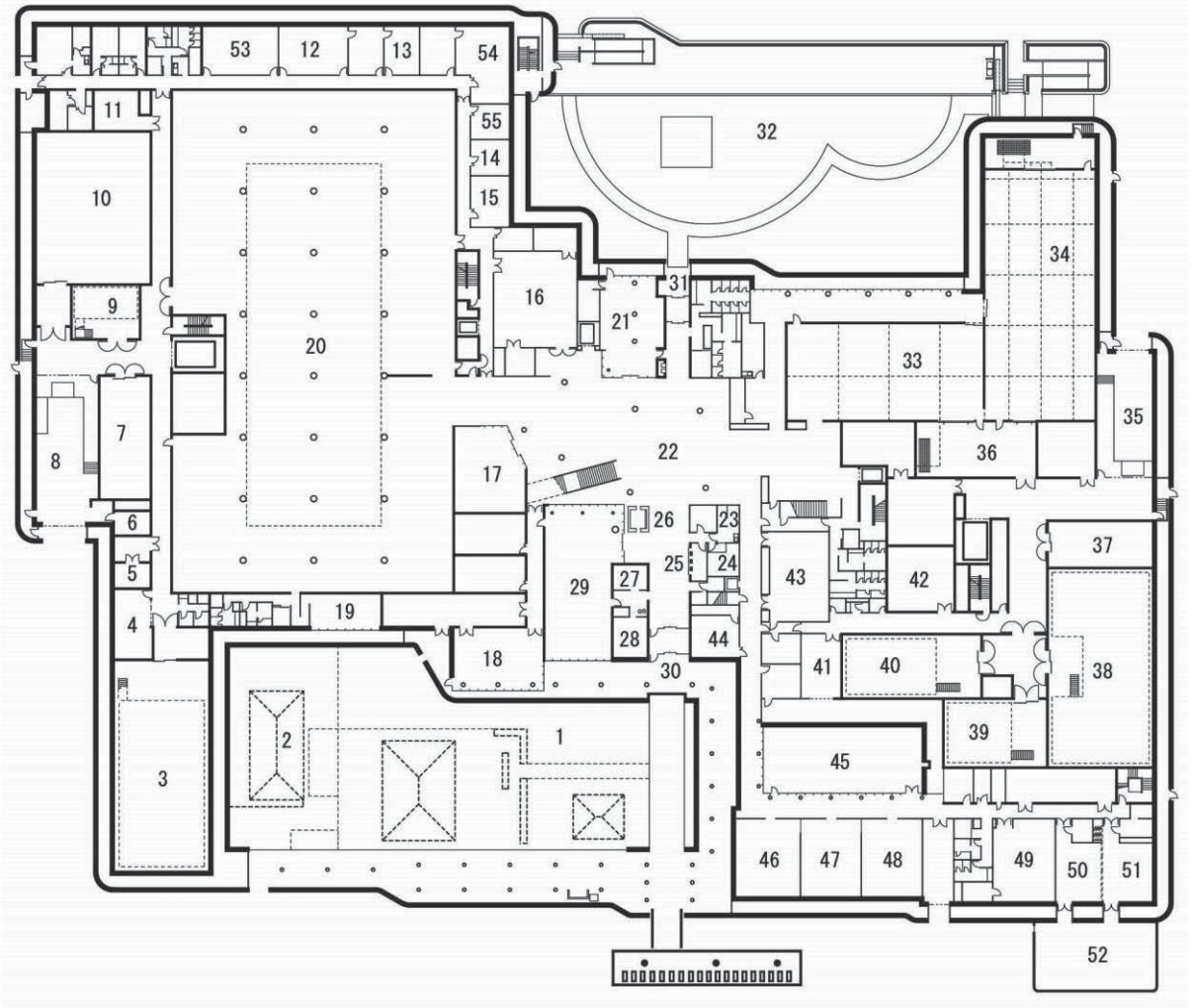
博物館の主たる施設

●展示施設	
総合展示室……	1,252㎡
部門展示室……	1,344㎡
自然史部門‥	360㎡
考古部門……	262㎡
美術工芸部門	180㎡
歴史部門……	120㎡
民俗部門……	421㎡
屋外展示場‥	1,425㎡
企画展示室‥	351㎡
特別展示室‥	459㎡
●教育普及施設	
ふれあい体験室	110㎡
博物館講座室‥	191㎡
実習室……	108㎡
●収蔵施設（ダブルデッキ含む）	
自然史収蔵庫……	417㎡
化石収蔵庫……	245㎡
考古・陶磁器収蔵庫……	613㎡
特別収蔵庫……	439㎡
民俗収蔵庫……	668㎡
大型収蔵庫……	358㎡
液浸標本室……	97㎡
一時保管庫……	119㎡
●調査研究施設	
研究室……	176㎡
研究資料室……	111㎡
会議室……	72㎡

美術館の主たる施設

●展示施設	
企画ギャラリー１……	394㎡
企画ギャラリー２……	490㎡
コレクションギャラリー１	164㎡
コレクションギャラリー２	284㎡
コレクションギャラリー３	370㎡
県民ギャラリー（１～３）‥	277㎡
県民ギャラリー（スタジオ）	111㎡
県民アトリエ……	65㎡
こどもアトリエ……	70㎡
屋外展示場……	1,368㎡
●教育普及施設	
美術館講座室……	109㎡
●収蔵施設（ダブルデッキ含む）	
収蔵庫Ａ……	683㎡
収蔵庫Ｂ……	248㎡
収蔵庫Ｃ……	204㎡
●調査研究施設	
研究室……	98㎡
研究資料室……	98㎡

会議室・・・・・・・・・・・・・・・・・　58㎡



１階

１階

（博物館）

1　博物館野外展示
2　湧田古窯
3　民俗収蔵庫
4　写真撮影室
5　冷凍庫
6　石工室
7　一時保管庫
8　トラックヤード
9　液浸標本室
10　大型収蔵庫
11　修理修復室
12　博物館・美術館庶務室
13　館長室
14　支援会室
15　博物館ボランティア室
16　博物館講座室
17　博物館ふれあい体験室
18　博物館実習室
19　博物館常設展示休憩室
20　博物館常設展示室

（共有）

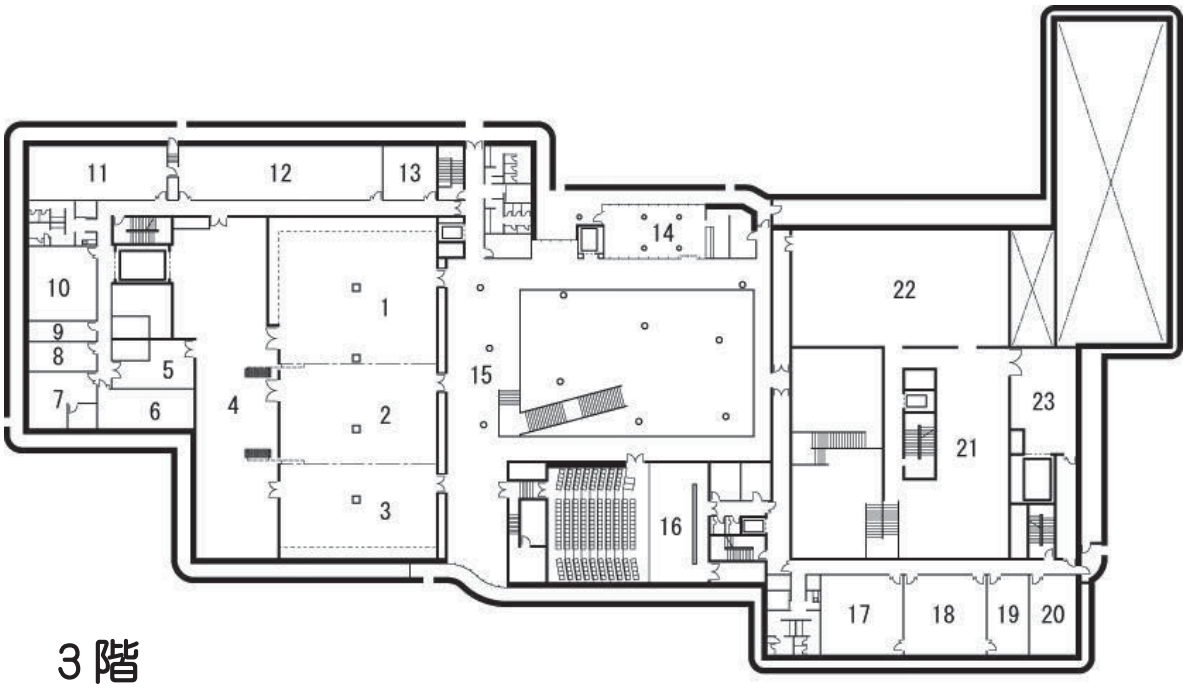
21　ミュージアムショップ
22　エントランスホール
23　授乳室
24　託児室
25　券売
26　総合案内
27　救護室
28　コインロッカー
29　情報センター
30　メインエントランス
31　サブエントランス

（美術館）

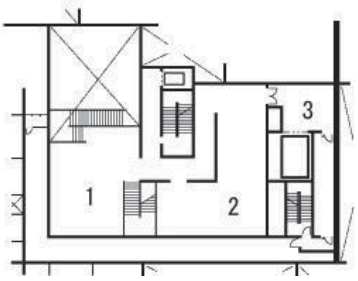
32　美術館野外展示
33　美術館企画ギャラリー１
34　美術館企画ギャラリー２
35　トラックヤード
36　展示準備室
37　一時保管庫
38　収蔵庫Ａ
39　収蔵庫Ｂ
40　収蔵庫Ｃ
41　保存修復室
42　工作室
43　美術館講座室
44　美術館ボランティア室
45　中庭
46　県民ギャラリー１
47　県民ギャラリー２
48　県民ギャラリー３
49　県民ギャラリー（スタジオ）
50　県民アトリエ
51　こどもアトリエ
52　屋外活動スペース

（指定管理者）

53　会議室
54　事務室
55　展示交流員控室



３階



２階



地階

３階

（博物館）

1　企画展示室
2　特別展示室1
3　特別展示室2
4　展示準備室
5　工作室
6　自然史実験室
7　保存科学室
8　フィルム保管庫
9　映像編集室
10　学芸員会議室
11　研究資料室
12　学芸員研究室
13　研修室

（共有）

14　喫茶室
15　ホワイエ
16　講堂

（美術館）

17　研究資料室
18　学芸員研究室
19　情報処理室
20　学芸員会議室
21　コレクションギャラリー２
22　コレクションギャラリー３
23　展示準備室

地階

（博物館）

1　特別収蔵庫
2　考古陶磁器収蔵庫
3　自然史収蔵庫
4　劣化フィルム収蔵庫
5　写真パネル収蔵庫
6　化石収蔵庫

２階

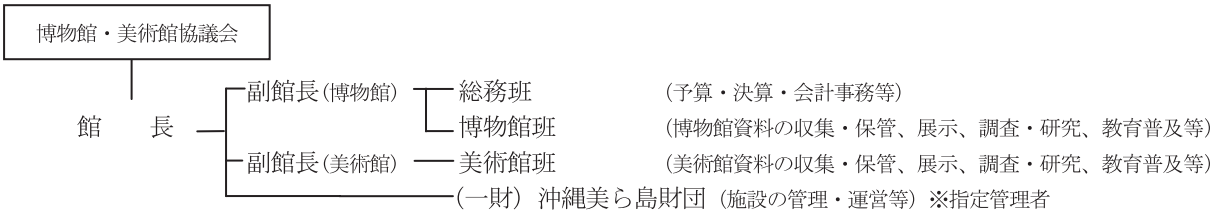
（美術館）

1　ホワイエ
2　コレクションギャラリー１
3　展示準備室

Ⅳ. 組織

【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団の４つにより構成されている。なお、（一財）沖縄美ら島財団に関しては別項にて記述しているので参照頂きたい。



【職員構成】　2016年４月１日　現在

職　名	氏　名	担　当　業　務
館　長	田名　真之	◎博物館・美術館の総括に関すること。
参　事　兼 博物館副館長	村山　剛	◎博物館業務の統括に関すること。 ◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること。
美術館副館長 兼　班　長	前田　比呂也	◎美術館業務の統括に関すること。 ◎美術館班の総括に関すること。

（総務班）

職　名	氏　名	担　当　業　務
総務班長	大城　美千代	◎総務班の総括に関すること ◎出納員に関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎指定管理者制度に関すること ◎視察対応の総括に関すること ◎中長期計画に関すること ◎博物館・美術館協議会に関すること ◎博物館・美術館の広報宣伝に関すること ◎労働安全衛生に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
主　査	宮野　陽子	◎会計業務（旅費、消耗品費を除く）に関すること ◎職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること ◎決算、監査に関すること ○公用車の管理業務に関すること ○文書、公印の管理に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
主　任	稲嶺　桂子	◎予算に関すること ◎出納業務に関すること ◎備品の登録業務に関すること ◎情報管理に関すること ◎歳入に関すること ◎施設・財産関連業務に関すること ◎博物館・美術館保全修繕事業に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
事務補助	古堅　幸絵	○文書受付に関すること。 ○業務補助に関すること。
事務補助	前田　麻衣子	○文書受付に関すること。 ○業務補助に関すること。

（博物館班）

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
博物館班長	園原　　謙	◎博物館班の学芸業務総括に関すること ◎博物館・美術館魅力アップ事業（博物館班事業総括）に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（博物館班事業総括）に関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎沖縄県博物館協会に関すること ◎全国・九州ブロックの博物館協会等に関すること ◎視察対応に関すること ◎学芸員実習・教職員研修の受け入れに関すること ◎世界のウチナーンチュ大会に関すること ◎開館10周年記念展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （美術工芸）	與那嶺一子	◎美術工芸資料（染織・書跡・彫刻）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎常設展総合・部門展示（美術工芸「染織・書跡・彫刻」）に関すること ◎大嶺薫コレクション展に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（染織関係）に関すること ◎他部局連携「ソフトパワー」事業に関すること ◎開館10周年記念展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （美術工芸）	外間　一先	◎美術工芸資料（絵画・陶器・漆器）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎常設展総合・部門展示（美術工芸「絵画・陶器・漆器」）に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（漆器・陶芸）に関すること ◎博物館資料の修理・修復に関すること ◎平成28年度企画展「日本民芸館80周年記念展」に関すること ◎美術品等取得基金（博物館分）に関すること ◎他部局連携「ソフトパワー」事業に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （民　　俗）	大湾ゆかり	◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎「デジタルミュージアム推進事業」に関すること ◎常設展総合・部門展示（民俗）・屋外展示（民家・高倉）に関すること ○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること ◎開館10周年記念展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （歴　　史）	石垣　　忍	◎歴史資料（近現代）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館・美術館魅力アップ事業（常設展改善「近現代」）に関すること ◎常設展総合・部門展示（歴史「近現代」）に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（石彫）に関すること ◎博物館年報の編集・発行に関すること ◎平成28年度企画展「地図展」に関すること ◎「国際博物館の日」に関すること ◎世界のウチナーンチュ大会の企画に関すること ○沖縄県博物館協会に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （自然史・生物）	山﨑　仁也	◎自然史資料（動物・植物）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎総合調査に関すること ◎平成28年度企画展「生物実験展」に関すること ◎常設展総合・部門展示（自然史「動物・植物」）・屋外展示（植生）に関すること ◎自然史部門の総括に関すること ◎「仲嶺貝類の整理」に関すること ◎S-netの登録に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
主任学芸員 （自然史・地学）	宇佐美　賢	◎自然史資料（地質・化石）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎平成28年度企画展「生物実験展」に関すること ◎IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること ◎常設展総合・部門展示（自然史「地質・化石」）に関すること ◎毒物劇物管理担当者（博物館班） ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （考　　古）	片桐千亜紀	◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ○沖縄遺産のブランド開発・発信事業（考古）に関すること ○移動博物館に関すること ◎常設展総合・部門展示（考古）・屋外展示（湧田窯）に関すること ◎文化財公開承認施設及び登録博物館に関すること ○開館10周年記念展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主　　任 （歴　　史）	崎原　恭子	◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎常設展総合・部門展示（歴史「古琉球・近世」）に関すること ◎博物館魅力アップ事業「万国津梁の鐘の展示」実施設計に関すること ◎平成28年度企画展「地図展」に関すること ○開館10周年記念展に関すること ◎歴史資料の購入に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主　　任 （人　　類）	藤田　祐樹	◎自然史資料（形質人類学）の収集・保管（港川人骨を含む）・整理・調査研究・公開等に関すること ○沖縄遺産のブランド開発・発信事業に関すること ◎常設展総合・部門展示（自然史「形質人類学」）に関すること ◎平成28年度企画展「新収蔵品展」に関すること ◎平成28年度特別展「旧石器時代の沖縄」（仮称）に関すること ◎博物館紀要の編集・発行に関すること ◎収蔵品データ・収蔵品台帳、情報リーダーに関すること ◎毒物劇物管理担当者（博物館班担当） ○開館10周年記念展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主　　任 （人　　類）	山崎　真治	◎自然史資料（先史人類学）の収集・保管（港川人骨）・整理・調査研究・公開等に関すること ◎沖縄遺産のブランド開発・発信事業に関すること ◎平成28年度特別展「旧石器時代の沖縄」（仮称）に関すること ◎図書資料に関すること ◎常設展総合・部門展示（自然史「先史人類学」）に関すること ◎共同研究事業に関すること ◎博物館班情報の発信の取りまとめに関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （教育普及）	大川　剛	◎教育普及資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館・美術館魅力アップ事業（ふれあい体験室機能強化）に関すること ◎学校連携事業に関すること ◎文化講座・学芸員講座の企画調整に関すること ◎ボランティア活動事業に関すること ◎体験学習教室の企画及び野外展示の活用に関すること ◎博物館友の会に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学芸業務補助員	三枝　大悟	◎『博物館・美術館年報』の編集・発行に関すること。 ◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等の受付に関すること。 ○写真資料等の整理に関すること。 ◎発送業務集約に関すること。

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
学芸業務補助員	三枝　大悟	◎展示公開事業の補佐に関すること。 ○学芸研究資料室の図書に関すること。 ◎学芸員の補佐に関すること。 ◎寄贈図書類の回覧に関すること。
教育普及業務 補　助　員	立松　有季	○ふれあい体験室、実習室、講座等に関すること。 ○教育資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること。 ○博物館学習等の調査研究に関すること。 ◎視聴覚機器の整理・保管に関すること。 ◎ボランティア活動の連絡調整に関すること。 ○総合・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること。 ◎博物館学習への各種照会事項対応の補助に関すること。 ◎教育普及担当学芸員の補佐に関すること。
事 務 補 助	細谷　幸代	○「仲嶺貝類の整理」の補助に関すること。 ○業務補助に関すること。
事 務 補 助	新垣　和美	○「仲嶺貝類の整理」の補助に関すること。 ○業務補助に関すること。

（美術館班）

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
美術館副館長 兼　班　長	前田　比呂也	◎美術館業務の総括に関すること ◎館長の補佐に関すること。 ◎外郭団体等への対応に関すること ◎指定管理者との連絡調整に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	仲里　安広	◎近現代美術の研究に関すること（1950～1969年） ◎研究紀要に関すること ◎コレクション展３「沖縄美術の流れ」に関すること ◎企画展２「夢の美術館」展に関すること ◎副館長の補佐に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	仲村　　保	◎教育普及活動部会に関すること ◎教育普及活動の調査・研究に関すること ◎移動展に関すること ◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等（幼小・一般）に関すること ◎芸術文化支援事業に関すること ○その他特に上司の命じる事項に関すること
主任学芸員	豊見山　愛	◎展示公開活動に関すること ◎調査研究活動部会に関すること ◎近現代美術の研究に関すること（1879～1949年） ◎コレクション展「宮良瑛子」展に関すること ◎平成28年度企画展「山元恵一展」に関すること ◎10周年記念展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	島筒　　格	◎資料収集活動部会に関すること ◎近代美術の研究に関すること ◎博物館・美術館魅力アップ事業（美術館新規来館者拡大）に関すること ◎コレクション展１・２「眞喜志勉」展に関すること ◎美術品等取得基金に関すること（美術館分） ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主　　任	玉那覇　英人	◎資料保存管理活動部会に関すること ◎近現代美術の研究に関すること（1990～2010年） ◎企画展１「志村ふくみ展」に関すること ○企画展２「大嶺政寛展」の補佐に関すること

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
主　　任	玉那覇　英人	◎収蔵作品データベース管理に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
美術品調査員	大城　さゆり	◎作品の調査に関すること。 ◎収蔵品のデータベースに関すること。 ◎収蔵品の画像管理に関すること。 ◎作品画像貸出に関すること。 ○収集委員会資料作成に関すること。 ○情報センターのデータに関すること ○美術館ホームページに関すること。 ○展示会の補助に関すること。
美術品保存 修　復　員	梶原　正史	◎展示室等の環境点検管理に関すること。 ◎収蔵庫の環境点検管理に関すること。 ◎作品の保存管理に関すること。 ◎作品の修復に関すること。 ○作品貸出に関すること。 ○IPMに関すること。 ○展示会の補助に関すること。
事 務 補 助	大西　弘美	◎文書の収受、発送に関すること。 ◎図書の受付、整理に関すること。 ○文書等の整理、保管に関すること。 ○業務補助に関すること

※◎は主担当業務、○は副担当業務。

【人事異動】　　2016年4月1日　現在※

	班　名	職　名	氏　名	摘　要
転　出	総務班	班　　長	山川　優	交流推進課
	博物館班	主任学芸員	金城　久枝	生涯学習振興課
		主任学芸員	仲里　健	総合教育センター
転　入		館　　長	田名　真之	
	総務班	班　　長	大城　美千代	基地対策課
	博物館班	主任学芸員	大川　剛	船浦中学校
		主任学芸員	宇佐美　賢	西原高等学校
退　職		館　　長	安里　進	

Ⅴ．沖縄県立博物館・美術館協議会

【第1回会議】

日　時：2017年３月１日（水）　13:30～15:30

場　所：博物館実習室

委嘱状の交付

会　議

あいさつ（田名真之館長）

協議会会長、副会長の選任

議題

・平成28年度事業実績報告

・平成29年度事業計画

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿　　（任期：2016年７月10日～2018年７月９日）

分　　野		氏　　名	所　　属	職　名
学識経験者	自然史	○新城　和治	元琉球大学教育学部	元 教 授
	歴　史	里井　洋一	琉球大学教育学部	教　　授
	考　古	池田　榮史	琉球大学法文学部	教　　授
	民　俗	稲福みき子	元沖縄国際大学	名誉教授

分野		氏名	所属	職名
学識経験者	人類	土肥　直美	元琉球大学医学部	元准教授
	美術（画）	◎宮城　篤正	元沖縄県立芸術大学	元学長
	美術（立体）	西村　貞雄	琉球大学	名誉教授
	博物館経営	下地　芳郎	琉球大学観光産業科学部	教授
学校教育関係者	小学校教育	高森　新一	沖縄県小学校長会	副会長
	中学校教育	大城　盛幸	沖縄県中学校長会	副会長
	高校教育	小禄　健夫	沖縄県高等学校長会	副会長
社会教育・家庭教育関係者	社会教育	津留　健二	沖縄県社会教育委員連絡協議会	会長
	家庭教育	仲西　春雅	沖縄県高等学校PTA連合会	副会長

（◎会長、〇副会長　　2017年３月31日現在）

Ⅵ. 予　　算

2016歳出状況（決算）　　単位：円

	博物館・美術館管理運営費	博物館・美術館指定管理費	博物館・美術館費	沖縄遺産のブランド開発・発信事業	博物館・美術館保全修繕事業	博物館・美術館魅力アップ事業	琉球王国文化遺産集積・再興事業	デジタルミュージアム推進事業	合計
報酬	6,000,000		14,736,323	1,447,200			1,280,025	771,525	24,235,073
報償費			464,800	101,000		108,400	462,000		1,136,200
旅費	43,160		7,113,071	2,926,048		825,107	2,923,487		13,830,873
需用費			15,620,128	2,408,597	2,609,000	125,820	71,937		20,835,482
役務費			1,747,582	54,716			11,972		1,814,270
委託料		302,470,000	43,514,703	18,342,038	7,541,348	91,029,528	145,908,000	7,776,000	616,581,617
使用料及び賃借料			2,290,414	26,784					2,317,198
備品購入費			15,833,701						15,833,701
負担金、補助及び交付金			113,000						113,000
公課費			41,000						41,000
繰出金			39,035						39,035
合計	6,043,160	302,470,000	101,513,757	25,306,383	10,150,348	92,088,855	150,657,421	8,547,525	696,777,449

※本庁執行分を含む

2016歳入状況（決算）　　単位：円

	収入金額	説明
土地使用料	41,759	自動販売機土地使用料等
建物使用料	3,131,029	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料
雑入	1,442,632	電気料金、雇用保険料等
展示会等助成金	813,000	芸術文化振興基金助成金（独立行政法人日本芸術文化振興会）
合計	5,428,420	※本庁収納分を除く

Ⅶ. 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2017年３月31日現在

	分　類	件　数	小　計
博物館	自然史	56,193	94,331
	人類	118	
	美術工芸	10,471	
	歴史	12,877	
	考古	6,772	
	民俗	7,900	
美術館	平面	1,730	3,745
	立体	258	
	映像	1,728	
	その他	29	
総計			98,076

利用統計

Ⅰ　入館者統計
Ⅱ　施設利用者統計

Ⅰ.入館者統計

1．総入館者集計

（単位：人）

年	月	博物館												美術館									全体				総入館者	開館日数	1日平均入館者数
		常設展			企画展			特別展			全体			コレクション展			企画展			全体			展示室合計			展示以外（共有）			
		有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	合計					
平成二八年	4	4,393	1,631	6,024	0	0	0	0	0	0	4,393	1,631	6,024	260	483	743	11,990	1,000	12,990	12,250	1,483	13,733	16,643	3,114	19,757	23,879	43,996	26	1,692
	5	3,897	2,048	5,945	282	519	801	0	0	0	4,179	2,567	6,746	1,285	1,005	2,290	2,561	511	3,072	3,846	1,516	5,362	8,025	4,083	12,108	19,580	31,101	26	1,196
	6	4,598	2,114	6,712	1,389	2,062	3,451	0	0	0	5,987	4,176	10,163	3,387	1,482	4,869	0	0	0	3,387	1,482	4,869	9,374	5,658	15,032	17,742	28,857	26	1,110
	7	6,112	2,664	8,776	2,521	1,027	3,548	0	0	0	8,633	3,691	12,324	7,145	2,904	10,049	0	0	0	7,145	2,904	10,049	15,778	6,595	22,373	38,262	50,602	27	1,874
	8	8,804	4,471	13,275	7,637	2,243	9,880	0	0	0	16,441	6,714	23,155	8,937	4,884	13,821	0	0	0	8,937	4,884	13,821	25,378	11,598	36,976	39,292	59,839	26	2,302
	9	3,772	1,566	5,338	1,485	347	1,832	0	0	0	5,257	1,913	7,170	1,290	458	1,748	0	0	0	1,290	458	1,748	6,547	2,371	8,918	16,572	24,507	18	1,362
	10	6,014	4,683	10,697	2,393	810	3,203	0	0	0	8,407	5,493	13,900	790	637	1,427	0	0	0	790	637	1,427	9,197	6,130	15,327	20,276	33,579	26	1,292
	11	5,775	5,245	11,020	0	0	0	1,308	225	1,533	7,083	5,470	12,553	2,752	2,303	5,055	0	0	0	2,752	2,303	5,055	9,835	7,773	17,608	20,032	36,893	26	1,419
	12	6,159	1,833	7,992	0	0	0	1,544	203	1,747	7,703	2,036	9,739	2,383	813	3,196	620	119	739	3,003	932	3,935	10,706	2,968	13,674	15,497	27,722	24	1,155
平成二九年	1	5,656	2,927	8,583	0	0	0	1,673	301	1,974	7,329	3,228	10,557	3,416	1,084	4,500	4,110	491	4,601	7,526	1,575	9,101	14,855	4,803	19,658	17,368	33,367	26	1,283
	2	3,830	2,193	6,023	2,296	599	2,895	0	0	0	6,126	2,792	8,918	2,879	1,082	3,961	1,977	390	2,367	4,856	1,472	6,328	10,982	4,264	15,246	21,816	34,574	21	1,646
	3	5,914	1,809	7,723	2,321	418	2,739	0	0	0	8,235	2,227	10,462	1,758	865	2,623	901	299	1,200	2,659	1,164	3,823	10,894	3,391	14,285	18,348	30,202	27	1,119
合計		64,924	33,184	98,108	20,324	8,025	28,349	4,525	729	5,254	89,773	41,938	131,711	36,282	18,000	54,282	22,159	2,810	24,969	58,441	20,810	79,251	148,214	62,748	210,962	268,664	435,239	299	1,456
目標		56,482			7,351			21,230			85,063			17,791			44,529			62,320			147,383						
達成率		114.95%			276.48%			21.31%			105.54%			203.93%			49.76%			93.78%			100.56%						

2．団体別入館者集計

（単位：人）

項目	県内										県外										国外						合計	
	小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		小計			
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	2	84	1	283	0	0	1	23	4	390	1	39	2	53	0	0	0	0	3	92	0	0	0	0	0	0	7	482
5月	5	227	0	0	0	0	1	23	6	25	1	26	0	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0	0	0	0	7	276
6月	10	480	7	639	1	43	0	0	18	1,162	0	0	6	424	0	0	0	0	6	424	1	37	1	23	2	60	26	1,646
7月	5	301	6	172	1	9	12	362	24	844	1	99	2	23	0	0	0	0	3	122	0	0	1	21	1	21	28	987
8月	6	210	5	239	1	7	33	1,225	45	1,681	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	1,681
9月	6	401	3	203	0	0	0	0	9	604	0	0	1	174	0	0	0	0	1	174	0	0	0	0	0	0	10	778
10月	27	1,935	4	129	1	32	2	55	34	2,151	1	55	8	744	0	0	0	0	9	799	0	0	0	0	0	0	43	2,950
11月	35	2,271	2	331	3	79	0	0	40	2,681	0	0	6	1,198	0	0	0	0	6	1,198	2	111	0	0	2	111	48	3,990
12月	15	836	1	8	2	104	1	41	19	989	1	68	12	2,155	1	15	0	0	14	2,238	1	42	0	0	1	42	34	3,269
1月	19	1,417	5	190	0	0	1	22	25	1,629	0	0	3	286	1	9	0	0	4	295	1	119	0	0	1	119	30	2,043
2月	21	1,323	2	90	0	0	4	178	27	1,591	1	91	1	4	0	0	0	0	2	95	3	209	0	0	3	209	32	1,895
3月	7	389	1	7	1	23	0	0	9	419	0	0	6	589	0	0	0	0	6	589	0	0	1	23	1	23	16	1,031
合計	158	9,874	37	2,291	10	297	55	1,929	260	14,391	6	378	47	5,650	2	24	0	0	55	6,052	8	518	3	67	11	585	326	21,028

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体である。

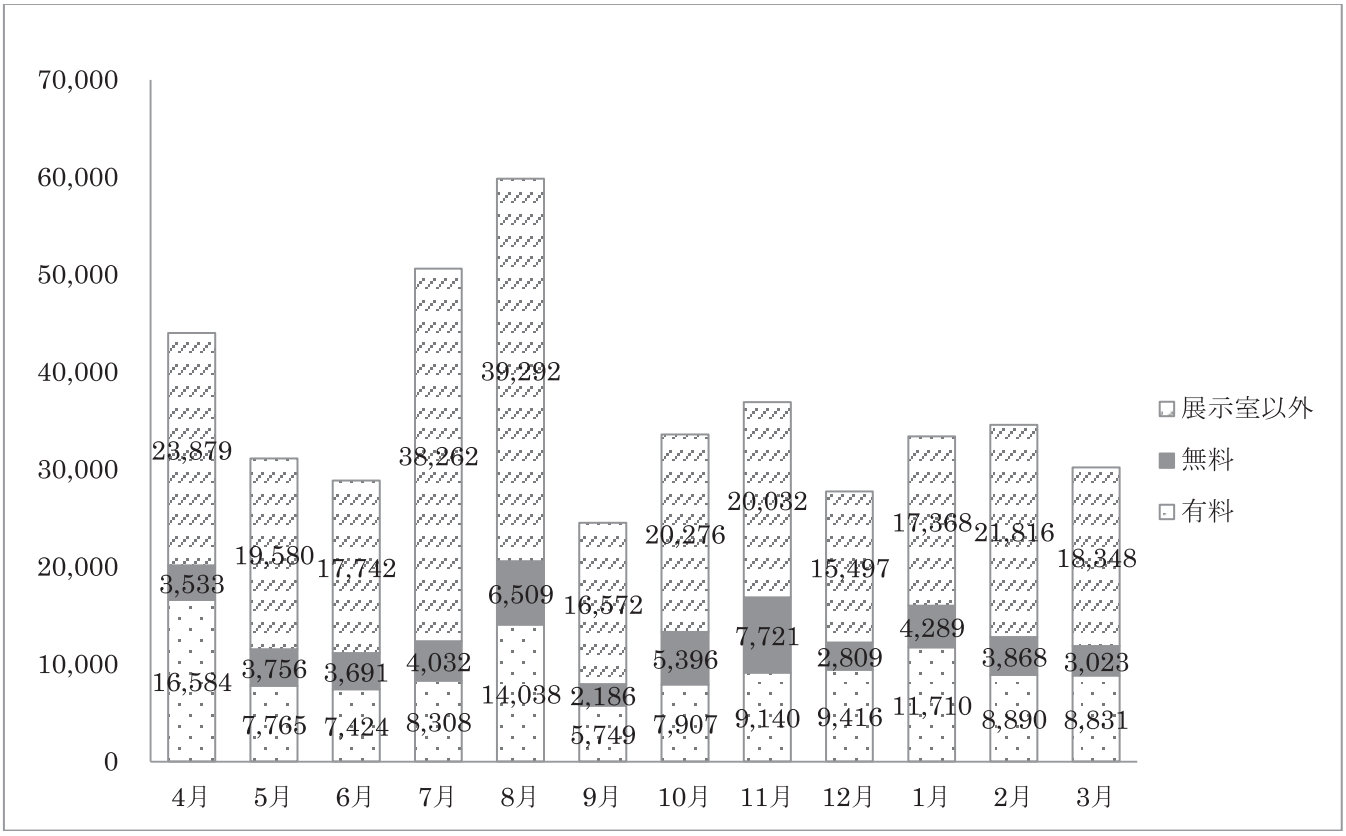
３．展覧会別入館者集計

（単位：人）

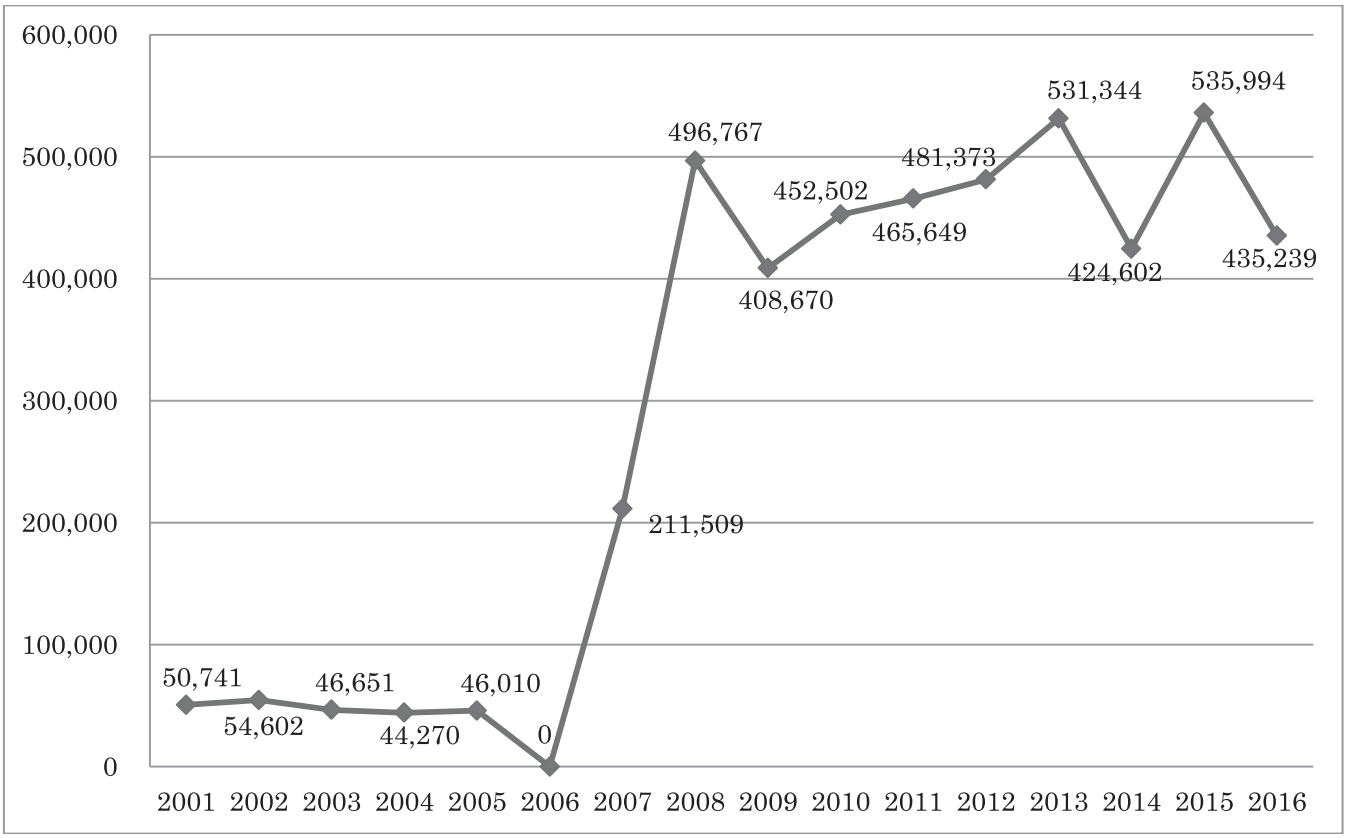
展覧会名		観覧者区分	当日券	団体券	前売券	１日利用券	年間パス	その他割　引	優　待（障害）	有料者合　計	優　待（障害）	無料者数	総合計
博物館	企画展「新収蔵品展 －平成 27 年度収蔵資料－」	一　　般	151	0	0	1,246	61	1	0	1,459	200	149	1,808
		高・大学生	16	0	0	80	0	11	0	107	0	0	107
		小・中学生	21	0	0	39	0	0	0	60	2	46	108
	企画展「大嶺薫コレクション展 －美をもとめて－」	一　　般	0	0	0	0	52	0	0	52	0	1,865	1,917
		高・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	290	290
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企画展「目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン！」	一　　般	3,902	134	752	0	147	89	0	5,024	650	266	5,940
		高・大学生	130	0	14	0	0	21	0	165	10	0	175
		小・中学生	3,176	992	708	0	0	86	0	4,962	128	2,086	7,176
	企画展「沖縄の工芸展 －柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄－」	一　　般	2,896	8	161	0	139	358	0	3,562	444	614	4,620
		高・大学生	121	49	0	0	0	52	0	222	1	0	223
		小・中学生	77	9	0	0	0	8	0	94	2	96	192
	特別展「港川人の時代とその後　－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－」	一　　般	3,381	83	36	0	167	84	223	3,974	0	557	4,531
		高・大学生	220	0	0	0	0	18	0	238	0	0	238
		小・中学生	270	0	19	0	0	18	6	313	0	172	485
	企画展「琉球・沖縄の地図展 ～時空を超えて沖縄がみえる～」	一　　般	3,455	416	63	0	121	58	0	4,133	438	468	5,019
		高・大学生	319	0	2	0	0	13	0	334	1	0	335
		小・中学生	156	10	0	0	0	4	0	170	4	106	280
美術館	企画展「パブロ・ピカソゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後 70 年、今ゲルニカで考える－」	一　　般	5,770	4	2,651	0	195	3	362	8,985	0	176	9,161
		高・大学生	401	41	219	0	0	63	7	731	0	0	731
		小・中学生	642	0	286	0	0	0	25	953	0	553	1,506
	企画展「志村ふくみ　－母衣への回帰－」	一　　般	2,600	0	179	401	282	65	117	3,644	0	697	4,341
		高・大学生	84	0	1	26	0	59	2	172	0	0	172
		小・中学生	56	0	3	3	0	1	3	66	0	85	151
	企画展「夢の美術館－めぐりあう名画たち－福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション」	一　　般	4,743	87	193	0	225	197	248	5,693	0	715	6,408
		高・大学生	392	40	6	0	0	78	6	522	0	0	522
		小・中学生	342	102	14	0	0	29	5	492	0	285	777
	企画展「山本恵一展 －まなざしのシュルレアリスム－」	一　　般	665	30	3	0	62	18	32	810	0	286	1,096
		高・大学生	70	0	0	0	0	4	0	74	0	0	74
		小・中学生	17	0	0	0	0	0	0	17	0	13	30
	合　　計	一　　般	27,563	762	4,038	1,647	1,451	873	982	37,316	1,732	5,793	44,841
		高・大学生	1,753	130	242	106	0	319	15	2,565	12	290	2,867
		小・中学生	4,757	1,113	1,030	42	0	146	39	7,127	136	3,442	10,705

※博物館企画展に関しては、優待（障害者）は無料者数へ含む。
※博物館企画展「大嶺薫コレクション展」は、常設券で観覧できるため無料者へ含む。

４．2016年度月間別入館者数



５．年間入館者数の年次推移



６．減免申請集計

（単位：人）

項　目		学校関係（下見）		旅行社関係（視察・引率）		ﾏｽｺﾐ関係（視察）		福祉関係（引率）		博物館・美術館関係者（視察）		その他		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
2016	4月	4	10	3	4	0	0	0	0	1	7	0	0	8	21
	5月	3	7	1	3	0	0	2	7	0	0	0	0	6	17
	6月	3	7	0	0	0	0	1	1	0	0	1	6	5	14
	7月	7	23	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8	24
	8月	40	1,311	1	5	0	0	2	5	1	6	2	66	46	1,393
	9月	3	9	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	12
	10月	15	45	5	12	0	0	0	0	0	0	1	1	21	58
	11月	7	38	3	3	0	0	1	2	2	25	1	3	14	71
	12月	13	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	53
2017	1月	13	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	72
	2月	7	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	66
	3月	10	28	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	29
合　計		125	1,669	16	31	0	0	7	16	4	38	5	76	157	1,830

７．団体入館内訳

県内　小学校　　のべ146校　9,252名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	20	真嘉比小学校	69	45	10	27	西原南小学校	66	89	12	2	比屋根小学校	121
2	5	13	城辺小学校	22	46			久辺小学校	31	90		6	久高小学校	18
3		20	下地小学校	34	47		28	山田小学校	28	91			座安小学校	64
4		27	西城小学校	22	48			津覇小学校	53	92		7	与儀小学校	48
5			久松小学校	47	49			今帰仁小学校	47	93			佐敷小学校	70
6		31	東小学校	102	50			糸満小学校	80	94		8	座安小学校	64
7	6	3	平良第一小学校	108	51			羽地小学校	56	95		9	美原小学校	146
8		7	上野小学校	33	52	11	1	高江洲小学校	86	96		13	阿波連小学校	4
9		10	ｶﾄﾘｯｸ学園海星小学校	16	53		2	北丘小学校	44	97		14	与那原小学校	106
10		12	大浜小学校	57	54			コザ小学校	49	98		15	嘉芸小学校	46
11		15	阿嘉小学校	7	55		3	久米島小学校	19	99		16	瀬喜田小学校	15
12			北大東小学校	17	56		4	喜屋武小学校	10	100		20	ﾜｰﾙﾄﾞﾐｯｼｮﾝｸﾘｽﾁｬﾝｽｸｰﾙ	13
13		17	比屋定小学校	8	57			伊波小学校	125	101	1	11	古蔵小学校	59
14		18	北小学校	50	58			上原小学校	13	102		12	古蔵小学校	88
15	7	2	小浜小学校	16	59		8	西原東小学校	75	103		17	那覇小学校	63
16		20	沖縄三育小学校	28	60		11	室川小学校	49	104			宇栄原小学校	106
17		23	銘苅小学校	21	61		15	百名小学校	30	105			松島小学校	62
18		28	安田小学校	8	62		16	白浜・西表小学校	14	106		18	大原小学校	7
19	8	30	小禄南小学校	140	63		17	美崎小学校	22	107			前田小学校	89
20	9	14	粟国小学校	13	64			渡名喜小学校	7	108		19	開南小学校	57
21		21	内間小学校	100	65			竹富小学校	8	109			松島小学校	58
22		28	美東小学校	154	66		18	本部小学校	102	110		20	曙小学校	41
23			上田小学校	107	67			天妃小学校	70	111			識名小学校	117
24		29	屋我地小学校	19	68			上本部小学校	21	112		24	さつき小学校	103
25		30	狩俣小学校	8	69			東江小学校	87	113		25	仲西小学校	97
26	10	5	中原小学校	120	70			崎枝小学校	8	114			石嶺小学校	143
27			沖縄ｶﾄﾘｯｸ小学校	105	71		22	翔南小学校	79	115		26	伊平屋・野甫小学校	30
28		7	兼城小学校	113	72			古堅南小学校	98	116		27	上間小学校	91
29		12	具志頭小学校	55	73			あげな小学校	86	117			城東小学校	95
30		14	東小学校	12	74			天久小学校	98	118		28	天願小学校	16
31			屋部小学校	89	75		24	天久小学校	69	119		31	仲井真小学校	95
32			西小学校	32	76			城南小学校	68	120	2	2	泊小学校	136
33			東江小学校	86	77		25	久志小学校	12	121			琉球大学教育学部附属小学校	34
34			与那国小学校	12	78			大宜味小学校	33	122		3	安謝小学校	110
35			伊江小学校	14	79			平敷屋小学校	41	123			漢那小学校	19
36			平敷屋小学校	31	80			城岳小学校	100	124			琉球大学教育学部附属小学校	35
37		18	玉城小学校	64	81		29	高良小学校	163	125		7	浦城小学校	171
38		19	珊瑚舎スコーレ	20	82			普天間第二小学校	108	126			銘苅小学校	97
39		20	当山小学校	212	83			白川小学校	95	127			琉球大学教育学部附属小学校	36
40		21	北中城小学校	125	84		30	金城小学校	141	128			若狭小学校	51
41			北美小学校	96	85			兼城小学校	105	129		8	壺屋小学校	48
42			大北小学校	90	86			城北小学校	136	130			小禄小学校	70
43		27	中城小学校	62	87	12	1	辺土名小学校	29	131			真和志小学校	78
44			潮平小学校	140	88			光洋小学校	76	132			北谷小学校	70

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
133	2	9	那覇小学校	70	138	2	24	はごろも小学校	32	143	3	7	城岳小学校	61
134			城岳小学校	101	139		28	天底小学校	26	144		8	神原小学校	61
135		10	曙小学校	55	140	3	1	真嘉比小学校	87	145		9	垣花小学校	40
136			馬天小学校	60	141		2	大道小学校	48	146		14	大名小学校	37
137		24	中川小学校	11	142		3	城西小学校	55					

県内　中学校　　のべ10校　596名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	28	久高中学校	15	5	8	9	山内中学校	25	9	12	3	与那国中学校	16
2	6	17	浦西中学校	158	6		14	与勝中学校	14	10	2	11	座間味・慶留間・阿嘉中学校	13
3	7	1	西原中学校	228	7		31	伊平屋中学校	20					
4	8	9	嘉数中学校	11	8	10	19	沖縄ｱﾐｰｸｽ国際学園	96					

県内　高校　　のべ26校　1,750名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	28	北中城高等学校	283	10	7	14	那覇高等学校	15	19	1	13	北部農林高等学校	42
2	6	3	美里工業高等学校	37	11	8	9	国際高等学校	10	20		20	興南高等学校	43
3		8	石川高等学校	170	12	9	13	球陽高等学校	166	21		26	北部農林高等学校	41
4		10	美里高等学校	231	13		29	沖縄尚学高等学校	12	22			沖縄尚学高等学校	33
5	7	5	興南高等学校	8	14	10	19	小禄高等学校	38	23		27	南風原高等学校	31
6		7	小禄高等学校	17	15		28	星槎国際高等学校 那覇ｷｬﾝﾊﾟｽ	5	24	2	8	南風原高等学校	6
7		8	小禄高等学校	37	16	11	15	前原高等学校	325	25		16	浦添工業高等学校	84
8			浦添工業高等学校	81	17		16	珊瑚舎スコーレ	6	26	3	8	鹿島朝日高校　沖縄ｷｬﾝﾊﾟｽ	7
9		13	那覇国際高等学校	14	18	12	20	ﾜｰﾙﾄﾞﾐｯｼｮﾝｸﾘｽﾁｬﾝｽｸｰﾙ	8					

県内　専門学校・大学　　のべ18校　775名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	1	琉球大学 沖縄事情ｸﾗｽ	62	7	8	3	沖縄県立芸術大学	20	14	1	28	那覇造形美術学院	22
2		17	沖縄看護専門学校	88	8		4	ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾃﾞｻﾞｲﾝｱｶﾃﾞﾐｰ	142	15	2	7	尚学院国際ﾋﾞｼﾞﾈｽｱｶﾃﾞﾐｰ	20
3		18	沖縄県立芸術大学	24	9		9	総合学園ﾋｭｰﾏﾝｱｶﾃﾞﾐｰ那覇校	16	16		9	尚学院国際ﾋﾞｼﾞﾈｽｱｶﾃﾞﾐｰ	49
4		24	那覇造形美術学院	27	10		23	専門学校ﾗｲﾌﾌﾞﾆｱｶﾚｯｼﾞ	51	17			沖縄県立芸術大学	37
5	7	7	沖縄国際大学ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ教育支援ｾﾝﾀｰ	14	11	9	28	沖縄県立芸術大学	25	18		24	専門学校ﾗｲﾌﾌﾞﾆｱｶﾚｯｼﾞ	72
					12	10	12	ｽﾃｯﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞ日本語学院	58					
6		22	沖縄国際大学経済学部	20	13		19	尚学院国際ﾋﾞｼﾞﾈｽｱｶﾃﾞﾐｰ	28					

県内　特別支援学校　　のべ11校　323名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	15	大平特別支援学校	43	5	10	19	大平特別支援学校	32	9	12	7	那覇特別支援学校	18
2		30	城北中学校若夏分校	26	6	11	8	普天間中学校特別支援学級	23	10		9	美咲特別支援学校	86
3	7	5	西崎特別支援学校	9	7		24	西原・西原東中学校特別支援学級	22	11	3	8	西崎特別支援学校	23
4	8	12	うるま市立教育研究所適応指導教育「さわやか学級」	7	8			西原・西原東・西原南・坂田小学校特別支援学級	34					

県内　幼稚園・保育園・その他　　のべ48校　1,720名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	8	ガジュマル保育園	23	17	8	4	つはっ子児童クラブ	55	33	8	10	嘉数学童クラブ	11
2	5	17	エミール保育園	23	18		5	小禄南児童クラブ	76	34		12	みらい学童クラブ	37
3	7	21	すてら楽童クラブ	32	19			ゆい保育園	11	35		17	泊幼稚園	22
4			沖縄ｶﾄﾘｯｸ小学校学童ｸﾗﾌﾞ	59	20			はえばる保育園	40	36			学童ｸﾗﾌﾞぬくぬくの木	29
5		22	沖縄ｶﾄﾘｯｸ小学校学童ｸﾗﾌﾞ	41	21			キッズクラブクローバー	43	37		19	こもれび学童	36
6		26	報徳福祉会報徳児童ｸﾗﾌﾞ	39	22			松山児童クラブ	46	38			もみじ学童クラブ	36
7			ひまわり学童クラブ	25	23			ござまる児童クラブ	34	39			わくわくの会	37
8			はなぞの児童クラブ	31	24		6	愛心学園	41	40			わかなつ学童	38
9		29	漆喰ｼｰｻｰを作ろう	20	25		9	ｶﾄﾘｯｸ小学校学童ｸﾗﾌﾞ	34	41			にこにこ学童クラブ	27
10			西原町池田ﾊｲﾂ子ども会	20	26			サウンド学童	23	42		23	牧港ﾏﾌﾞﾔｰ学童ｸﾗﾌﾞ	37
11		30	風の子学童	37	27			どんぐり学童	50	43			さくらんぼ学童園	45
12			大添子供育成会	24	28		10	学童館	75	44		24	パピプペポ＆ハピネス	12
13	8	2	津嘉山学童クラブ	65	29			ひやごん学童クラブ	28	45		25	マイマイクラブ	34
14		3	大名児童クラブ	24	30			あゆみ学院	22	46	10	25	アポロサイエンス	32
15			神原児童クラブ	55	31			神森やまねこ学童ｸﾗﾌﾞ	37	47		30	桑江四班子ども会	23
16			わくわく児童クラブ	52	32			神森第２やまねこ学童ｸﾗﾌﾞ	38	48	12	28	あめく児童クラブ	41

県外　小学校　　のべ２校　146名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	10	10	常葉大学教育学部附属橘小学校（静岡県）	55	2	2	7	横浜雙葉小学校（神奈川県）	91

県外　中学校　　のべ４校　232名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	14	楯岡中学校（山形県）	39	2	5	31	神之嶺小学校（鹿児島）	26	3	7	12	順天中学校（東京都）	99

No.	月	日	学校名	人数
4	12	9	ﾙｰﾃﾙ学院中学校（熊本）	68

県外　高校学校　　のべ40校　5,531名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	21	明法高校（東京都）	149	15	10	26	科学技術学園高校（東京都）	37	27	12	8	日本国際協力センター	46
2		22	倉敷中央高校（岡山県）	27	16	11	2	十文字高校（東京都）	358	28		9	園芸高校（東京都）	16
3		25	飛騨神岡高校（岐阜県）	58	17		13	帝京第三高校（山梨県）	63	29		11	霞ヶ浦高校（茨城県）	384
4		29	飯田高校（石川県）	160	18		18	南丹高校（京都府）	177	30		15	甲府西高校（山梨県）	41
5			広島学院高校（岐阜県）	7	19		22	巨摩高校（山梨県）	251	31		16	桶川高校（埼玉県）	312
6		30	多治見北高校（岐阜県）	23	20		24	朝霞高校（埼玉県）	342	32		22	日本国際協力センター	25
7	7	7	駿台学園高校（東京都）	13	21	12	1	宇都宮短期大学附属高校（栃木県）	638	33	1	9	武蔵野北高校（東京都）	249
8	9	28	浜松大平台高校（静岡県）	174						34		26	日立第一高校（茨城県）	13
9	10	10	大野高校（福井県）	168	22		4	浜松啓陽高校（静岡県）	37	35		27	岡崎高校（愛知県）	24
10		21	長浜高校（愛媛県）	41	23			宇都宮短期大学附属高校（栃木県）	345	36	2	15	伊勢工業高校（三重県）	4
11		22	君津高校（千葉県）	61						37	3	4	駿台学園高校（東京都）	137
12			ノートルダム清心高校（広島県）	191	24			宇都宮文星女子高校（栃木県）	18	38		5	成城高校（東京都）	139
13		25	横須賀学院高校（神奈川県）	194	25		7	駿河総合高校（静岡県）	43	39		11	エクセラン高校美術科（長野県）	10
14		26	備前緑陽高校（岡山県）	32	26		8	清水西高校（静岡県）	250	40		17	同志社女子高校（京都府）	274

県外　専門学校・大学　　のべ７校　119名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	5	金沢美術工芸大学（石川県）	43	4	10	27	神戸市外国語大学（兵庫県）	20	7	3	15	東洋大学看護学部（東京都）	11
2		19	東洋きもの専門学校（東京都）	10	5	11	16	姫路大学（兵庫県）	7					
3	7	29	山口大学（山口県）	10	6	3	3	今泉女子専門学校（福岡県）	18					

県外　特別支援学校　　のべ２校　24名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	12	8	浜松特別支援学校（静岡県）	15	2	1	25	半田特別支援学校（愛知県）	9

国外　その他（基地内含む）　　のべ11校　585名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	2	Kadena High School（ｱﾒﾘｶ）	23	6	12	17	HOLY CROSS LUTHERAN SCHOOL（香港）	42	10		24	ｱﾒﾘｱ･ｴｱﾊｰﾄ小学校（ア メ リ カ）	87
2		25	Chinese YMCA（香港）	37										
3	7	8	中国文化大学（台湾）	21	7	1	13	Kadena middle School（ｱﾒﾘｶ）	119	11	3	5	GT College（台湾）	23
4	11	5	功楽中學（香港）	35	8	2	4	Kadena High School（ｱﾒﾘｶ）	85					
5	11	30	琉球ﾐﾄﾞﾙｽｸｰﾙ（ｱﾒﾘｶ）	76	9	2	10	日本沖縄自然歴史５日間（香港）	37					

Ⅱ．施設利用者統計

１．月別施設利用集計

（単位：日数）

項目	博物館				美　術　館									共有		その他			
	特別展示室	企画展示室	博物館講座室	実習室	企画ギャラリー1	企画ギャラリー2	美術館講座室	県民アトリエ	子供アトリエ	スタジオ	県民ギャラリー	美術館屋外展示場	中庭	講堂	エントランス	3階回廊	講堂前ホワイエ	正面玄関雨端	計
４月	26	26	19	12	23	23	20	9	3	13	31	0	0	11	10	1	26	0	284
５月	14	16	20	13	25	25	18	6	6	14	50	0	0	13	18	0	8	0	296
６月	23	26	24	16	20	20	22	16	13	15	35	0	0	14	1	0	0	0	280
７月	20	27	25	18	27	27	24	23	20	20	53	3	0	24	3	0	0	0	367
８月	26	26	26	17	15	15	20	20	18	15	69	0	0	15	17	0	0	0	368
９月	18	18	16	15	18	18	18	8	5	12	38	0	0	21	0	0	0	0	243
10 月	24	24	25	19	4	4	22	12	8	19	74	0	0	17	12	0	2	0	340
11 月	26	14	23	24	16	16	25	13	8	18	72	0	0	22	12	0	1	0	362
12 月	24	24	18	16	16	16	16	13	9	13	62	0	0	16	16	0	0	0	321
１月	26	14	24	20	27	27	26	10	7	7	55	0	0	18	25	1	7	1	350
２月	21	21	20	21	17	17	23	12	6	17	53	0	7	23	20	0	21	7	359
３月	27	27	22	21	27	27	30	8	4	10	62	0	0	16	19	0	0	0	362
合　計	275	263	262	212	235	235	264	150	107	173	654	3	7	210	153	2	65	8	3,932

２．当館主催及び施設貸出内訳

【2016年４月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	美術館講座室	㈱マネジメントアシスタント　「キャッシュフロー全国会」フォロー研修	35	10	日	博物館講座室	NPO法人統合医療と健康を考える会　第31回　がん治療の鍵セミナー
2	2	金	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	36	10	日	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」
3	2	土	博物館講座室	'茅原書藝會展関連イベント　記念講演会・免許授与式　第２会場	37	12	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会
4	2	土	スタジオ	ジブラルタ生命保険㈱　マネープランセミナー	38	12	火	美術館講座室	南部徳洲会病院　医療講演
5	2	土	県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画	39	12	火	共有講堂	文化勲章受章記念「志村ふくみ－母衣への回帰－」関連催事　講演会
6	2	土	美術館講座室	JICA沖縄国際センター　JICAボランティア体&験説明会	40	13	水	博物館実習室	「方言札」世代ぬハナシむぬ語い
7	2	土	共有講堂	茅原書藝會展関連イベント「記念講演会・免許授与式」	41	13	水	博物館講座室	J&J事業創造/㈱JTB沖縄交流事業部 インバウンド動向＆免税対応セミナー
8	2	土	３階回廊	茅原書藝會　作品展示	42	13	水	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会　決算報告会
9	2	土	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	43	13	水	美術館講座室	盛和塾　定例会
10	3	日	博物館講座室	(有)ゆいまーる（エリナ）　50才60才が元気に生きる健康セミナー	44	14	木	博物館実習室	沖縄ゼロックス㈱　日本GE　理想的なリーダー像とは
11	3	日	県民アトリエ	金城　強　ジュネス.Maxグループ	45	14	木	博物館講座室	㈱平仲　『沖縄はおれが守る！！』平仲信明　まだ間に合うセキュリティ対策
12	3	日	美術館講座室	一般社団法人表千家同門会沖縄県支部　教授者連絡会議	46	14	木	スタジオ	㈱ベルシステム24　面接会
13	3	日	共有講堂	新崎洋実　ピアノ発表会	47	14	木	県民アトリエ	㈱ブレーン沖縄　ダンスレッスン
14	3	日	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	48	14	木	こどもアトリエ	㈱ブレーン沖縄　ダンスレッスン
15	5	火	博物館実習室	ハサミのちから OKINAWA お父さんお母さんも一緒に楽しく学ぼう♪小さなお子様のカット&ヘアアレンジ☆	49	14	木	美術館講座室	南部徳洲会病院　医療講演
					50	15	金	博物館講座室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社　教弘委員会
16	5	火	美術館講座室	第22期オム・ファム㈱経営計画発表会	51	15	金	博物館講座室	医療法人ミラソル　のはら元氣クリニック　サイモント療法無料講演会
17	5	火	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	52	15	金	博物館講座室	沖縄弁護士会　遺言の日　無料法律相談会
18	6	水	スタジオ	㈱ジェイコスメジャパン　海外進出をバックアップするための勉強会	53	15	金	スタジオ	㈱LEJ管理本部　植物ミネラル勉強会
19	6	水	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	54	15	金	美術館講座室	タマホーム沖縄㈱協力業者会　安全・工程会議
20	7	木	博物館講座室	行政書士法人なか　研修会	55	15	金	共有講堂	沖縄弁護士会　遺言の日　記念講演会
21	7	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　沖縄の人のための信託・相続セミナー	56	16	土	博物館実習室	リゼット講習会(キャンセル100%)
22	7	木	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	57	16	土	スタジオ	㈱南日本カルチャーセンター/琉球新報社 (午前中)米国公立高校留学説明会/(午後)新報アカデミックホームステイ説明会
23	8	金	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座					
24	8	金	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	58	16	土	県民アトリエ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合　定例理事会
25	8	金	博物館講座室	電子情報通信学会SDM・OME研究会	59	16	土	美術館講座室	ハーストーリー誌友会　ボランティア派遣員報告及び勉強会
26	9	土	博物館講座室	電子情報通信学会SDM・OME研究会	60	16	土	共有講堂	平成28年度　博物館文化講座「琉球の金工品の世界」
27	9	土	スタジオ	モデーアジャパン事業説明会	61	17	日	博物館実習室	プランビーセミナー
28	9	土	共有講堂	那覇市/㈱ワイド 那覇市制95周年記念 シンポジウム 那覇から平和を考える～ゲルニカによせて～	62	17	日	県民アトリエ	イメージUPプロデュースBloom 勉強会
					63	17	日	博物館講座室	交流員全体研修
29	9	土	共有講堂	明治安田生命労働組合　第14回　支部定期大会	64	20	水	博物館実習室	SPC JAPAN全国経営部 会議
30	9	土	博物館講座室	平成28年度　博物館学芸員講座「沖縄の民話－寄贈テープの保存と活用について－」	65	20	水	美術館講座室	メットライフ生命　改正保険業法説明会
31	9	土	県民アトリエ	平成28年度　文化・芸術活動支援事業	66	20	水	博物館講座室	オリエンテーション(真嘉比小学校)
32	9	土	こどもアトリエ	平成28年度　文化・芸術活動支援事業	67	21	木	博物館実習室	沖縄サロネーゼ事務局　沖サロ勉強会　沖サロ流スキル交換会
33	9	土	美術館講座室	パブロ・ピカソ　ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展関連イベント「ピカソ、ゲルニカの意味するもの」	68	21	木	博物館講座室	沖縄県市町村税徴収対策支援本部/沖縄県総務部税務課 平成27年度 地方税徴収担当職員地方税法総則研修会
34	9	土	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/琉球朝日放送㈱　グルニカ展関連催事「ぬり絵コーナー」	69	21	木	スタジオ	Jコスメジャパン　説明会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
70	21	木	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	103	29	金	共有講堂	沖縄ハーベストチャーチ　JAZZ ゴスペルコンサート
71	22	金	博物館実習室	一般社団法人日本 LCQS 生命保険診断士協会沖縄支部 LCQS 生命保険証券診断士セミナー	104	30	土	美術館講座室	こくみん労働組合　共済についての勉強会
					105	30	土	美術館講座室	沖縄県海外子女教育・国際理解教育研究会　帰国者報告会
72	22	金	スタジオ	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	106	30	土	共有講堂	美術館コレクション展　ニューコレクション・シリーズ　「宮良瑛子展―いのち」関連シンポジウム
73	22	金	美術館講座室	㈱沖縄銀行　ノムラ日米REITファンド運用報告会					
74	22	金	博物館講座室	博物館ボランティア登録証交付式	107	1～4	金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	茅原書藝會展
75	23	土	博物館実習室	㈱ゆうちょ銀行　那覇支店 資産運用セミナー「大切は資産をインフレから守るために」 ～投資信託を活用した資産運用シリーズ～			土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
							日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
76	23	土	博物館実習室	島田和子　脳科学セミナー			月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
77	23	土	博物館講座室	SG 沖縄　勉強会	108	1～4	金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	茅原書藝會展
78	23	土	美術館講座室	沖縄県立美術館支援会 happ　第 1 回理事会			土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
79	23	土	県民アトリエ	沖縄県立芸術大学開学 30 周年記念関連イベント「アートは豊かな生活・社会を築く」			日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
80	23	土	こどもアトリエ	沖縄県立芸術大学開学 30 周年記念関連イベント「アートは豊かな生活・社会を築く」			月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
81	23	土	美術館講座室	美術館学芸員講座	109	1～30	金	博物館企画展示室	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァゲリオン展
82	24	日	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会			土	博物館企画展示室	
83	24	日	スタジオ	一般社団法人 IT 検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会　IVEC（知識）			日	博物館企画展示室	
84	24	日	美術館講座室	一般社団法人 IT 検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会　IVEC(知識)			月	博物館企画展示室	
85	24	日	美術館講座室	琉球大学医学部附属病院　第二外科 沖縄県民の健康公開講座　相談コーナー			火	博物館企画展示室	
86	24	日	共有講堂	琉球大学医学部附属病院　第二外科 沖縄県民の健康公開講座　心臓弁膜症手術の最前線 ～切らずに治すカテーテル治療(TAVI)とは～			水	博物館企画展示室	
							木	博物館企画展示室	
87	24	日	博物館講座室	科学あそびコーナー　つくって・ふれて・みて・まなぶ			金	博物館企画展示室	
88	24	日	エントランスホール	サイエンスショー　興奮！科学のエンターテイメント/わくわく博物館ツアー ～博物館の科学～			土	博物館企画展示室	
							日	博物館企画展示室	
89	26	火	博物館講座室	笈川久美(宮本)　ラジウムの説明会			月	博物館企画展示室	
90	26	火	スタジオ	㈱トントゥシステム　NS 実践セミナー			火	博物館企画展示室	
91	26	火	美術館講座室	沖縄ヨーガ・ニケタン　ヨーガ療法士養成講座（YIC）			水	博物館企画展示室	
92	26	火	共有講堂	ピアノ保守点検			木	博物館企画展示室	
93	27	水	博物館講座室	沖縄県文化観光スポーツ部観光整備課/㈱OTS サービス経営研究所 沖縄感動体験プログラム公募説明会			金	博物館企画展示室	
							土	博物館企画展示室	
94	27	水	スタジオ	マンスリーラボ　為替勉強会			日	博物館企画展示室	
95	27	水	県民アトリエ	㈱ベルシステム 24　面接会			月	博物館企画展示室	
96	27	水	美術館講座室	ひだか司法書士法人/プルデンシャル生命保険 親亡きあと・・・			火	博物館企画展示室	
97	27	水	博物館実習室	三線鑑定会			水	博物館企画展示室	
98	27	水	美術館講座室	美術館ボランティア活動　体験会			木	博物館企画展示室	
99	28	木	スタジオ	ソニー生命那覇 LOC 第 1 支社　営業会議			金	博物館企画展示室	
100	28	木	共有講堂	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社　日教弘顧問　山野井先生による講演会			土	博物館企画展示室	
101	28	木	博物館実習室	オリエンテーション(久高中学校)			日	博物館企画展示室	
102	29	金	共有講堂	日経教育グループ㈱TPS 思考能力研究会　TPS 思考能力研究会主催　山下徳先生講演会			月	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
109	1～30	火	博物館企画展示室	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァゲリオン展
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
110	1～30	金	博物館特別展示室	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァゲリオン展
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
110	1～30	木	博物館特別展示室	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァゲリオン展
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	

【2016年５月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　食の勉強会
2	2	日	美術館講座室	2017年度 沖縄ワタベウェディング㈱採用面接
3	3	火	博物館講座室	自主憲法制定沖縄県民会議　新しい憲法をつくる沖縄県民の集い
4	3	火	美術館講座室	2017年度 沖縄ワタベウェディング㈱採用面接
5	4	水	美術館講座室	2017年度 沖縄ワタベウェディング㈱採用面接
6	5	木	美術館講座室	2017年度 沖縄ワタベウェディング㈱採用面接
7	7	土	美術館講座室	沖縄朝鮮友好の会　勉強会
8	8	日	スタジオ	琉球新報社/㈱南日本カルチャーセンター　新報アカデミックホームスティ説明会
9	8	日	共有講堂	「志村ふくみ－母衣への回帰－」関連催事 上映会「工芸技術記録映画　紬織ー志村ふくみのわざー」
10	8	日	博物館講座室	すでぃる-Regeneration-プロジェクト「マグニ・ピースプロジェクト　その可能性と現状について」
11	8	日	美術館講座室	「志村ふくみ－母衣への回帰－」関連催事　上映会「工芸技術記録映画　紬織ー志村ふくみのわざー」 第２会場
12	10	火	博物館講座室	沖縄総合事務局総務部跡地利用対策課/玉野総合コンサルタント㈱ 平成28年度　跡地関係市町村連絡会議
13	10	火	美術館講座室	盛和塾　定例会
14	11	水	共有講堂	沖縄ヨーガ・ニケタン　心をコントロールできる日常生活の知恵を学ぶ「依存症セミナー」
15	11	水	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座
16	11	水	博物館実習室	「方言札」世代ぬハナシむぬ語い
17	11	水	美術館講座室	美術館ボランティア研修会
18	11	水	美術館講座室	㈱ケイオーパートナーズ全体会議
19	12	木	スタジオ	㈱公文エルアイエル　公文書写教室開設説明会
20	12	木	博物館講座室	りゅうせき商事㈱　会社説明会
21	12	木	博物館実習室	タブレット打ち合わせ
22	13	金	スタジオ	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
23	13	金	共有講堂	すでぃる-Regeneration-プロジェクト　日本+沖縄特別上映会　ダイビング・ベル　セウォル号の真実　真実は沈没しない
24	13	金	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座
25	13	金	博物館講座室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社　教弘委員会
26	13	金	美術館講座室	沖縄県立美術館支援会 happ　第２回理事会
27	13	金	美術館講座室	(公財)日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部　相続支援コンサルタント(一般)認定試験
28	13	金	美術館講座室	日本コンセントリクスお仕事相談会
29	14	土	こどもアトリエ	平成28年度　文化・芸術活動支援事業(美術館班)
30	14	土	スタジオ	㈱南日本カルチャーセンター/琉球新報社　米国公立高校留学説明会/新報アカデミックホームステイ説明会
31	14	土	共有講堂	沖韓民衆連帯　沖縄-韓国平和交流2016
32	14	土	県民アトリエ	平成28年度　文化・芸術活動支援事業

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
33	14	土	県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画制作	67	21	土	美術館講座室	2017年度 沖縄ワタベウェディング㈱採用面接
34	14	土	博物館講座室	光画文化研究所　フラグメンツ5記念　写真お話大会「写真が変わるとき」	68	22	日	スタジオ	琉球新報社/㈱南日本カルチャーセンター　新報アカデミックホームスティ説明会
35	14	土	博物館講座室	一般社団法人コンピュータ教育振興協会　IVEC（実務）準備	69	22	日	共有講堂	アステラス製薬㈱/社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 第6回　腎移植市民フォーラム～いのちの贈り物～血圧が気になるあななに腎臓の話～高血圧と腎臓病の深イイ話
36	14	土	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会					
37	14	土	博物館実習室	博物館ボランティア養成講座					
38	15	日	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ	70	22	日	共有講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団（首里城公園）　首里城建造物の漆塗装に関するシンポジウム
39	15	日	共有講堂	ピアノ・リトミック教室　ピアノ・リトミック発表会	71	22	日	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 40週年記念事業　新報サイエンスクラブ講演会 ～科学って楽しい！～
40	15	日	県民アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ					
41	15	日	博物館講座室	一般社団法人コンピュータ教育振興協会　IVEC（知識）	72	22	日	博物館実習室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構　ETロボコン沖縄地区技術者育成
42	17	火	スタジオ	㈱LEJ管理本部　植物ミネラル勉強会	73	22	日	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　総会
43	17	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会	74	22	日	美術館講座室	2017年度 沖縄ワタベウェディング㈱採用面接
44	17	火	博物館講座室	㈱JTB沖縄　JTBグループ全国共通適性検査	75	24	火	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ Microsoft 澤氏のビジネスに効く　コミュニケーション術とアンガーマネジメント
45	17	火	博物館実習室	博物館ボランティア勉強会					
46	17	火	美術館講座室	琉球Software㈱　採用試験	76	24	火	美術館講座室	㈱ケイオーパートナーズ　新規高卒就職アシスト事業　企業説明会
47	17	火	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会/一般社団法人北那覇青色申告会 銀行は事業計画・融資案件をどう見るか	77	24	火	美術館講座室	オキナワインターナショナルスクールNEST　総会
					78	25	水	スタジオ	㈱沖縄水道管理センター第13回　定時株主総会
48	18	水	スタジオ	シグマサイエンス㈱ 勉強会	79	25	水	博物館講座室	沖縄県文化協会　平成28年度　定期総会
49	18	水	共有講堂	一般財団法人沖縄県建設技術センター　琉球の風土に刻まれた災害の宿命ー「環境防災学」と「風土工学」の視座ー	80	25	水	博物館講座室	美術館ボランティア研修会
					81	25	水	博物館実習室	三線鑑定会
50	18	水	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　平成28年度サンコム上期安全大会	82	26	木	こどもアトリエ	那覇市文化協会　生活文化部会　生活文化部会28年度　総会
51	18	水	博物館実習室	㈱アライヴン　事業説明会	83	26	木	共有講堂	那覇市文化協会　平成28年度　定例総会　講演会
52	18	水	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会　（雇用関係）助成金活用セミナー	84	26	木	博物館実習室	ふれあい体験室ワークショップボランティア勉強会
53	19	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　沖縄の人のための信託・相続セミナー	85	27	金	共有講堂	沖縄県立学校事務職員協会　平成28年度事務職員協会研修会並びに定期総会
54	19	木	博物館講座室	沖縄博物館友の会　平成28年度 沖縄博物館友の会　総会	86	27	金	県民アトリエ	美呼吸ウォーキング講座・説明会
55	20	金	スタジオ	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	87	27	金	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座
56	20	金	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座	88	27	金	博物館講座室	盛和塾　定例会
57	20	金	博物館実習室	一般社団法人日本LCQS生命保険診断士協会沖縄支部 LCQS生命保険証券診断士セミナー	89	27	金	博物館実習室	宮古島市立久松小学校/オリエンテーション
					90	27	金	美術館講座室	オリックス・ビジネスセンター沖縄㈱　社員向け講演会
58	20	金	美術館講座室	タマホーム沖縄㈱　協力者　安全・工程会議	91	27	金	美術館講座室	体験遊具説明会
59	20	金	美術館講座室	日本コンセントリクスお仕事相談会	92	28	土	こどもアトリエ	美術館クラブ
60	21	土	こどもアトリエ	教員向け講座①	93	28	土	こどもアトリエ	chAin ReacTion(チェーン・リアクション)
61	21	土	スタジオ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合　定例理事会	94	28	土	スタジオ	沖縄の教育を良くする会　テレビ「生命の光」を観る
62	21	土	共有講堂	平成28年度　博物館文化講座「ジョン万次郎・琉球上陸の真実」	95	28	土	共有講堂	南部広域市町村圏事務組合　南部広域職員研修10周年　記念事業
63	21	土	県民アトリエ	教員向け講座①	96	28	土	県民アトリエ	chAin ReacTion(チェーン・リアクション)
64	21	土	博物館講座室	干瀬の会　第26回講演～源氏物語を読む～	97	28	土	県民アトリエ	美術館クラブ
65	21	土	博物館実習室	博物館ボランティア養成講座	98	28	土	博物館講座室	沖縄県立美術館支援会happ　平成28年度通常総会
66	21	土	博物館実習室	一般社団法人日本LCQS生命保険診断士協会沖縄支部 LCQS証券診断士フォローアップセミナー	99	28	土	博物館実習室	美呼吸ウォーキング　美呼吸ウォーキング講座・説明会
					100	28	土	美術館講座室	海燕社の小さな映画会2016/「奥会津の木地師」（1976年）

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
101	28	土	美術館講座室	「宮良瑛子展―いのち」関連イベント　キュレータートーク
102	29	日	こどもアトリエ	第８回　聖書と日本フォーラム沖縄交流会
103	29	日	スタジオ	サンクスアイ健康セミナー
104	29	日	共有講堂	GGC 沖縄　事業説明会
105	29	日	共有講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会　家庭講演会
106	29	日	博物館講座室	沖縄素粒子研究会　素粒子の講演会
107	29	日	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟総会
108	29	日	美術館講座室	2017 年度 沖縄ワタベウェディング㈱採用面接（キャンセル 100%）
109	31	火	共有講堂	西日本高速道路総合サービス沖縄㈱　災害から文化遺産を守る
110	31	火	博物館講座室	グラフィソフトジャパン㈱/㈱ビックビート ARCHICAD19 全国ロードショー2016
111	31	火	博物館講座室	オリエンテーション（宮古島市立東小学校）
112	1～10	日	講堂前ホワイエ	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァンゲリオン　ショップ
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	
		水	講堂前ホワイエ	
		木	講堂前ホワイエ	
		金	講堂前ホワイエ	
		土	講堂前ホワイエ	
		日	講堂前ホワイエ	
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	
113	1～11	日	博物館企画展示室	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァンゲリオン展
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
114	1～11	日	博物館特別展示室	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァンゲリオン展
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
114	1～11	日	博物館特別展示室	沖縄タイムス社／朝日新聞社 エヴァンゲリオン展
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
115	10～29	火	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館/一般財団法人沖縄美ら島財団　国際博物館の日　パネル展
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
116	24～31	火	博物館特別展示室	平成 28 年度 大嶺薫コレクション展
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
117	27～31	金	博物館企画展示室	平成 28 年度　収蔵品展―平成 27 年度収蔵資料―
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
118	1 ～ 29	日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1	志村ふくみ―母衣への回路―	119	1 ～ 29	日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	志村ふくみ―母衣への回路―
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ1				日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ2	

【2016年６月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	水	博物館 講座室	博物館ボランティア養成講座（博物館教育普及班	8	4	土	県民 アトリエ	石こう版画の会　石こう版画制作
2	1	水	博物館 実習室	「琉球大学沖縄事情の皆さんとふれあい体験室ワークショップ」	9	4	土	博物館 講座室	平成 28 年度　博物館学芸員講座「民芸シリーズ 2 田中俊雄と“沖縄織物の研究”」
3	2	木	美術館 講座室	楽天㈱　那覇支社　楽天スーパーSALE エンパワー決起会	10	4	土	博物館 実習室	博物館ボランティア養成講座
4	3	金	博物館 講座室	沖縄県高等学校地理歴史科公民科教育研究会 平成 28 年度　沖高地歴公民研　定期総会・研修会	11	4	土	博物館 実習室	笈川久美　ラジウム勉強会
5	3	金	博物館 講座室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社　教弘委員会	12	4	土	美術館 講座室	コンパテックジャパン㈱/琉球光和　ストーマ基礎学習会 in 浦添
6	3	金	博物館 実習室	沖縄県立美里工業高校/オリエンテーション	13	5	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄・ミキ沖縄　食の勉強会
7	3	金	美術館 講座室	日本コンセントリクス　お仕事相談会	14	5	日	博物館 講座室	㈱トリム・㈱トリムフーズ　飲食事業部　繁盛会議

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
15	5	日	博物館実習室	沖縄観光英語研究会　沖縄英語観実施に向けた研修会	46	12	日	共有講堂	国際ロータリー第2580地区第47回地区ローターアクト　年次大会
16	7	火	スタジオ	一般社団法人日本ノーファンデーション協会　打ち合わせ	47	12	日	県民アトリエ	ジェイコスメジャパン　海外進出の勉強会
17	7	火	博物館講座室	沖縄県BPO産業協議会/㈱ケイオーパートナーズ平成28年度通常総会	48	12	日	博物館講座室	育英義塾教員養成学院6月科目終了試験
18	7	火	美術館講座室	一般社団法人日本自動車連盟沖縄支部　平成28年度JAF沖縄支部会員優待施設連絡会	49	14	火	こどもアトリエ	体験型遊具審査会
19	8	水	県民アトリエ	㈱ベルシステム24面接会場	50	14	火	スタジオ	㈱LEJ管理本部　植物ミネラル勉強会
20	8	水	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座（博物館教育普及班	51	14	火	県民アトリエ	体験型遊具審査会
21	8	水	博物館講座室	沖縄税務経理学院/EY税理士法人　OA経理事務科選考試験	52	14	火	美術館講座室	ホームネットカーズ㈱　事業説明会
22	8	水	博物館実習室	「方言札」世代ぬハナシむぬ語い	53	15	水	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙　リーリング」
23	8	水	美術館講座室	美術館ボランティア研修会(美術館教育普及班)	54	15	水	共有講堂	ゴッホ展オープニングセレモニー控室
24	8	水	美術館講座室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部相続支援コンサルタント講習　第2回試験会場	55	15	水	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙　リーリング」
25	9	木	スタジオ	㈱あしたのチーム琉球　人事評価制度セミナー（キャンセル100%）	56	15	水	博物館講座室	公益財団法人沖縄県産業振興公社　平成28年度中小企業課題解決・企業連携プロジェクト推進事業　採択決定式
26	9	木	博物館講座室	沖縄県保険医療部国民健康保険課/沖縄県国民健康保険団体連合会 平成28年度国保担当新任職員研修会	57	15	水	博物館実習室	北大東村立北大東小学校／オリエンテーション
27	9	木	美術館講座室	沖縄県キャリアセンター/㈱りゅうせきビジネスサービス 若手社員のためのモチベーションアップセミナー	58	15	水	博物館実習室	座間味村立阿嘉小学校／オリエンテーション
					59	15	水	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブ講座が受けられる！助成金活用セミナー
28	10	金	こどもアトリエ	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会happ銘苅小PTCAとの会議	60	16	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　沖縄の人のための信託・相続セミナー
29	10	金	スタジオ	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	61	16	木	共有講堂	公益社団法人土木学会西部支部沖縄会　土木学会西部支部沖縄会主催　セミナー（講演会）
30	10	金	県民アトリエ	美呼吸ウォーキング　説明・講習会	62	16	木	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ　りゅうぎんマネジメントスクール
31	10	金	県民アトリエ	合資会社 沖縄時事出版　東アジア出版人会議	63	16	木	博物館実習室	博物館班　使用
32	10	金	博物館講座室	家庭倫理の会那覇市　全役職者研修	64	16	木	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
33	10	金	博物館講座室	「一般社団法人CRM協議会　沖縄(那覇市)フォーラム2016」	65	17	金	博物館講座室	外間経営労務管理事務所　「採用難時代の人事・賃金制度づくりセミナー」
34	10	金	美術館講座室	労働保険事務組合 福働会　福働会労務管理セミナー	66	17	金	博物館実習室	久米島町立比屋定小学校/オリエンテーション
35	10	金	美術館講座室	一般社団法人倫理研究所/家庭倫理の会那覇市 平成28年度 秋津書道・しきなみ短歌会　指導資格認定証授与式	67	17	金	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
					68	18	土	こどもアトリエ	美術館クラブ
36	10	金	共有講堂	劇艶おとな団　第10回公演 準備	69	18	土	こどもアトリエ	㈱プレナスワールド　勉強会
37	11	土	共有講堂	劇艶おとな団　第10回公演	70	18	土	スタジオ	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会happ第3回happ理事会
38	11	土	こどもアトリエ	平成28年度沖縄県立博物館・美術館文化・芸術支援事業 「沖美連・美術館ワークショップ1」「動物のイラストを書こう」	71	18	土	共有講堂	ピアノ調律
					72	18	土	共有講堂	「文化・芸術支援事業」
39	11	土	県民アトリエ	平成28年度沖縄県立博物館・美術館文化・芸術支援事業 「沖美連・美術館ワークショップ1」「動物のイラストを書こう」	73	18	土	共有講堂	平成28年度　博物館文化講座　「亜熱帯域のムラの民俗自然誌-未完の黒島調査-」
					74	18	土	県民アトリエ	美術館クラブ
40	11	土	博物館講座室	㈲オーシャン・トゥエンティワン　子どもの生きる力を育てる　親力　コミュニケーションスキルUPセミナー	75	18	土	県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画
					76	18	土	博物館講座室	トラムで未来をつくる会(一般)　LRT導入の取り組みの視察報告会
41	11	土	博物館講座室	首里城公園友の会 平成28年度首里城公園友の会定期総会及び記念講演会	77	18	土	博物館講座室	アールプランニング　Creators Night vol.21「兎本幸子イラストレーションワークショップ」
					78	18	土	博物館実習室	沖縄観光英語研究会
42	11	土	博物館実習室	美呼吸ウォーキング　説明・講習会	79	18	土	美術館講座室	SG沖縄 勉強会
43	11	土	美術館講座室	第2回美術館学芸員講座「修復コロシアム★～修復の現場から～」	80	19	日	スタジオ	㈱サン・サン　食品の安全性についてのセミナー
44	11	土	美術館講座室	㈱イー・ラーニング研究所　フォルスクラブ　経済セミナー	81	19	日	共有講堂	「ゴッホの手紙」から生涯と作品を読み解く
45	12	日	スタジオ	㈱ラフォーエスカンパニー　ノンファンデーションについての勉強会	82	19	日	博物館講座室	沖縄工業高等専門学校　学校説明会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
83	19	日	美術館講座室	㈱海燕社 小さな映画会 2016/私立積徳高等女学校・看護学徒隊　沖縄戦の記憶　ふじ学徒隊	118	25	土	美術館講座室	㈱ゆうちょ銀行那覇支店　資産運用セミナー
					119	26	日	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙リーリング」
84	21	火	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	120	26	日	スタジオ	TACK 沖縄　食育・農育セミナー
85	21	火	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	121	26	日	共有講堂	動物病院 22 時㈱　会社説明会
86	21	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会	122	26	日	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙リーリング」
87	21	火	博物館講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 平成 28 年度電力負荷平準化･省エネルギー社会実現セミナー	123	26	日	博物館講座室	三基商事㈱　営業所研修
					124	26	日	博物館講座室	沖縄県眼科医会(琉球大学眼科)/参天製薬　第 126 回沖縄眼科集談会
88	21	火	美術館講座室	公益社団財団沖縄県産業振興公社　BIO TAIWAN2016　展示会事前セミナー	125	26	日	美術館講座室	㈱Life is Love/㈱Message　コミュニケーション能力 1 級認定講座
89	22	水	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙　リーリング」	126	28	火	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」
90	22	水	スタジオ	松本美奈子　メタモデル勉強会	127	28	火	スタジオ	棚原　正和　栄養素についてのの勉強会
91	22	水	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙　リーリング」	128	28	火	共有講堂	沖縄県商工労働部ものづくり振興課/NPO 法人沖縄県工芸産業協働センター 「伝統染織製品の海外展開セミナー」～今、沖縄染織の良さを確認～
92	22	水	博物館講座室	りゅうせき商事㈱　会社説明会					
93	22	水	博物館実習室	三線鑑定会	129	28	火	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」
94	22	水	美術館講座室	美術館ボランティア研修会	130	28	火	博物館講座室	㈱大城マネジメント研究所　人事・賃金セミナー
95	22	水	美術館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議	131	28	火	美術館講座室	㈱アジュバンコスメジャパン　アジュバンアップデートセミナー
96	23	木	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」	132	29	水	共有講堂	沖縄県情報産業振興課/NPO 法人フロム沖縄推進機構 平成 28 年度　沖縄振興税制活用セミナー～設備投資・事業拡大のチャンスです！～
97	23	木	スタジオ	㈱ケイオーパートナーズ社員研修					
98	23	木	スタジオ	㈱あしたのチーム琉球　人事評価セミナー(キャンセル 50%)	133	29	水	博物館講座室	国土交通省/一般社団法人公共建築協会 沖縄地区事務局 「新営予算単価と設計料算定」説明会
99	23	木	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」					
100	23	木	博物館講座室	東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センター　第 19 回 定例勉強会	134	29	水	博物館実習室	沖縄大交易会実行委員会事務局　オフィシャル商社 MTG　社内会議
101	23	木	博物館実習室	三基商事　会員勉強会	135	30	木	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」
102	23	木	美術館講座室	㈱ケイオーパートナーズ　社内研修・全体会議	136	30	木	共有講堂	一般社団法人沖縄県食品衛生協会　HACCP 導入型施設基準勉強会
103	24	金	エントランスホール	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の鉛筆デッサン講座」	137	30	木	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」
104	24	金	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙リーリング」	138	30	木	博物館講座室	沖縄県総務部税務課 平成 28 年度地方税徴収担当職員地方税総則研修会(第 2 回)
105	24	金	スタジオ	㈱イー・コミュニケーションズ　プレミアムメンバー研修					
106	24	金	共有講堂	一般社団法人日本台湾平和基金会　日本台湾友交を考える講演会	139	30	木	博物館実習室	城北中学校若夏分校／オリエンテーション
107	24	金	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙リーリング」	140	30	木	美術館講座室	㈱公文エルアイエル　公文書写教室開設説明会
108	24	金	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座	141	1～2	水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	志村ふくみ―母衣への回路―　片付け
109	24	金	博物館実習室	シグマサイエンス㈱　勉強会			木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
110	24	金	美術館講座室	盛和塾沖縄　キックオフ会	142	10～30	金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ「 巨匠たちの奇跡」
111	24	金	美術館講座室	沖縄県/NPO 法人フロム沖縄推進機構　アジア IT 人材交流促進事業説明会			土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
112	25	土	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント　「ゴッホの手紙リーリング」			日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
113	25	土	スタジオ	南日本カルチャーセンター/琉球新報社 新報アカデミックホームステイ引率教諭オリエンテーション			月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
							火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
114	25	土	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ゴッホの手紙リーリング」			水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
115	25	土	博物館講座室	辻・本郷税理士法人沖縄支部　相続税セミナー			木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
116	25	土	博物館講座室	全国賃貸管理ビジネス協会　沖縄支部　相続支援フォローアップセミナー			金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
117	25	土	博物館実習室	㈱PERSONUTS’ ペルソナッツ　LAB プロスキルアップセミナー			土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
142	10 ～ 30	日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ「 巨匠たちの奇跡」
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
143	1 ～ 2	水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	志村ふくみ―母衣への回路―　片付け
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
144	10 ～ 30	金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ「 巨匠たちの奇跡」
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
145	1 ～ 26	水	博　物　館 企画展示室	平成 28 年度　収蔵品展―平成 27 年度収蔵資料―
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
		月	博　物　館 企画展示室	
		火	博　物　館 企画展示室	
		水	博　物　館 企画展示室	
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
146	1 ～ 30	水	博　物　館 特別展示室	平成 28 年度 大嶺薫コレクション展
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
146	1 ～ 30	木	博物館 特別展示室	平成 28 年度 大嶺薫コレクション展
		金	博物館 特別展示室	
		土	博物館 特別展示室	
		日	博物館 特別展示室	
		月	博物館 特別展示室	
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
146	1 ～ 30	金	博物館 特別展示室	平成 28 年度 大嶺薫コレクション展
		土	博物館 特別展示室	
		日	博物館 特別展示室	
		月	博物館 特別展示室	
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	

【2016年７月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	こどもアトリエ	琉球放送㈱　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の鉛筆デッサン講座」
2	1	金	共有講堂	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「山田五郎のアート・トーク」
3	1	金	県民アトリエ	美呼吸ウォーキング　講習会・説明会
4	1	金	県民アトリエ	琉球放送㈱/美術館班 ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の鉛筆デッサン講座」
5	1	金	博物館講座室	一般社団法人日本中小企業情報化支援協議会 re:Work Summit 2016 Okinawa
6	1	金	美術館講座室	㈱あしたのチーム琉球　人事評価制度セミナー
7	2	土	こどもアトリエ	一般社団法人沖縄県立芸術大学同窓会/美術館班 chAinReacTion03
8	2	土	スタジオ	㈱サン・サン　食品の安全性についてのセミナー
9	2	土	共有講堂	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「山田五郎のアート・トーク」
10	2	土	共有講堂	一般社団法人那覇青年会議所　小学生英語スピーチコンテスト 2016
11	2	土	県民アトリエ	一般社団法人沖縄県立芸術大学同窓会/美術館班 chAinReacTion03
12	2	土	県民アトリエ	美呼吸ウォーキング　講習会・説明会
13	2	土	博物館講座室	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会　第９回総会
14	2	土	博物館実習室	美呼吸ウォーキング　講習会・説明会
15	2	土	博物館実習室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構　ETロボコン沖縄地区　技術教育
16	2	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会　テレビ「生命の光」を観る
17	2	土	美術館講座室	キュレータートーク　「沖縄美術の流れ」
18	2	土	美術館講座室	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「山田五郎のアート・トーク」第２会場
19	3	日	こどもアトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部　第９回　聖書と日本フォーラム沖縄定例会
20	3	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　ミキ沖縄　食の勉強会
21	3	日	共有講堂	ピアノハウス ジュスト　HAPPY CONCERT 18
22	3	日	博物館講座室	あらかき美容医学研究所　分子栄養学講座
23	3	日	博物館実習室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構　ＥＴロボコン沖縄地区　技術教育
24	3	日	美術館講座室	沖縄ヤクケンみどり会　総会・研修会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
25	3	日	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
26	5	火	こどもアトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」
27	5	火	県民アトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」
28	5	火	博物館講座室	㈱琉球新報開発　沖縄県中高年齢者再チャレンジ支援事業　求職者向け説明会
29	5	火	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
30	6	水	共有講堂	明治安田生命沖縄支社　７月チャレンジ月進発研修大会
31	6	水	県民アトリエ	㈱ベルシステム 24　面接会
32	6	水	博物館講座室	美術館班　美術館ボランティア研修会
33	6	水	博物館講座室	㈱琉球銀行コンサルティング営業部　IT 業界における M&A・アライアンスの現状　M&A・アライアンスセミナー
34	6	水	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
35	7	木	こどもアトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」
36	7	木	スタジオ	笈川久美　ラジウム勉強会
37	7	木	共有講堂	のはら元氣クリニック　「断捨離～空間を整え人生を整える～」
38	7	木	県民アトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」
39	7	木	博物館講座室	一般財団法人総合福祉研究会　社会福祉会計簿記入門講座
40	7	木	美術館講座室	大東ガスパートナー㈱　ガス衣類乾燥機に関する説明会
41	8	金	こどもアトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の鉛筆デッサン講座」
42	8	金	スタジオ	ブルーコンシャス㈱　単独説明会
43	8	金	共有講堂	南島史学会沖縄大会事務局/博物館班 南島史学会　第 45 回大会　沖縄大会　準備
44	8	金	県民アトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の鉛筆デッサン講座」
46	9	土	こどもアトリエ	H28 年度文化・芸術支援事業　沖美連・美術館ワークショップ２ 「アルミ缶でアート－私の作品づくり－」
47	9	土	スタジオ	ブルーコンシャス㈱　単独説明会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
48	9	土	共有講堂	南島史学会沖縄大会事務局/博物館班　南島史学会　第45回大会 沖縄大会	81	14	木	美術館講座室	博物館ガイドボランティアミーティング
49	9	土	県民アトリエ	H28年度文化・芸術支援事業　沖美連・美術館ワークショップ2 「アルミ缶でアートー私の作品づくりー」	82	15	金	こどもアトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の鉛筆デッサン講座」
50	9	土	博物館講座室	平成28年度　博物館学芸員講座「台湾原住民ブヌン族の骨考古学的調査ー骨に刻まれた生き様ー」	83	15	金	共有講堂	一般社団法人沖縄オペラアカデミー/美術館班 平成28年度文化・芸術支援事業「ミュージアムオペラシリーズvol.1」オペラ泥棒とオールドミス
51	9	土	博物館実習室	学芸員教室勉強会					
52	9	土	博物館実習室	沖縄英語学習法研究会　英語学習法の説明会	84	15	金	県民アトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の鉛筆デッサン講座」
53	9	土	美術館講座室	ジブラルタ生命労働組合　定期大会					
54	10	日	共有講堂	のはら元氣クリニック/プルミエールクリニック 「免疫新薬」と「がん温熱療法」	85	15	金	博物館講座室	一般財団法人沖縄県中小企業診断士協会 沖縄県企業価値可視化促進事業　知的資産経営セミナー
55	10	日	共有講堂	在日本大韓民国民団沖縄県地方本部　第10回 韓国語言論大会					
56	10	日	博物館講座室	NPO法人統合医療と健康を考える会　第32回 がん治療の鍵セミナー	86	15	金	博物館講座室	りゅうせき商事㈱　平成29年度りゅうせき商事㈱採用試験
57	10	日	博物館実習室	沖縄OE研究会　勉強会	87	15	金	博物館実習室	㈱ウィゴー　面談会
58	12	火	こどもアトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	88	15	金	美術館講座室	りゅうせき商事㈱　平成29年度りゅうせき商事㈱採用試験（キャンセル100%）
59	12	火	スタジオ	㈱公文エルアイエル　併設前研修	89	16	土	こどもアトリエ	平成28年度 文化・芸術支援事業「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」
60	12	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会	90	16	土	スタジオ	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 第4回 happ 理事会
61	12	火	県民アトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	91	16	土	共有講堂	平成28年度　博物館文化講座「よみがえる国王の肖像画」
62	12	火	博物館講座室	那覇市文化協会 古典芸能部会 定例総会	92	16	土	多目的広場	平成28年度 文化・芸術支援事業 「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」「エイサー演舞」
63	12	火	博物館講座室	データマイニングセミナー					
64	12	火	博物館実習室	夏休み学芸員教室　勉強会	93	16	土	県民アトリエ	美術館文化支援事業「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」
65	12	火	美術館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　新入社員のための合同研修　第1回	94	16	土	県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画制作
66	12	火	美術館講座室	家庭倫理の会那覇市/（一社）倫理研究所　沖縄県文化チーフ・支援チーフ会	95	16	土	博物館講座室	サクセスライフ研究所/㈱ジェイコスメ・ジャパン 海外ビジネス成功法　講演会
67	13	水	スタジオ	スポーツショップアシスト/シグマサイエンス ビワキュー療法当て方講習	96	16	土	美術館講座室	YSA Mental Room　スペシャルコラボセミナー　心のあり方、整え方
68	13	水	エントランスホール	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「パステルカラーセラピー」	97	16	土	美術館講座室	美術館文化支援事業「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」
					98	17	日	こどもアトリエ	美術館文化支援事業「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」
69	13	水	共有講堂	映画「変魚路」製作委員会　「変魚路」製作委員会	99	17	日	共有講堂	平成28年度文化・芸術支援事業 「ミュージアムオペラシリーズvol.1」オペラ泥棒とオールドミス
70	13	水	県民アトリエ	㈱ベルシステム24　面接会					
71	13	水	博物館講座室	沖縄感染症研究拠点形成促進事業事務局/一般社団法人トロピカルテクノプラス　夏休み夏休み自由研究イベント「蚊・ネズミによってかかる世界の病気をしろう」　リハーサル	100	17	日	多目的広場	平成28年度 文化・芸術支援事業 「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」「エイサー演舞」
72	13	水	博物館実習室	「方言札」世代ぬハナシむぬ語い	101	17	日	県民アトリエ	美術館文化支援事業「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」
73	13	水	美術館講座室	㈱アカネクリエーション　バス広告新媒体と代理店専用ページ説明会	102	17	日	博物館講座室	沖縄県保険医協会　研究会 原点にならないレセプト作成、審査指導の現状
74	14	木	こどもアトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」	103	17	日	博物館講座室	㈱七田チャイルドアカデミー わが子のために「今」できる～英語耳の育て方～
					104	17	日	博物館実習室	博物館企画展　目からウロコの生物実験展関連イベント「魚の解剖教室」
75	14	木	スタジオ	㈱LEJ管理本部　植物ミネラル勉強会（キャンセル100%）	105	17	日	美術館講座室	美術館文化支援事業「安岡中学校区青少年健全育成プロジェクト」
76	14	木	共有講堂	一般財団法人沖縄県中小企業診断士協会　沖縄県企業価値可視化促進事業　知的資産経営普及啓発シンポジウム	106	18	月	共有講堂	アーツピアノアカデミー発表会
					107	18	月	県民アトリエ	久松方言研究会　郷里の方言保存について
77	14	木	県民アトリエ	琉球放送㈱/美術館班　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「大人の水彩ぬり絵教室」	108	20	水	スタジオ	公益財団法人沖縄県産業振興公社　平成28年度中小企業課題解決プロジェクト推進事業企業連携プロジェクト第二次公募審査会
78	14	木	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ　第6期りゅうぎんマネジメントスクール	109	20	水	共有講堂	映画「変魚路」製作委員会　「変魚路」関係者　試写会
79	14	木	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー	110	20	水	博物館講座室	美術館ボランティア研修会
80	14	木	美術館講座室	スポーツショップアシスト/シグマサイエンス ビワキュー療法当て方講習	111	20	水	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　沖美連展実行委員会会議

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
112	20	水	美術館講座室	（株）チーム医療　ストレスチェック実施者養成研修
113	21	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　沖縄の人のための信託・相続セミナー
114	21	木	共有講堂	沖縄銀行　創立60周年記念　経営者のための事業継承・M&Aセミナー
115	21	木	県民アトリエ	㈱IMI ICORPORATION　パワーアップ会議
116	21	木	博物館講座室	沖縄ミロク会計人会/㈱ミロク情報サービス 再点検！会計事務所のIT-BCPとセキュリティ～安全・安心対策の取り組みの勧め～セミナー
117	21	木	博物館実習室	夏休み学芸員教室　勉強会
118	21	木	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
119	22	金	スタジオ	一般社団法人まるの会　ウォルトン・アップデート勉強会
120	22	金	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブ講座が受けられる！助成金活用セミナー
121	22	金	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
122	22	金	美術館講座室	盛和塾　キックオフ会
123	23	土	博物館実習室	体験学習教室
124	24	日	博物館実習室	体験学習教室
125	26	火	エントランスホール	琉球放送㈱/美術館班 ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」
126	26	火	博物館実習室	平成28年度　夏休み！博物館学芸員教室 「動物の歯と食べ物を調べよう」「貝器づくりに挑戦」「印じゃなーい」
127	27	水	エントランスホール	琉球放送㈱/美術館班 ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「パステルカラーセラピー」
128	27	水	博物館実習室	平成28年度　夏休み！博物館学芸員教室 「折り紙で琉服をつくろう」・「砂の中から宝を探せ！！」・「レインボーゾウリムシをつくろう」
129	28	木	博物館実習室	平成28年度　夏休み！博物館学芸員教室「ハブグァーをつくろう」・「神が宿る石「勾玉」を削り」
130	29	金	博物館実習室	平成28年度　夏休み！博物館学芸員教室「オリジナルの家系図をつくろう」・「漆喰シーサーを作ろう」
131	30	土	博物館実習室	博物館企画展　生物実験展関連イベント　「生物実験教室 カニの手ロボットをつくろ！」
132	26～30	火	美術館屋外展示場	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		水	美術館屋外展示場	
		木	美術館屋外展示場	
		金	美術館屋外展示場	
		土	美術館屋外展示場	
133	23～31	土	共有講堂	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		日	共有講堂	
		月	共有講堂	
		火	共有講堂	
		水	共有講堂	
		木	共有講堂	
		金	共有講堂	
133	23～31	土	共有講堂	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		日	共有講堂	
134	23～31	土	博物館講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		日	博物館講座室	
		月	博物館講座室	
		火	博物館講座室	
		水	博物館講座室	
		木	博物館講座室	
		金	博物館講座室	
		土	博物館講座室	
		日	博物館講座室	
135	23～31	土	美術館講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		日	美術館講座室	
		月	美術館講座室	
		火	美術館講座室	
		水	美術館講座室	
		木	美術館講座室	
		金	美術館講座室	
		土	美術館講座室	
		日	美術館講座室	
136	23～31	土	スタジオ	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		日	スタジオ	
		月	スタジオ	
		火	スタジオ	
		水	スタジオ	
		木	スタジオ	
		金	スタジオ	
		土	スタジオ	
		日	スタジオ	
137	23～31	土	県民アトリエ	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		日	県民アトリエ	
		月	県民アトリエ	
		火	県民アトリエ	
		水	県民アトリエ	
		木	県民アトリエ	
		金	県民アトリエ	
		土	県民アトリエ	
		日	県民アトリエ	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
138	23 ～ 31	土	こどもアトリエ	一般社団法人エーシーオー沖縄「りっかりっかフェスタ」
		日	こどもアトリエ	
		月	こどもアトリエ	
		火	こどもアトリエ	
		水	こどもアトリエ	
		木	こどもアトリエ	
		金	こどもアトリエ	
		土	こどもアトリエ	
		日	こどもアトリエ	
139	1 ～ 31	金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
140	1 ～ 31	金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
141	1 ～ 9	金	博物館特別展示室	平成28年度　大嶺薫コレクション展
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
141	1 ～ 9	水	博　物　館 特別展示室	平成 28 年度　大嶺薫コレクション展	142	9 ～ 31	土	博　物　館 企画展示室	目からウロコの生物実験展
		木	博　物　館 特別展示室				日	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 特別展示室				土	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室				日	博　物　館 特別展示室	
142	9 ～ 31	土	博　物　館 企画展示室	目からウロコの生物実験展	143	9 ～ 31	月	博　物　館 特別展示室	目からウロコの生物実験展
		日	博　物　館 企画展示室				火	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 企画展示室				水	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 企画展示室				木	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 企画展示室				金	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 企画展示室				土	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 企画展示室				日	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 企画展示室				月	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 企画展示室				火	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 企画展示室				水	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 企画展示室				木	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 企画展示室				金	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 企画展示室				土	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 企画展示室				日	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 企画展示室				月	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 企画展示室				火	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 企画展示室				水	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 企画展示室				木	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 企画展示室				金	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 企画展示室				土	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 企画展示室				日	博　物　館 特別展示室	

【2016年８月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	2	火	こ　ど　も ア　ト　リ　エ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	10	3	水	博　物　館 講　座　室	公正取引委員会企業取引課　物流特殊指定に係る講習会
2	2	火	共　有 講　堂	琉球放送㈱　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ヴァルラフ・リヒャルツ美術館コレクションから見る 19 世紀フランスの近代絵画の奇跡」	11	3	水	博　物　館 講　座　室	公文教育研究会 公文認定テスト
					12	3	水	博　物　館 実　習　室	ボランテイア勉強会
3	2	火	県　民 ア　ト　リ　エ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	13	3	水	美　術　館 講　座　室	盛和塾　定例会
4	2	火	博　物　館 講　座　室	りゅうぎんビジネスクラブ　りゅうぎんマネジメントスクール	14	3	水	美　術　館 講　座　室	琉球放送㈱　ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ヴァルラフ・リヒャルツ美術館コレクションから見る 19 世紀フランスの近代絵画の奇跡」
5	2	火	美　術　館 講　座　室	学校団体対応					
6	2	火	美　術　館 講　座　室	笈川久美　ラジウム勉強会	15	4	木	博　物　館 講　座　室	㈱公文エルアイエル　開設後研修２
7	3	水	エントランス ホ　ー　ル	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「パステルカラーセラピー」	16	5	金	博　物　館 講　座　室	㈱公文エルアイエル　社長講座
8	3	水	共　有 講　堂	琉球放送㈱ ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「ヴァルラフ・リヒャルツ美術館コレクションから見る 19 世紀フランスの近代絵画の奇跡」	17	6	土	こ　ど　も ア　ト　リ　エ	平成 28 年度　文化・芸術支援事業「夏休み造形ワークショップ 2016」
9	3	水	県　民 ア　ト　リ　エ	㈱ベルシステム 24　面接会	18	6	土	共　有 講　堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 「こうなったらいいな！未来の海洋博公園」絵画コンクール　表彰式

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
19	6	土	共有講堂	沖縄・島水研究会/㈱OEC 企画 水の館シリーズ 1「水循環と生活」フォーラム	54	11	木	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ
20	6	土	県民アトリエ	平成 28 年度　文化・芸術支援事業「夏休み造形ワークショップ 2016」	55	11	木	県民アトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」
21	6	土	博物館講座室	㈱リバネス活動報告会	56	11	木	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ
22	6	土	博物館実習室	生物実験展関連催事「サンゴ礁の生きもの観察室内から野外へ」	57	11	木	博物館講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会市民公開講座　鼻の日講演会　みみ・はな・のどなんでも相談及び補聴器相談
23	6	土	美術館講座室	宮良展関連催事　準備					
24	7	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　ミキ沖縄　食の勉強会	58	11	木	博物館実習室	目からウロコの生物実験展」関連催事　連続講座「カエルの解剖と骨格標本つくり」1 回目
25	7	日	共有講堂	一般社団法人日本肝臓学会（沖縄県）　肝臓の病気を正しく理解するために	59	11	木	美術館講座室	沖縄県文化振興会　平成 28 年度 沖縄県芸術文化祭　写真部門審査会
26	7	日	博物館講座室	育英義塾教員養成学院　8 月科目終了試験	60	12	金	こどもアトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ
27	7	日	博物館実習室	「目からウロコの生物実験展」関連催事 「ガニガニ教室　ヤシガニ&オカガニ」	61	12	金	こどもアトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」
28	7	日	美術館講座室	一般社団法人　沖縄県美術家連盟理事会	62	12	金	こどもアトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ
29	7	日	美術館講座室	宮良瑛子展－いのち」関連催事「画像聴覚化装置って何？ 視覚障がい者を中心とした聴覚・触覚で鑑賞する	63	12	金	スタジオ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ
					64	12	金	共有講堂	王府おもろ謡きゅる保存会　伊波普猷　物外忌記念講演会
30	9	火	こどもアトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	65	12	金	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ
31	9	火	こどもアトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	66	12	金	県民アトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」
32	9	火	スタジオ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	67	12	金	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ
33	9	火	共有講堂	沖縄県特別支援学校中学部文化連盟 平成 28 年度第 22 回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭	68	12	金	博物館講座室	育英義塾教員養成学院　教員採用試験対策講座
					69	12	金	美術館講座室	ゴッホ、モネ、セザンヌ　巨匠たちの奇跡展関連催事「トークイベント」
34	9	火	県民アトリエ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「親子美術体験教室」	70	12	金	美術館講座室	教員向け講座
35	9	火	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	71	12	金	博物館実習室	沖縄県立芸術大学　ちびっ子ワークショップ　未就学児大集合！ 「しゃかしゃかシェイク 紙すきであそぼう！」
36	9	火	博物館講座室	育英義塾教員養成学院　教員採用試験対策講座					
37	9	火	美術館講座室	公益財団法人沖縄県産業振興公社 GLOBAL MINDSET（グローバル マインドセット）研修	72	13	土	こどもアトリエ	夏休みこどもフェスタ！2016「版画体験 - かさねてつくる色とかたち - 」
					73	13	土	スタジオ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「読み聞かせ」
38	10	水	こどもアトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	74	13	土	共有講堂	一般社団法人オペラアカデミー/美術館班　栗國淳オペラマスター・クラス受講生によるオペラ「ラ・ボーエム」修了公演
39	10	水	こどもアトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」					
40	10	水	こどもアトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	75	13	土	講堂前ホワイエ	夏休みこどのフェスタ！2016「似顔絵教室」
41	10	水	スタジオ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	76	13	土	県民アトリエ	夏休みこどもフェスタ！2016「版画体験 - かさねてつくる色とかたち - 」
42	10	水	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	77	13	土	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団　写生大会説明会・品評会
43	10	水	県民アトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」	78	13	土	県民アトリエ	沖縄県立芸術大学　ちびっ子ワークショップ　未就学児大集合！「にじ色パラダイス 絵の具であそぼう！」
44	10	水	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ					
45	10	水	博物館講座室	育英義塾教員養成学院 教員採用試験対策講座	79	13	土	こどもアトリエ	沖縄県立芸術大学　ちびっ子ワークショップ　未就学児大集合！「にじ色パラダイス 絵の具であそぼう！」
46	10	水	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡展関連イベント「パステルカラーセラピー」					
47	10	水	博物館実習室	「方言札」世代ぬハナシむぬ語い	80	13	土	博物館実習室	目からウロコの生物実験展」関連催事　連続講座「カエルの解剖と骨格標本づくり」
48	10	水	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブ講座が受けられる！助成金活用セミナー	81	13	土	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	夏休みこどのフェスタ！2016「似顔絵教室」
49	11	木	こどもアトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	82	13	土	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	夏休みこどのフェスタ！2016「中庭が水族館」
50	11	木	こどもアトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」	83	13	土	美術館講座室	SG 沖縄勉強会
51	11	木	こどもアトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	84	14	日	こどもアトリエ	夏休みこどのフェスタ！2016「キッズカメラマン」
52	11	木	スタジオ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　オペラワークショップ	85	14	日	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
53	11	木	共有講堂	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会市民公開講座　鼻の日講演会	86	14	日	スタジオ	ビオ倶頼部　アミノ酸に関する事業説明会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
87	14	日	共有講堂	「目からウロコの生物実験展」関連催事 「バーチャルリアリティと3Dプリンターで最先端医療を体験しよ	122	20	土	エントランスホール	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」
					123	20	土	美術館講座室	自治医科大学沖縄県試験委員会/沖縄県保健医療政策課　自治医科大学　大学説明会
88	14	日	共有講堂	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター県民公開講座 みんなに知ってほしい！こどもからおとなまでの腹腔鏡下手術	124	21	日	こどもアトリエ	平成28年度 文化・芸術支援事業「島草履ワークショップ」
					125	21	日	スタジオ	㈱リリアン　健康セミナー
89	14	日	講堂前ホワイエ	目からウロコの生物実験展関連イベント　デモンストレーション	126	21	日	共有講堂	ククル音楽教室　音楽発表会(ピアノ発表会)
90	14	日	正面玄関雨端	夏休みこどのフェスタ！2016「美術館にねんどのキノコを植えよう」	127	21	日	県民アトリエ	平成28年度 文化・芸術支援事業「島草履ワークショップ」
91	14	日	県民アトリエ	夏休みこどのフェスタ！2016「キッズカメラマン」	128	21	日	博物館講座室	(有)ライブアップ　ライフプランセミナー
92	14	日	県民アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ	129	21	日	博物館実習室	博物館体験学習教室　「ペットボトルでつくる簡易植物工場」
93	14	日	博物館講座室	沖縄感染症研究拠点形成促進事業事務局/一般社団法人トロピカルテクノプラス　夏休み自由研究イベント「蚊・ネズミによってかかる世界の病気を知ろう」	130	23	火	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団　倉庫内清掃
					131	23	火	こどもアトリエ	銘苅PTCA/美術館班/坂井浩二　銘苅小学校PTCAアンカーマネジメントワークショップ
94	14	日	博物館実習室	目からウロコの生物実験展」関連催事　連続講座「カエルの解剖と骨格標本づくり」	132	23	火	スタジオ	㈱ケイオーパートナーズ　就業体験事業所向け説明会
95	14	日	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	夏休みこどのフェスタ！2016「中庭は動物園」	133	23	火	共有講堂	㈱エスエフシー　人事・採用担当者セミナー(第一部)
96	14	日	美術館講座室	沖縄県文化振興会　平成28年度 沖縄県芸術文化祭　書道部門審査会	134	23	火	県民アトリエ	銘苅PTCA/美術館班/坂井浩二　銘苅小学校PTCAアンカーマネジメントワークショップ
97	16	火	こどもアトリエ	㈱琉球銀行 総合企画部　第14回　りゅうぎんキッズスクール	135	23	火	県民アトリエ	久松方言研究会　郷里の方言保全について
98	17	水	こどもアトリエ	㈱琉球銀行 総合企画部　第14回　りゅうぎんキッズスクール	136	23	火	博物館講座室	高江小中学校の研修受け入れ
99	16	火	県民アトリエ	㈱琉球銀行 総合企画部　第14回　りゅうぎんキッズスクール	137	23	火	博物館講座室	㈱エスエフシー　人事・採用担当者セミナー(第二部)
100	17	水	県民アトリエ	㈱琉球銀行 総合企画部　第14回　りゅうぎんキッズスクール	138	23	火	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー
101	16	火	博物館講座室	育英義塾教員養成学院　教員採用試験対策講座	139	23	火	美術館講座室	㈱ケイオーパートナーズ　就業体験事業所向け説明会
102	16	火	博物館講座室	学芸員実習開校式後期	140	24	水	県民アトリエ	美術館ボランティア研修
103	16	火	美術館講座室	医療法人沖縄徳洲会　南部徳洲会病院　医療講演	141	24	水	博物館講座室	2017年度　㈱求人おきなわ　新卒採用試験
104	17	水	博物館講座室	㈱琉球銀行 総合企画部 第14回　りゅうぎんキッズスクール	142	24	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
105	18	木	博物館講座室	㈱琉球銀行 総合企画部　第14回　りゅうぎんキッズスクール	143	24	水	美術館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　長期ジョブトレーニング事前研修
106	18	木	こどもアトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」	144	25	木	こどもアトリエ	㈱アート技研　会議
107	18	木	県民アトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」	145	25	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　最先端 相続税対策セミナー
108	18	木	博物館実習室	㈱沖縄映像センター　「空手の日演武祭」検討委員会	146	25	木	県民アトリエ	全管協　小短推進委員会
109	18	木	美術館講座室	メットライフ生命　勉強会	147	25	木	博物館講座室	㈱琉球新報開発　平成28年沖縄県中高年連者 再チャレンジ支援事業 (午前)企業様向け事業説明会/(午後)求職者向け事
110	19	金	こどもアトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」					
111	19	金	スタジオ	医療法人沖縄徳洲会　南部徳洲会病院　医療講演	148	25	木	博物館実習室	教員向け遺伝子実験研修(博物館班)
112	19	金	県民アトリエ	美術館で踊ろう！！「ｍｙ name」	149	25	木	美術館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　長期ジョブトレーニング事前研修
113	19	金	博物館講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 WROJapan 沖縄ロボット大会2016　準備	150	26	金	スタジオ	㈱ノエビア　カフェノエビア研修
114	20	土	博物館講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 WROJapan 沖縄ロボット大会2016	151	26	金	博物館講座室	沖縄ミロク会計人会/㈱ミロク情報サービス沖縄支社 資産税実務セミナー～土地評価の基本と盲点～
115	19	金	スタジオ	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 WROJapan 沖縄ロボット大会2016　準備					
116	20	土	スタジオ	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 WROJapan 沖縄ロボット大会2016	152	26	金	美術館講座室	盛和塾　キックオフ会
117	20	土	こどもアトリエ	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 WROJapan 沖縄ロボット大会2016	153	26	金	美術館講座室	㈱沖縄アシスト スマホアプリ活用とデータ分析・集客・売上アップ支援セミナー(キャンセ100%)
118	20	土	共有講堂	平成28年度　博物館文化講座「未来の食料生産の一翼を担う植物工場とは？」					
119	20	土	県民アトリエ	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 WROJapan 沖縄ロボット大会2016	154	26	金	博物館実習室	沖縄県立芸術大学　ちびっ子ワークショップ　未就学児大集合！ 「しゃかしゃかシェイク 紙すきであそぼう！」
120	20	土	博物館実習室	博物館体験学習教室　「昆虫標本づくり(3回目)」					
121	20	土	美術館講座室	第5回 happ 理事会	155	27	土	こどもアトリエ	平成28年度 文化・芸術支援事業　第4回　chAin ReacTion(チェーン・リアクション)

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
156	27	土	スタジオ	GGC ガールズおろく　勉強会
157	27	土	共有講堂	文教楽器㈱　エスターテ　コンサート　準備
158	27	土	共有講堂	沖縄博物館友の会 文化講演会「護佐丸と阿麻和利の乱～古琉球を彩る人々～」
159	27	土	県民アトリエ	平成 28 年度 文化・芸術支援事業　第 4 回　chAin ReacTion(チェーン・リアクション)
160	27	土	博物館講座室	平成 28 年度　博物館学芸員講座（生物） 「実験とは何か～ゾウリムシから STAP 細胞まで～」
161	27	土	県民アトリエ	沖縄県立芸術大学　ちびっ子ワークショップ　未就学児大集合！「にじ色パラダイス 絵の具であそぼう！」
162	27	土	こどもアトリエ	沖縄県立芸術大学ちびっ子ワークショップ　未就学児大集合！「にじ色パラダイス 絵の具であそぼう！」
163	27	土	博物館講座室	㈱海燕社　海燕社の小さな映画会 2016「死者の書」
164	27	土	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
165	28	日	スタジオ	三基商事㈱沖縄地区代理店会議
166	28	日	共有講堂	文教楽器㈱　エスターテ　コンサート
167	28	日	博物館講座室	沖縄歴史教育研究会/㈱東洋企画印刷　沖縄歴史検定
168	28	日	博物館講座室	平成 28 年度琉球大学熱帯生物圏研究センター市民公開シンポジウム
169	28	日	美術館講座室	玉木流琉装からじ結い研究所　くしの日　美ら姿結い遊び
170	30	火	博物館講座室	㈱ケイオーパートナーズ　未来の産業人材育成事業　合同会議
171	30	火	博物館実習室	小禄南小学校／オリエンテーション、民具体験
172	31	水	共有講堂	SMBC 日興証券㈱　電話対応社内コンクール
173	31	水	博物館講座室	㈱阪急交通社トラピックス海外旅行説明会　第一会場
174	31	水	博物館実習室	沖縄県/NPO 法人フロム沖縄推進機構 平成28年度 アジア IT ビジネス人材育成支援事業 事前説明会
175	31	水	美術館講座室	㈱阪急交通社トラピックス海外旅行説明会　第二会場
176	6～14	土	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 こうなったらいいな！未来の海洋博公園絵画コンクール作品展
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
177	1～18	月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
177	1～18	土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
178	1～18	月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	沖縄セルラーPresents ゴッホ、モネ、セザンヌ 巨匠たちの奇跡
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
179	1～31	月	博物館企画展示室	目からウロコの生物実験展
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
		月	博物館企画展示室	
179	1～31	火	博物館企画展示室	目からウロコの生物実験展
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
180	1～31	月	博物館特別展示室	目からウロコの生物実験展
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
180	1～31	月	博物館特別展示室	目からウロコの生物実験展
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
181	23～28	火	エントランスホール	博物館学芸員実習生　展示
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	

【2016年９月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	10	土	こどもアトリエ	NPO法人沖縄語学センター　OpenClass
2	10	土	こどもアトリエ	文化支援事業「沖美連　・美術館 アーティスト・トーク　エナジーへの賛歌－大城譲の世界－」
3	10	土	スタジオ	笈川　久美　ラジウム勉強会
4	10	土	共有講堂	高次脳リハビリテーション実行委員会/沖縄県/沖縄リハビリテーションセンター病院/平安病院 高次脳機能障害リハビリテーション講習会
5	10	土	共有講堂	渡久山　幸功　沖縄を舞台にしたアメリカ文学シンポジウム
6	10	土	県民アトリエ	文化支援事業「沖美連　・美術館 アーティスト・トーク　エナジーへの賛歌－大城譲の世界－」
7	10	土	県民アトリエ	NPO法人沖縄語学センター　OpenClass
8	10	土	博物館講座室	戦後沖縄研究コロキウム実行委員会 写真の〈ポジション〉1－写真家と学術調査の記録をめぐって－

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
9	10	土	美術館講座室	日本の教育を良くする会/沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る	44	18	日	共有講堂	世界遺産登録推進委員会/泡盛マイスター協会 「琉球料理」及び黒麹菌により「琉球泡盛」文化圏の世界無形文化遺産登録に向けて！シンポジウム
10	10	土	博物館実習室	日本航空大学校　親子航空教室 1 日目	45	18	日	共有講堂	APTF(真の家庭運動推進沖縄協議会)　家庭講演会
11	11	日	博物館実習室	日本航空大学校　親子航空教室 2 日目	46	18	日	博物館講座室	NPO 法人日本食育協会　食育指導士　養成講習会
12	11	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　食の勉強会	47	18	日	美術館講座室	平成 28 年度 沖縄県芸術文化祭　美術部門審査会
13	11	日	共有講堂	AT-Okinawa　サマープログラム	48	19	月	共有講堂	公益社団法人日本植物学会/沖縄コングレ　日本植物学会 第 80 回大会公開講演会
14	11	日	共有講堂	放送大学沖縄学習センター　「学び」のシンポジウム「生涯学習・生涯教育に何を求めるかー放送大学から提言ー」	49	21	水	共有講堂	沖縄県市町村税徴収対策支援本部/沖縄県総務部税務課　平成 28 年度 沖縄県自主財源確保対策研修会
15	11	日	県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画	50	21	水	県民アトリエ	ジャパンコンテンポラリーダンスネットワーク/沖縄ダンスネットワーク　国際アーティスト　レジデンス　リハーサル
16	11	日	博物館講座室	大鏡建設㈱　第 73 回かりゆし倶楽部イベントセミナー　第 1 会場					
17	11	日	美術館講座室	大鏡建設㈱　第 73 回かりゆし倶楽部イベントセミナー　第 2 会場	51	21	水	博物館講座室	㈱IMICORPORATION　第 13 回安全衛生大会
18	13	火	スタジオ	㈱LEJ 管理本部　植物ミネラル勉強会	52	21	水	博物館講座室	公文教育研究会　BK 特別講座＆BK ゆんたく会
19	13	火	県民アトリエ	芭蕉布句会	53	21	水	博物館実習室	浦添市立内間小学校／オリエンテーション
20	13	火	博物館講座室	盛和塾　定例会	54	21	水	博物館実習室	博物館ボランティア養成講座
21	13	火	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー	55	21	水	美術館講座室	税理士法人ビジネスパートナー　経営幹部のマネジメント研修
22	13	火	美術館講座室	税理士法人ビジネスパートナー　経営幹部のマネジメント研修	56	22	木	こどもアトリエ	ジャパンコンテンポラリーダンスネットワーク/沖縄ダンスネットワーク　国際アーティスト　レジデンス　ワークショップ
23	14	水	スタジオ	JDL㈱日本デジタル研究所　マイナンバーシステム説明会					
24	14	水	共有講堂	一般社団法人沖縄県食品衛生協会　第 2 回 HACCP 導入型施設基準勉強会	57	22	木	スタジオ	呉屋　太裕　レスベラトロール説明会
25	14	水	博物館講座室	㈱ミロク情報サービス沖縄支社　経営革新計画・各種補助金対応　社長に代り事業計画書を作成する方法	58	22	木	共有講堂	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外短期中期インターシップ成果発表会
					59	22	木	県民アトリエ	ジャパンコンテンポラリーダンスネットワーク/沖縄ダンスネットワーク 国際アーティスト　レジデンス　ワークショップ
26	14	水	博物館実習室	「方言札」世代ぬハナシむぬ語い					
27	14	水	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会/北那覇税務署　決算説明会	60	22	木	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団「しまくとぅばの日」条例制定 10 年を迎えて　その課題と可能性 -次代につなぐために私達が考える継承の
28	14	水	美術館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　人事担当者のためのプレゼンセミナー					
29	15	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　最先端 相続税対策セミナー	61	22	木	博物館講座室	琉球古典音楽安富祖流絃聲会　研修会
30	15	木	共有講堂	一般社団法人沖縄しまたて協会　NPO 等活動支援報告会	62	22	木	博物館実習室	沖縄旺玄会　結成 50 周年記念誌編集
31	15	木	博物館講座室	㈱阪急交通社　トラピックス海外旅行説明会(キャンセル 100&)	63	22	木	美術館講座室	那覇中央郵便局窓口営業部　投資信託セミナー
32	15	木	美術館講座室	㈱阪急交通社　トラピックス海外旅行説明会(キャンセル 100&)	64	22	木	美術館講座室	イルチブレインヨガ　ヒーリングライフ＆ヒーリングセミナー　へそヒーリングセミナー
33	15	木	博物館講座室	博物館班　入札	65	23	金	共有講堂	沖縄県精神保健福祉会連合会 家族大会 2016
34	15	木	博物館実習室	㈱リリアン　健康セミナー	66	23	金	県民アトリエ	ジャパンコンテンポラリーダンスネットワーク/沖縄ダンスネットワーク 国際アーティスト　レジデンス　リハーサル
35	16	金	スタジオ	㈱近代美術　地産地消コーディネーター育成講座					
36	16	金	共有講堂	IRBANK 主催　個人投資家向けの説明会	67	23	金	博物館講座室	㈱ジャスミンソフト　Wagby 全国ツアー2016(沖縄)
37	16	金	博物館実習室	博物館ボランティア養成講座	68	23	金	美術館講座室	㈱大城マネジメント研究所　人事賃金セミナー
38	16	金	美術館講座室	沖縄音楽創造機構　沖縄民謡のプラットフォーム設立に向けた勉強会「沖縄民謡のこれから」	69	23	金	美術館講座室	盛和塾 キックオフ会
39	17	土	スタジオ	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 第 6 回 happ 理事会	70	24	土	共有講堂	平成 28 年度　博物館文化講座「柳宗悦と沖縄の工芸」
40	17	土	共有講堂	沖縄県労働金庫　経営統括部 労働運動と地域社会の未来を考えるシンポジウム	71	24	土	共有講堂	沖縄銀行　創立 60 週年記念講演
41	17	土	博物館講座室	ちゅらぴさ会	72	24	土	博物館講座室	平成 28 年度　博物館文化講座「柳宗悦と沖縄の工芸」　第 2 会場
42	17	土	博物館実習室	学校法人日本航空高等学校　日本航空高等学校説明会	73	24	土	博物館実習室	ふれあい専属ボランティア　ミーティング
43	17	土	美術館講座室	美術館学芸員講座「アジアコレクションの魅力」	74	24	土	美術館講座室	㈱ユーライン　クラウドジャパン勉強会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
75	25	日	こどもアトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部　聖書の勉強会
76	25	日	共有講堂	国画会工芸部/沖縄タイムス社 90 回記念国展工芸沖縄展　シンポジウム「国画会工芸と沖縄」
77	25	日	県民アトリエ	平成 28 年度　文化・芸術支援事業　JAGDA　デザインセミナー
78	25	日	博物館講座室	沖縄産科婦人科学会/沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る市民公開講座
79	25	日	博物館講座室	沖縄県眼科医会/参天製薬㈱　第 127 回沖縄眼科集談会
80	27	火	スタジオ	沖縄県/沖縄伝統空手道振興会/沖縄県議会/㈱沖縄映像センター 「空手の日記念演武祭」実行委員会
81	27	火	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
82	27	火	博物館実習室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 平成28年度 アジアITビジネス人材育成事業　事前説明会
83	27	火	博物館実習室	博物館ボランティアガイド ミーティング
84	27	火	美術館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　新入社員のための合同研修　第２回
85	28	水	こどもアトリエ	シグマサイエンス㈱/アシスト　ビワ温圧灸使用講習会
86	28	水	スタジオ	特定非営利活動法人沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業 ファイナンシャル・プランニング３級取得講座
87	28	水	共有講堂	沖縄 DFS㈱　2016 DFS Journey Ⅱ
88	28	水	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
89	28	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
90	28	水	美術館講座室	「美術館へいこう！」
91	29	木	共有講堂	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会/沖縄県地球温暖化防止活動推進センター　太陽熱セミナー　熱こそ熱で！太陽熱を利用しよう！
92	29	木	共有講堂	沖縄 DFS㈱　2016 DFS Journey Ⅱ
93	29	木	博物館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　女性のための自己分析・合同企業説明会
94	29	木	スタジオ	特定非営利活動法人 沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業 ファイナンシャル・プランニング３級取得講座
95	30	金	スタジオ	特定非営利活動法人 沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業 ファイナンシャル・プランニング３級取得講座
96	30	金	共有講堂	㈱シネマ沖縄　沖縄デジタル・アーカイブシンポジウム 手遅れになる前に～沖縄に眠る映像の発掘とその保存・利活用
97	30	金	博物館実習室	博物館ボランティア養成講座
98	30	金	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター　次世代経営者育成セミナー
99	10～30	土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	国画会/沖縄タイムス社　90 回記念国展　工芸沖縄展
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
99	10～30	土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	国画会/沖縄タイムス社　90 回記念国展　工芸沖縄展
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
100	10～30	土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	国画会/沖縄タイムス社　90 回記念国展　工芸沖縄展
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
101	10～30	土	博物館企画展示室	平成 28 年度　博物館企画展 「日本民藝館 80 周年　沖縄の工芸展　－柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄」
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
101	10 ～ 30	火	博物館 企画展示室	平成 28 年度　博物館企画展 「日本民藝館 80 周年　沖縄の工芸展　－柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄」
		水	博物館 企画展示室	
		木	博物館 企画展示室	
		金	博物館 企画展示室	
		土	博物館 企画展示室	
		日	博物館 企画展示室	
		月	博物館 企画展示室	
		火	博物館 企画展示室	
		水	博物館 企画展示室	
		木	博物館 企画展示室	
		金	博物館 企画展示室	
		土	博物館 企画展示室	
		日	博物館 企画展示室	
		月	博物館 企画展示室	
		火	博物館 企画展示室	
		水	博物館 企画展示室	
		木	博物館 企画展示室	
		金	博物館 企画展示室	
		土	博物館 特別展示室	
		日	博物館 特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
102	10 ～ 30	月	博物館 特別展示室	平成 28 年度　博物館企画展 「日本民藝館 80 周年　沖縄の工芸展　－柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄」
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	
		金	博物館 特別展示室	
		土	博物館 特別展示室	
		日	博物館 特別展示室	
		月	博物館 特別展示室	
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	
		金	博物館 特別展示室	
		土	博物館 特別展示室	
		日	博物館 特別展示室	
		月	博物館 特別展示室	
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	
		金	博物館 特別展示室	

【2016年10月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	土	県民 アトリエ	美呼吸ウォーキング　体験会・説明会
2	1	土	博物館 講座室	平成 28 年度　博物館学芸員講座(美術工芸)「時空を超えて　柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄」
3	1	土	博物館 実習室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座
4	1	土	美術館 講座室	実務能力開発支援協会・沖縄タイムス社　給与計算実務能力検定試験
5	2	日	こども アトリエ	石こう版画の会　石こう版画
6	2	日	スタジオ	旅行サークル　発表及び勉強会
7	2	日	共有 講堂	沖縄県立総合精神保健福祉センター　平成 28 年度 自死遺族支援講演会
8	2	日	県民 アトリエ	弘学館沖縄父母会　弘学館沖縄地区懇談会
9	2	日	博物館 講座室	社会医療法人友愛会豊見城中央病院　もっと知ってほしい乳がんのこと
10	2	日	美術館 講座室	一般財団法人沖縄県美術家連盟　理事会
11	4	火	スタジオ	特定非営利活動法人 沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業 ファイナンシャル・プランニング 3 級取得講座
12	5	水	スタジオ	特定非営利活動法人 沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業 ファイナンシャル・プランニング 3 級取得講座
13	5	水	博物館 講座室	沖縄県社会保険労務士会　社労士会セミナー「過重労働と残業手当」
14	5	水	博物館 講座室	沖縄税務経理学院/EY 税理士法人　OA 経理事務科選考試験

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
15	5	水	博物館 実習室	博物館ボランティア養成講座
16	5	水	美術館 講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　第 2 回ハイサイプロジェクト連携会議(キャンセル 50%)
17	5	水	美術館 講座室	ガリレオスコープ㈱　沖縄県受託事業「ITCareer 沖縄」主催　企業説明会
18	5	水	美術館 講座室	学校招待事業「美術館へ行こう」(美術館班
19	6	木	スタジオ	特定非営利活動法人 沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業 ファイナンシャル・プランニング 3 級取得講座
20	6	木	博物館 講座室	㈱ミロク情報サービス　不良債権処理の税務について
21	6	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　アンケート調査控室
22	6	木	美術館 講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 IOT セキュリティの最新動向とビジネスチャンス
23	6	木	県民 アトリエ	創元会　沖縄支部　研修
24	6	木	こども アトリエ	創元会　沖縄支部　研修
25	6	木	美術館 講座室	㈱公文エルアイエル　公文書写教室開設説明会
26	7	金	県民 アトリエ	創元会　沖縄支部　研修
27	7	金	こども アトリエ	創元会　沖縄支部　研修
28	7	金	共有 講堂	沖縄県高齢者福祉介護課/沖縄広告㈱「沖縄県ちゃーがんじゅ地域大賞」表彰式及びちゃーがんじゅ地域づくり講演会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
29	7	金	博物館講座室	㈱海邦総研　「品質不良(クレーム品)」から考える「品質基準」	65	15	土	スタジオ	那覇情報システム専門学校　デジタルクリエイター科　作品展
30	7	金	博物館実習室	糸満市立兼城小学校　３年/オリエンテーション、民具体験	66	16	日	スタジオ	那覇情報システム専門学校　デジタルクリエイター科　作品展
31	7	金	美術館講座室	生活科学研究会　てんかん・発達障害におけるケトン体食事方法	67	16	日	共有講堂	医療法人おもと会　大浜第一病院　医療講演会
32	8	土	こどもアトリエ	沖美連・美術館　アーティスト・トーク「生き物たちのいる風景」	68	16	日	講堂前ホワイエ	医療法人おもと会　大浜第一病院　健康フェア
33	8	土	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団　アンケート調査控室	69	16	日	博物館講座室	沖縄工業高等専門学校　学校説明会
34	8	土	共有講堂	沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱　骨と関節の日市民セミナー	70	16	日	美術館講座室	ヒューマン＆アソシエイツ沖縄　マネーセミナー
35	8	土	講堂前ホワイエ	沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱　骨と関節の日市民セミナー	71	18	火	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展
36	8	土	県民アトリエ	沖美連・美術館　アーティスト・トーク「生き物たちのいる風景」	72	18	火	共有講堂	THREE BEE　セミナー[女の運命は髪で変わる]佐藤友美 in Okinawa
37	8	土	博物館講座室	㈱グローバルフロントライン　留学フェア	73	18	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会
38	8	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座	74	18	火	博物館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　女性のためのライフプランニング合同企業説明会
39	8	土	美術館講座室	家庭倫理の会 那覇市/一般財団法人倫理研究所文化チーフ・支援チーフ研修	75	18	火	博物館実習室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 平成28年度 アジアITビジネス人材育成事業　事前説明会
40	8	土	美術館講座室	JICA 沖縄国際センター　JICA ボランティア「体験談＆説明会」					
41	9	日	博物館講座室	かみさまとのやくそくプロジェクト in 沖縄 翁持奈央講演会「あなたのかみさまとのやくそくはなんですか」	76	18	火	博物館実習室	玉城小学校　オリエンテーション/民具体験
					77	18	火	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　班長認定高所キーロック講習会
42	12	水	スタジオ	㈱LEJ 管理本部　植物ミネラル勉強会	78	19	水	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　最先端 相続税対策セミナー
43	12	水	博物館講座室	㈱琉球銀行　「下町ロケット」に学ぶ中小企業の知財・経営戦略セミナー	79	19	水	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展
44	12	水	博物館実習室	具志頭小学校／オリエンテーション・民具体験	80	19	水	共有講堂	沖縄労働局　平成 28 年度　改正育介法・均等法等説明会
45	12	水	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　「方言札」世代ぬハナシむぬ語い	81	19	水	博物館講座室	金城達也税理士事務所　「銀行信販データ受信機能」立ち上げ支援研修会
46	12	水	美術館講座室	税理士法人ビジネスパートナー　経営幹部のマネジメント研修	82	19	水	博物館実習室	博物館ボランティア養成講座
47	13	木	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団　アンケート調査控室	83	19	水	美術館講座室	税理士法人ビジネスパートナー　経営幹部のマネジメント研修
48	13	木	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	84	19	水	美術館講座室	メットライフ生命　コンプライアンス研修
49	13	木	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー	85	20	木	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展
50	13	木	美術館講座室	イオン琉球 SSM 同友店連合会　同友店会食品衛生セミナー	86	20	木	共有講堂	一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会　第12回環境衛生シンポジウム
51	14	金	こどもアトリエ	学校招待事業「美術館へ行こう」(美術館班	87	20	木	県民アトリエ	合資会社　沖縄時事出版　「東アジア出版人会議」実行委員会　会議
52	14	金	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団　アンケート調査控室	88	20	木	博物館講座室	沖縄県/㈱JTB 沖縄 売上アップのための外国人観光客対応セミナー(スタッフ研修会)
53	14	金	共有講堂	沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課/㈱ノイズバリュー社日本とアジアのトレンドから学ぶ沖縄土産のあるべき姿					
54	14	金	県民アトリエ	学校招待事業「美術館へ行こう」(美術館班	89	20	木	博物館講座室	社会保険労務士法人パァソネル・マネジメント 社会保険労務士法人パァソネル・マネジメント勉強会
55	14	金	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	90	20	木	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー
56	14	金	博物館実習室	博物館ボランティア養成講座	91	21	金	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展
57	14	金	美術館講座室	Powerful Management　社員の給与 UP を実現する「あしたの人事評価」介護事業所の離職率を下げる助成金を活用した人事評価制度	92	21	金	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座
					93	21	金	博物館実習室	沖縄市立北美小学校／オリエンテーション
58	15	土	こどもアトリエ	美術館クラブ	94	21	金	美術館講座室	㈱沖縄銀行　ノムラ日米 REIT ファンド運用報告会
59	15	土	共有講堂	すてきな沖縄を伝える会　シンポジウム	95	21	金	美術館講座室	医療法人沖縄徳洲会南部徳洲会病院　医療講演
60	15	土	共有講堂	平成 28 年度　博物館文化講座「沖縄の土を知って、これからの環境を考える」	96	22	土	こどもアトリエ	平成 28 年度文化・芸術支援事業ワークショップ「世界で一つのデザインを考えよう」
61	15	土	県民アトリエ	美術館クラブ	97	22	土	スタジオ	旅行サークル　発表及び勉強会
62	15	土	博物館講座室	NPO 法人居場所サポートクラブ　ロベ　SG 勉強会	98	22	土	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展
63	15	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座	99	22	土	共有講堂	㈱海燕社　OKINAWA,Back to 1966　神の島・久高島の祭祀『イザイホウ』上映×講演/クロストーク
64	15	土	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 第７回 happ 理事会	100	22	土	県民アトリエ	平成 28 年度文化・芸術支援事業ワークショップ「世界で一つのデザインを考えよう」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
101	22	土	博物館講座室	SG 沖縄　勉強会	136	28	金	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座
102	22	土	博物館講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会 第２回研究協議会	137	28	金	博物館講座室	OSIP 沖縄スマートアイランドプロジェクト/沖縄タイムス社 「OSIP 沖縄スマートアイランドプロジェクト」
103	22	土	博物館実習室	沖縄旺玄会　10 月定例会					
104	22	土	博物館実習室	生活協同組合高齢者福祉協議会　10 月度定例理事会	138	28	金	博物館実習室	糸満市立糸満小学校／民具体験・オリエンテーション
105	22	土	美術館講座室	美術館学芸員講座「金城安太郎が描いた《今帰仁城盛衰記》」	139	28	金	博物館実習室	中城村立津覇小学校／オリエンテーション
106	22	土	美術館講座室	SCSK サービスウェア㈱　登録説明会	140	28	金	美術館講座室	琉球民族独立総合研究学会　未来を語る世界の琉球人の集い
107	23	日	こどもアトリエ	平成 28 年度文化・芸術支援事業ワークショップ「世界で一つのデザインを考えよう」	141	28	金	共有講堂	文教楽器　ヤマハ英語教室発表会 2016　準備・リハーサル
108	23	日	スタジオ	一般社団法人倫理研究所　生活倫理相談士面接審査	142	29	土	共有講堂	文教楽器　ヤマハ英語教室発表会 2016
109	23	日	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展	143	29	土	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展
110	23	日	共有講堂	「沖縄県系の子孫たちの肝心」－米国社会におけるウチナーンチュコミュニティとアイデンティティの変遷－	144	29	土	博物館講座室	琉球民族独立総合研究学会　未来を語る世界の琉球人の集い
					145	29	土	博物館実習室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座
111	23	日	共有講堂	APTF(真の家庭運動推進沖縄協議会)　家庭講演会	146	30	日	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展
112	23	日	県民アトリエ	平成 28 年度文化・芸術支援事業ワークショップ「世界で一つのデザインを考えよう」	147	30	日	共有講堂	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団　臓器移植を知るシンポジウム 2016
113	23	日	博物館講座室	㈱沖縄コングレ　沖縄大交易会　語学スタッフ研修会	148	30	日	博物館講座室	財団法人職業技能振興会　給料計算実務能力検定試験
114	23	日	博物館講座室	琉球大学大学院医学研究科眼科学講座　第 31 回沖縄緑内障研究会	149	30	日	博物館実習室	フリーベル天久新都心管理組合/㈲松山ハウジング　フリーベル天久新都心　総会
115	23	日	博物館実習室	一般社団法人倫理研究所　生活倫理相談士面接審査　控室	150	30	日	美術館講座室	沖縄亀の子団　映画「惑う」プレミア試写会＆監督トークショー
116	23	日	美術館講座室	IT 検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会　IVEC(知識)	151	25～30	火	スタジオ	チーム PA　第９回　Photo is Art is heat 展
117	25	火	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展			水	スタジオ	
118	25	火	共有講堂	公益財団法人沖縄県産業振興公社/沖縄県　平成 28 年度 海外事務所等活動報告会			木	スタジオ	
119	25	火	県民アトリエ	SPC 沖縄事業協同組合　勉強会			金	スタジオ	
120	25	火	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座			土	スタジオ	
121	25	火	美術館講座室	㈱リクルートキャリア　リクナビ 2018　採用実務セミナー			日	スタジオ	
122	26	水	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展	152	1～5	土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	国画会/沖縄タイムス社　90 回記念国展　工芸沖縄展
123	26	水	共有講堂	医療法人天仁会　天久台病院　認知症シンポジウム			日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
124	26	水	共有講堂	富国生命保険相互会社 沖縄支社　職員大会			月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
125	26	水	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座			火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
126	26	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会			水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
127	26	水	美術館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　沖縄県海外ジョブトレーニング事前研修	153	1～5	土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	国画会/沖縄タイムス社　90 回記念国展　工芸沖縄展
128	27	木	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展			日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
129	27	木	共有講堂	沖縄県保険医療部生活衛生課　平成 28 年度　食品安全安心講習会「みんなで知ろう！食物アレルギー」			月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
							火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
130	27	木	博物館講座室	琉球民族独立総合研究学会　未来を語る世界の琉球人の集い			水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
131	27	木	博物館実習室	糸満市立潮平小学校／民具体験/オリエンテーション	154	1～28	土	博物館企画展示室	平成 28 年度　博物館企画展 「日本民藝館 80 周年　沖縄の工芸展　－柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄」
132	27	木	美術館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　沖縄県海外ジョブトレーニング事前研修			日	博物館企画展示室	
133	28	金	エントランスホール	第６回世界ウチナーンチュ大会関連イベント　ロビー展			月	博物館企画展示室	
134	28	金	共有講堂	WUB Hawaii/第６回世界のウチナーンチュ大会実行委員会 Ukaji Deebiru(Okage Sama De)-Woldwide Uchinanchu Immigration Stories(邦題:「おかげさまで～世界のウチナーンチュ　移民の物語～」)			火	博物館企画展示室	
							水	博物館企画展示室	
135	28	金	博物館講座室	盛和塾　定例会			木	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
154	1 ～ 28	金	博物館 企画展示室	平成 28 年度　博物館企画展 「日本民藝館 80 周年　沖縄の工芸展　－柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄」
		土	博物館 企画展示室	
		日	博物館 企画展示室	
		月	博物館 企画展示室	
		火	博物館 企画展示室	
		水	博物館 企画展示室	
		木	博物館 企画展示室	
		金	博物館 企画展示室	
		土	博物館 企画展示室	
		日	博物館 企画展示室	
		月	博物館 企画展示室	
		火	博物館 企画展示室	
		水	博物館 企画展示室	
		木	博物館 企画展示室	
		金	博物館 企画展示室	
		土	博物館 企画展示室	
		日	博物館 企画展示室	
		月	博物館 企画展示室	
		火	博物館 企画展示室	
		水	博物館 企画展示室	
		木	博物館 企画展示室	
		金	博物館 企画展示室	
155	1 ～ 28	土	博物館 特別展示室	平成 28 年度　博物館企画展 「日本民藝館 80 周年　沖縄の工芸展　－柳宗悦と昭和 10 年代の沖縄」
		日	博物館 特別展示室	
		月	博物館 特別展示室	
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	
		金	博物館 特別展示室	
		土	博物館 特別展示室	
		日	博物館 特別展示室	
		月	博物館 特別展示室	
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	
		金	博物館 特別展示室	
		土	博物館 特別展示室	
		日	博物館 特別展示室	
		月	博物館 特別展示室	
		火	博物館 特別展示室	
		水	博物館 特別展示室	
		木	博物館 特別展示室	
		金	博物館 特別展示室	

【2016年11月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	火	エントランス ホール	一般財団法人沖縄美ら島財団/美術館班　真喜志勉展関連イベント　山下洋輔ジャズピアノコンサート
2	1	木	博物館 講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構　最新動向セミナー
3	1	火	共有 講堂	一般社団法人沖縄県食品衛生協会「ノロウィルス食中毒の予防と対策」講習会
4	1	火	博物館 講座室	沖縄県行政書士会　平成 28 年度文化講演会
5	1	火	博物館 実習室	うるま市立高江洲小学校／オリエンテーション
6	2	水	共有 講堂	一般社団法人沖縄しまたて協会　平成 28 年度技術環境研究所　研究発表会
7	2	水	県民 アトリエ	保久村プレゼンズ
8	2	水	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　平成 28 年度 サンコム下期安全大会
9	2	水	博物館 実習室	㈱リリアン　健康セミナー
10	2	水	博物館 実習室	コザ小学校／オリエンテーション
11	2	水	美術館 講座室	自主研　尾崎　スタッフ研修会
12	2	水	美術館 講座室	STC 国際税務会計事務所/外間経営労務管理事務所「事業承継、得する年金のもらい方」セミナー
13	2	水	美術館 講座室	第 39 回　沖縄県工芸公募展 表彰式　準備
14	3	木	美術館 講座室	沖縄県商工労働部ものづくり振興課　表彰式
15	3	木	共有 講堂	日本陸水学会　公開シンポジウム「沖縄の水環境の現状と課題」
16	3	木	博物館 実習室	日本陸水学会沖縄大会　生物同定会
17	3	木	博物館 講座室	小笠原流礼法菱亀会　実生活に生かす「お正月行事のしつらえ」講演会
18	4	金	博物館 実習室	喜屋武小学校　オリエンテーション
19	4	金	美術館 講座室	一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 CCDS セキュリティ検証技術セミナー

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
20	5	土	こどもアトリエ	ワークショップ　『墨絵で描く秋』	51	10	木	美術館講座室	独立行政法人中小企業基盤整備機構　九州本部中小企業大学校人吉校　九州・沖縄経営者塾
21	5	土	共有講堂	那覇市総務部平和交流・男女参画課なは女性センター/一般社団法人自治総合センター　なは女性センター解説 20 週年記念シンポジウム レインボーなは～性の多様性を尊重するまちづくり　リハーサル	52	11	金	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団　海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
					53	11	金	共有講堂	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会　代理店賠責セミナー
					54	11	金	共有講堂	沖縄県文化振興会 県芸祭　表彰式　準備
22	5	土	共有講堂	ニューコレクションシリーズ「真喜志勉展“アンビバレント”」関連シンポジウム	55	11	金	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
23	5	土	県民アトリエ	ワークショップ　『墨絵で描く秋』	56	11	金	博物館実習室	美術館鑑賞対応
24	5	土	博物館講座室	平成 28 年度　博物館学芸員講座「ウチナーンチュは博物館をいかにつくってきたか－戦後とともに歩んだ博物	57	11	金	博物館実習室	ナインクラウド　webcss コーティング社内研修
					58	11	金	美術館講座室	㈱経営支援センター　Web マーケティング講座
25	5	土	博物館実習室	美呼吸ウォーキング　勉強会・体験会	59	12	土	スタジオ	佐野ギター教室　ギターワークショップ
26	5	土	美術館講座室	NPO 法人沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座	60	12	土	スタジオ	㈱南日本カルチャーセンター/琉球新報社　わんぱくジュニア留学説明会
27	5	土	美術館講座室	（宗）幸福の科学那覇支部　沖縄の歴史セミナー	61	12	土	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団　海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
28	6	日	こどもアトリエ	一般社団法人 Bizjapan/㈱ヒューマンサポート 学生向け交流イベント「僕らはもっとぶっ飛べる in 沖縄	62	12	土	共有講堂	那覇市総務部平和交流・男女参画課なは女性センター/一般社団法人自治総合センター　なは女性センター解説 20 週年記念シンポジウム レインボーなは～性の多様性を尊重するまちづくり
29	6	日	スタジオ	ミキワールド沖縄　食育の勉強会	63	12	土	共有講堂	沖縄県文化振興会　県芸祭　表彰式
30	6	日	共有講堂	APTF(真の家庭運動推進沖縄協議会)　家庭講演会	64	12	土	講堂前ホワイエ	レインボーなはシンポジウム実行委員会・自治総合センター/那覇市総務部平和交流・男女参画課なは女性センターなは女性センター開設 20 週年記念　レインボーなは　シンポジウム　パネル展示
31	6	日	共有講堂	「沖縄県系の子孫たちの肝心」－海外への三線文化の伝播について－					
32	6	日	県民アトリエ	一般社団法人 Bizjapan/㈱ヒューマンサポート 学生向け交流イベント「僕らはもっとぶっ飛べる in 沖縄	65	12	土	博物館実習室	レインボーなはシンポジウム実行委員会・自治総合センター/那覇市総務部平和交流・男女参画課なは女性センター　なは女性センター開設 20 週年記念　レインボーなは　シンポジウム　ワークショップ＆託児室
33	6	日	博物館講座室	育英義塾教員養成学院　11 月科目終了試験					
34	6	日	美術館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部　サービス接遇検定試験	66	12	土	美術館講座室	NPO 法人沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座
35	8	火	スタジオ	㈱公文エルアイエル　併設後研修	67	12	土	美術館講座室	沖縄県コンベンションビューロー/ラ・フォレスタ 平成 28 年度インバウンド対応緊急医療態勢整備支援事業「沖縄における医療通訳研修」
36	8	火	共有講堂	明治安田生命沖縄支社 11 月チャレンジ月間進発研修大会					
37	8	火	博物館講座室	㈱ミロク情報サービス　沖縄支社　会計事務所のための社会福祉法人コンサル実務	68	12	土	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成 28 年度　第 7 回 happ 理事会
38	8	火	博物館講座室	学校招待事業「美術館へ行こう」	69	13	日	スタジオ	特定非営利活動法人　沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業　金融業界就業セミナー
39	8	火	博物館実習室	西原町立西原東小学校／ボランティアによる展示室見学サポート・オリエンテーション	70	13	日	エントランスホール	沖縄県文化振興会/一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄県芸術文化祭　体験教室「モデル撮影会」「書道体験教室」 海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
40	8	火	美術館講座室	㈱公文エルアイエル　公文書写教室開設説明会					
41	9	水	共有講堂	りゅうぎんビジネスクラブ主催 経営者層向けセミナー ～伝統を守りつつ顧客目線の戦略で新たな歴史を作り	71	13	日	共有講堂	「沖縄県系の子孫たちの肝心」 －南米の移民社会におけるウチナーンチュの肝心と絆－
42	9	水	県民アトリエ	㈱ベルシステム 24　面接会	72	13	日	共有講堂	沖縄 MEC 会　沖縄健康長寿講演会
43	9	水	博物館講座室	盛和塾沖縄　定例会	73	13	日	県民アトリエ	前里 利恵子/嘉数　靖子　色の勉強会
44	9	水	博物館実習室	糸満市立兼城小学校 3 学年/オリエンテーション・民具体験	74	13	日	博物館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部　秘書検定試験
45	9	水	博物館実習室	しまくとぅばプロジェクト 2016「『方言札』世代ぬハナシむぬ語い」	75	13	日	博物館実習室	屋宜内科医院　1 型ヤングレディの会
46	9	水	美術館講座室	日本政府観光局（JNTO)/一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー　JNTO 国際会議主催者セミナー	76	13	日	美術館講座室	北星学園余市高等学校　教育講演相談会
					77	15	火	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
47	9	水	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー	78	15	火	共有講堂	沖縄伝統空手道振興会/沖縄県/沖縄県議会/㈲インプレスト 空手シンポジウム
48	10	木	スタジオ	㈱日本デジタル研究所 沖縄出張所　JDL の総合力（システム説明）					
49	10	木	共有講堂	沖縄総合事務局経済産業部電力・ガス取引監視室 電力及び都市ガスの小売全面自由化に向けた説明会	79	15	火	県民アトリエ	芭蕉布句会
					80	15	火	博物館講座室	沖縄税理士会　「税を考える週間」無料相談会
50	10	木	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	81	15	火	美術館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　新入社員のための合同研修　第 3 回

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
82	16	水	スタジオ	LEJ 管理本部　ミネラル勉強会	115	19	土	美術館講座室	沖縄県コンベンションビューロー/ラ・フォレスタ平成 28 年度インバウンド対応緊急医療態勢整備支援事業「沖縄における医療通訳研修」
83	16	水	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 海洋博公園の思い出　絵日記コンクール					
84	16	水	博物館講座室	博物館ボランティア養成講座（博物館教育普及班	116	19	土	美術館講座室	NPO 法人沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座
85	16	水	博物館実習室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー第 3 回　OCVB　MICE 施設ワーキング委員会	117	19	土	博物館講座室	一般社団法人 IT 検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会 IVEC(実務)
86	16	水	美術館講座室	沖縄県/㈱JTB 沖縄　免税店化へ向けた普及啓発セミナー	118	20	日	博物館講座室	一般社団法人 IT 検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会 IVEC(実務)
87	17	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　最先端 相続税対策セミナー	119	20	日	こどもアトリエ	生協労連九州地連青年部会　フレンドリーｉｎ沖縄
88	17	木	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 海洋博公園の思い出　絵日記コンクール	120	20	日	スタジオ	第 45 回沖縄県芸術文化祭　作品鑑賞会＆ワークショップ
89	17	木	博物館講座室	琉球大学学生部教務課 教員免許状更新講習管理システム KUAS 利用大学協議会	121	20	日	エントランスホール	沖縄県文化振興会/一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄県芸術文化祭　体験教室「書道体験教室」「似顔絵体験教室」 海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
90	17	木	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー	123	20	日	共有講堂	「沖縄県系の子孫たちの肝心」－父の国と母の国を生きる人たち－フィリピンと南洋群島に移民史から－
91	17	木	美術館講座室	2016 年度 文化・芸術支援事業「現代アート レクチャー」『ソーシャリー・エンゲイジド・アートの新た	124	20	日	県民アトリエ	生協労連九州地連青年部会　フレンドリーｉｎ沖縄
92	17	木	美術館講座室	イオン琉球㈱　登用試験	125	20	日	博物館実習室	特定非営利活動法人　沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業　金融業界就業セミナー
93	17	木	共有講堂	九州地区聴覚障害教育研究会(沖縄大会)事務局 平成 28 年度 第 21 回九州地区聴覚障害教育研究会(沖縄大会)　準備	126	20	日	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
					127	20	日	美術館講座室	独立行政法人国際交流基金　日本語パートナーズ説明会
94	18	金	共有講堂	九州地区聴覚障害教育研究会(沖縄大会)事務局 平成 28 年度 第 21 回九州地区聴覚障害教育研究会(沖縄大会)	128	22	火	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団　海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
					129	22	火	共有講堂	公益社団法人沖縄精神保健福祉会連合会 第 12 回こころの芸術文化フェスティバル開会式・表彰式
95	18	金	こどもアトリエ	㈱JTB 沖縄　JTB グループ　キャリアデザインセミナー					
96	18	金	スタジオ	ソニー生命保険㈱　会議	130	22	火	県民アトリエ	SPC 沖縄事業協同組合　美容師勉強会
97	18	金	共有講堂	沖縄産婦人科学会　ドキュメンタリー映画「女を修理する男」-紛争化における性暴力、天然資源とグローバル経済を考える-	131	22	火	博物館講座室	三井生命保険㈱沖縄機構団信室　沖縄県宅地建物取引業協会会員様向けフラット 35 説明会
					132	22	火	博物館実習室	うるま市立あげな小学校／民具体験・オリエンテーション
98	18	金	県民アトリエ	美呼吸ウォーキング　勉強会	133	22	火	美術館講座室	㈱あしたのチーム琉球　社員の給与 UP を実現する「あしたの人事評価」～クラウド型運用"おせっかい"による人事評価の PDCA 実現～
99	18	金	博物館講座室	琉球法律事務所　第 10 回法務セミナー　無期転換権の発生を迎えるための準備～労働契約法 18 条～	134	22	火	美術館講座室	学校招待事業「美術館へ行こう」(美術館班
100	18	金	博物館講座室	沖縄県/公益財団法人国際交流・人材育成財団　第 2 回沖縄県・市町村国際交流担当者等連絡会	135	23	水	こどもアトリエ	栄養学習会　栄養学についての勉強会
101	18	金	博物館講座室	㈱海燕社　小さな映画会　「糸満の女」「歌の国 恋の島 八重山」	136	23	水	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団　海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
102	18	金	博物館実習室	那覇市立天妃小学校／オリエンテーション・民具体験	137	23	水	共有講堂	フェリーチェ音楽教室　音楽発表会
103	18	金	美術館講座室	沖縄総合通信事務所　信書便制度に関する説明会	138	23	水	県民アトリエ	栄養学習会　栄養学についての勉強会
104	18	金	美術館講座室	美術館活用のための懇談会	139	23	水	博物館実習室	三線鑑定会
105	19	土	こどもアトリエ	美術館クラブ	140	23	水	美術館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　長期ジョブトレーニング事前研修
106	19	土	こどもアトリエ	文化支援事業　琉大(美術館班)	141	24	木	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団　海洋博公園の思い出　絵日記コンクール
107	19	土	スタジオ	第 45 回沖縄県芸術文化祭　作品鑑賞会＆ワークショップ	142	24	木	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
108	19	土	エントランスホール	沖縄県文化振興会/一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄県芸術文化祭　体験教室「書道体験教室」 海洋博公園の思い出　絵日記コンクール	144	24	木	美術館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　長期ジョブトレーニング事前研修
					145	25	金	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
109	19	土	共有講堂	平成 28 年度　博物館文化講座「Out of Africa：ホモサピエンスのアジア拡散モデルの再構築」	146	25	金	博物館実習室	移動展の説明会
110	19	土	県民アトリエ	文化支援事業　琉大(美術館班)	147	25	金	美術館講座室	社会保険労務士法人なか　建設業における社会保険未加入対策セミナー！
111	19	土	県民アトリエ	美術館クラブ	148	25	金	美術館講座室	盛和塾沖縄　キックオフ会
112	19	土	博物館講座室	干瀬の会　第 27 回講演～源氏物語を読む～	149	25	金	美術館講座室	学校招待事業「美術館へ行こう」(美術館班
113	19	土	博物館実習室	港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開－関連イベント (1)「貝器をつくろう」	150	26	土	こどもアトリエ	フリーベル新都心第 3 管理組合　12 期通常総会
114	19	土	美術館講座室	㈱エフティープラス　WEB 集客セミナー	151	26	土	スタジオ	日本の教育を良くする会/沖縄の教育を良くする会　テレビ生命の光を観る

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
152	26	土	共有講堂	公演・シンポジウム「移民の子弟に継承される琉球芸能と肝心(チムグクル)」　リハーサル
153	26	土	県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画
154	26	土	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 沖縄の天然記念物シリーズ⑮　仲の神島海鳥繁殖地と沖縄の海鳥たち
155	26	土	博物館実習室	NPO 法人沖縄語普及協議会　沖縄語教養講座
156	26	土	美術館講座室	「美術館－教育普及の仕事－」 ～あなたの知らない美術館教育普及のプログラムを紹介します～
157	27	日	こどもアトリエ	コルク人形をつくって歌って踊っちゃおう！！
158	27	日	こどもアトリエ	沖縄県立芸術大学卒業生によるトーク＆体験イベント　第５回チェーンリアクション『コルクの時間』
159	27	日	スタジオ	特定非営利活動法人　沖縄知の風 沖縄県金融人づくりチャレンジ事業　金融業界就業セミナー
160	27	日	共有講堂	「移民資料展」関連催事　芸能公演・シンポジウム 「移民の子弟に継承される琉球芸能と肝心（チムグクル）」
161	27	日	県民アトリエ	沖縄県立芸術大学卒業生によるトーク＆体験イベント　第５回チェーンリアクション『コルクの時間』
162	27	日	県民アトリエ	コルク人形をつくって歌って踊っちゃおう！！
163	27	日	博物館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部　ビジネス電話検定試験
164	27	日	博物館実習室	㈱プレナスワールド　健康セミナー
165	27	日	美術館講座室	㈱さくらアカデミー　SAKURA 講座
166	29	火	スタジオ	ソニー生命保険㈱那覇 LOC 第１支社　社内研修
167	29	火	共有講堂	琉球新報社デジタル戦略室 クラウドファンディング事業者説明会
168	29	火	博物館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　シニアのための自己分析・合同企業説明会
169	29	火	博物館実習室	白川小学校/オリエンテーション
170	29	火	博物館実習室	㈱JTB 沖縄　データマイニングセミナー
171	29	火	美術館講座室	沖縄県三線製作事業協同組合　県産三線普及ブランド化委員会
172	30	水	スタジオ	ソニー生命保険㈱那覇 LOC 第１支社　社内研修
173	30	水	共有講堂	沖縄県土木建築部施設建築課/沖縄県土木建築部南部土木事務所 第５回沖縄県アンダー40 設計競技　ティーダフラッグス 2016　公開審査
174	30	水	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　情報セキュリティー現場マネジメントマナー研修
175	30	水	博物館実習室	那覇市立金城小学校／オリエンテーション・民具体験
176	30	水	美術館講座室	学校招待事業「美術館へ行こう」（美術館班）
177	30	水	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　サンコム沖縄　安全衛生協議会
178	22～25	火	スタジオ	公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会　第12回こころの芸術・文化フェスティバル
		水	スタジオ	
		木	スタジオ	
		金	スタジオ	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
179	8～23	水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	第 45 回　沖縄県芸術文化祭
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
180	8～23	火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	第 45 回　沖縄県芸術文化祭
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
181	29	火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	第８回 沖縄ねんりんピック　かりゆし美術展
	30	水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
182	29	火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	第８回 沖縄ねんりんピック　かりゆし美術展
	30	水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
183	8～30	火	博物館企画展示室	平成 28 年度　博物館特別展 「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
183	8～30	金	博物館企画展示室	平成28年度　博物館特別展「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
184	8～30	火	博物館特別展示室	平成28年度　博物館特別展「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		水	博物館特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
184	8～30	木	博物館特別展示室	平成28年度　博物館特別展「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	

【2016年12月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	木	共有講堂	沖縄県/沖縄県社会福祉協議会　第8回 沖縄ねんりんピック　かりゆし美術展表彰式　準備
2	1	木	博物館講座室	NHK営業サービス㈱　放送受信の新技術セミナー
3	1	木	博物館実習室	糸満市立光洋小学校／オリエンテーション・民具体験
4	1	木	美術館講座室	㈱労働調査会/一般社団法人沖縄県労働基準協会　コミュニケーションスキル等向上コース
5	2	金	共有講堂	公益社団法人 土木学会　CIM講演会2016　午後の部
6	2	金	共有講堂	沖縄県/沖縄県社会福祉協議会　第8回 沖縄ねんりんピック　かりゆし美術展　表彰式
7	2	金	県民アトリエ	美呼吸ウォーキング　レッスン
8	2	金	博物館講座室	公益社団法人土木学会　CIM講演会2016　午前の部(CIM入門)
9	2	金	博物館講座室	辻・本郷税理士法人　沖縄支部　相続セミナー
10	2	金	美術館講座室	財団法人全国中小企業取引振興協会/沖縄県産業振興公社　価格交渉サポートセミナー
11	3	土	こどもアトリエ	㈱赤マルソウ　合同赤マル塾
12	3	土	スタジオ	㈱南日本カルチャーセンター/琉球新報社　わんぱくジュニア留学説明会/冬のホームステイオリエンテーション

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
13	3	土	共有講堂	那覇東地区宅地建物取引業者会/那覇西地区宅地建物取引業者会　家主セミナー
14	3	土	県民アトリエ	㈱赤マルソウ　合同赤マル塾
15	3	土	博物館講座室	平成28年度　博物館学芸員講座「サキタリ洞むかしばなし（秋）」
16	3	土	美術館講座室	キュレータートーク「真喜志勉展―アンビバレント」関連
17	3	土	美術館講座室	那覇中央郵便局窓口営業部　投資信託セミナー
18	4	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　食育の勉強会
19	4	日	共有講堂	MOAひろみピアノレッスンルームブランチ　クリスマスピアノコンサート
20	4	日	県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画
21	4	日	博物館講座室	ミニシンポ「列島西端の旧石器文化と人類の来た道を考える」
22	4	日	博物館講座室	一般社団法人表千家同門会沖縄県支部　教授者会議
23	4	日	博物館実習室	宇都宮文星女子高校／学芸員スライドレクチャー
24	4	日	博物館実習室	那覇市牧志駅前ほしぞら公民館コラボ　美術館鑑賞ツアー
25	4	日	美術館講座室	日本秘書クラブ沖縄支社　ビジネス文書検定試験会
26	6	火	エントランスホール	美術館班/JTA　第34回（2016年）JTA/RAC あおぞら図画コンクール

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
27	6	火	共有講堂	沖縄県企画部地域離島課/㈱ルーツ　移住者と共につくる地域創生シンポジウム 2016
28	6	火	博物館講座室	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会/農林水産省/沖縄農業研究会　アグリ技術シーズセミナーin 沖縄「沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化」
29	6	火	博物館実習室	豊見城市立座安小学校／民具体験・オリエンテーション
30	6	火	美術館講座室	㈱フォーラムエイト　SIM 技術セミナーフォーラムエイトが広げる BIM/CIM ワールド
31	7	水	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　最先端 相続税対策セミナー
32	7	水	エントランスホール	美術館班/JTA　第 34 回（2016 年）JTA/RAC あおぞら図画コンクール
33	7	水	県民アトリエ	北京語言大学東京校　2017 年春休み高校生研修プログラム in 北京説明会
34	7	水	博物館講座室	㈱求人おきなわ　ジョーナビ新卒 2018「就活ビギナーワークショップ＆交流会」
35	7	水	博物館実習室	南城市立佐敷小学校／オリエンテーション・民具体験
36	7	水	博物館実習室	与儀小学校／民具体験（自主）
37	7	水	美術館講座室	㈱リクルートキャリア　採用実務セミナー
38	8	木	スタジオ	㈱日本デジタル研究所沖縄出張所　JDL システム説明会
39	8	木	エントランスホール	美術館班/JTA　第 34 回（2016 年）JTA/RAC あおぞら図画コンクール
40	8	木	博物館講座室	アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
41	8	木	博物館実習室	豊見城市立座安小学校（5 年）／オリエンテーション
42	9	金	エントランスホール	美術館班/JTA　第 34 回（2016 年）JTA/RAC あおぞら図画コンクール
43	9	金	博物館講座室	アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
44	9	金	博物館実習室	学校招待事業「美術館へ行こう」(美術館班
45	9	金	博物館実習室	美原小学校／オリエンテーション
46	9	金	美術館講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター　建築物省エネ法の実務とヒートポンプ活用セミナー
47	10	土	こどもアトリエ	一般社団法人沖縄県美術家連盟/美術館班「《Now…》から《夏シリーズ》への展開－川平恵造の表現－
48	10	土	エントランスホール	美術館班/JTA　第 34 回（2016 年）JTA/RAC あおぞら図画コンクール
49	10	土	共有講堂	沖縄テレビ放送㈱　命薬(ぬちぐすい)なお話～聞いて安心　お薬について～　準備
50	10	土	共有講堂	特定非営利活動法人　沖縄知の風　H28 年度　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業　世界一わかりやすい！いま知っておきたい！お金や経済の話
51	10	土	県民アトリエ	具志堅　春樹　余興の練習
52	10	土	県民アトリエ	一般社団法人沖縄県美術家連盟/美術館班「《Now…》から《夏シリーズ》への展開－川平恵造の表現－
53	10	土	美術館講座室	一般社団法人分子整合医学美容食育協会　食育セミナー　沖縄食育特別講演会
54	10	土	美術館講座室	日本の教育を良くする会/沖縄の教育を良くする会　テレビ「生命の光」を観る
55	11	日	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
56	11	日	スタジオ	特定非営利活動法人　沖縄知の風　沖縄県金融人づくりチャレンジ事業　金融業界就業セミナー
57	11	日	エントランスホール	美術館班/JTA　第 34 回（2016 年）JTA/RAC あおぞら図画コンクール
58	11	日	共有講堂	沖縄テレビ放送㈱　命薬(ぬちぐすい)なお話～聞いて安心　お薬について～
59	11	日	県民アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
60	11	日	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	アートミュージアムキッズクラブ
61	11	日	美術館講座室	沖縄テレビ放送㈱　命薬(ぬちぐすい)なお話～聞いて安心　お薬について～　控室
62	13	火	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団　アートツリー準備
63	13	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会
64	13	火	博物館講座室	日本ドラッグチェーン会　登録販売者の外部研修会
65	13	火	博物館実習室	渡嘉敷村立阿波連小学校／民俗分野ボランティアガイド
66	13	火	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー
67	14	水	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団　アートツリー準備
68	14	水	共有講堂	公文教育研究会　教室発展講座
69	14	水	県民アトリエ	アートツリー準備
70	14	水	博物館講座室	日本ドラッグチェーン会　登録販売者の外部研修会
71	14	水	博物館実習室	しまくとぅばプロジェクト 2016「『方言札』世代ぬハナシむぬ語い」
72	14	水	美術館講座室	㈱ケイオーパートナーズ全体会議
73	15	木	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団　アートツリー準備
74	15	木	共有講堂	農林水産省/沖縄総合事務局農林水産部「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」に係る説明会
75	15	木	県民アトリエ	アートツリー準備
76	15	木	美術館講座室	㈲アミューズコーポレーション　招幸塾(SHOKO 塾)
77	16	金	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団　アートツリー準備
78	16	金	スタジオ	一般社団法人沖縄県発明協会　第 33 回未来の科学の夢絵画展
79	16	金	共有講堂	一般社団法人沖縄県食品衛生協会　第 3 回 HACCP 導入型施設基準勉強会
80	16	金	県民アトリエ	アートツリー準備
81	16	金	博物館実習室	メットライフ生命　保険の達人　沖縄大会
82	16	金	美術館講座室	沖縄音楽創造機構　沖縄民謡のプラットフォーム設立に向けた勉強会「沖縄民謡のこれから、講座」
83	17	土	スタジオ	一般社団法人沖縄県発明協会　第 33 回未来の科学の夢絵画展
84	17	土	エントランスホール	「夢のアート☆イルミネーション」関連催事　クリスマス エントランスコンサート
85	17	土	共有講堂	サンライズ英語幼児園　サンライズ　クリスマスコンサート
86	17	土	共有講堂	一般社団法人沖縄県発明協会　第 33 回未来の科学の夢絵画展(県内展) 表彰式
87	17	土	共有講堂	特別展関連シンポジウム「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」
88	17	土	博物館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　沖縄県海外短期インターンシップ事前研修
89	17	土	博物館実習室	SG 沖縄　勉強会
90	17	土	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成 28 年度 第 9 回 happ 理事会
91	17	土	美術館講座室	一般社団法人沖縄美術家連盟　理事会
92	18	日	スタジオ	一般社団法人沖縄県発明協会　第 33 回未来の科学の夢絵画展
93	18	日	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
94	18	日	共有講堂	琉球大学ゆい健康プロジェクト　市民公開講座～食育とユイマールを活用した健康づくり～
95	18	日	県民アトリエ	具志堅春樹　余興の練習
96	18	日	博物館講座室	沖縄・ベトナム「子どもたちが見た戦争と平和」絵画展実行委員会 ベトナム映画「ドウンドット」上映/夢の鼎談「ベトナム戦争の日本の反戦運動と沖縄」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
97	18	日	博物館実習室	特定非営利活動法人　沖縄知の風沖縄県金融人づくりチャレンジ事業金融業界就業セミナー
98	18	日	博物館実習室	ライオンズマンション新都心組合　第15回通常総会
99	20	火	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
100	20	火	博物館実習室	土器片ツリー勉強会
101	20	火	博物館実習室	一般社団法人　日本LCQS　生命保険証券診断士協会　沖縄支部 日本LCQS　生命保険証券診断士協会　オープンセミナー
102	20	火	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　サンコム沖縄安全衛生協議会
103	21	水	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団　トコトコ歩く酉のおもちゃづくり勉強会
104	21	水	スタジオ	美術館収集委員会
105	21	水	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
106	21	水	県民アトリエ	トコトコ歩く酉のおもちゃづくり勉強会
107	21	水	博物館講座室	沖縄県子育て支援課/㈱テノ.サポート　沖縄県子育て支援員研修
108	21	水	博物館実習室	一般社団法人　日本LCQS　生命保険証券診断士協会　沖縄支部 日本LCQS　生命保険証券診断士協会　オープンセミナー
109	22	木	スタジオ	笈川久美　ラジウム勉強会
110	22	木	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
111	22	木	博物館講座室	IT コーディネータ沖縄/IPA 情報処理推進機構 2016 年度　IPA 中小企業情報セキュリティ講習能力セミナー
112	23	金	スタジオ	沖縄・ベトナム　子どもたちが見た「戦争と平和」絵画展実行委員会/美術館班　DON’T BURN　“フレッド、それを焼くな！それ自身の中に炎があるんだ ”
113	23	金	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
114	23	金	共有講堂	ピアノ教室″わ″　ハッピーコンサート 2016
115	23	金	博物館実習室	「親子でムーチーをつくろう！」　前日準備
116	23	金	美術館講座室	沖縄県文化振興会助成/特定非営利活動法人 琉・動・体 国際芸術祭実行に向けた基本構想案シンポジウム
117	24	土	こどもアトリエ	県芸同窓会/美術館班 chAin ReacTion(チェーン・リアクション)スマホでWeb サイトを作ってみよう！
118	24	土	スタジオ	沖縄・ベトナム　子どもたちが見た「戦争と平和」絵画展実行委員会/美術館班　DON’T BURN　“フレッド、それを焼くな！それ自身の中に炎があるんだ ”
119	24	土	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
120	24	土	共有講堂	中華人民共和国駐福岡領事館/一般社団法人日本沖縄華僑華人協会総会　第13回沖縄日中友好カラオケ大会
121	24	土	県民アトリエ	県芸同窓会/美術館班 chAin ReacTion(チェーン・リアクション)スマホでWeb サイトを作ってみよう！
122	24	土	博物館屋外展示場	「親子でムーチーをつくろう！」
123	24	土	博物館講座室	雑誌 海洋時代㈱/㈱海洋平和　地方創生は海洋創生
124	24	土	博物館実習室	「親子でムーチーをつくろう！」　控室
125	25	日	スタジオ	沖縄・ベトナム　子どもたちが見た「戦争と平和」絵画展実行委員会/美術館班　DON’T BURN　“フレッド、それを焼くな！それ自身の中に炎があるんだ ”

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
126	25	日	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
127	25	日	共有講堂	プチピアノ館　ピアノ発表会
128	25	日	博物館講座室	戦後沖縄研究コロキウム実行委員会　「写真のくポジション>2-交差する視角-」
129	27	火	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
130	27	火	博物館講座室	沖縄県/一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー/㈱沖縄コングレ平成 28 年度 観光人材育成プラットフォーム構築事業「できる！MICE プレイヤー養成講座」
131	28	水	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
132	28	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
133	1～9	木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	沖縄県/沖縄県社会福祉協議会　第８回 沖縄ねんりんピック　かりゆし美術展
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
134	1～9	木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	沖縄県/沖縄県社会福祉協議会　第８回 沖縄ねんりんピック　かりゆし美術展
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
135	1～28	木	博物館企画展示室	平成 28 年度　博物館特別展 「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
135	1～28	水	博物館企画展示室	平成28年度　博物館特別展「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
136	1～28	木	博物館特別展示室	平成28年度　博物館特別展「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
136	1～28	土	博物館特別展示室	平成28年度　博物館特別展「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
137	20～28	火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	夢の美術館～めぐりあう名画たち～
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
138	20～28	火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	夢の美術館～めぐりあう名画たち～
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	

【2017年1月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	日	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
2	1	日	博物館屋外展示場	親子ワークショップ「お正月は博物館・美術館に行こう！」 新春島唄ライブ
3	1	日	博物館実習室	親子ワークショップ「お正月は博物館・美術館に行こう！」　新春島唄ライブ　控室
4	2	月	共有3階回廊	親子ワークショップ「お正月は博物館・美術館に行こう！」 アダン筆づくりと書初めアート
5	2	月	博物館実習室	親子ワークショップ「お正月は博物館・美術館に行こう！」　アダン筆づくりと書初めアート

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
6	3	火	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	親子ワークショップ「お正月は博物館・美術館に行こう！」 特大かるた会
7	5	木	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　SB新規入場者教育
8	6	金	博物館講座室	NPO法人沖縄平和協力センター 安全保障シンポジウム「トランプ政権下の同盟のあり方と沖縄の将来」
9	6	金	共有講堂	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部　平成28年度JA共済全国小・中学生書道交通安全ポスター沖縄県コンクール表彰式

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
10	7	土	共有講堂	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部　平成28年度JA共済全国小・中学生書道交通安全ポスター沖縄県コンクール表彰式	46	15	日	博物館講座室	しまくとぅばプロジェクト2016　「鼎談 ないるかじり しまくとぅばっし　かたてぃ んじゃびら伊波
11	7	土	博物館講座室	平成28年度　博物館学芸員講座「沖縄の貝器文化と西太平洋の先史文化」	47	15	日	博物館実習室	体験教室「調べてみよう！エネルギー・放射線のフシギ」
12	7	土	博物館講座室	家庭倫理の会那覇市　純粋倫理基礎講座	48	15	日	美術館講座室	「夢の美術館－めぐりあう名画たち」関連催事ギャラリートーク 第1回「北九州市立美術館 コレクション形成の軌跡」
13	7	土	こどもアトリエ	石こう版画の会　石こう版画					
14	8	日	共有講堂	かみさまとのやくそくプロジェクトin沖縄　「かみさまとのやくそく」上映会＆トークセッション	49	17	火	共有講堂	農林水産省/沖縄地域農業の障害者就労、雇用促進ネットワーク/内閣府沖縄総合事務局　農福連携推進沖縄ブロックセミナー
15	8	日	博物館講座室	沖縄朝鮮友好の会　チュチェ思想新春セミナー					
16	8	日	県民アトリエ	㈱Blueship沖縄　泡盛の海外販路拡大に向けた勉強会	50	17	火	博物館講座室	沖縄税理士会北那覇支部　確定申告研修会
17	8	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　食育の勉強会	51	17	火	博物館実習室	那覇市立宇栄原小学校/オリエンテーション・民具体験
18	8	日	美術館講座室	「夢の美術館－めぐりあう名画たち－」関連催事美術館講座「印象派から現代まで 絵画の軌跡」	52	17	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会
19	9	月	共有講堂	平成28年度 文化・芸術活動支援事業プログラム「WHERE IS YOUR LOVE？」	53	17	火	美術館講座室	㈱日本デジタル研究所沖縄出張所　JDLシステム説明会
20	9	月	共有 正面玄関雨端	親子ワークショップ 「お正月は博物館・美術館に行こう！」トコトコ歩くトリのおもちゃづくり	54	18	水	共有講堂	沖縄県農林水産部流通加工推進課/㈱OTSサービス経営研究所 沖縄県地産地消シンポジウム2017
21	9	月	博物館実習室	親子ワークショップ 「お正月は博物館・美術館に行こう！」トコトコ歩くトリのおもちゃづくり 控室	55	18	水	博物館実習室	前田小学校／民具体験
22	9	月	美術館講座室	㈱Biueship沖縄　泡盛の海外販路拡大に向けた勉強会	56	18	水	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会　決算法人説明会
23	11	水	博物館実習室	しまくとぅばプロジェクト2016「『方言札』世代ぬハナシむぬ語い」	57	18	水	美術館講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構「身近に潜むセキュリティインシデント」
24	11	水	博物館実習室	古蔵小学校／オリエンテーション・民具体験	58	19	木	共有講堂	イオン琉球㈱　2017年度　方針発表
25	11	水	美術館講座室	沖縄県/特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構「IT活用で変わる次世代農業！」	59	19	木	博物館講座室	大東建託㈱沖縄支店　税務フォーラム二〇一七
26	12	木	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	60	19	木	博物館講座室	イオン琉球㈱取締役会
27	12	木	博物館実習室	古蔵小学校／オリエンテーション・民具体験	61	19	木	博物館実習室	那覇市立開南小学校/オリエンテーション・民具体験
28	12	木	美術館講座室	㈱JTB沖縄　第129回杜の賑わい　斡旋業務説明会	62	19	木	スタジオ	ソニー生命保険㈱　社内勉強会
29	12	木	美術館講座室	㈱ミロク情報サービス　沖縄支社 平成28年分所得税確定申告のチェックポイント	63	20	金	博物館講座室	日本証券新聞リサーチ主催　おきなわ証券協賛株式講演会
30	13	金	博物館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座	64	20	金	博物館実習室	那覇市立識名小学校／オリエンテーション・民具体験
31	13	金	博物館実習室	体験教室「調べてみよう！エネルギー・放射線のフシギ」	65	20	金	美術館講座室	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会　コンサルティングセミナー
32	13	金	スタジオ	ブルーコンシャス㈱　「会社説明会＆採用試験」	66	21	土	共有講堂	消防庁/沖縄県/那覇市/㈱沖縄タイムス社 平成28年度「地域防災向上シンポジウム」　第1会場
33	13	金	美術館講座室	入札　美術館班					
34	13	金	美術館講座室	タマホーム沖縄㈱　安全・工程会議	67	21	土	博物館講座室	消防庁/沖縄県/那覇市/㈱沖縄タイムス社 平成28年度「地域防災向上シンポジウム」　第2会場
35	14	土	共有講堂	真の家庭運動推進協議会　家庭講演会					
36	14	土	共有講堂	平成28年度　博物館文化講座　特別展関連「沖縄先史時代の人骨」	68	21	土	県民アトリエ	生活協同組合沖縄県高齢者協同組合　定例理事会
37	14	土	博物館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　沖縄県海外短期インターシップ事前研修	69	21	土	スタジオ	第28年度　第10回happ理事会
38	14	土	博物館実習室	体験教室「調べてみよう！エネルギー・放射線のフシギ」	70	21	土	美術館講座室	「夢の美術館～めぐりあう名画たち～」関連キュレータートーク
39	14	土	県民アトリエ	夢の美術館－めぐりあう名画たち－関連催事『色の中で遊ぶ』	71	22	日	共有講堂	一般社団法人那覇市医師会　第2回 那覇市在宅ケアネット市民フォーラム
40	14	土	スタジオ	㈱南日本カルチャーセンター/琉球新報社　わんぱくジュニア留学説明会	72	22	日	博物館講座室	㈱トリムフーズ　社員総会(飲食事業部)
41	14	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会　テレビ「生命の光」を観る	73	22	日	県民アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
42	14	土	美術館講座室	弘学館中学校・高等学校沖縄父母会 平成29年度弘学館中学校・高等学校入学試験合格者の保護者情報交換会	74	22	日	美術館講座室	しまくとぅばプロジェクト2016「しまくとぅわ・すまふつリーディング」
					75	22	日	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
43	14	土	こどもアトリエ	夢の美術館－めぐりあう名画たち－関連催事『色の中で遊ぶ』	76	22	日	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
44	15	日	共有講堂	「夢の美術館－めぐりあう名画たち」関連催事講演会「福岡市美術館　収集活動の変遷」	77	24	火	博物館講座室	盛和塾沖縄　定例会
45	15	日	共有講堂	「夢の美術館－めぐりあう名画たち」関連催事シンポジウム「美術館と作品収集」	78	24	火	博物館講座室	文教楽器㈱　2017年ヤマハ音楽教室全体講師会議

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
79	24	火	博物館実習室	那覇市立さつき小学校／オリエンテーション・民具体験
80	24	火	美術館講座室	㈱近代美術　地産地消コーディネート機能強化事業
81	24	火	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　沖縄安全衛生協議会
82	25	水	博物館講座室	㈱大城マネジメント研究所　ストレスチェック＆マイナンバー＆無期転換近年の法改正の労務管理実務
83	25	水	共有講堂	沖縄気象災害防止協議会　㽵 28 年度防災気象講演会
84	25	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会　三線鑑定会
85	25	水	博物館実習室	那覇市立石嶺小学校／民具体験・オリエンテーション
86	26	木	共有講堂	富国生命保険相互会社 沖縄支社　職員大会
87	26	木	博物館講座室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター次世代経営者育成セミナー
88	26	木	博物館実習室	㈱リリアン　沖縄の農業と食育を考えるセミナー
89	26	木	県民アトリエ	創元会　美術の話し
90	26	木	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　沖縄の人の為の相続対策セミナー
91	26	木	美術館講座室	上原労務管理事務所　人事・労務管理セミナー
92	27	金	共有講堂	㈱シネマ沖縄　沖縄デジタルアーカイブ　シンポジウム「沖縄デジタルアーカイブの未来と課題」
93	27	金	博物館講座室	公益財団法人食品流通構造改善促進機構　消費税軽減税率制度に関する全国説明会
94	27	金	博物館実習室	那覇市立上間小学校／オリエンテーション・民具体験
95	27	金	博物館実習室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部 サブリース事業者協議会第 3 回研究集会
96	27	金	県民アトリエ	学校団体対応(美術館班)
97	27	金	スタジオ	㈱シネマ沖縄　平成 28 年度 沖縄文化活性化・創造発信支援事業　沖縄のデジタル・アーカイブセミナー
98	27	金	美術館講座室	㈱アイクラウド/㈱木立　ウェブマーケティング講座
99	27	金	こどもアトリエ	学校団体対応(美術館班)
100	28	土	博物館講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会　第 3 回研究協議会
101	28	土	県民アトリエ	H28 年度文化・芸術支援事業　沖縄県立芸術大学卒業生によるトーク＆体験イベント 第 7 回チェーンリアク
102	28	土	美術館講座室	美術館学芸員講座　沖縄美術の変遷　明治から 70 年代まで －沖縄の美術家は何を捉えてきたのか－
103	28	土	美術館講座室	全国高校ライフル射撃部/日本ライフル射撃協会 ライフル射撃全国高校指導者研修会　第 2 会場
104	28	土	こどもアトリエ	H28 年度文化・芸術支援事業　沖縄県立芸術大学卒業生によるトーク＆体験イベント 第 7 回チェーンリアク
105	28	土	博物館講座室	全国高校ライフル射撃部/日本ライフル射撃協会 ライフル射撃全国高校指導者研修会
106	29	日	博物館講座室	全国高校ライフル射撃部/日本ライフル射撃協会 ライフル射撃全国高校指導者研修会
107	29	日	共有講堂	㈲FEC オフィス　お笑い博物館・美術館　アートじゃなくてコントです！
108	29	日	博物館講座室	沖縄県立看護大学　大学コンソーシアム沖縄 県民向け公開講座　すてきな関係性の構築 ―暴力(DV)の見える化―
109	29	日	県民アトリエ	「夢の美術館―めぐりあう名画たち―」開催記念催事『顔ヨガ in「夢の美術館」』
110	29	日	県民アトリエ	美術館クラブ
111	29	日	美術館講座室	「夢の美術館－めぐりあう名画たち－」関連ギャラリートーク 第 2 回「シュルレアリスムの画家たち」
112	29	日	美術館講座室	コンサート　控室
113	29	日	こどもアトリエ	「夢の美術館―めぐりあう名画たち―」開催記念催事『顔ヨガ in「夢の美術館」』
114	29	日	こどもアトリエ	美術館クラブ
115	31	火	共有講堂	沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課/丸正印刷㈱ 沖縄らいし景観まちなみづくりシンポジウム
116	31	火	博物館講座室	一般社団法人沖縄県労働基準協会/公益社団法人全基連沖縄県支部 もうすぐスタートします、対策は万全ですか？無期転換制度への人事労務対策のヒント
117	31	火	博物館実習室	那覇市立仲井真小学校／民具体験・オリエンテーション
118	1～31	日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	夢の美術館～めぐりあう名画たち～
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
118	1 ～ 31	日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	夢の美術館～めぐりあう名画たち～
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
119	1 ～ 31	日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	夢の美術館～めぐりあう名画たち～
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
120	1 ～ 22	日	博　物　館 企画展示室	平成 28 年度博物館特別展 「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる仁利子の起源と展開」
		月	博　物　館 企画展示室	
		火	博　物　館 企画展示室	
		水	博　物　館 企画展示室	
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
		月	博　物　館 企画展示室	
		火	博　物　館 企画展示室	
		水	博　物　館 企画展示室	
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
121	1 ～ 22	日	博　物　館 特別展示室	平成 28 年度博物館特別展 「港川人の時代とその後　琉球弧をめぐる仁利子の起源と展開」
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
122	5〜31	木	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
123	11〜29	木	エントランスホール	首里城公園　図画・フォト作品展示会
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
124	21〜31	土	講堂前ホワイエ	消防庁/沖縄県/那覇市/㈱沖縄タイムス社　平成28年度「地域防災向上シンポジウム」　パネル展
		日	講堂前ホワイエ	
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	
		水	講堂前ホワイエ	
		木	講堂前ホワイエ	
		金	講堂前ホワイエ	
		土	講堂前ホワイエ	
		日	講堂前ホワイエ	
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	

		水	エントランスホール	

【2017年２月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	水	博物館実習室	サイエンスコミュニケーション
2	2	木	博物館実習室	那覇市立泊小学校/オリエンテーション・民具体験
3	2	木	美術館講座室	㈱ケイオーパートナーズ　全体会議（キャンセル100%）
4	3	金	共有講堂	沖縄総合事務局経済産業部エネルギー対策課　平成28年度 エネルギー管理功績者およびエネルギー管理優良工場等表彰式
5	3	金	共有講堂	内閣府沖縄県総合事務局/㈱環境エネルギー総合研究所　エネルギー使用合理化シンポジウム
6	3	金	博物館講座室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社　教弘委員会
7	3	金	博物館講座室	グラフィソフトジャパン㈱/㈱ビッグビート　GRAPHI SOFT 全国ロードショー2017
8	3	金	博物館実習室	那覇市立安謝小学校　オリエンテーション/民具体験
9	3	金	県民アトリエ	永大産業㈱九州営業部　会議
10	3	金	美術館講座室	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄運営事務局/㈱産学連携機構　農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄　沖縄研究会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
11	4	土	共有講堂	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ/美術館班 平成 28 年度 文化・芸術活動支援事業　舞台演劇 こども組踊り「銘苅子」
12	4	土	博物館屋外展示場	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ/美術館班 「ゆい茶道教室」（お茶会）
13	4	土	博物館講座室	（公財）日教弘沖縄支部主催による学校退職予定者説明会
14	4	土	博物館講座室	「琉球・沖縄の地図展」関連催事　学芸員講座（歴史）「時空を超えて TSUNAGARU ＭＡＰ 過去から
15	4	土	博物館実習室	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ/美術館班 平成 28 年度 文化・芸術活動支援事業　舞台演劇 こども組踊り「銘苅子」　控室
16	4	土	県民アトリエ	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ/美術館班 平成 28 年度 文化・芸術活動支援事業　舞台演劇 こども組踊り「銘苅子」　控室
17	4	土	美術館講座室	海燕社の小さな映画会/2 月　『山人の丸木舟』『竹編みのさと』
18	4	土	こどもアトリエ	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ/美術館班 平成 28 年度 文化・芸術活動支援事業　舞台演劇 こども組踊り「銘苅子」　控室
19	4	土	スタジオ	一般社団法人北那覇青色申告会　パソコン会計講習会
20	5	日	共有講堂	日本地図学会/博物館班　平成 29 年度　日本地図学会　地方大会「琉球の地図」講演・シンポジウム
21	5	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　食育の勉強会
22	7	火	共有講堂	琉球大学工学部環境建設工学科　過酷な塩害環境下の橋梁長寿命化に関する技術講習会
23	7	火	博物館講座室	㈱ケイオーパートナーズ　未来の産業人材育成事業合同会議
24	7	火	博物館実習室	那覇市立銘苅小学校／オリエンテーション・民具体験
25	7	火	県民アトリエ	沖縄県高齢者協同組合　全県戦略会議
26	7	火	美術館講座室	総務省沖縄総合通信事務所　サイバーセキュリティ研修会
27	7	火	スタジオ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展
28	8	水	博物館講座室	沖縄県消費くらし安全課/㈱沖縄タイムスサービスセンター事業所における消費者教育の推進支援事業
29	8	水	博物館実習室	しまくとぅばプロジェクト 2016「『方言札』世代ぬハナシむぬ語い」
30	8	水	博物館実習室	那覇市立小禄小学校／オリエンテーション・民具体験
31	8	水	美術館講座室	盛和塾沖縄　例会
32	8	水	スタジオ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展
33	9	木	共有講堂	琉球大学/沖縄県産業政策課/㈱がちゅん　平成 28 年度 次世代アントレプレナー人材育成推進事業ビジネスプランコンテスト 2017「DIVE　INTO」
34	9	木	博物館講座室	那覇地区学校保健会/那覇市教育委員会　第 37 回 那覇地区保健教育研究発表会及び講演会
35	9	木	博物館実習室	那覇市立那覇小学校／オリエンテーション・民具体験
36	9	木	県民アトリエ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展ワークショップ
37	9	木	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会　組織力アップに繋がる！労務トラブル予防セミナー
38	9	木	美術館講座室	社会保険労務士法人パァソネル・マネジメント 勉強会
39	9	木	スタジオ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展
40	10	金	共有講堂	沖縄総合事務局中小企業課　6 次産業化・農商工連携フォーラム in 沖縄
41	10	金	共有講堂	那覇市文化協会王朝礼楽部会　琉球王朝禮樂演奏会
42	10	金	博物館講座室	のはら元氣クリニック　前世療法 In 沖縄
43	10	金	博物館講座室	日本司法支援センター沖縄地方事務所　第 11 回 法テラス沖縄　地方協議会
44	10	金	博物館実習室	博物館教育普及　打ち合わせ
45	10	金	博物館実習室	南城市立馬天小学校／オリエンテーション
46	10	金	県民アトリエ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展ワークショップ
47	10	金	美術館講座室	㈱ミロク情報サービス　沖縄支社『マイナンバー 人的安全管理措置・事務取扱担当者適格研修』『所得税確定申告書システム研修会』
48	10	金	スタジオ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展
49	11	土	共有講堂	園ピアノ教室　ピアノ発表会
50	11	土	共有講堂	Ecole de musique SOLEIL　ソレイユ ピアノ発表会 Vol.5
51	11	土	博物館講座室	琉球大学医学部附属病院がんセンター　九州・沖縄ブロック地域相談フォーラム in 沖縄
52	11	土	博物館実習室	琉球・沖縄の地図展関連催事親子体験教室 1「海底地形の測り方を知ろう！」
53	11	土	県民アトリエ	「真喜志勉 展 - アンビバレント」関連ワークショップ『“ Tom Max の Dog Tag を作
54	11	土	美術館講座室	琉球大学医学部附属病院がんセンター　九州・沖縄ブロック地域相談フォーラム in 沖縄
55	11	土	こどもアトリエ	「真喜志勉 展 - アンビバレント」関連ワークショップ『“ Tom Max の Dog Tag を
56	11	土	スタジオ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展
57	12	日	共有講堂	第 13 回　アクア音楽院　発表会
58	12	日	県民アトリエ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展ワークショップ
59	12	日	こどもアトリエ	石こう版画の会　石こう版画
60	12	日	スタジオ	琉球びんがた組合/アドスタッフ博報堂　設立 40 周年記念琉球びんがた組合展
61	14	火	共有講堂	沖縄県/㈱沖縄環境分析センター世界自然遺産登録に向けたフォーラム「知ることで守られる、琉球諸島の自然価値」
62	14	火	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　面接会場
63	14	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会
64	14	火	美術館講座室	沖縄県自然保護課/丸正印刷㈱　やんばる、西表の多様な生物写真展
65	14	火	スタジオ	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展　準備
66	15	水	共有講堂	沖縄電力 OB 会　講演会
67	15	水	博物館講座室	平成 28 年度沖縄県立学校事務職員協会主催「クレーム対応研修」
68	15	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
69	15	水	県民アトリエ	SPC 沖縄事業協同組合　SPC 沖縄ポリカ勉強会
70	15	水	美術館講座室	沖縄県自然保護課/丸正印刷㈱　やんばる、西表の多様な生物写真展
71	15	水	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団　面接会場
72	15	水	スタジオ	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展
73	16	木	博物館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　シニアのためのライフプランニング　合同企業説明会
74	16	木	博物館実習室	県総務班　社会教育主事講習
75	16	木	美術館講座室	沖縄県自然保護課/丸正印刷㈱　やんばる、西表の多様な生物写真展
76	16	木	スタジオ	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展
77	16	木	共有講堂	平成音楽大学　平成 29 年度沖縄会場　一般入試試験（キャンセル 100%）
78	17	金	共有講堂	琉球大学/沖縄県産業政策課/㈱がちゅん平成 28 年度 次世代アントレプレナー人材育成推進事業ビジネスプランコンテスト 2017「DIVE　INTO」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
79	17	金	博物館講座室	㈱阪急交通社　トラピックス海外旅行説明会	113	26	日	共有講堂	学校法人アミークス国際学園　YEAH! AMICUS CL ～Annual Joint Exhibition
80	17	金	美術館講座室	㈱阪急交通社　トラピックス海外旅行説明会	114	26	日	博物館実習室	NPO 法人音楽で「つながる」会 Caprice ピッコラ・ムージカ 0 歳児から OK！こどもも大人も楽しめる音楽会
81	17	金	スタジオ	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展					
82	18	土	共有講堂	一般社団法人すてきな沖縄を伝える会　シンポジウム	115	26	日	博物館実習室	ライオンズマンション新都心管理組合　大規模修繕工事検討説明会
83	18	土	共有講堂	平成 28 年度　文化講座 博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連シンポジウム	116	26	日	県民アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会　サンゴ礁ウィーク 2017　ワークショップ「カーミージーの夢づくり」
84	18	土	博物館講座室	平成 28 年度　文化講座 博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連シンポジウム　第 2 会場					
85	18	土	博物館講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会　第 4 回研究協議会	117	26	日	美術館講座室	弘学館沖縄父母会 定例会
86	18	土	博物館実習室	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業･修了作品展ワークショップ	118	26	日	こどもアトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会　サンゴ礁ウィーク 2017　サンゴのおはなしをつくろう！
87	18	土	県民アトリエ	㈱ペルソナッツ　LAB プロ勉強会	119	28	火	共有講堂	沖縄県事業引継ぎ支援センター　経営者のための事業承継セミナー　事業承継で“何”を受け継ぐか？～100 年続く企業の条件を考える～
88	18	土	美術館講座室	平成 28 年度　文化講座 博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連シンポジウム　第 3 会場					
89	18	土	美術館講座室	琉球大学国際沖縄研究所　グローバル化のなかの伝承/伝統的知識 -柳田国男論、ABS 方、フォークリア、そして沖縄のこれから-	120	28	火	博物館講座室	沖縄県三線製作事業協同組合　第三回　県産三線普及ブランド化委員会
					121	28	火	博物館講座室	琉球法律事務所　第 11 回法務実務セミナー
90	18	土	美術館講座室	尚学院国際ビジネスアカデミー　2017 年 SIBA 留学説明会及び短期留学報告会	122	28	火	美術館講座室	ゆいまーる沖縄㈱　沖縄県工芸製品新ニーズモデル創出事業　平成 28 年度県内展示発表･成果報告会
91	18	土	こどもアトリエ	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成 28 年度　第 11 回 happ 理事会					
92	18	土	スタジオ	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展	123	28	火	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　沖縄の人の為の相続対策セミナー
93	19	日	共有講堂	日本臨床皮膚科医会沖縄県支部/田辺三菱製薬㈱ 市民公開講座　知っていますか？「乾癬（かんせん）」のこと　第一会場	124	1～5	水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	夢の美術館～めぐりあう名画たち～
							木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
94	19	日	共有講堂	真の家庭運動推進協議会　家庭講演会			金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
95	19	日	博物館講座室	日本臨床皮膚科医会沖縄県支部/田辺三菱製薬㈱ 市民公開講座　知っていますか？「乾癬（かんせん）」のこと　第二会場			土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
							日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 1	
96	19	日	博物館実習室	NPO 法人音楽で「つながる」会 Caprice ピッコラ・ムージカ 0 歳児から OK！こどもも大人も楽しめる音楽会	125	1～5	水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	夢の美術館～めぐりあう名画たち～
							木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
97	19	日	県民アトリエ	㈱ペルソナッツ　LAB プロ勉強会			金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
98	19	日	美術館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 講演会「ウミガメの繁殖メカニズムの謎にせまる」			土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
99	19	日	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会			日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ 2	
100	19	日	スタジオ	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展	126	1～28	水	博物館企画展示室	琉球・沖縄の地図展
101	24	金	共有講堂	沖縄県那覇国際倫理法人会　倫理経営講演会			木	博物館企画展示室	
102	24	金	博物館講座室	平成 28 年度沖縄県立学校事務職員協会主催「アンガーマネジメント講座」			金	博物館企画展示室	
103	24	金	博物館講座室	沖縄県行政書士会　平成 28 年度行政書士記念日講演会			土	博物館企画展示室	
104	24	金	博物館実習室	㈱ノエビア　カフェ更新研修			日	博物館企画展示室	
105	24	金	美術館講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス　ハイサイプロジェクト　求人票閲覧会			月	博物館企画展示室	
106	24	金	美術館講座室	盛和塾 沖縄　定例会			火	博物館企画展示室	
107	24	金	スタジオ	㈱リリアン　沖縄の農業と食育を考えるセミナー～みんなで考えよう沖縄の健康～			水	博物館企画展示室	
108	24	金	博物館実習室	NPO 法人沖縄県工芸産業協同センター　次世代経営者育成セミナー			木	博物館企画展示室	
109	25	土	共有講堂	琉球新報社　第 6 回しんぶん感想文コンクール表彰式			金	博物館企画展示室	
110	25	土	博物館実習室	琉球・沖縄の地図展関連催事　子ども体験教室 1 「測量・地図について」			土	博物館企画展示室	
111	25	土	美術館講座室	㈱アウスタ　20 代の歩き方　澤金之助の若武者修行のススメ			日	博物館企画展示室	
112	25	土	スタジオ	㈱グラント・イーワンズ　人材育成研修及び勉強会			月	博物館企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
126	1～28	火	博物館企画展示室	琉球・沖縄の地図展
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
		水	博物館企画展示室	
		木	博物館企画展示室	
		金	博物館企画展示室	
		土	博物館企画展示室	
		日	博物館企画展示室	
		月	博物館企画展示室	
		火	博物館企画展示室	
127	1～28	水	博物館特別展示室	琉球・沖縄の地図展
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	
		金	博物館特別展示室	
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
		水	博物館特別展示室	
		木	博物館特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
127	1～28	金	博物館特別展示室	琉球・沖縄の地図展
		土	博物館特別展示室	
		日	博物館特別展示室	
		月	博物館特別展示室	
		火	博物館特別展示室	
128	1～19	水	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館　あなたとつくる夢のアート☆ツリー
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
129	1～28	水	講堂前ホワイエ	博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連　国土地理院　沖縄支所・第十一管区海上保安本部　パネル展
		木	講堂前ホワイエ	
		金	講堂前ホワイエ	
		土	講堂前ホワイエ	
		日	講堂前ホワイエ	
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	
		水	講堂前ホワイエ	
		木	講堂前ホワイエ	
		金	講堂前ホワイエ	
		土	講堂前ホワイエ	
		日	講堂前ホワイエ	
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
129	1〜28	水	講堂前ホワイエ	博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連　国土地理院　沖縄支所・第十一管区海上保安本部　パネル展
		木	講堂前ホワイエ	
		金	講堂前ホワイエ	
		土	講堂前ホワイエ	
		日	講堂前ホワイエ	
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	
		水	講堂前ホワイエ	
		木	講堂前ホワイエ	
		金	講堂前ホワイエ	
		土	講堂前ホワイエ	
		日	講堂前ホワイエ	
		月	講堂前ホワイエ	
		火	講堂前ホワイエ	
130	7〜19	火	エントランスホール	2017 世界児童の絵画展 沖縄展
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	
		水	エントランスホール	
		木	エントランスホール	
		金	エントランスホール	
		土	エントランスホール	
		日	エントランスホール	
131	12〜19	日	共有正面玄関雨端	平成 28 年度　沖縄県立芸術大学　卒展　作品
		月	共有正面玄関雨端	
		火	共有正面玄関雨端	
		水	共有正面玄関雨端	
		木	共有正面玄関雨端	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
131	12〜19	金	共有正面玄関雨端	平成 28 年度　沖縄県立芸術大学　卒展　作品
		土	共有正面玄関雨端	
		日	共有正面玄関雨端	
132	12〜19	日	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	平成 28 年度　沖縄県立芸術大学　卒展　作品
		月	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	
		火	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	
		水	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	
		木	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	
		金	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	
		土	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	
		日	県民ｷﾞｬﾗﾘｰ前　中庭	
133	12〜19	日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ1	
134	12〜19	日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	沖縄県立芸術大学　第 28 回卒業・修了作品展
		月	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		火	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		水	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		木	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		金	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		土	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
		日	美術館企画ｷﾞｬﾗﾘｰ2	
135	25〜28	土	エントランスホール	サンゴ礁ウィーク 2017『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展
		日	エントランスホール	
		月	エントランスホール	
		火	エントランスホール	

【2017年３月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	水	エントランスホール	サンゴ礁ウィーク 2017『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展
2	1	水	スタジオ	㈱建設システム　3D による現場の見える化セミナー
3	1	水	共有講堂	一般社団法人沖縄イーコマース協議会/沖縄県「沖縄全島 EC フェスタ 2017」記念講演会
4	1	水	博物館講座室	一般社団法人沖縄イーコマース協議会/沖縄県「沖縄全島 EC フェスタ 2017」EC サプライヤブース展
5	1	水	博物館実習室	那覇市立真嘉比小学校／民具体験・オリエンテーション
6	1	水	博物館実習室	博物館・美術館協議会(県総務班)
7	1	水	県民アトリエ	博・教育普及班ボランティア勉強会
8	1	水	美術館講座室	医療法人沖縄徳洲会　南部徳洲会病院　医療講演

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
9	2	木	エントランスホール	サンゴ礁ウィーク 2017『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展	42	9	木	県民アトリエ	㈱ベルシステム 24 面接会
10	2	木	共有講堂	ピアノ調律	43	9	木	美術館講座室	トーマツベンチャーサポート㈱/有限責任監査法人トーマツ　海外展開支援セミナー
11	2	木	博物館講座室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー	44	10	金	エントランスホール	『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展 沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK
12	2	木	博物館実習室	那覇市立大道小学校／オリエンテーション・民具体験	45	10	金	博物館講座室	㈱大城マネジメント研究所　労務保険年度更新・賃金制度についてセミナー
13	2	木	美術館講座室	琉球大学病院第三内科/一般社団法人おきなわ長寿復興・医療イノベーション研究所　第 2 回再生医療サミット inOkinawa	46	10	金	美術館講座室	タマホーム沖縄㈱　協力業者様安全・工程会議
					47	10	金	美術館講座室	沖縄メットライフ会/メットライフ生命保険㈱ 体にやさしく戦わない　がんの陽子線治療
14	2	木	美術館講座室	辻・本郷税理士法人 沖縄支部　H29 年度　税制改正セミナー	48	11	土	エントランスホール	『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展 沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK
15	3	金	エントランスホール	サンゴ礁ウィーク 2017『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展	49	11	土	博物館講座室	琉球大学国際沖縄研究所 続・起源論争―言語と遺伝子からみた琉球列島の移動―
16	3	金	共有講堂	山元恵一展関連イベント「ラ・ムジカ」～山元ほるんピアノコンサート～					
17	3	金	美術館講座室	医療法人沖縄徳洲会　南部徳洲会病院　医療講演	50	11	土	博物館実習室	NPO 法人音楽で「つながる」会 Caprice ピッコラ・ムージカ 0 歳児から OK！こどもも大人も楽しめる音楽会
18	4	土	エントランスホール	サンゴ礁ウィーク 2017『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展					
19	4	土	共有講堂	「山元恵一展 Le fragment du rêve(夢のかけら) まなざしのシュルレアリスム」　記念シンポジウム	51	11	土	美術館講座室	沖縄朝鮮友好の会　アジアの文化の勉強会
					52	12	日	エントランスホール	『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展 沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK
20	4	土	博物館講座室	平成 28 年度　博物館学芸員講座「琉球王国時代の古地図～ 「外」からみた琉球を中心に～」	53	12	日	スタジオ	沖縄伝統生薬研究会　漢方薬の勉強会
					54	12	日	共有講堂	ピティナ那覇ミュージアムステーション　ピティナ・ピアノステップ那覇春季地区
21	4	土	博物館実習室	NPO 法人音楽で「つながる」会 Caprice ピッコラ・ムージカ 0 歳児から OK！こどもも大人も楽しめる音楽会	55	12	日	博物館講座室	日本緑内障学会/沖縄県眼科医会/琉球大学医学部眼科　世界緑内障週間
					56	12	日	博物館実習室	NPO 法人音楽で「つながる」会 Caprice ピッコラ・ムージカ 0 歳児から OK！こどもも大人も楽しめる音楽会
22	5	日	エントランスホール	サンゴ礁ウィーク 2017『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展					
23	5	日	こどもアトリエ	公益社団法人沖縄県建築士会島尻支部　近現代建築の固有性と普遍性―世界、アジアから日本、沖縄の近現代建築を語る―	57	12	日	県民アトリエ	サンゴ礁ウィーク 2017　沖縄のサンゴ礁研究最前線～サンゴは地味だが役に立つ～
					58	12	日	美術館講座室	㈱さくらアカデミー　さくら養成講座
24	5	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄　食育の勉強会	59	14	火	エントランスホール	沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK
25	5	日	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団　サンゴで GOGO	60	14	火	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　第 9 回卒業・進級展示会
26	5	日	博物館実習室	「琉球・沖縄の地図展」関連催事 子ども体験教室 2「測量を体験しよう！」	61	14	火	博物館講座室	那覇地区養護教諭研究会　研究発表会
27	5	日	県民アトリエ	公益社団法人沖縄県建築士会島尻支部 近現代建築の固有性と普遍性―世界、アジアから日本、沖縄の近現代建築を語る―	62	14	火	博物館実習室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」（建築家展）
28	5	日	美術館講座室	しまくとぅばプロジェクト 2016 「いへやくとぅばのもつ楽しさを音楽で」	63	14	火	県民アトリエ	芭蕉布句会　俳句の勉強会
29	5	日	美術館講座室	公益社団法人日本愛玩動物協会 沖縄県支所　人と動物の防災を考えよう	64	15	水	エントランスホール	沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK
30	7	火	エントランスホール	『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展 沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK	65	15	水	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　第 9 回卒業・進級展示会
31	7	火	共有講堂	全日本年金者組合沖縄県本部　第 2 回文化祭	66	15	水	共有講堂	㈱サーベイリサーチセンター平成 28 年度　沖縄におけるインバウンドの農林水産物消費及び農泊等の消費実態・農泊等の消費実態
32	7	火	美術館講座室	㈱海邦総研　事業成果報告会及び QTEC によるガイドライン説明会					
33	8	水	エントランスホール	『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展 沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK	67	15	水	博物館講座室	社会保険労務士パァソネル・マネジメント　法改正についての勉強会
34	8	水	博物館講座室	一般財団法人沖縄県建設技術センター　平成 29 年度ゆいくる材の更新申請にかかる説明会	68	15	水	博物館実習室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」（建築家展）
35	8	水	博物館実習室	しまくとぅばプロジェクト 2016「『方言札』世代ぬハナシむぬ語い」					
36	8	水	博物館実習室	那覇市立神原小学校/オリエンテーション	69	15	水	美術館講座室	美ら島財団　会議
37	8	水	美術館講座室	VS コンサルティング合同会社　平成 29 年度税制改正セミナー	70	16	木	エントランスホール	沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK
38	8	水	美術館講座室	盛和塾沖縄　例会	71	16	木	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　第 9 回卒業・進級展示会
39	9	木	エントランスホール	『わたしのサンゴ礁』イメージコンテスト作品展 沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK	72	16	木	博物館実習室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」（建築家展）
40	9	木	博物館講座室	沖縄県/一般社団法人トロピカルテクノプラス おきなわ型グリーンマテリアル生産技術の開発事業 講演会および成果報告会					
					73	16	木	美術館講座室	新日本有限責任監査法人　決算直前セミナー
41	9	木	博物館実習室	那覇市立垣花小学校／オリエンテーション	74	16	木	美術館講座室	関西企業法研究会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
75	17	金	エントランスホール	沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK	105	20	月	県民アトリエ	明治大学田中洋美ゼミナール　田中洋美ゼミナール研究発表会
76	17	金	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　第 9 回卒業・進級展示会	106	22	水	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営　沖縄の人の為の相続対策セミナー
77	17	金	共有講堂	バッカム㈱　3D 空間スキャニングの研究	107	22	水	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター　サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定 2017」
78	17	金	博物館講座室	㈱阪急交通社　トラピックス海外旅行説明会					
79	17	金	博物館講座室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」(沖縄未来塾特別講義)	108	22	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
					109	22	水	美術館講座室	ボランティア勉強会
80	17	金	博物館実習室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」(建築家展)	110	22	水	美術館講座室	美術館　感謝状贈呈式
					111	23	木	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター　サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定 2017」
81	17	金	美術館講座室	㈱阪急交通社　トラピックス海外旅行説明会					
82	17	金	美術館講座室	鹿児島大学法文学部経営情報講座　公開成果報告 島嶼地域の世界自然遺産に関する人文社会科学モデルの構築	112	23	木	美術館講座室	㈱日本デジタル研究所　沖縄出張所　JDL システム説明会
					113	24	金	共有講堂	専門学校 琉球リハビリテーション学院　実習施設指導者会議
83	18	土	エントランスホール	沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK	114	24	金	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター　サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定 2017」
84	18	土	こどもアトリエ	NHK/美術館班　『高校生とつくる「2017 沖縄」写真展』について					
85	18	土	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　第 9 回卒業・進級展示会	115	24	金	博物館実習室	H28 年度文化・芸術支援事業「真喜志勉展アンビバレント」開催記念ワークショップ準備
86	18	土	共有講堂	平成 28 年度　博物館文化講座「琉球国図と地図奉納」	116	24	金	美術館講座室	盛和塾 沖縄　定例会
87	18	土	共有講堂	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」(建築文化講演会)	117	25	土	エントランスホール	H28 年度魅力アップ事業　山元恵一展関連催事『まーちゃんのゆんたくひんたくミュージアム』
					118	25	土	こどもアトリエ	石こう版画の会
88	18	土	博物館講座室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」(卒業作品選奨)	119	25	土	共有講堂	㈱沖縄ヒューマンキャピタル　沖縄県海外短期中期インターナシップ成果発表会
					120	25	土	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター　サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定 2017」
89	18	土	博物館実習室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」(建築家展)	121	25	土	博物館実習室	H28 年度文化・芸術支援事業「真喜志勉展アンビバレント」開催記念ワークショップ『アメリカ世～ナンバー
90	18	土	県民アトリエ	NHK/美術館班　『高校生とつくる「2017 沖縄」写真展』について					
91	18	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会　テレビ「生命の光」を観る	122	26	日	共有講堂	上原明美　スプリングコンサート 2017
92	18	土	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成 28 年度　第 12 回 happ 理事会	123	26	日	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター　サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定 2017」
93	18	土	美術館講座室	UPWOMAN 大学「女性編集長と悩んだ 20 代キャリアから学ぶこれからの働き方と伝える技術」					
94	19	日	エントランスホール	沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK	124	26	日	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
95	19	日	こどもアトリエ	NHK/美術館班　『高校生とつくる「2017 沖縄」写真展』について	125	26	日	美術館講座室	沖縄県眼科医会/琉球大学眼科　第 129 回沖縄眼科集談会
96	19	日	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　第 9 回卒業・進級展示会	126	28	火	博物館講座室	公益社団法人北那覇法人会/北那覇税務署/税理士会　決算法人説明会
97	19	日	共有講堂	文教楽器㈱　BMS アンサンブルコンサート	127	28	火	博物館実習室	ハサミのちから OKINAWA　お子様前髪 カット＆アレンジ教室
98	19	日	博物館講座室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」(こども建築ワークショップ)	128	28	火	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　サンコム沖縄安全衛生協議会
					129	28	火	美術館講座室	㈱リリアン　第三回 沖縄の農業と食育を考えるセミナー～みんなで考えよう沖縄の健康～
99	19	日	博物館実習室	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部「建築の社会性～沖縄の建築・まちづくりのため～」(建築家展)	130	29	水	共有講堂	那覇市教育委員会教育相談課　平成 28 年度教育相談課　芸術鑑賞会
100	19	日	県民アトリエ	NHK/美術館班　『高校生とつくる「2017 沖縄」写真展』について	131	1～31	水	講堂前ホワイエ	博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連　国土地理院　沖縄支所・第十一管区海上保安本部　パネル展
101	19	日	美術館講座室	琉球病院　こども心療科　沖縄県こども心の診療ネットワーク事業講演会			木	講堂前ホワイエ	
102	20	月	エントランスホール	沖縄ストリートア・エキシビジョン BACK TO BACK			金	講堂前ホワイエ	
103	20	月	共有講堂	沖縄県リウマチ薬研究会/ファイザー㈱　市民公開講座　沖縄県関節リウマチセミナー～リウマチに克つ～			土	講堂前ホワイエ	
							日	講堂前ホワイエ	
104	20	月	博物館講座室	首里城公園友の会　首里城文化講演会「現代の火葬骨壷と琉球王の青石厨子」			月	講堂前ホワイエ	
							火	講堂前ホワイエ	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
131	1 ～ 31	水	講　堂　前 ホワイエ	博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連　国土地理院　沖縄支所・第十一管区海上保安本部　パネル展
		木	講　堂　前 ホワイエ	
		金	講　堂　前 ホワイエ	
		土	講　堂　前 ホワイエ	
		日	講　堂　前 ホワイエ	
		月	講　堂　前 ホワイエ	
		火	講　堂　前 ホワイエ	
		水	講　堂　前 ホワイエ	
		木	講　堂　前 ホワイエ	
		金	講　堂　前 ホワイエ	
		土	講　堂　前 ホワイエ	
		日	講　堂　前 ホワイエ	
		月	講　堂　前 ホワイエ	
		火	講　堂　前 ホワイエ	
		水	講　堂　前 ホワイエ	
		木	講　堂　前 ホワイエ	
		金	講　堂　前 ホワイエ	
		土	講　堂　前 ホワイエ	
		日	講　堂　前 ホワイエ	
		月	講　堂　前 ホワイエ	
		火	講　堂　前 ホワイエ	
		水	講　堂　前 ホワイエ	
		木	講　堂　前 ホワイエ	
		金	講　堂　前 ホワイエ	
132	1 ～ 31	水	博　物　館 企画展示室	琉球・沖縄の地図展
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
		月	博　物　館 企画展示室	
		火	博　物　館 企画展示室	
		水	博　物　館 企画展示室	
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
		月	博　物　館 企画展示室	
		火	博　物　館 企画展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
132	1 ～ 31	水	博　物　館 企画展示室	琉球・沖縄の地図展　～時空を超えて沖縄がみえる～
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
		月	博　物　館 企画展示室	
		火	博　物　館 企画展示室	
		水	博　物　館 企画展示室	
		木	博　物　館 企画展示室	
		金	博　物　館 企画展示室	
		土	博　物　館 企画展示室	
		日	博　物　館 企画展示室	
		月	博　物　館 企画展示室	
		火	博　物　館 企画展示室	
133	1 ～ 31	水	博　物　館 特別展示室	琉球・沖縄の地図展　～時空を超えて沖縄がみえる～
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
133	1 ～ 31	水	博　物　館 特別展示室	琉球・沖縄の地図展　～時空を超えて沖縄がみえる～
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
		土	博　物　館 特別展示室	
		日	博　物　館 特別展示室	
		月	博　物　館 特別展示室	
		火	博　物　館 特別展示室	
		水	博　物　館 特別展示室	
		木	博　物　館 特別展示室	
		金	博　物　館 特別展示室	
134	1 ～ 31	水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	山元恵一展
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
134	1 ～ 31	月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	山元恵一展
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ１	
135	1 ～ 31	水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	山元恵一展
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		土	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		日	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		月	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		火	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		水	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		木	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	
		金	美術館企画 ｷﾞｬﾗﾘｰ２	

３．県民ギャラリー貸出件数

No.	使用ギャラリー	開催期間	イベント名	主催者
1	県民ギャラリー１・２・３	４月１日～４月３日	茅原書藝會展	茅原書藝會
2	県民ギャラリー１・２	４月12日～４月17日	カジマヤー・スーパーおばあちゃんの絵画展 當間ヨシ作品展	
3	県民ギャラリー１	４月20日～４月24日	沖縄県立芸術大学大学院造形研究科工芸専修 進級展	沖縄県立芸術大学大学院
4	県民ギャラリー１	４月26日～４月30日	平成27年度　公文大里仲間・那覇真嘉比書写教 室　成果発表会	公文大里仲間・那覇真嘉比書写教室
5	県民ギャラリー１	５月１日	平成27年度　公文大里仲間・那覇真嘉比書写教 室　成果発表会	公文大里仲間・那覇真嘉比書写教室
6	県民ギャラリー１	５月31日	沖縄県真弓書道会　展示準備	沖縄県真弓書道会
7	県民ギャラリー１・２・３	５月10日～５月15日	写真個展集合体フラグメンツ5	光画文化研究所
8	県民ギャラリー１・２・３	５月17日～５月22日	第12回　龍賓曹源書道展	龍賓曹源書道会
9	県民ギャラリー１・２	５月24日～５月29日	第49回書遊会沖縄書道会展	書遊会沖縄書道会
10	県民ギャラリー１	６月１日～６月５日	第19回　沖縄県真弓書道展	沖縄県真弓書道会
11	県民ギャラリー１	６月７日～６月12日	第34回 沖縄広告賞展	沖縄広告協会　制作委員会
12	県民ギャラリー１・２	６月14日～６月19日	ロゼの会　油絵展	ロゼの会
13	県民ギャラリー１	６月24日～６月26日	青島印象撮影展	
14	県民ギャラリー１・２・３	６月28日～６月30日	祈りと出会い展	㈱新樹社
15	県民ギャラリー１・２・３	７月１日～７月３日	祈りと出会い展	㈱新樹社
16	県民ギャラリー２・３	７月16日	市民公開展示会	琉球大学熱帯魚生物圏研究センター
17	県民ギャラリー１・２	７月５日～７月10日	第34回　日本現代美術協会沖縄県支部展	日本現代美術協会　沖縄県支部
18	県民ギャラリー１	７月12日～７月17日	第９回　筆文字あーと展	田場珠翠
19	県民ギャラリー１・２・３	７月23日～７月31日	「りっかりっかフェスタ」	一般社団法人エーシーオー沖縄
20	県民ギャラリー１・２・３	８月２日～８月７日	第25回りゅうぎん紅型デザインコンテスト作 品展	琉球銀行
21	県民ギャラリー１・２・３	８月９日～８月14日	平成28年度第22回沖縄県特別支援学校中学部 総合文化祭	沖縄県特別支援学校中学部文化連枚
22	県民ギャラリー１・２・３	８月16日～８月21日	美術の先生がつくった作品展	美術の先生がつくった作品展実行委員会
23	県民ギャラリー１	８月23日～８月28日	佐川毅彦・毅志絵画展	
24	県民ギャラリー２	８月23日～８月28日	沖縄県禅画協会展	沖縄県禅画協会
25	県民ギャラリー３	８月26日～８月28日	建築模型展	サイテクカレッジ那覇
26	県民ギャラリー３	９月13日～９月15日	アーチスト宣言！！魂の再生と癒やし展	特非）地域福祉保険推進協会　アトリエ太陽
27	県民ギャラリー１・２	９月13日～９月19日	コラージュ・絵画展	奥座悌子
28	県民ギャラリー３	９月 18 日	刈谷牧子　西オーストラリア画家　10 人展	Peter Daridson/The Wild Swan Art Group/
29	県民ギャラリー１・２	９月21日～９月25日	JAGDA沖縄グラフィックデザイン展2016　たの しいデザイン	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会　沖縄地 区
30	県民ギャラリー３	９月22日～９月25日	2016年熊谷和琉裁きもの専門学院「きらめき・ 私たちの作品展」	熊谷和琉裁きもの専門学院
31	県民ギャラリー１・２・３	９月 29 日～９月 30 日	デジタルデザイン展	国際電子ビジネス専門学校
32	県民ギャラリー１・２・３	10月１日～10月２日	デジタルデザイン展	国際電子ビジネス専門学校
33	県民ギャラリー１	10月４日～10月９日	琉球補聴器プレゼンツブルースオズボーン「親 子の写真展」	琉球補聴器/㈱浪漫堂
34	県民ギャラリー２・３	10月４日～10月10日	第13回　創元会沖縄支部展	創元会　沖縄支部
35	県民ギャラリー１・２	10月12日～10月16日	第5回大倫書道展	大倫書道会
36	県民ギャラリー３	10月15日～10月16日	デジタルクリエイター科　作品展	那覇情報システム専門学校
37	県民ギャラリー１・２・３	10月18日～10月23日	希望のカタチ展７	医療法人博寿会もとぶ記念病院

No.	使用ギャラリー	開催期間	イベント名	主催者
38	県民ギャラリー１	10月25日～10月30日	鏡像の祖国-アルゼンチンの日系人たち（第6回世界のウチナーンチュ大会連携イベント）	田島さゆり
39	県民ギャラリー２・３	10月25日～10月30日	第９回　Photo is Art is heat 展	チームPA
40	県民ギャラリー１・２・３	11月１日～11月６日	第39回　沖縄県工芸公募展	沖縄県商工労働部ものづくり振興課
41	県民ギャラリー１・２・３	11月８日～11月20日	第45回　沖縄県芸術文化祭	公益財団法人沖縄県文化振興会
42	県民ギャラリー１・２・３	11月22日～11月27日	第12回こころの芸術・文化フェスティバル	公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会
43	県民ギャラリー１・２・３	12月１日～12月４日	My piece　Art project　「小さな絵本展」-Vol.7-	
44	県民ギャラリー１・２・３	12月６日～12月11日	第27回　沖美連展+立体作家招待展	一般財団法人沖縄県美術家連盟
45	県民ギャラリー１・２	12月15日～12月18日	第61回家田早苗OPEN　HOUSEパッチワーク・キルト展　進化したミシンパッチワーク	OPEN　HOUSE
46	県民ギャラリー３	12月13日～12月18日	シャイヤステ　ファロック　個展	シャイヤステ　ファロック
47	県民ギャラリー１・２・３	12月20日～12月25日	沖縄・ベトナム「子どもたちが見た戦争と平和」絵画展	沖縄・ベトナム「子どもたちが見た戦争と平和」絵画展実行委員会
48	県民ギャラリー１・２・３	１月６日～１月８日	平成28年度JA共済全国小・中学生書道交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部
49	県民ギャラリー１・２	１月11日～１月15日	第23回　グループＰ展	グループP/東恩納直樹
50	県民ギャラリー３	１月11日～１月15日	「沖縄らいい風景づくり」パネル展	沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課/丸正印刷㈱
51	県民ギャラリー１・２・３	１月17日～１月22日	沖縄食文化保全普及・継承事業	㈱宣伝/沖縄県文化振興課
52	県民ギャラリー１・２・３	１月26日～１月29日	第16回沖縄県立小禄高等学校　芸術教養コース　発表会	沖縄県立小禄高等学校　芸術教養コース
53	県民ギャラリー２	２月１日～２月５日	平成28年度 KUKURI 成果展	琉球絣事業協同組合
54	県民ギャラリー１	２月３日～２月５日	ＩＤＡ高等課程展	学校法人　ＫＢＣ学園　専修学校インターナショナルデザインアカデミー高等課程
55	県民ギャラリー１・２	２月７日～２月12日	設立40周年記念琉球びんがた組合展	琉球びんがた事業協同組合/アドスタッフ博報堂
56	県民ギャラリー３	２月７日～２月12日	第55回「全沖縄児童生徒書き初め展	琉球新報社/沖縄県書写書道教育研究会
57	県民ギャラリー１・２・３	２月14日～２月19日	第28回卒業・修了作品展	沖縄県立芸術大学
58	県民ギャラリー１・２・３	２月25日～２月26日	YEAH! AMICUSCLUB～1stAmval Joint Exhition～	学校法人アミークス国際学園
59	県民ギャラリー１	２月28日	モザイク・フォトマンダラ展「岩橋格の世界」	岩橋格/なごみデザイン研究所
60	県民ギャラリー２・３	２月28日	沖縄ガイア押し花　展示準備	
61	県民ギャラリー１	３月１日～３月５日	モザイク・フォトマンダラ展「岩橋格の世界」	岩橋格/なごみデザイン研究所
62	県民ギャラリー２・３	３月１日～３月５日	押し花＆グラスアート合同作品展	沖縄ガイア押花会/グラスアート倶楽部ガイア
63	県民ギャラリー１・２	３月７日～３月12日	沖美連　新春展	一般社団法人沖縄県美術家連盟
64	県民ギャラリー３	３月７日～３月12日	美術館　ワークショップ修了作品展	沖縄県立博物館・美術館
65	県民ギャラリー１・２・３	３月14日～３月19日	第９回卒業・進級展示会	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校
66	県民ギャラリー１・２	３月22日～３月26日	沖縄県立芸術大学15期　結展　Vol.8	
67	県民ギャラリー３	３月26日	第５回沖縄マシーネンクリーガー作品展示会	沖縄マシーネンクリーガー作品展示会実行委員会

博 物 館

Ⅰ　調査研究等の活動
Ⅱ　展示活動
Ⅲ　教育普及活動
Ⅳ　資料収集・保存管理

Ⅰ.　調査研究等の活動

１．調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という４つの大きな柱によって構成されている。これらは互いに相互に関連しているが、調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。当館における調査研究活動は、全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、他機関との共同研究、学芸員それぞれによる個別の調査研究がある。

総合調査では、各島において自然、歴史、民俗、考古、美術工芸、建築の基礎資料の掘り起こしと収集を行ってきた。久米島（1993・1994年度）を皮切りに、波照間島（1996・1997年度）、西表島（1998～2000年度）、小浜島（2001～2003年度）、与那国島（2004～2008年度）、竹富島（2009～2011年度）で調査を行った。2012～2015年度は鳩間島・新城島・黒島での調査を完了し、各報告書を刊行した。2016年からは2019年度までの、伊是名・伊平屋の調査を実施した。

また、共同研究事業としては、国立科学博物館、東京大学と共同で、南城市玉城のハナンダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を調査対象とした。2012年度から沖縄振興特別推進交付金対象事業（一括交付金）「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本調査を実施している。これまで９千年前以前のものと考えられる人骨や世界最古級（２万３千年前）の釣針が発見されたほか先史時代の貝器などが出土し、全国や世界的にも注目される貴重な成果が得られた。今年度は、これまでの事業総括の特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開－』（11月15日～１月15日）を当館で開催した。また、一括交付金を活用した「琉球王国文化遺産集積・再興事業」の製作委託業務を開始し、王国ブランティングの有形無形の遺産を創出し、国内で唯一の王国文化を有した本県の文化観光の魅力を発信した。さらに、３万３千話の県内各地域の民話テープの寄贈をうけて、無形遺産の収集、保存と活用をめざし優良民話の動画コンテンツ製作や配信し、沖縄の多様な言語文化や伝承文学を紹介する契機とするため「デジタルミュージアム推進事業」を５カ年計画で実施した。

学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形でも生かされている。

2016年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は以下のとおりである。

（園原　謙）

２．博物館総合調査－伊是名・伊平屋島総合調査－

総合調査事業は県内離島の自然・歴史・文化について、博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島、鳩間島、新城島、黒島についておもに現地調査をおこない、それらの成果とともに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2016年度からは３年計画で伊是名島、伊平屋島の調査を行っている。2018年度末に同調査の報告書を刊行する予定である。

【組織】

本調査組織は博物館班の学芸員(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)によって構成されるが、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマにそったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集（借用の可能性）や撮影にも努めている。

【平成28年度調査実績】

石垣　　忍（博物館班　主任学芸員）	2016年８月２～４日（伊平屋島）
崎原　恭子（博物館班　主　　任）	2016年８月２～４日（伊平屋島）
三枝　大悟（博物館班　学芸員補助）	2016年８月２～４日（伊平屋島）
山﨑　仁也（博物館班　主任学芸員）	2016年11月21～24日（伊是名島）
横田　昌嗣（琉球大学教授　調査員）	2016年11月21～24日（伊是名島）
阿部　篤志（美ら島財団研究センター　調査員）	2016年11月21～24日（伊是名島）
山崎　真治（博物館班　主　　任）	2016年12月12～14日（伊平屋島）
宇佐美　賢（博物館班　主任学芸員）	2017年１月31～２月２日（伊平屋島）
宮城　宏之（博物館ボランティア　調査員）	2017年１月31～２月２日（伊平屋島）
與那嶺一子（博物館班　主任学芸員）	2017年２月16～18日（伊平屋島）

外間　一先（博物館班　主任学芸員）		2017年３月７～９日（伊平屋島）
山﨑　仁也（博物館班　主任学芸員）		2017年３月８～11日（伊是名島）
松村　雅史（博物館ボランティア　調査員）		2017年３月８～11日（伊是名島）
寺田　仁志（鹿児島県立博物館　調査員）		2017年３月８～11日（伊是名島）
園原　　謙（博物館班　班　　長）		2017年３月27～29日（伊平屋島）

（山﨑　仁也）

３．調査研究事業（「一括交付金」活用事業）

○琉球王国文化遺産集積再興事業

戦後70年余を経て、戦災により失った王国時代から相伝の８分野のティーワジャ（手わざ）など国家の威信をかけたものづくりの精緻で至高の技の世界を現代に蘇らせ、また、世界に誇る沖縄の手わざの力を、モノを通して内外へ発信し、県民のより一層の文化力を発信し、琉球王国文化をブランドとした文化観光拠点として沖縄をアピールする事業で、平成27年度～33年度までの７カ年計画。本事業は大きく二つのプロセスに分かれる。実施設計（27年度）、王国文化遺産の再興による模造・復元品製作（28～31年度）と王国文化遺産集積による発信（31～33年度）。



聞得大君御殿雲龍黄金簪

平成28年度に製作業務の初年度につき、受託業者をプロポーザル審査により決定。一般財団沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体が採択され、模造復元製作業務が開始された。初年度は、８分野（絵画、木彫、石彫、漆芸、染織、陶芸、金工、三線）65件のうち55件の製作を開始し、７件【染織分野（赤地五色浮織冠、赤地冠（縮緬）、緑冠、白地流水菖蒲蝶文様紅型型紙）、金工分野（聞得大君御殿雲龍黄金簪、三御飾（美御前御揃）の八角銀鋺、托付銀鋺）】が完成した。



赤地五色浮織冠

模造復元にあたっては、分野ごとに３人の監修者（合計24人）を委嘱し、各製作工程の中で、詳細な模造復元の仕様書の確認や、試作を繰り返した。

その製作に当たっては、国宝や県指定文化財をはじめとする類似資料の熟覧調査や非破壊による科学分析調査を繰り返し、製作を行うことを前提するため、新たな知見を数多く得ることができた。



白地流水菖蒲蝶文様紅型型紙

○デジタルミュージアム推進事業

伝承話や伝統工芸の技術などの無形遺産は、長い歴史のなかで地域ごとに多様に育まれてきたものである。それらは、地域の歴史を物語る重要な要素であり、祖先から受け継がれてきた豊かな文化であり、県民のアイデンティティを形成するものである。しかしながら、沖縄での民話の伝承は、戦争により多くの伝承者を失い、日本語（共通語）励行や生活習慣の画一化によって急速に失われてきた。

故遠藤庄治氏とその協力者たちが、1970年代から沖縄各地をめぐり、収集してきた７万３千件の民話の音源は、生きたしまくとぅばで語られた貴重な無形の財産であり、それらを未来へ受け継ぎ、普及することが本事業の目的である。

本事業では、この音源のうち協力機関によってデジタル化され、寄贈された３万３千件を整理し、当館が構築するデジタル収蔵庫で体系的に管理し、将来へ受け継いでいく。それとともに動画コンテンツを制作し、その音源の積極的な普及啓発を目指し、沖縄の多様な伝承話の世界を通して、県民の言語文化の復興と振興を促すものである。

平成28年度は収集、調査研究事業及びコンテンツ開発事前調査（80話の選定）、平成29年度からコンテンツ開発（民話動画制作）、平成30年度～32年度はコンテンツの公開・発信を行う計画である。

４．調査・研究・講演・著作論文等

園原　　謙（博物館班班長）

○調査・研究等

・展示会関係：展示資料の調査（依頼：第６回世界のウチナーンチュ大会事務局）（米国ハワイ）（2016年５月24日～28日）

・琉球王国文化遺産集積・再考事業調査：木彫（仁王像）の残欠の運搬立会、型取り作業の調整（名古屋

市、京都市）（2016年７月12日～15日）
・琉球王国文化遺産集積・再考事業調査：第１回絵画部会監修者会議参加のため（東京芸術大学大学）（2016年７月20日～21日）
・琉球王国文化遺産集積・再考事業調査：木彫部会長の仁王像調査、金工部会の製作工程の調査（石川県珠洲市、京都市）（2016年９月14日～16日）
・九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会：平成28年度第46回九州博物館協議会秋季研修会（福岡県福岡市）（2016年11月10日～11日）
・移動展IN座間味島：村ふれあい改善センター（座間味島）（2016年12月15日～16日）
・琉球王国文化遺産集積・再考事業調査：第２回絵画部会監修者会議参加のため（東京芸術大学大学）（2016年12月22日～23日）
・琉球王国文化遺産集積・再考事業調査：第２回木彫部会監修者会議、製作工程の確認（名古屋市）（2017年１月11日～12日）
・琉球王国文化遺産集積・再考事業調査：ハワイ大学宝玲文庫の調査、平成32年度予定の成果展の会場調査（米国ハワイ、サンフランシスコ、シアトル）（2017年１月16日～24日）
・琉球王国文化遺産集積・再考事業調査：第３回監修者会議及び資料調査等（東京芸術大学大学）（2017年３月15日～16日）
・総合調査：伊平屋島所在の三線調査等（伊平屋島）（2017年３月27日～29日）

○講演・学会発表等
・名　　称：学芸員講座「ウチナーンチュは博物館をいかに創ってきたかー戦後とともに歩んだ博物館70年のあゆみをふりかえるー」
　期　　日：2016年11月５日
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：「海外への三線文化の伝播について」
　期　　日：2016年11月６日
　場　　所：沖縄県立博物館・美術館　３階講堂
　依頼機関：第６回世界のウチナーンチュ大会事務局
・名　　称：2016年度上智大学研究機構フェスティバル「歴史的体験を遺産にかえて：マニラ・プノンペン・沖縄」
　期　　日：2016年11月13日
　場　　所：上智大学四ッ谷キャンパス（東京都千代田区紀尾井町７－11）
　依頼機関：上智大学アジア文化研究所館

○著作論文等
・「琉球・沖縄の三線－「ウトゥイムチ（おもてなし）体現の器」文化遺産の世界　2016年10月
・「戦後（1945－1953）の沖縄の博物館づくりー資料収集はいかに行われたかー」『資料がつなぐ大学と博物館』　吉川弘文館　2017年３月
・「沖縄県所在の陶芸作品に用いられている青色顔料の分析」（共著：早川泰弘・外間一先・上江洲安亨）『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月

與那嶺一子（主任学芸員　美術工芸）

○調査・研究等
・模造復元に係る絣織物調査（那覇市歴史博物館）（2016年６月６日）
・米国の博物館調査（スミソニアン自然史博物館）（2016年６月11日）
・模造復元に係る染織品調査（2016年８月１日／10日／19日）
・模造復元に係る冠勉強会（一般財団法人　沖縄美ら島財団事務所）（2016年９月５日）
・模造復元にかかる型紙調査（沖縄県立芸術大学）（2016年９月５日）
・米国の博物館調査（ナショナルギャラリー）（2016年10月９日）
・模造復元に係る花織調査（日本民藝館コレクションを当館にて）（2016年10月17日）
・模造復元に係る冠勉強会（2016年10月26日）
・琉球コレクションの調査（スミソニアン：サポートセンター）（2016年11月４日）
・模造復元に係る紅型勉強会（2016年11月11日）
・模造製作に係る縫衣裳及び絹布の勉強会（2016年11月22日）
・模造復元に係る染織品調査（久米島博物館）（2016年12月１日）
・模造復元に係る紅型調査（那覇市歴史博物館）（2016年12月21日）
・模造復元に係る染織品調査（日本民藝館）（2017年１月12日）
・「染織品の展示と修復」研究会（京都国立博物館）（2017年１月23日）
・総合調査（伊平屋島）（2017年２月16日～18日）

○講演・学会発表等
・名　　称：学芸員講座「田中俊雄と“沖縄織物の研究”」
　期　　日：2016年６月４日
・名　　称：The Appeal of *Bingata*
　期　　日：2016年11月５日
　場　　所：ジョージ・ワシントン大学、ジャックモートン講堂（ワシントンDC）
○著作論文等
・「The Smithsonian Institution’s Museum Support Centre (MSC)における1887年所収の琉球コレクション」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月
・“The History and Technique of Bingata”　“BINGATA! Only in Okinawa” Okinawa Prefectural Government　2016
・「第七章　ノロの衣裳と祭具」（共著：與那嶺一子・稲福政斉）『ノロ－沖縄県北中城村「島袋のろ殿内資料」を通して－』北中城村教育委員会　2017年３月

外間　一先（主任学芸員　美術工芸）
○調査・研究等
・第６回世界のウチナーンチュ大会関連：特別企画移民資料展「與那嶺・福田コレクション調査」（米国ハワイ州）（2016年５月24日～28日／６月20日～25日）
・企画展「沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄－」関連：「壺屋陶器事業協同組合調査」（那覇市壺屋）（2016年８月18日～19日）
・同企画展関連：「坂本万七写真と現代の糸満市調査」（糸満市）（2016年９月５日）
・同企画展関連：「新垣家住宅（国指定重要文化財）調査」（那覇市壺屋）（2016年９月６日）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業：「沖縄県立博物館・美術館所蔵　琉球絵画資料の蛍光エックス線分析調査」（沖縄県立博物館・美術館写真撮影室）（2016年11月16日～17日／11月30日～12月３日）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業：「陶器の模造復元について」（読谷村やちむんの里）（2016年９月～2017年２月）
○講演・学会発表等
・名　　称：博物館学芸員教室「漆喰シーサーをつくろう」
　期　　日：2016年７月29日
・名　　称：平成28年度首里城講座「沖縄県立博物館所蔵の琉球王国の陶磁器について」
　期　　日：2016年８月12日
　依頼機関：一般財団法人沖縄美ら島財団
・名　　称：出前授業「沖縄の美術・工芸について」
　期　　日：2016年９月７日
　依頼機関：沖縄県立球陽高等学校
・名　　称：日本民藝館友の会「坂本万七写真が捉えた昭和10年代の沖縄と現代」
　期　　日：2016年９月24～25日
　依頼機関：公益財団法人日本民藝館
・名　　称：学芸員講座「時空を越えて　柳宗悦と昭和10年代の沖縄」
　期　　間：2016年10月１日
・名　　称：「琉球の雅　漆　～いま・むかし～」漆器の保存修復について
　期　　日：2016年10月15日
　依頼機関：沖縄科学技術大学院大学（OIST）
○著作論文等
・図録「沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄－」『小さな島の大きな仕事』　沖縄県立博物館・美術館2016年９月21日
・書評「柳宗悦著、松井健解題『芭蕉布物語』」　沖縄タイムス　2016年11月26日
・展評「壺屋時代の金城次郎展」壺屋焼物博物館　琉球新報　2017年１月19日
・「沖縄県所在の陶芸作品に用いられている青色顔料の分析」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月

大湾ゆかり（主任学芸員　民俗）
○調査・研究等
・与那国町歴史文化交流資料館（仮称）の資料保存及び展示指導（2016年５月12日～13日）
・糸満ハーレーの調査（糸満市）（2016年６月８日）
・石垣市登野城の豊年祭調査（石垣市）（2016年７月30日～31日）

・「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」の東北地方調査・情報収集（東京都、宮城県、福島県）（2016年８月31日～９月３日）
・項氏砂辺家の墓調査（那覇市）（2016年10月12日・11月25日）
・上米次腹門中のジョーアキー調査（糸満市）（2016年10月20日）
・染織品の色材調査（岡山市）（2016年11月３日～５日）
・安次嶺家墓調査（那覇市）（2016年12月３日）
・南山王墓視察（糸満市）（2016年12月６日）
・下茂・茂太腹門中香盆調査（糸満市）（2016年12月11日）
・東京文化財研究所主催保存と活用のための展示研究会参加及びたばこと塩の博物館視察（東京都）（2017年２月19日～20日）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業発信業務にかかる米国の博物館施設調査（ホノルル市、サンフランシスコ市、シアトル市）（2017年１月16日～24日）

○講演・学会発表等
・名　　称：博物館学芸員講座「沖縄の民話－寄贈テープの保存と活用について－」
　期　　日：2016年４月９日
・名　　称：有形文化財保存に関する研修会「博物館の収蔵資料の保存管理について」
　期　　日：2016年５月12日
　場　　所：与那国町祖内区公民館
・名　　称：夏休み！博物館学芸員教室「ハブグヮーをつくろう！」
　期　　日：2016年７月28日

○著作論文等
・「那覇市の古墓調査―與那嶺家の墓と蔵骨器について―」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第10号　2017年３月

山﨑　仁也（主任学芸員　生物）

○調査・研究等
・オカガニ産卵降海調査（瀬長島）（５月～11月・満月前後４日間・日没～２時間）
・H28年度総合調査：伊是名島のフロラ・ファウナ（伊是名島）（2016年11月／2017年３月）
・H29年度企画展：「ウィルソンが見た沖縄」企画調査（アメリカ・ボストン　ハーバード大学ハーバリウム）（2016年10月３日～10日）
・H29年度企画展：「ウィルソンが見た沖縄」企画調査（高知県　県立牧野植物園）（2017年１月22日～25日）
・H29年度企画展：「ウィルソンが見た沖縄」企画調査（鹿児島県　屋久島）（2017年３月２日～４日）

○講演・学会発表等
・名　　称：企画展関連催事・サイエンスカフェ講演「大人の実験談義」　一般20名
　期　　日：2016年７月18日
・名　　称：体験学習教室「昆虫標本づくり」　小・中学生20名
　期　　日：2016年７月23日・24日・８月20日
　場　　所：博物館実習室
・名　　称：夏休み学芸員教室「レインボーゾウリムシをつくろう！」　小・中学生20名
　期　　日：2016年７月27日
　場　　所：博物館実習室
・名　　称：企画展関連催事・サンゴ礁の生きもの観察　室内から野外へ　小学校４年生～中学生20名
　期　　日：2017年８月６日
・名　　称：企画展関連催事・「ガニガニ教室　ヤシガニ＆オカガニ」　小学生以上20名
　期　　日：2016年８月７日
・名　　称：企画展関連催事・連続講座　「カエルの解剖と骨格標本づくり」　小学生４年生～中学生16名
　期　　日：2016年８月11日・13日・14日
・名　　称：博物館学芸員講座「実験とは何か？」　一般30名
　期　　日：2016年８月27日
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：出前授業・向陽高校「目からウロコ！沖縄の海の生物の生態研究について（および学芸員の仕事）」　１年生80名
　期　　日：2016年９月16日
　場　　所：向陽高等学校

・名　　称：出前授業・岐阜県立多治見北高校「沖縄の自然と修学旅行の行程で見るべき視点」　１、２年生800名
期　　日：2016年10月25日
場　　所：多治見北高等学校
・名　　称：日本陸水学会公開シンポジウム　実践報告「瀬長島の環境とオカガニの生態」　一般80名
期　　日：2016年11月３日
・名　　称：座間味移動展関連催事　「夜の海岸観察会」　小学生以上25名
期　　日：2016年12月16日
・名　　称：出前授業・慶留間小・中学校「①沖縄の自然を知ろう！②島の生き物を調べよう！」　全校生徒16名
期　　日：2016年12月16日
場　　所：慶留間島
・名　　称：出前授業・コザ高校定時制「①沖縄の自然を知ろう！②ウミホタルを調べよう！」　生物基礎選択20名
期　　日：2017年１月26日
場　　所：コザ高等学校

○著作論文等
・「瀬長島におけるオカガニ*Discoplax hirtipes*　の産卵生態　その4」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月

石垣　　忍（主任学芸員　歴史：近現代）
○講演・学会発表等
・名　　称：博物館学芸員教室「印じゃな～い？」
期　　日：2016年７月26日
・名　　称：博物館学芸員講座「時空を超えてTUNAGARU－MAP　～「琉球・沖縄の地図展」関連催事　過去から未来への地図のあり方～」
期　　日：2017年２月４日

○著作論文等
・「時空を超えてツナガルマップについて」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月

宇佐美　賢（主任学芸員　地学）
○調査・研究等
・学芸員講座ジオツアー下見調査（宜野座村）（2016年４月７日）
・地質・地形調査（石垣島）（2016年５月25日）
・地質・地形調査（金武町）（2016年６月４日）
・虫菌害・保存対策研修会（東京）（2016年６月15日～17日）
・地質・地形調査（糸満市）（2016年７月２日）
・岩石・化石標本調査：九州大学資料調査（沖縄島本部半島・伊平屋島・伊是名島）（2016年８月１日～２日）
・地質・地形調査（読谷村・恩納村・NICT沖縄電磁波技術センター）（2016年８月８日）
・地質・地形調査（嘉手納町・読谷村）（2016年９月１日）
・地質・地形調査（沖縄市泡瀬）（2016年10月19日）
・地質・地形調査（座間味村）（2016年10月26日～28日）
・地質・ハロビア化石・アンモナイト化石調査（本部町・今帰仁村）（2016年11月17日）
・移動展ジオツアー下見（座間味村）（2016年12月１日）
・総合調査（伊平屋島）（2017年１月31日～２月２日）
・全国科学博物館協議会理事会・総会及び研究発表大会（京都）（2017年２月16日～18日）
・地質・地形：名護市嘉陽層調査（名護市）（2017年２月28日）
・第四紀更新世動物化石及び展示会に係る資料調査（関東）（2017年３月６日～９日）
・地質・地質調査（宮古島）（2017年３月22日）

○講演・学会発表等
・名　　称：カガクジカン（わくわく博物館ツアー：常設展示自然史部門・自然史収蔵庫解説）
期　　日：2016年４月24日
・名　　称：学芸員講座「宜野座村ジオツアー」
期　　日：2016年５月７日

場　　所：宜野座村
・名　　称：ボランティア養成講座（IPM研修）
期　　日：2016年５月14日
・名　　称：夏休み　博物館学芸員教室「砂の中から宝を探せ」
期　　日：2016年７月27日
・名　　称：常設展示室展示解説会
期　　日：2016年８月11日
・名　　称：ふれあい体験室ワークショップ星空観察会１
期　　日：2016年10月８日
・名　　称：沖縄県立コザ高等学校出前授業
期　　日：2016年10月20日
場　　所：沖縄市
・名　　称：ふれあい体験室ワークショップ星空観察会２
期　　日：2016年11月５日
・名　　称：ふれあい体験室ワークショップ星空観察会３
期　　日：2016年12月3日
・名　　称：移動展in座間味村におけるジオツアー
期　　日：2016年12月17日
場　　所：座間味島
・名　　称：バックヤードツアー
期　　日：2016年12月24日

○著作論文
・「阿嘉島の地質とジオツアー」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月

藤田　祐樹（主任　人類）

○調査・研究等
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る研究調査（フランス・パリ）（2016年７月３日～11日）
・ウィルソン展に係る資料調査（アメリカ・ボストン）（2016年10月３日～10日）
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る資料借用（奄美大島・喜界島）（2016年10月25日～28日）
・浜北根堅遺跡調査（静岡県）（2016年12月26日～29日）

○講演・学会発表等
・名　　称：第四紀学会ジオパーク公開シンポジウム「沖縄県における旧石器時代遺跡調査とその活用」
期　　日：2016年６月19日
・名　　称：ミュージアム・キッズ・フェア in 仙台
期　　日：2016年６月24日～27日
場　　所：仙台
・名　　称：第70回日本人類学会大会「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡Ⅱ区より出土した埋葬人骨について」
期　　日：2016年10月８日～10日
場　　所：新潟総合学園（NSG）学生総合プラザSTEP
・名　　称：博物館学芸員講座「サキタリ洞むかしばなし（秋）」
期　　日：2016年12月３日

○著作論文等
・Masaki FUJITA, Shinji YAMASAKI, Chiaki KATAGIRI, Itsuro OSHIRO, Katsuhiro SANO, Taiji KUROZUMI, Hhiroshi SUGAWARA, Dai KUNIKITA, Hiroyuki MATSUZAKI, Akihiko KANO, Tomoyo OKUMURA, Tomomi SONE, Hikaru FUJITA, Satoshi KOBAYASHI, Tohru NARUSE, Megumi KONDO, Shuji MATSU'URA, Gen SUWA, Yousuke KAIFU. (2016) Advanced maritime adaptation in the western Pacific coastal region extends back to 35,000-30,000 years before present. Proceedings of the National Academy of Sciences 113.40: 11184-11189.
・連載コラム「旧石器人研究最前線17～18　驚きのサキタリ洞」琉球新報　2016年10月12日～14日
・「リュウキュウジカと旧石器人」『港川人の時代とその後～琉球弧をめぐる人類史の起源』沖縄県立博物館・美術館　2016年11月
・「平安山原Ａ遺跡出土人骨について」『平安山原Ａ遺跡－桑江伊平筑区画整理事業に伴う発掘調査事業（平成19・21・22・23年度）』北谷町文化財調査報告書第38集　2016年３月
・「伊礼原Ｄ遺跡２号、３号、５号土壙墓より出土した人骨について」『伊礼原Ｄ遺跡：平安山原Ａ遺跡－桑江伊平地区原状回復事業に伴う発掘調査事業（平成18年度）』北谷町文化財調査報告書　第41集　2017年３月

・「タウワインミアブにて採取した動物骨の概要」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月

片桐　千亜紀（主任学芸員　考古）

◯調査研究等

・３万年前の航海徹底再現プロジェクト研究会（東京）（2016年６月10日～12日）
依頼機関：国立科学博物館
・ロベルトソン号海底調査（宮古島）（2016年６月22日～26日）
依頼機関：南西諸島水中文化遺産研究会
・白保竿根田原洞穴遺跡発掘調査（石垣島）（2016年６月29日～７月２日）
依頼機関：国立科学博物館
・シチリア及びマルタ水中文化遺産保護活動調査（イタリア共和国シチリア州及びマルタ共和国）（2016年７月14日～26日）
依頼機関：南西諸島水中文化遺産研究会
・スラウェシ島崖葬墓調査（インドネシア共和国スラウェシ島）（2016年８月５日～22日及び３月10日～18日）
依頼機関：東海大学
・エルトゥールル号調査（和歌山県串本）（2016年９月21日～23日）
依頼機関：南西諸島水中文化遺産研究会
・与那国海底調査（与那国町）（2016年10月14日～16日）
依頼機関：九州大学
・屋良部沖海底遺跡調査（石垣島）（2016年10月30日～11月２日）
依頼機関：東海大学
・ファン・ボッセ号海底調査（多良間村）（2016年11月13日～18日）
依頼機関：多良間村教育委員会
・徳之島水中文化遺産調査（鹿児島県伊仙町）（2017年１月28日～２月１日）
依頼機関：伊仙町教育委員会
・淀川流域水中文化遺産調査（大阪府）（2017年２月17日～20日）
依頼機関：NPO法人水中考古学研究所

◯講演・学会発表等

・名　　称：学芸員講座「台湾原住民ブヌン族の骨考古学的調査－歯に刻まれた生き様－」
期　　日：2016年７月９日
場　　所：博物館講座室
・名　　称：The hands-on learning room to disseminate” Okinawa
期　　日：2016年８月28日～９月１日
学 会 名：世界考古学会議
会　　場：京都府・同志社大学
・名　　称：Development of Regional Maritime Networks during the Early Metal Ages in Northern Maluku Islands: -A view from burial practice, glass ornaments and potteries（小野林太郎他と連名）
期　　日：2016年８月28日～９月１日
学 会 名：世界考古学会議
場　　所：京都府・同志社大学
・名　　称：インドネシア・アルマナラ岩陰遺跡出土人骨からみた葬墓制（小野林太郎・竹中正巳・アディ・アグス・オクタヴィアナとの連名）
期　　日：2016年10月７日～11日
学 会 名：日本人類学会
場　　所：新潟県・新潟医療福祉大学
・名　　称：古人骨の歯から探る先人達の生き様
期　　日：2016年10月27日
講 演 会：歯立会
・名　　称：沖縄旧石器人のチャレンジ-３万年前の航海徹底再現プロジェクト-
期　　日：2016年10月29日
講 演 会：海洋博公園40周年記念（第６回世界のウチナーンチュ大会連携イベント）海洋文化シンポジウム　太平洋を越えた人類のグレートジャーニー
場　　所：海洋文化館

・名　　称：Researches on the wreck sites and sea routes of the ships in the Ryukyu Archipelago
（小野林太郎・中西裕美子・宮城弘樹との連名）
期　　日：2016年11月28日～２日
学 会 名：Sixth International Congress on Underwater Archaeology(IKUWA6)
場　　所：西オーストラリア海事博物館
・名　　称：琉球列島における沈没船遺跡と船の航路に関する研究
期　　日：2017年１月21・22日
研 究 会：「浅海底フロンティア研究センター」キックオフミーティングおよび研究集会
会　　場：九州大学伊都キャンパス

○著作論文等

・『Underwater Archaeology of the Bretish Shipwecks in Okinawa.』（中西裕美子・宮城弘樹・渡辺美季との共著）　2016年９月
・「沖縄県立博物館・美術館（平成26年度）水中文化遺産－海に沈んだ歴史のカケラ」『月刊文化財』　2016年７月
・「インドネシア・スラウェシ島に崖葬墓文化を求めて」『廣友会誌』第９号　2016年９月
・「シチリアにおける水中文化遺産の保護と公開活用の展開」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月（中西裕美子、セバスチャーノ・ツサ、フロリアーナ・アニェット、ピエトロ・セルヴァッジョとの共著）
・「第３章第２節３崖葬墓」『白保竿根田原洞穴遺跡-重要遺跡範囲確認調査報告書２-総括報告編』沖縄県立埋蔵文化財センター　2017年３月

山崎　真治（主任　人類）

○調査・研究等

・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る調査研究（徳之島）（2016年５月14日～16日）
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る情報発信（考古学協会第82回研究発表会・東京学芸大学）（2016年５月27日～29日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料調査（種子島）（2016年６月１日～５日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料調査（佐賀市教育委員会）（2016年６月23日～25日）
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る調査研究（フランス）（2016年７月３日～11日）
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る情報発信（世界考古学者会議・WAC８・京都）（2016年９月１日～３日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料調査（宮崎県立西都原考古博物館）（2016年９月５日～７日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料調査（国頭村教育委員会）（2016年９月14日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料借用（佐賀市教育委員会・佐賀県立名護屋城博物館）（2016年10月17日～20日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料借用（鹿児島県立埋蔵文化財センター）（2016年10月23日～28日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料借用（明治大学博物館）（2016年11月１日～２日）
・総合調査事業に係る調査研究（伊平屋村）（2016年12月12日～14日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料返却（奄美博物館・喜界町埋蔵文化財センター）（2017年１月25日～27日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料返却（福岡市立博物館・九州歴史資料館・佐賀市教育委員会・佐賀県立名護屋城博物館）（2017年１月29日～２月１日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料返却（鹿児島県立埋蔵文化財センター・宮崎県立西都原考古博物館）（2017年２月５日～11日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料返却（種子島）（2017年２月13日～16日）
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る情報発信（依頼出張）（仙台市地底の森ミュージアム）（2017年３月２日～５日）
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る調査研究（徳之島）（2017年３月15日～18日）
・特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」に係る資料返却（愛媛県・久万

高原町）（2017年２月21日～23日）
・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る調整等（大阪府立弥生文化博物館）（2017年３月28日）
○講演・学会発表等
・名　　称：「沖縄における旧石器・縄文移行期の洞穴遺跡と人骨の産状について」日本考古学協会第82回総会
期　　日：2016年５月29日
場　　所：東京学芸大学（東京）
・名　　称：An archaeological research of Palaeolithic-Jomon transition at Sakitari-do cave site, Okinawa.　(8th World Archaeology Congress in Kyoto)
期　　日：2016年９月２日
場　　所：同志社大学（京都）
・名　　称：「南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査」（浦添市音訳ボランティア定例会）
期　　日：2016年６月27日
場　　所：浦添市社会福祉センター
・名　　称：「南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査」（志林川老人クラブ定例会）
期　　日：2016年７月15日
場　　所：うるま市志林川公民館
・名　　称：「港川人の時代を掘る」向陽高校野外学習会事前学習会
期　　日：2016年11月22日
場　　所：向陽高等学校
・名　　称：「『南回りルート』における近年の新たな発見－琉球弧の旧石器人とその文化－」（特別展関連ミニシンポ「列島西端の旧石器文化と人類の来た道を考える」）
期　　日：2016年11月４日
・名　　称：特別展関連シンポジウム「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」
期　　日：2016年12月17日
・名　　称：学芸員講座「沖縄の貝器文化と西太平洋の先史・民族文化」
期　　日：2017年１月7日
・名　　称：「後期旧石器時代のひとびと－沖縄最新発掘情報」
期　　日：2017年３月４日
場　　所：仙台市地底の森ミュージアム
・名　　称：「南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査」（我謝字誌編集委員会）
期　　日：2017年３月13日
場　　所：西原町我謝公民館
○著作論文等
・博物館特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開』図録　沖縄県立博物館・美術館　2016年11月
・『沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調査概要報告書IV』沖縄県立博物館・美術館　2017年３月
・「日本旧石器学会研究グループ2015年度活動報告」『日本旧石器学会ニューズレター』第32号　2016年５月
・「遺跡紹介：フランス・ヴェゼール渓谷の旧石器時代遺跡」『九州旧石器』20　2016年10月
・「沖縄県の動向」『九州旧石器』20　2016年10月
・「沖縄諸島における先史時代の竪穴住居と集落の構造に関する一試論」『南島考古』35　2016年６月
・「旧石器研究最前線・考古学の成果と課題（上）（下）」　琉球新報　2016年５月５日・７日
・「旧石器研究最前線・「港川人の時代」展に寄せて（上）（中）（下）」　琉球新報　2016年12月13日～15日
・「第８回世界考古学会報告　世界の中の琉球列島」　琉球新報　2017年２月４日
・「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡（調査区II)出土のシレナシジミについて」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第10号　2017年３月

崎原　恭子（主任　歴史：古琉球・近世）
○調査・研究等
・平成28年度博物館企画展（地図展）事前調査（沖縄県公文書館）（2016年４月６日）
・2016年地図・絵画資料の歴史GIS研究（科研）の打合せに関する研究集会（埼玉県）（2016年６月３日～４日）
・平成28年度博物館企画展（地図展）事前調査（今帰仁村歴史文化センター）（2016年６月16日）
・平成28年度博物館企画展（地図展）事前調査（名護博物館）（2016年６月17日）

・平成28年度伊平屋島・伊是名島総合調査（伊平屋村）（2016年８月２日～４日）
・平成28年度博物館企画展（地図展）事前調査（琉球大学附属図書館）（2016年９月９日）
・平成28年度博物館常設展示改善事業（富山県）（2016年11月８日～９日）
・平成28年度博物館常設展示改善事業（埼玉県）（2017年１月13日）
・平成28年度博物館常設展示改善事業（徳島県）（2017年２月６日～７日）
・平成28年度博物館常設展示改善事業（徳島県）（2017年３月13日～14日）

○講演・学会発表等
・名　　称：夏休み！博物館学芸員教室2016「オリジナルの家系図をつくろう」
　期　　日：平成28年７月29日
　場　　所：博物館実習室
・名　　称：移動展関連催事　阿嘉島講演会「地図からみた慶良間諸島」
　期　　日：平成28年12月17日
　場　　所：阿嘉島離島振興総合センター
・名　　称：学芸員講座「琉球王国時代の古地図～「外」から見た琉球を中心に～」
　期　　日：平成29年３月４日
　場　　所：博物館講座室

○著作論文等
・「［資料紹介］『毛姓家譜』について」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月
・唐獅子「70年　激動の博物館」2016年７月11日　沖縄タイムス
・唐獅子「『歴史資料』って・・・？」2016年７月25日　沖縄タイムス
・唐獅子「休館日だからこそ」2016年８月８日　沖縄タイムス
・唐獅子「実習生がつくる展示」2016年８月22日　沖縄タイムス
・唐獅子「博物館の裏側へようこそ！」2016年９月５日　沖縄タイムス
・唐獅子「精度の高い琉球地図　国重文に」2016年９月19日　沖縄タイムス
・唐獅子「日本民藝館の心地よい空間」2016年10月３日　沖縄タイムス
・唐獅子「海外移民のあかし」2016年10月17日　沖縄タイムス
・唐獅子「ものと人との出会い」2016年10月31日　沖縄タイムス
・唐獅子「沖縄の魅力、世界へ」2016年11月14日　沖縄タイムス
・唐獅子「調査研究の重要性」2016年11月28日　沖縄タイムス
・唐獅子「島巡る移動展」2016年12月12日　沖縄タイムス
・唐獅子「2017年を迎える前に」2016年12月26日　沖縄タイムス

三枝　大悟（博物館学芸員業務補助員）

○調査・研究等
・総合調査（伊平屋村）（2016年８月２日～４日）
・下茂腹・茂太腹両門中之墓コーブンに伴う南山王太魯毎之墓調査（2016年12月４日～６日）

○著作論文等
・「沖縄県立博物館・美術館所蔵「琉球船の図」と関連資料」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第10号　2017年３月

５．職員研修

博物館法第４条の４において「学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」と規定しており、学芸員に学問的専門性を要求している。また、博物館が独自の展示会や教育普及活動を行うためには、学芸員自身が調査研究を行い新たな知見を得ていく必要がある。そのため、学芸員は適宜研修を受講するとともに、平成23年度から毎週「学芸員ゼミ」を開催して互いの研究について情報共有や意見交換を行っている。

【沖縄県博物館協会研修会】

○総会・春の研修会・現地研修
日　時：2016年５月24日（火）・25日（水）
場　所：　石垣市立図書館・石垣市健康福祉センター
参加者：　石垣忍、大川剛

○秋の研修会・現地研修
日　時：2016年10月27日（木）・28日（金）

場　所：うるま市立石川地区公民館・うるま市勝連南風原（集落見学）
参加者：村山剛、園原謙、大湾ゆかり、石垣忍、崎原恭子

【博物館ゼミ（仮称）】　以下「回、期日、担当者、題」の順に記す（原則毎週月曜日に実施）

第１回	第179回	４月11日	大湾ゆかり	「沖縄の民話－寄贈テープの保存と活用について」
第２回	第180回	４月18日	園原　謙	「地方行政100年の移り変わり－国頭村の事例から－」
第３回	第181回	４月25日	山﨑　仁也	「ミドリムシはすごいことになっている」
第４回	第182回	５月９日	片桐千亜紀	「会館10周年・博物館70周年展示会を頑張ろう！」
第５回	第183回	５月23日	山崎　真治	「韓半島の旧石器文化と遺跡」
第６回	第184回	５月30日	宇佐美　賢	「輝緑岩の謎～地学と私と岩石学」
第７回	第185回	６月６日	與那嶺一子	「田中俊雄資料の受入と今後」
第８回	第186回	６月13日	藤田　裕樹	「沖縄諸島産化石シカ２種の四肢長幹骨の形態的特徴に関する基礎計測値を用いた比較形態学的研究」
第９回	第187回	６月20日	崎原　恭子	「博物館常設展示開演事業と鐘の展示について」
第10回	第188回	６月27日	石垣　忍	「沖縄の複十字シールについて」
第11回	第189回	７月11日	外間　一先	「美術工芸　絵画の話」
第12回	第190回	７月19日	大湾ゆかり	「何とかしなきゃ！博物館資料の保存の問題」
第13回	第191回	７月25日	大川　剛	「少年の育った基地の街「FUTENMA」」
第14回	第192回	８月８日	園原　謙	「博物館70年のあゆみ－戦後の博物館活動（資料収集）からみえる４つの時期区分」
第15回	第193回	８月22日	山﨑　仁也	「私と生物実験」
第16回	第194回	９月12日	藤田　裕樹	「港川下顎骨Ａの切歯欠損は風習的抜歯と考えてよいか？」
第17回	第195回	９月26日	山崎　真治	「平成28年度特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開」」
第18回	第196回	10月11日	宇佐美　賢	「沖縄島及び周辺離島の古生代～中生代の化石とその研究者　～九大退館教授石橋毅氏収集標本移管を通して学んだこと～」
第19回	第197回	10月17日	外間　一先	「日本民芸館80周年沖縄の工芸展より」
第20回	第198回	10月24日	與那嶺一子	「作品搬出～展示まで　Bingata only in Okinawa」
第21回	第199回	10月31日	崎原　恭子	「梵鐘の足跡（調査ノート）」
第22回	第200回	11月７日	片桐千亜紀	「インドネシア・北マルク諸島における初期金属器時代の一葬墓制～崖葬墓文化の広がりを求めて～」
第23回	第201回	11月21日	石垣　忍	「世界のウチナーンチュ大会と地図展」
第24回	第202回	11月28日	大湾ゆかり	「「みんなでまもる文化財　みんなをまもるミュージアム」東北地方調査報告」
第25回	第203回	12月５日	大川　剛	「熊本地震　文化財レスキューに参加して」
第26回	第204回	12月12日	園原　謙	「琉球王国文化遺産・再興事業　模造復元の調査からわかったこと－木彫編（仁王像制作）－」
第27回	第205回	12月26日	田名　真之	「旧南洋群島とミクロネシア連邦」
第28回	第206回	１月10日	山﨑　仁也	「ウィルソンが見た沖縄－琉球の植物研究史100年とともに－」
第29回	第207回	１月16日	藤田　裕樹	「静岡県浜北市根堅遺跡の再調査」
第30回	第208回	２月６日	宇佐美　堅	「阿嘉島、慶留間島の地質とジオツアー」
第31回	第209回	２月13日	與那嶺一子	「服装の移り変わり（琉球から沖縄へ）」
第32回	第210回	２月27日	山崎　真治	「沖縄の貝器文化と西太平洋の先史・民族文化」
第33回	第211回	３月６日	崎原　恭子	「免振装置と演示台～常設展示改善事業より～」
第34回	第212回	３月13日	石垣　忍	「失われた文化財」
第35回	第213回	３月21日	外間　一先	「シッキ！カイガ！！トーキ！！！」
第36回	第214回	３月27日	三枝　大悟	「「琉球船の図」に描かれた船について」

Ⅱ．　展示活動

１．展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展１本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きる―豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

2016年度は特別展を、一括交付金の財源を利用できたことから、特別展１本と企画展を３本実施した。具体的には特別展「港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開－」、企画展「目からウロコの生物実験展」、「日本民芸館80周年　沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄－」、企画展「琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄みえる～」を実施した。

２．常設展

【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つひとつが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きる－豊かさ、美しさ、平和を求めて－」とした。常設展のうち、総合展示は、開館以来展示替えを実施してこなかったが、開館10周年を節目に、2017年（平成29）２月に展示の魅力アップをはかるため、旧首里城正殿鐘をを単品で紹介する展示をはじめ、当館が所蔵する県指定文化財等の梵鐘７口を新たに加え、展示の充実強化を図る初めての展示リニューアルを行った。また、屋外（駐車場側）に鐘楼を設けて、現存する最古の鐘のひとつである大聖禅寺鐘（実物）を吊り、対外的に博物館の魅力の発信を図った。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化について情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

◯海で結ばれた人々～サークルホールの展示～

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海にくらした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる１万8,000年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

◯貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが造られるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の３つに収斂し、激しい抗争を繰り広げた。しかし、15世紀はじめころに、これらの３つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

◯王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制を造りあげていった。展示リニューアルでは、常設展示に、旧首里城正殿鐘の単体の紹介を中心に、仏教文化と梵鐘や王都の整備、碑文に刻まれた王都の整備、円覚寺の創建、屋外には旧大聖禅寺鐘の展示を行った。

◯薩摩の琉球支配と王国（近世琉球期）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀・蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていった。

○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した。(琉球処分)琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

○戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

○沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時に募集した写真作品で構成され、まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の5つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

○自然史部門展示　「生物が語る沖縄２億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル（沖縄島北部）、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

○考古部門展示　「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

○美術工芸部門展示　「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、1年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

○歴史部門展示　「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとき、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

○民俗部門展示　「沖縄の伝統とくらし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

３．常設展　展示替え

【美術工芸部門】

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮半島、日本、東南アジアの中継地点に位置し、独立した王国を営んできた。美術工芸部門展示室では、沖縄で育まれた琉球の美を紹介している。展示は下記のテーマで展示替えを行った。

○「帰ってきた文化財」

主　　旨：戦後、沖縄における博物館活動は、焦土の中から文化財の残欠を集めることからスタートしました。また、戦前に収集されたコレクションは、文化財収集キャラバン活動などにより国内外から沖縄に戻ってきました。現在、これらの美術工芸品は、当博物館における主なコレクションとなっています。民藝や嗜好品として蒐集されたもの、研究対象として集められたもの、沖縄を離れた人達からの寄贈など様々なコレクションを紹介し、失われた文化を取り戻したいと願った当時の人々の想いも感じとってもらえたら幸いです。

展示資料：40件53点


琉球風俗画帖

義村朝義作軍鶏之図・作者不詳菜園鳥虫図・殷元良作花鳥図・毛世輝作蘭の図・長嶺華国作花鳥図・慎思九作山水図・比嘉崋山作琉球風俗画帖・朱漆山水楼閣沈金料紙箱・朱塗三巴紋入り酒台・朱塗タークー・黒漆草花螺鈿沈金七宝繋八角食籠・黒漆仙人遊祺花鳥螺鈿茶箱・朱漆蘭文堆錦銘々皿・朱漆芭蕉文堆錦提重・黒塗松竹梅椀・知花焼小壺・喜名焼瓶子・古我知焼筒花生・支那花弁染付碗・鉄絵碗・灰釉椀・湧田焼陶片・色象嵌栗絵菊花皿・仲宗根盛松愛用三線与那型・鄭嘉訓の書「七言対句」・冊封使林鴻年の書「游南苑題壁」・宜湾朝保の書「新樹風」・宜湾朝保の書「郭公遍」・尚慎の書「七言対句」・鄭元偉の書「七言律詩」・陳翼の書「五言絶句」・鄭元偉書扁額「徳高」・桐板コージャー地格子絣衣装・木綿浅地格子に経緯絣衣装・木綿染分地霞に遠山菊水模様胴衣・苧麻白地経絣衣装・木綿白地絣ティサジ・木綿白地花織ティサジ・青地龍瑞雲青海立波文衣装・芭蕉経緯絣衣装

展示期間：2016年７月12日（火）～10月10日（日）

○第６回世界のウチナーンチュ大会博物館特別企画移民資料展「ウチナーンチュの世越（ユークィティヌチムグクル）の肝心」与那嶺・福田コレクションと移民の歴史

主　　旨：与那嶺眞淳（1902－1995）のコレクションは、首里赤田で酒造業を営んでいた与那嶺家伝来の焼き物と、同氏の趣味であった骨董蒐集によるものです。これらは沖縄の古陶、書画、小道具をはじめ、九州や中国の陶磁器など与那嶺氏の審美眼にかなった焼き物を中心としたものです。


「ウチナーンチュの世越の肝心」開会式


与那嶺・福田コレクションの展示

コレクションは1993年には沖縄県教育委員会による在米国沖縄関連文化財調査で、ハワイ所在の沖縄関連の文化財として調査され、同報告書に掲載されました。また、この調査を契機に、旧沖縄県立博物館では1995年の戦後50周年記念特別展「甦る沖縄－戦災文化財と戦後生活資料展」において、海外所 在の琉球・沖縄関連文化財として紹介したものです。これを縁にして1997年に、古陶をはじめ尚順の「瞻雲就日」、伊江朝助の書をはじめ35点が寄贈され、さらに今回第６回世界のウチナーンチュ大会に合わせて、計125点のコレクションを寄贈いただきました。これらのコレクションは、ハワイにおいて貴重な沖縄の工芸を語る資料であったことからハワイ大学やホノルル美術館等において展覧会に出品されるなど、沖縄の歴史や文化を紹介する上で大きな役割を果たしました。沖縄戦の戦禍を免れた資料を守るとともに、戦後、沖縄工芸の復興をめざした工芸家たちに共感し、作品を蒐集した与那嶺眞淳氏、それを大切にハワイへ移送し長年にわたり大切に管理されたご息女の福田経子氏に敬意を表し、多くの世界のウチナーンチュをはじめ、県民の皆さまにその思い

に共感し、感動していただきたく、展覧会を開催いたします。

展示資料：105件125点

油壺・金城次郎作魚文壺・嘉瓶・壺・古典焼壺・荒焼徳利・荒焼油壺・緑釉壺・白釉角瓶・焼締耳付壺・キビ文角瓶・盛付酒壺・渡名喜瓶・アンビン・中壺・黒釉油壺・丁子風炉・大城皓也色紙ハイビスカスと赤瓦屋・大城皓也色紙月桃の花・嘉数能愛琉球美人・色紙・中将様あて書状中山王・チューカー・カラカラ・ヤシの実 壺・瓶子・マカイ・ソロバン・もろみ酒入れ・赤絵壺・上焼カラカラ・小瓶・花生・青磁酒瓶・瓶・コバルト釉花瓶・小橋川仁王作赤絵花瓶・青磁酒瓶花生・耳付瓶・荒焼壺・上焼壺・上焼花生・呉須絵小壺・呉須絵小壺・焼締由壺・透漆弁当重・焼締壺・上焼小壺・黒釉小壺・染付マカイ・広口壺・硯・染付香炉・苗代川壺・黒釉耳付壺・黒釉花瓶・銘入り瓶・花鳥彩色壺・黒釉壺・新垣栄三郎作きび文壺・きび文皿・黒檀製たばこ盆・木製鐙（あぶみ）・三線真壁型・証書類・日本旅行証明書及び身分証明書・Ｂ型軍票及び切手・写真

展示期間：2016年10月21日（金）～12月４日（日）

○「王国の輝き」

主　　旨：琉球の美術工芸は、その自然的、地理的環境と歴史の流れのなかで育まれ、中国とも日本とも異なる様子をみせている特徴があります。絵画は宮廷や王族、士族の座敷を飾り、書芸は士族のたしなみとして、詩文とともに展開しました。人々の暮らしで使われた焼物や染織品、中国や大和への贈答品として発展した漆芸など、多彩な美術と工芸の世界を紹介します。

また、2017年（平成29）が酉年であることにちなみ、花鳥や初春を表現した作品を多く選び展示しました。

展示資料：32件点



長嶺華国作花鳥図・殷元良作雪中雉子之図・孫億花鳥図・鄒一桂花鳥図・孫克弘牡丹の図・黒漆山水人物行楽図螺鈿飾棚・黒漆楼閣人物螺鈿中央卓・黒漆花鳥文螺鈿小卓・黒漆葡萄唐草螺鈿棚・白釉巴紋入碗・巴紋入茶碗・白釉三巴紋入嘉瓶・黒釉巴紋嘉瓶・薩摩菊花錦手丁子風炉・薩摩焼三島手丁子風炉・花紺青丁子風炉・緑釉丁子風炉・色象嵌粟絵菊花皿・鄭孝徳の書聯・翁維垣の書四言対句・徐葆光の書七言絶句・王文治の書・鄭嘉訓の書五言絶句・鄭元偉書扁額「徳高」・苧麻白地燕花籠模様衣装・絹浅地手縞袷衣装・木綿浅地松葉花模様衣装・金茶地龍瑞雲模様繻珍袷衣装唐フィーター・木綿浅地手縞袷衣装・木綿白地経縞衣装・苧麻紺地紋入松竹梅模様ウチュキー

展示期間：2016年12月13日（火）～2017年４月９日（日）

（與那嶺　一子・外間　一先）

【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひもといていく展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。ここでは、様々なテーマに沿った年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟な展示を行う機能を備えている。

歴史展示部門では、「那覇港～往来する人とモノ～」というテーマの展示を通年で展示し、平成28年度は、「沖縄県立博物館創立70周年～沖縄戦後の博物館のあゆみ～」、「重要文化財指定記念　琉球国之図と間切図」、「ウチナーンチュの世越の肝心」の展示を開催した。

以下に、それぞれの概要を紹介する。

○「那覇港～往来する人とモノ～」

主　　旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に取り上げ、３つのテーマに分けて紹介する。「１　王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、会場交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを指名、「２　往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「３　那覇のマチ」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるマチ（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示す。



展示資料：首里那覇港図屏風、琉球国惣絵図（間切集成図）（真和志間切他）（複製）、「琉球国全図」（琉

球列島並三十六島之図）他
展示期間：通年展示

○沖縄県立博物館創立70周年　～沖縄戦後の博物館のあゆみ～
主　　旨：戦前の博物館は、首里城北殿に「沖縄郷土博物館」として置かれていましたが、沖縄戦で全焼し、資料も焼失してしまいました。戦後、石川・東恩納で米海軍によって文化財の残欠が集められ「米国軍政府沖縄陳列館」が設立されました。一方、首里でも廃墟となった首里城周辺から残欠文化財が収集され、「首里市立郷土博物館」がそれぞれ設立され、戦後の博物館がスタートしました。やがて、２つの博物館は１つとなり、今年で70年目を迎えます。今回は、その70年のあゆみを振り返り紹介します。
展示資料：写真パネル
おもろさうし、沖縄郷土博物館看板、琉球政府立博物館入場チケット
旧沖縄県立博物館入場チケット、旧沖縄県立博物館長
展示期間：2016年５月24日（火）～８月31日（水）


ハンナ少佐


東恩納博物


琉球政府立博物館正面（当蔵町）

○「重要文化財指定記念　琉球国之図と間切図」
主　　旨：琉球王国時代の18世紀半ばに首里王府主導で琉球国内の測量が行われた。その測量事業の成果をもとに、精度の高い地図が作成された。琉球国之図（県図所蔵）は、沖縄島を中心に伊平屋島や久高島、久米島など周辺離島を隣接するいくつかの行政区画ごとに集成した部分的な地図である。これらの地図は、琉球王国時代の歴史や測量史、地図研究史上の学術的価値が高い資料として、2016年３月11日に国の重要文化財に答申され、８月17日の官報告示をもって正式に指定された。当展示では、重要文化財に指定されたことを記念して、琉球国之図と間切図をあわせて紹介する。


間切図の展示

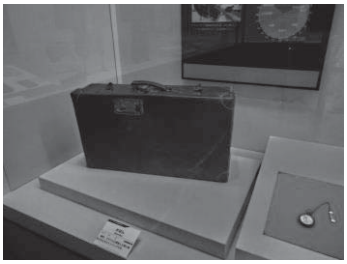
展示資料：琉球国之図（沖縄県立図書館蔵）実物・複製　１巻、間切図　７枚
展示期間：2016年９月13日（火）～10月10日（月・祝）

○第６回世界のウチナーンチュ大会　博物館特別企画移民資料展ウチナーンチュの世越（ユークィティヌチムググル）の肝心
主　　旨：沖縄においては1900年（明治30）のハワイ移民がその始まり、北米や南米をはじめに「モーケティクーヨ（儲けてこい）」を合言葉に移住しました。戦前、戦後を通して海外に渡ったウチナーンチュは物心両面において、母県沖縄と絆をもち、支援を行ってきました。とりわけ戦後の沖縄おいて、いち早く戦後復興の救済に力を尽くしたのが移民の関係者の方々でした。
　沖縄県は1990年（平成２）より世界のウチナーンチュ大会開催し、約５年ごとに開催し、今回で第６回を数え、初回開催からもはや四半世紀になります。
　本展では、この移民地で生きてきた人々の実情を紹介し、海外に生きるウチナーンチュの子孫らに沖縄の自然、歴史、文化、美術を学ぶ契機を与えるとともに、ウチナーンチュ自身が移民及びその子孫らの視座にたち、その移民先における労苦やその歴史的な役割を展示しました。
展示資料：第１読本、パスポート・身分証明書、宜野座岩松氏日記、懐中時計、獅子舞の獅子、ボストンバック、縮緬茶地模様羽織、琉球切手（當山久三像）原画、南米渡航案内、ブラジル家庭医学書（医学博士 高岡真太郎 著
展示期間：2016年10月21日（金）～2016年12月４日（日）

展示室風景







ウチナーンチュの世越の肝心の展示

（石垣　忍・崎原　恭子）

【民俗部門展示室】

沖縄の気候風土の中で培われた伝統的な手仕事を紹介するため、民俗部門展示室の「諸職のワザ」コーナーでは、年に一度展示替えを行っている。また、「沖縄のすまい」コーナーの仏壇前には、季節や行事にあわせてお供え物を展示している。

○「諸職のワザ　豆腐づくりと昔の道具」

主　　旨：シマ豆腐は、沖縄の食文化を支える食材のひとつであり、現在も豆腐専門に作っている業者が、アチコーコー（温かい）のできたて豆腐を店先で販売している。その製法は、ほぼ昔と変わりないが、道具は機械化や大量生産ができるように随分変化した。本展示では、昔ながらの豆腐づくりの製法を、石臼やアジマー、豆腐桶などの道具で紹介し、豆腐の原料となった大豆や海水、あるいはにがりの話題も提供した。

展示期間：2016年（平成28）10月11日（火）～

展示資料：石臼２点（鳥島産臼と石灰岩製の臼）
豆腐桶（トーフウーキ）１点
豆腐桶に石臼をのせる道具（アジマー）２点
石臼・アジマー・豆腐桶の復元セット１点
豆乳を炊くための大鍋（シンメーナービ）１点
苦汁を投入するための碗（マカイ）１点
豆腐箱５点（国頭・座間味・那覇・宮古等）
シマ豆腐（模型）１点







○仏壇のお供え物の展示

主　　旨：沖縄では旧暦の１日・15日に仏壇にお供え物をするほか、季節の節目の行事ごとにいろいろなお供え物をする。今年も民俗常設展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせてお供え物や説明パネルを展示した。５月５日（グングヮチグニチ）の展示では、ハーリーの模型及び張り子を一緒に展示した。

展示期間：正月（新・旧）、清明祭、５月４日（ユッカヌヒー）と５月５日（グングヮチグニチ）、旧盆、十五夜、冬至、ムーチー等



正　月



ユッカヌヒーとグングヮチグニチ
（ハーリーの模型や張り子、ヤカジも同時展示



旧盆（写真はH28年度のもの）



旧盆（写真はH28年度のもの）



冬至（トゥンジージューシー）



ムーチー（軒下と仏壇前に展示）

（大湾　ゆかり）

４．特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開－』

会　期：2016年（平成28）11月15日（火）～2017年（平成29）１月15日（日）
会　場：沖縄県立博物館・美術館　博物館３Ｆ　企画展示室・特別展示室１・２
観覧料：一般　1000（800）円、高校・大学生　630（510）円、小・中学生380（310）円
※常設展共通
※（　）内は、前売り及び20名以上の団体料金
観覧者数：　5,253人（51日間）



開会式の様子（テープカット）

【開催形式】
主　　催：沖縄県立博物館・美術館
特別協力：株式会社南都（おきなわワールド　ガンガラーの谷）
後　　援：沖縄県教育委員会、南城市教育委員会、八重瀬町教育委員会、沖縄考古学会、株式会社琉球新報社、沖縄タイムス社、琉球朝日放送株式会社、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送株式会社、琉球放送株式会社、株式会社ラジオ沖縄

【開催趣旨】
隆起サンゴ礁からなる石灰岩が広く分布する沖縄では、約２万年前の港川人をはじめとする旧石器時代の人骨化石が数多く発見されています。しかし、これまで沖縄では、旧石器時代の人類が使用した石器などの確実な道具は発見されておらず、また、旧石器時代と縄文時代（相当期）との間には約１万年間にもおよぶ人類史上の「空白の時代」が存在していました。このため、沖縄の旧石器人がどのような暮らしをしていたのか、あるいはその後の人々とのつながりなど、さまざまな謎が残されていました。



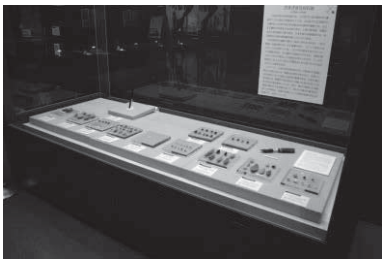
第１部　人類の進化とアジアへの到達

一方、近年沖縄各地で進められている発掘調査では、旧石器時代とそれに続く「空白の時代」に相当する人骨や石器、貝器などの遺物が発見されており、従来の沖縄の人類史を書き換える成果が得られています。
この展覧会では、人類の起源と進化のあらましを紐解き、旧石器時代の日本列島と沖縄の出土品を比較しつつ、アジアの中での沖縄の旧石器人の特徴とその位置づけを紹介します。また、サキタリ洞遺跡をはじめとする、近年の沖縄における調査研究成果についても、わかりやすく展示します。さらに、旧石器時代以降、九州以北の日本とは異なる展開を遂げた沖縄の人類史についても、沖縄と日本各地の出土品を通してその特徴を紹介します。

【展示内容】
プロローグ　人類誕生の地　アフリカ
第１部　人類の進化とアジアへの到達
人類の誕生とアフリカからの拡散、東アジアに到達するまでを紹介。
〔おもな展示品〕古代人復元模型、ヨーロッパの旧石器資料（明治大学博物館所蔵）、韓国・スヤング遺跡の剥片尖頭器レプリカ（名護屋城博物館所蔵）、洞窟壁画体験コーナー

第２部　日本列島（古本州島）の旧石器時代
氷河期の海面低下によって出現した古本州島（本州、四国、九州、大隅諸島）の旧石器遺跡について紹介。

〔おもな展示品〕重要文化財・岩宿遺跡出土品（明治大学博物館所蔵）、日本最古級の旧石器（横峯Ｃ遺跡出土品：南種子町教育委員会所蔵、立切遺跡出土品：中種子町教育委員会所蔵）、旧石器のヴィーナス（鹿児島県立埋蔵文化財センター所蔵）、宗原遺跡出土品（九州歴史資料館所蔵）


第２部　日本列島（古本州島）の旧石器時代

第３部　沖縄・奄美の旧石器時代

近年調査研究が進む沖縄の旧石器時代遺跡や、奄美の旧石器時代遺跡について紹介。

〔おもな展示品〕サキタリ洞遺跡出土品、白保竿根田原洞穴遺跡出土品（沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵）、港川人骨、港川人復元模型、喜子川遺跡出土品（奄美市教育委員会所蔵）、ガラ竿遺跡出土品（伊仙町教育委員会所蔵）




第３部　沖縄・奄美の旧石器時代

第４部　日本列島の縄文時代

縄文時代がはじまる頃に、高度な発達をとげた九州の縄文文化を中心に出土品を紹介。

〔おもな展示品〕神子柴遺跡出土石器（レプリカ）（浅間縄文ミュージアム所蔵）、上黒岩岩陰遺跡出土品（ヴィーナス像）（久万高原町教育委員会所蔵）、奥ノ仁田遺跡出土品（西之表市教育委員会所蔵）、三角山Ⅰ遺跡出土品（鹿児島県立埋蔵文化財センター所蔵）、上野原遺跡出土品（鹿児島県立埋蔵文化財センター）、東名遺跡群出土品（佐賀市教育委員会所蔵）、西唐津海底遺跡出土品（佐賀県立名護屋城博物館所蔵）




第４部　日本列島の縄文時代

第５部　沖縄・奄美の縄文時代

九州以北とは異なる発展をとげた奄美・沖縄の縄文文化について紹介するとともに、九州と沖縄・奄美の文化交流についても紹介。

〔おもな展示品〕ティーラガマ遺跡出土品（南城市教育委員会所蔵）、港川遺跡出土品（八重瀬町教育委員会所蔵）、喜界町総合グラウンド遺跡出土品（喜界町埋蔵文化財センター所蔵）、野国貝塚群Ｂ地点出土品（沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵）、土浜ヤーヤ洞穴出土品（奄美市教育委員会所蔵）、門田遺跡出土品（九州歴史資料館所蔵）、渡具知東原遺跡出土品（読谷村立歴史民俗資料館所蔵）、伊礼原遺跡出土品（北谷町教育委員会所蔵）、大堂原遺跡（名護市教育委員会所蔵）、熱田原貝塚出土品（南城市教育委員会所蔵）、城間古墓群出土品（浦添市教育委員会所蔵）など





第５部　沖縄・奄美の縄文時代

エピローグ　西太平洋の礁民文化（海洋文化館サテライト展示）

沖縄の南に広がる西太平洋（メラネシア、ミクロネシア）の人と文化について、沖縄との類似点や違いを比較しつつ紹介。

〔おもな展示品〕国営沖縄記念公園事務所　所蔵資料

【関連催事】

（１）特別展関連シンポジウム「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」

日　時：2016年12月17日（土）13：30～17：00

場　所：３階講堂

パネリスト：石堂　和博（南種子町教育委員会）　　西田　巖　（佐賀市教育委員会）

島袋　春美（北谷町教育委員会）　　山崎　真治（沖縄県立博物館・美術館）

参加者：130名

（２）文化講座①「Out of Africa：ホモサピエンスのアジア拡散モデルの再構築」

日　時：2016年11月19日（土）14：00～16：00

場　所：３階講堂

講　師：松村　博文（札幌医科大学）

参加者：143名



特別関連シンポジウム
「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」

（３）文化講座②「沖縄先史時代の人骨について」

日　時：2017年１月14日（土）14：00～16：00

場　所：３階講堂

講　師：土肥　直美（琉球大学）

参加者：166名

（４）学芸員講座①　※終了後に展示解説会を実施

日　時：2016年12月３日（土）14：00～16：00

場　所：博物館講座室

講　師：藤田　祐樹（沖縄県立博物館・美術館）

参加者：100名



文化講座
「沖縄先史時代の人骨について」

（５）学芸員講座②　※終了後に展示解説会を実施

日　時：2017年１月７日（土）14：00～16：00

場　所：博物館講座室

講　師：山崎　真治（沖縄県立博物館・美術館）

参加者：80名

（６）ミニシンポ「列島西端の旧石器文化と人類の来た道を考える」

日　時：2016年12月４日（日）13：00～16：00

場　所：博物館講座室

講　師：杉原　敏之（福岡県教育委員会）

山崎　真治（沖縄県立博物館・美術館）

参加者：69名



ミニシンポ
「列島西端の旧石器文化と人類の北道を考える」

（７）ワークショップⅠ　「貝器をつくろう！」

日　時：2016年11月19日（土）10：00～12：00

場　所：博物館実習室

講　師：山崎　真治（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学生
参加費：200円
参加者：15名

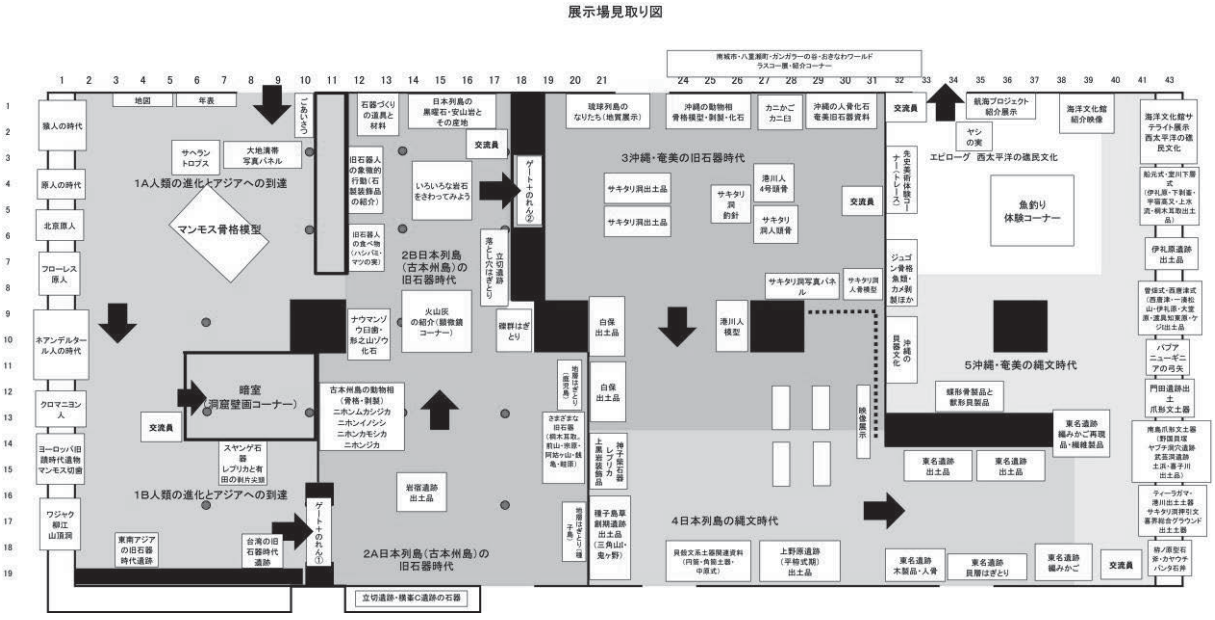
（8）ワークショップⅡ　「クリスマスツリーに土器片オーナメントを飾ろう！」
日　時：2016年12月23日（金・祝日）13：30～16：00
場　所：エントランスホール
講　師：渡部　貴子　　山崎　真治（沖縄県立博物館・美術館）
参加費：150円
参加者：31名

（9）展示解説会
日　時：2016年11月20日（日）
①11：00～12：00　参加者：19名
②14：00～15：00　参加者：11名
日　時：2016年11月23日（水）
①11：00～12：00　参加者：18名
②14：00～15：00　参加者：11名
日　時：2016年12月８日（木）（常設展解説とセット）
①14：00～15：00（常設展）　参加者：13名
②15：00～16：00（特別展）　参加者：11名
日　時：2017年１月７日（土）
①11：00～12：00　参加者：32名


展示解説会のようす

（10）サキタリ洞遺跡現地見学会
日　時：2016年12月17日（土）・18日（日）（各日とも７回実施）
参加者：680名（17日：234名、18日446名）

【展示平面図】



（山崎　真治）

５．企画展「大嶺薫コレクション－美をもとめて－」

会　期：2016年（平成28）５月24日（火）～2016年（平成28）７月３日（日）　※展示日数：36日
会　場：博物館特別展示室Ⅱ
観覧料：※博物館常設展料金に同じ

【開催主旨】
大嶺薫コレクションは、大嶺薫氏（1905～1970）が戦前・戦後をとおして収集したものです。氏の没後、その意志をひきついだ遺族によって、1971年（昭和46）、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献してきました。1985年（昭和60）３月、同美術館の閉館にともない、収蔵資料3,550点の美術工芸のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈されました。
戦後、沖縄の多くの文化遺産が消失あるいは海外へ散逸しましたが、大嶺薫はこれら文化財の流出を憂慮し、収集の努めたことは高く評価されるものです。
本展は、大嶺の業績を顕彰するとともに、毎年１回開催するもので、本年度のテーマは、大嶺の多様な興味関心に基づき、サブテーマを「美を求めて」とし、美術工芸（絵画、書跡、陶磁器、漆器、彫刻）、歴史（古文書、古銭、装身具など）、考古、民俗（民族）（仏具、仮面、装身具）の各分野の資料を紹介します。

【展示資料】　約379点
○絵　画：月に遊鹿之図、桜花図、蘭の図、山水図、美女之図、手籠盛花図、花鳥図、草花図
○書　跡：全魁の書、陳観酉の書、于右任の書、謝曦の書、鄭嘉訓の書
○陶磁器：三島手香炉、緑釉丁字風呂、パナリ焼壺、琉球三島対瓶、李朝染付壺、象嵌青磁碗、スンコロク鉄絵蓋物
○漆　器：黄塗龍模様硯箱・能箱（蒔絵）、藤蒔絵内朱塗経筥、朱塗沈金山水楼閣人物遊雁芦唐草花台、黒漆山水人物六角重、朱漆菊唐草堆錦手箱、青貝楼閣人物平花台
○彫　刻：観音像、天神像、大黒天
○勾　玉：伝聞得大君勾玉、緑玉勾玉、緑玉勾玉、青磁色勾玉(大)、青色勾玉、緑玉勾玉、薄緑玉勾玉、紫玉子持勾玉、薄青玉勾玉、薄緑玉勾玉、緑玉勾玉（小）、水晶勾玉、今帰仁阿応理屋恵の玉草履欠片
○貨　幣：貨幣・装身具など　200点
○民　俗：面　９点
○考　古：日本の石鏃93点、アメリカインディアンの石鏃14点、中国の銅鏃９点、中国の鉄鏃21点
（與那嶺　一子）

６．「新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－」

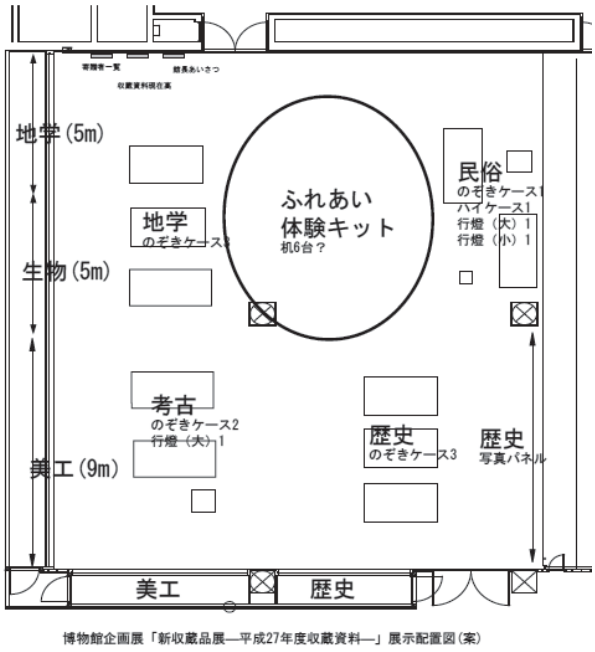
会　期：2016年（平成28）５月27日（金）～2016年（平成28）６月26日（日）
会　場：博物館企画展示室
観覧料：一般200円（160円）、高校・大学生150円（120円）、小・中学生100円（80円）
※（　）は、前売り及び20名以上の団体料金

博物館企画展「新収蔵品展」は、前年度に寄贈・収集・購入・移管・修理された諸資料を一堂に集め、広く一般に公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展をめざして開催するものである。

【事業内容】
平成27年度に寄贈・収集・購入・修理された諸資料を地学、生物、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野に分類し、博物館３階の企画展示室で展示・公開した。
本展の初日には、寄贈者への感謝状贈呈式および開会式等を実施した。

【展示内容】
平成27年度は、寄贈・収集・購入等により2,213件の新資料を収蔵した。自然史分野では、膨大な数の貝類をはじめとした海の生物の標本（清水寛枝氏寄贈）、南部の新里層で収集された多数の炭化木や貝類化石（吉村武氏寄贈）、ティラノサウルスの歯などを含む多数の化石類（川原康弘氏寄贈）など、まとまった資料をご寄贈いただきました。歴史分野では、現存する沖縄最古の梵鐘のひとつである大聖禅時の鐘（琉米歴史研究会理事長喜舎場静夫氏寄贈）や戦前の円覚寺関連写真（能山宗忠氏寄贈）など、美術工芸分野では、人間国宝である玉那覇有公氏による絹草花模様両面紅型衣裳一領（作者寄贈）、戦時中に使われた木綿紺地経縞に緯絣模様上着・もんぺなどの衣類（嶺井聖太氏寄贈）、防火用の大天水甕（ウフティンシーガーミ）（宮城篤正氏寄贈）、そして、歴史的にも美術工芸的にも重要な喜名焼擂鉢（松島朝義氏寄贈）など、多岐にわたる資料がございます。また、民俗分野では、琉球列島の島々の多様な伝承話をそれぞれの方言で収録した沖縄伝承話音声資料（アナログテープ）（NPO法人沖縄伝承話センター寄贈）、朱漆松竹梅鶴亀模様箔絵衣裳櫃（ケー）（譜久山信子氏寄贈）などの貴重な品々をご寄贈いただきました。

【展示平面図及び展示風景】



博物館企画展「新収蔵品展―平成27年度収蔵資料―」展示配置図（案）



（藤田　祐樹）

7．企画展「目からウロコの生物実験展 ～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン！」

会　期：2016年（平成28）７月16日（土）～2016年（平成28）８月28日（日）
会　場：博物館・美術館　博物館企画展示室、特別展示室

【開催趣旨】
過去～現在のさまざまな生物の実験を紹介することで、科学における実験・観察の重要性や、科学の発展の歴史は実験・観察とともにあることを実感できることを目的とする。

【展示内容】
１．展示項目とその概要
①微生物学～顕微鏡のちから
〔展　示〕新旧の顕微鏡＝フックの顕微鏡レプリカ（国立科学博物館収蔵）、顕微鏡各種（浜野顕微鏡店保有）オリンパス国産１号機（当館収蔵）、顕微鏡生映像投影（プロジェクター）
〔ハンズオン〕微生物の観察（岩国ミクロ生物館より微生物調達）、簡易顕微鏡の観察
②標本学　～博物館標本は語る
〔展　示〕剥製、交連骨格、液浸、乾燥、昆虫、透明各種標本（当館収蔵）
〔ハンズオン〕シカ中足骨レプリカの部位計測による種の分類（人類学藤田）
③“実験”の意味～生物実験展で伝えたいこと
〔展　示〕パネルで本企画展の意義とコンセプトを語る
④発生学　～ショウジョウバエからヒトまで
〔展　示〕生きたショウジョウバエ（各形質、各発生段階）、生きたウニ水槽、、カエルの発生模型、各種カエルのレプリカ・剥製、ニワトリの発生標本（生、液浸）、ニワトリ発生生映像投影プロジェクター、
〔ハンズオン〕アズマヒキガエルの卵観察（各発生段階）、カラー粘土によるカエル胚の作成
⑤生物発光～なぜ光る生きものがいるのか
〔展　示〕ウミホタル生水槽、200倍レプリカ（当館収蔵）、光る大腸菌（発光タンパク）
〔ハンズオン〕ウミホタル発光実験
コラム１
〔展　示〕パネル「女子中学生の小さな大発見」より、科学の芽を語る
⑥食品科学～食を支える最新技術
〔展　示〕キハダマグロ剥製（当館収蔵）、簡易植物工場、ミドリムシ培養フラスコ
〔ハンズオン〕黒マグロの立体フィギア

⑦ノーベル生理学・医学賞受賞の実験～華やかさの陰に
〔展　示〕パネル：ノーベル生理学・医学賞年表、有名な実験や苦労話のピックアップ
⑧遺伝子研究～最近のDNA研究
〔展　示〕パネル：遺伝子とは何か、最新の遺伝子技術、サーマルサイクラー
〔ハンズオン〕ＤＮＡ模型の組立
⑨解剖学　～百聞は一見にしかず
〔展　示〕動物の消化器官：反芻胃のプラスティネーション各種（ウシ、シカ、ヤギ）、さまざまな動物のフン（沖縄こどもの国）、ヤギの解体映像（山﨑編集）
〔ハンズオン〕ヤギとシカの胃プラスティネーション
コラム２
〔展　示〕パネル：実験に使われるどうぶつたち、ユスリカ
⑩生理学　～生きもののからだのふしぎ
〔展　示〕シリコンチューブを用いた植物の吸水測定、ピーマンの光合成
〔ハンズオン〕目の構造を理解する実験、チップスターの空き箱でつくる目の模型
⑪生態学　～最新の生態研究
〔展　示〕飛翔昆虫捕獲装置、３Ｄプリンターでつくる各種アリの巨大模型、鳥の渡りの研究、脚輪
⑫医学　　～最新の治療法
〔展　示〕３Ｄプリンターでつくる各種臓器とその利用法
〔ハンズオン〕実物大心臓模型、バーチャルリアリティーで人体探検（イベント）
⑬実験屋台村
〔ハンズオン〕キュリオス沖縄：海の生き物研究、美ら島財団総合研究センター：サメの研究

２．展示プランニング
・各セクションは、色分けされた簡易な展示造作によって仕切った。
・ハンズオンは10～15分で終わるものを設定した。
・ボランティアを各所に配置。教育系・理学系学生、高校生一般募集。
・３Ｄ映像（20分程度）の上映（サメ生態、美ら海水族館のジンベエザメ）。
・展示以外に関連催事として毎週土日を中心に実験イベントを行った。

【関連催事】
（１）企画展示解説「実験展で遊ぼう！」
日　時：2016年７月16日（土）　①10:00～11:30　　②14:00～15:30
場　所：博物館企画展示室
講　師：山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学生以上　各回定員６名　※先着
参加費：無料（企画展入場料参加者負担）
主　体：沖縄県立博物館・美術館

（２）「魚の解剖教室　硬骨魚類（アジなど）と軟骨魚類（サメ）の比較」
日　時：2016年７月17日（日）　９:30～12:00
場　所：博物館実習室
講　師：宮本　圭（一般財団法人　沖縄美ら島財団）
対　象：小学４年生～高校３年生　定員16名
参加費：無料（沖縄美ら島財団負担）
主　体：一般財団法人　沖縄美ら島財団

（３）サイエンスカフェ　講演「大人の実験談義」
日　時：2016年７月18（月・祝日）　14:00～15:30
場　所：museum café 茶花
講　師：山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：一般　定員30名
参加費：無料（沖縄美ら島財団負担）
主　体：沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人　沖縄美ら島財団

（４）体験学習教室　連続講座「昆虫標本づくり」
日　時：2016年７月23日（土）、24日（日）、８月20日（土）　９:00～12:00

場　所：博物館実習室
講　師：山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学３年生～高校３年生　定員20名
参加費：500円（参加者、沖縄美ら島財団負担）
主　体：一般財団法人　沖縄美ら島財団

（５）生物実験教室　「カニの手ロボットをつくろう！」
日　時：2016年７月30日（土）　10:00～15:00
場　所：博物館実習室
講　師：佐藤　寛之（沖縄国際大学）
対　象：小学３年生～６年生（親子）　定員20組
参加費：500円（S-Net基金、参加者負担）
主　体：沖縄県立博物館・美術館

（６）サンゴ礁の生きもの観察　室内から野外へ
日　時：2016年８月６日（土）　10:00～16:00
場　所：博物館実習室→野外
講　師：山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学４年生～高校３年生　定員16名
参加費：100円（保険料）（S-Net基金）
主　体：沖縄県立博物館・美術館

（７）「ガニガニ教室　ヤシガニ＆オカガニ」
日　時：2016年８月７日（日）　９:30～12:00
場　所：博物館実習室
講　師：岡　慎一郎（一般財団法人　沖縄美ら島財団）
　　山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学生以上　定員16名
参加費：無料（沖縄美ら島財団負担）
主　体：沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人　沖縄美ら島財団

（８）連続講座「カエルの解剖と骨格標本づくり」
日　時：2016年８月11日（木・祝日）、13日（土）、14日（日）　９:00～12:00
場　所：博物館実習室
講　師：山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学４年生～高校３年生　定員16名
参加費：500円（S-Net基金、参加者負担）
主　体：沖縄県立博物館・美術館

（９）バスツアーで行く「プランクトン観察会」
日　時：2016年８月15日（月）　９:00～16:00
場　所：GODAC
講　師：GODACスタッフ、
　　山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学４年生～中学３年生　定員30名
参加費：100円（保険料）（沖縄県、GODAC）
主　体：GODAC、沖縄県立博物館・美術館

(10) 文化講座「未来の食料生産の一翼を担う植物工場とは？」
日　時：2016年８月20日（土）　14:00～16:00
場　所：３階講堂
講　師：滋賀　宏昭（明治大学）
対　象：一般　定員200名　※先着
参加費：無料（沖縄美ら島財団負担）
主　体：一般財団法人　沖縄美ら島財団負担

（11）体験学習教室「簡易植物工場づくり」
日　時：2016年８月21日（日）　９:30～12:00
場　所：博物館実習室
講　師：滋賀　宏昭（明治大学）
対　象：小学３年生～中学３年生　定員20名
参加費：500円（参加者、沖縄美ら島財団負担）
主　体：一般財団法人　沖縄美ら島財団負担

（12）学芸員講座「実験とは何か？」
日　時：2016年８月27日（土）　14:00～16:00
場　所：博物館講座室
講　師：山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：一般　定員80名　※先着
参加費：無料（沖縄美ら島財団負担）
主　体：一般財団法人　沖縄美ら島財団

（12）企画展示解説「実験展で遊ぼう！」
日　時：2016年８月28日（日）　①10:00～11:30　　②14:00～15:30
場　所：博物館企画展示室
講　師：山﨑　仁也（沖縄県立博物館・美術館）
対　象：小学生以上　各回定員６名　※先着
参加費：無料（企画展入場料参加者負担）
主　体：沖縄県立博物館・美術館

【図録出版】
展示会内容と生物実験に関する図録（Ａ４、100ページ、オールカラー）を刊行した。

【共催・協力・後援】
沖縄美ら島財団、琉球大学、OIST（沖縄科学技術大学院大学）、神戸大学、東京都市大学、近畿大学、国立科学博物館、岩国市立ミクロ生物館、生物教育研究所、滑川市立ほたるいかミュージアム、沖縄工業高等専門学校、沖縄こどもの国、沖縄生物教育研究会、沖縄県教育委員会、有限会社浜野顕微鏡店、沖縄セルラー電話株式会社、株式会社ユーイング、株式会社ユーグレナ、一般社団法人キュリオス沖縄、沖縄タイムス、琉球新報、NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、FMレキオ、タイフーンfm

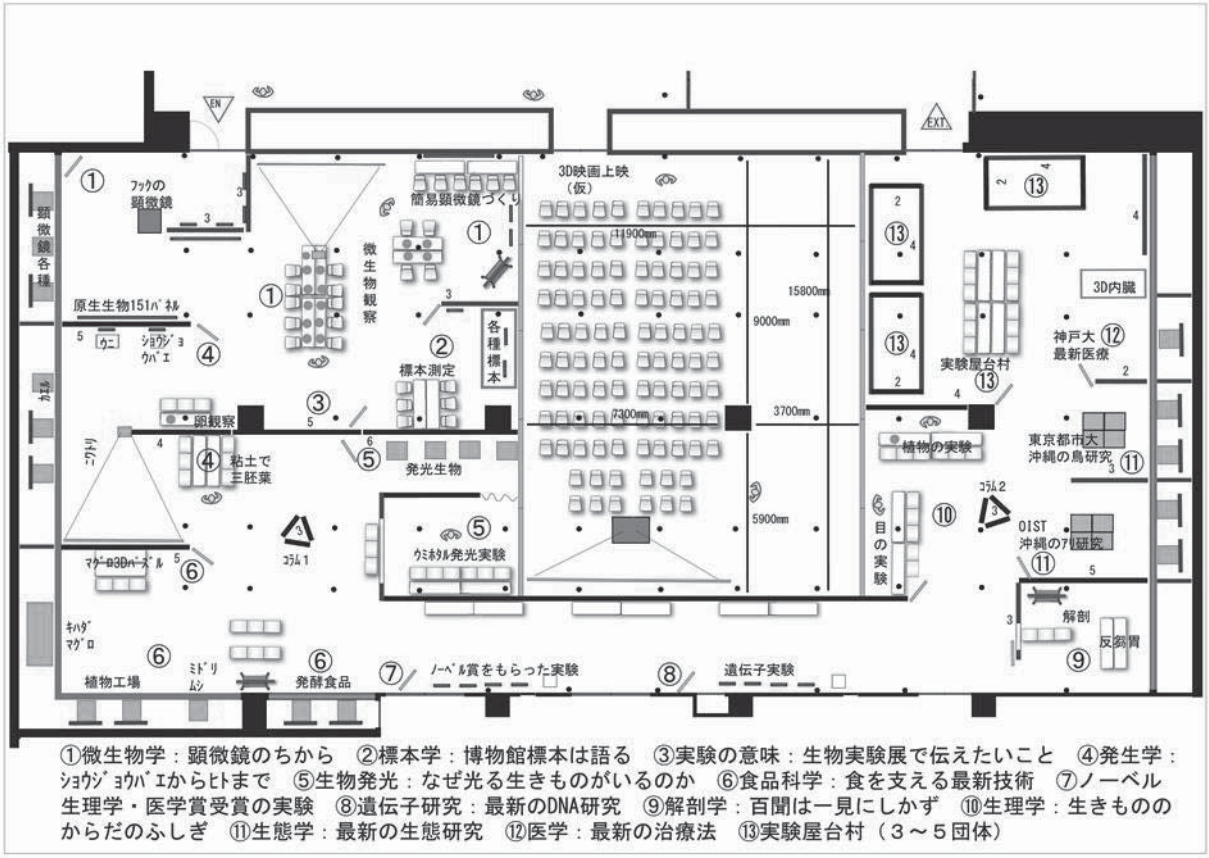
【展示の様子】








【展示平面図】



（山﨑　仁也）

８．企画展「沖縄の工芸展　柳宗悦と昭和10年代の沖縄」

会　期：2016年（平成28）9月21日（水）～10月23日（日）※29日間
会　場：沖縄県立博物館・美術館　特別展示室Ⅰ・Ⅱ　企画展示室
観覧料：大人800円（640円）、高大生500円（400円）、小中生300円（240円）
※（　）は、前売り及び20名以上の団体料金

【開催形式】
主　催：沖縄県立博物館・美術館
共　催：公益財団法人日本民藝館
助　成：芸術文化振興会
協　力：沖縄県立芸術大学・沖縄県商工労働部ものづくり振興課・沖縄県工芸振興センター
後　援：沖縄県教育委員会・沖縄タイムス社・琉球新報社・ＮＨＫ沖縄放送局・琉球放送・琉球朝日放送
沖縄テレビ・沖縄ケーブルネットワーク・ラジオ沖縄・ＦＭ沖縄・タイフーンｆｍ・ＦＭレキオ

【開催趣旨】
日本民藝館は、民藝運動の創始者である柳宗悦により企画され、1936年（昭和11）に東京都目黒区に開設した。陶磁器・染織品・木漆工品・絵画・金工品・石工品・編組品など、日本をはじめ諸外国の工芸品が蒐集され、現在約１万７千点のコレクションが収蔵されている。同氏は1938年（昭和13）、沖縄に初めて足を踏み入れた。その眼に映った沖縄は驚くべき美の王国であり、街並や着物、歌や踊りなど日常の暮らしぶりに魅了されている。同氏は沖縄の人々との交流の中で工芸や文化の調査研究を行い多くの品々を蒐集していく。太平洋戦争の激戦地となり文化財が壊滅的な被害を受ける中、幸いにも日本民藝館に収蔵されている千点を超える工芸品は戦火を免れ、現在は日本屈指の沖縄コレクションとなっている。本展では、同氏を驚かせた陶器や染織などの沖縄の工芸資料と彼らが記録した昭和10年代の坂本万七氏の写真資料を紹介する。さらに、民藝運動の工芸作家の資料も展示し、沖縄の工芸の持つ魅力をアピールするものである。

【展示内容】
Ⅰ　日本民藝館について
日本民藝館の説明

日本民藝館外観及び陳列室の写真パネル展示

Ⅱ　柳宗悦について

柳宗悦は、白樺時代をへて、朝鮮工芸の美を発見し、そして日本の工芸に目を向けていく。

・白樺
・朝鮮白磁や文字絵
・木喰仏や丹波布
・民藝運動及び日本民藝館の歴史年表
・柳宗悦の手書き原稿「沖縄の思い出」

Ⅲ　沖縄の工芸（その１）

工芸を調査していくなか、沖縄と出会い、その美しさに感動し、蒐集したコレクションを展示。

・紅型や型紙、うちくい、舞台幕
・陶器
・漆器
・蹴ろくろ、ジバタ(織機)、瓦車、木臼、漆喰シーサー
・映像資料「琉球の民藝」約20分　上映

Ⅳ　沖縄と民藝運動の作家たち

柳宗悦とともに沖縄に訪れ、調査した民藝運動のメンバーの中から、濱田庄司や河井寛次郎、棟方志功、芹沢銈介の作品を展示し、沖縄の工芸との関連性を紹介する。

Ⅴ　坂本写真と沖縄の手仕事

民藝調査団と同行し、写真撮影した坂本万七の作品を紹介する。沖縄の建築物や祭り、市場などの人々の暮らし、陶器などのものづくりの様子を捉えた写真パネル約200点。

Ⅵ　沖縄の工芸（その２）

工芸を調査していくなか、沖縄と出会い、その美しさに感動し、蒐集したコレクションを展示。また、民藝運動に刺激を受け、たくましく育った沖縄の工芸職人たちの資料を展示。

・首里織、宮古上布、八重山、読谷花織、久米島紬、芭蕉布など
・現代の沖縄の工芸資料：金城次郎、新垣栄三郎、平良敏子、宮平初子など。

Ⅶ　データで見る沖縄の工芸

現在でも伝統的工芸品は、全国有数の数を誇る沖縄県。脈々と受け継がれる伝統の技と産地などを紹介する。

・経済産業省が指定する伝統的工芸品数と日本地図
・沖縄工芸の魅力（沖縄県工芸振興センター資料）
・工芸振興センター研修生の作品：漆器、木工、染織、金工などを展示。

【関連催事】

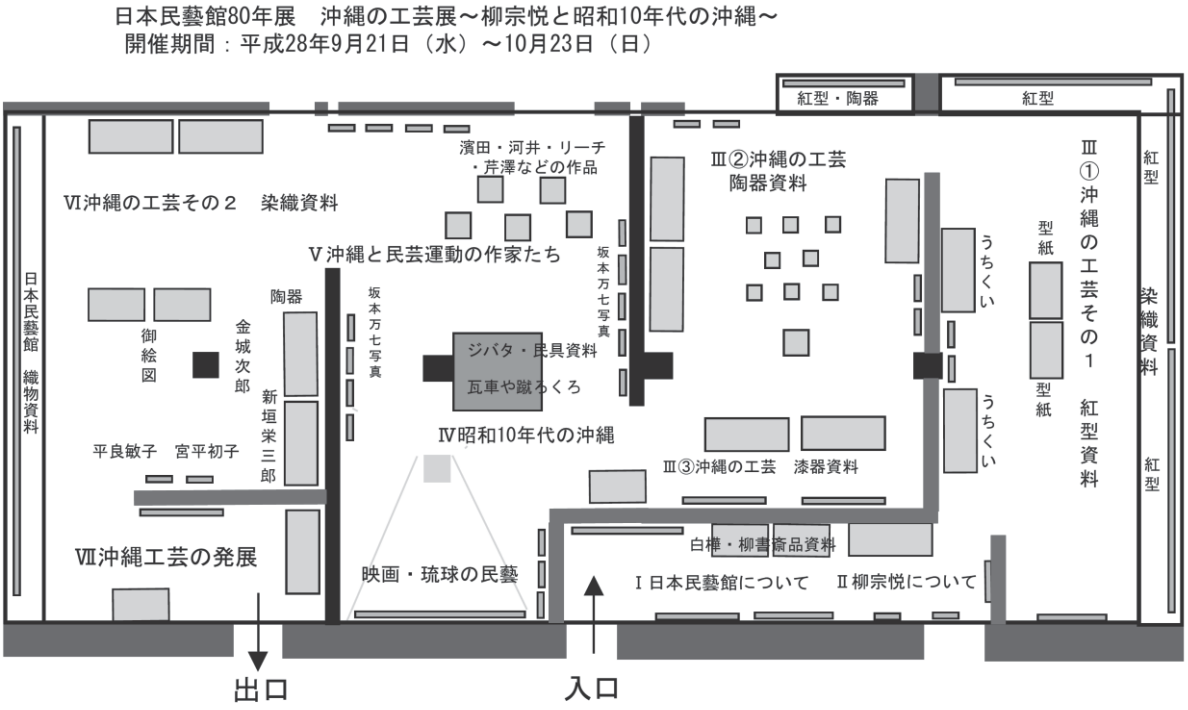
（１）博物館文化講座「柳宗悦と沖縄の工芸について」
日　時：2016年９月24日（土）14:00～16:00
講　師：杉山享司（日本民藝館学芸部長）

（２）学芸員講座「時空を越えて　－柳宗悦と昭和10年代の沖縄－」
日　時：2016年10月１日（土）14:00～16:00
講　師：外間一先





【展示平面図】



（外間　一先）

９．企画展「琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～」

会　期：2017年（平成29）２月１日（水）～2017年４月16日（日）
会　場：博物館企画展示室及び特別展示室１・２
観覧料：一般700（560）円　、高校・大学600（480）円、小学生・中学生300（240）円
※（　）内は、前売り及び20名以上の団体料金
観覧者数：5,634人

【開催形式】
主　催：沖縄県立博物館・美術館
後　援：沖縄県教育委員会、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、沖縄タイムス社、琉球放送社、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、FMレキオ、fm那覇
協　力：（個人）安里進、麻生伸一、新垣義夫、今村遼平、上江洲智一、鎌倉秀雄、金城善、浜崎靖、新城良一、豊見山和行、真栄平房昭、渡辺美希
（機関等）阿久根市教育委員会、一般財団法人沖縄美ら島財団、伊能忠敬記念館、うるま市教育委員会、うるま市立図書館、沖縄県公文書館、沖縄県土地家屋調査士会、沖縄県立図書館、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館、沖縄県立コザ高等学校、オックスフォード科学史博物館、恩納村教育委員会、恩納村博物館、神奈川県立金沢文庫、宜野座村立教育委員会、宜野座村立博物館、宜野湾市立博物館、京都大学文学研究科図書館、公益財団法人東洋文庫、公益社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、神戸市立博物館、国土地理院沖縄支所、島根県立古代出雲歴史博物館、称名寺、神宮微古館農業館、大英博物館、第十一管区海上保安本部、東京大学史料編纂所、東京大学理学系研究科生物科学専攻理学部生物学科図書室、今帰仁村立歴史文化センター、名護市教育委員会、名護博物館、那覇市歴史博物館、南城市教育委員会、西尾市岩瀬文庫、(有)榕樹書林、郵政博物館、ユニバーサルデザイン総合研究所、立正大学図書館、琉球新報新聞博物館、琉球大学附属図書館、早稲田大学中央図書館

【開催趣旨】
地図とは、ある地域の山・川・海などの状態や都市の分布などを縮尺して平面にあらわした図のことです。現在では、人工衛星やGPSなどの測量や作図などの技術向上もあり、より緻密で地理的に正確な地図が多く製作されるようになりました。古代から、様々な目的による多種多様な地図が世界各地で製作され、私たちの住む沖縄（琉球）が描かれた地図もありますが、必ずしも地理的に緻密な特性を表すものとしては描かれていませ

んでした。しかし、これらの地図には描かれた目的があり、製作された時代背景や状況をとらえることのできる重要な歴史情報が詰め込まれています。
本展では、琉球・沖縄の地図をはじめ、最新の地図研究成果を盛り込みながら、地図（古地）を通して見えてくる中世から近現代の琉球・沖縄の変遷と意外な見どころを紹介しました。

【展示内容】
・県内外にある地図関係資料を用いて、琉球王国時代～近現代に国内外で製作された地図（鳥瞰図含む）を展示し、国内外から見た琉球・沖縄のすがたを紹介します。
・王国時代の高度な地図製作技術（測量や製図方法）を示し、先人の偉業を紹介します。
・近現代における多様な地図とそれに投影された沖縄の近現代史をひも解きます。
・現代の地図製作技術等を紹介するコーナーを設けます。

プロローグ　さまざまな沖縄島

第一章　琉球王国時代の地図
１．「外」からみた琉球
（１）中国からのまなざし　　（２）朝鮮からのまなざし　　（３）日本からのまなざし
（４）西洋からのまなざし
２．琉球を測る、描く
（１）精密な測量と地図製作　　（２）琉球を描く～道しるべ・鳥瞰図～

第二章　近現代の地図
１．明治のころの沖縄
（１）琉球藩設置から琉球処分、そして沖縄県の誕生　　（２）土地整理事業
（３）陸地測量部による地図
２．大正のころの地図
３．昭和初期のころの地図
（１）十五年戦争から沖縄戦へ　　（２）沖縄戦前夜・アメリカ軍の上陸
４．戦後ゼロからの出発と復興
（１）戦後の地籍調査　　（２）琉球政府・沖縄県の地籍調査　　（３）戦後から復帰前の地図
エピローグ　現代の地図と測量

【関連催事】
（１）シンポジウム「琉球・沖縄の地図」
日　時：2017年２月18日（土）　13:30～16:30
パネリスト：安里進氏（琉球の地図製作、測量術）
豊見山和行氏（王府による地図製作の背景）
真栄平房昭氏（西洋で製作されたアジア地図と琉球）
金城善氏（近現代の地図）
コーディネーター：田名真之
参加者：170名

（２）文化講座「琉球国図と地図奉納」
日　時：2017年３月18日（土）　14:00～16:00
講　師：渡辺　美季
参加者：139名

（３）親子体験学習教室①「海底地形の測り方を知ろう！」親子工作体験「AUV(自律型潜水調査機器)ごんどう、地球型紙風船」
日　時：2017年２月11日（土・祝日）14:00～
協　力：第十一管区海上保安本部

（４）親子体験学習教室②「測量船おきしお見学」
日　時：2017年２月26日（日）10:00～
協　力：第十一管区海上保安本部

（５）子ども体験学習教室①「測量・地図について」
日　時：2017年２月25日（土）10:00～
協　力：国土地理院沖縄支所

（６）子ども体験学習教室②「測量を体験しよう！」
日　時：2017年３月５日（日）14:00～
協　力：沖縄県土地家屋調査士会、公益社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士会

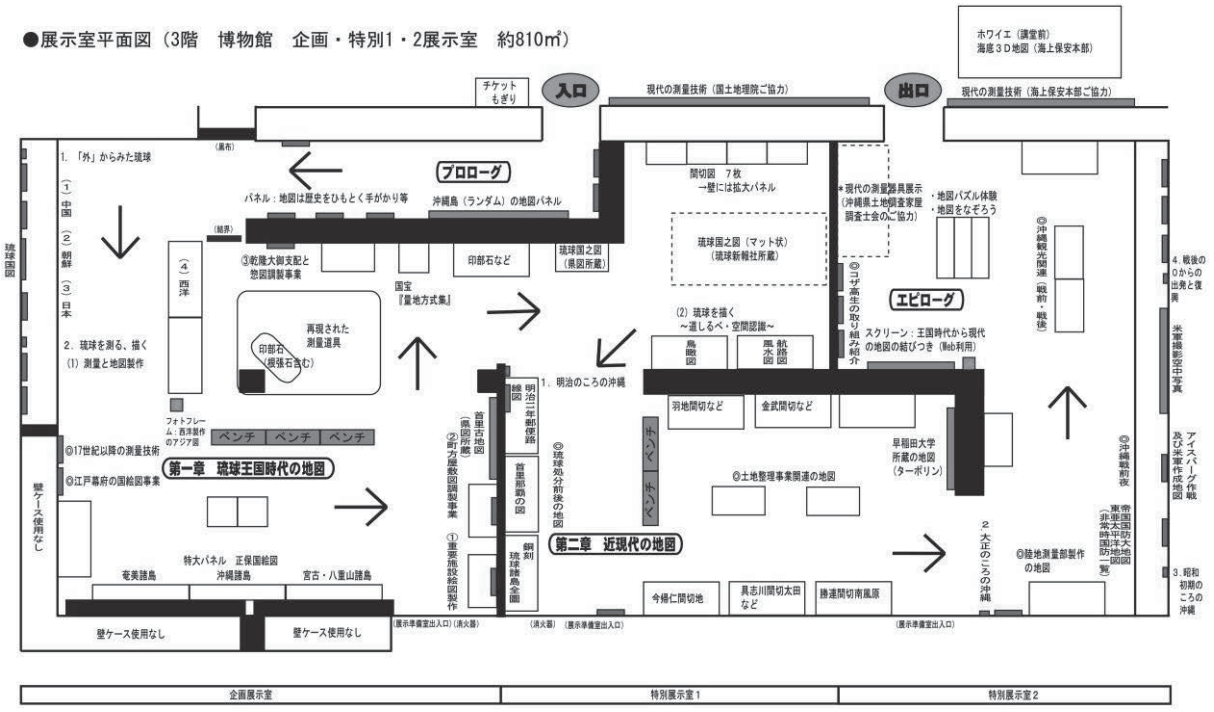
（７）展示解説会
日　時：2017年２月26日（日）、３月20日（月・祝）、４月８日（土）14:00～

（８）地図を手に持った史跡めぐり
日　時：2017年４月15日（土）14：00～
講　師：安里　進

（９）学芸員講座「時空を超えて TSUNAGARU MAP　～過去から未来への地図あり方～」
日　時：2017年２月４日（土）14:00～16:00
場　所：博物館講座室
講　師：石垣　忍（沖縄県立博物館・美術館）
　　麻生　伸一（沖縄県立芸術大学）
　　奥間　健（沖縄県立コザ高等学校）
　　金津　史和（株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所）
参加者：60名

（10）学芸員講座「琉球王国時代の古地図～「外」から見た琉球を中心に～」
日　時：2017年３月４日（土）14:00～16:00
場　所：博物館講座室
講　師：崎原　恭子（歴史、古琉球／近世）
参加者：67名

【展示平面図】



（石垣　忍）

Ⅲ　教育普及活動

１．博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。近年博物館を訪れる来館者のニーズは多様化し、利用者はそれぞれが様々な目的をもって来館する。このような来館者の要求により多くこたえていくため、当館では今年度も多くの教育普及活動を実施してきた。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業、博物館が企画運営する文化講座、体験学習教室、ボランティア養成等、大きく２つの事業に分け推進してきた。学校連携事業では、学校団体受入の充実した態勢を図るため、ボランティア員を活用した学校団体に対する支援体制の強化を推進し、サービスの向上を図ってきた。また、「出前授業等」実施要項を作成し、学芸員と教師が連携した授業を実施することができた。文化講座は「琉球の金工品の世界」を皮切りに総数12回実施し、県民の皆様に多くの参加をいただき好評を得ることができた。その他にも、体験学習教室では「昆虫標本をつくろう！」をはじめとする４回の体験学習教室の開催や、学芸員講座と常設展展示解説会12回、バックヤードツアー12回、夏休み企画として「博物館学芸員教室」全10教室開催した。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業のなかでも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

（大川　剛）

県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など）　※重複あり

項　　目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
下見(学習ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ作成打合せ)	29	0	0	0	0	29
民具体験(小学校３年社会科)	34	0	0	0	0	34
教科(社会科、理科など)	77	2	9	4	1	93
領域(道徳、特活、総学の時間)	16	3	4	2	1	26
民俗ガイド(小規模校対応)	4	0	0	0	0	4
総合展示部門解説ガイド	9	1	1	2	0	13
修学旅行など	43	0	1	1	0	45
博物館活用学習(自由見学)	53	9	23	7	11	103
そ の 他	10	2	3	3	1	19
合 計	275	17	41	19	14	734

２．学校連携事業

学校連携事業は、大きく二つの事業を実施した。一つは、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援で、館から提供できる支援内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮し、学校と博物館が連携していく学習プログラムを実施した。二つめは、『出前授業等』実施要項の作成及び、『教育普及報告書』『博物館学校団体利用マニュアル』を作成し、沖縄県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援校に配布した。

【学校団体受入れ】

毎年９月頃から３月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために小学３年生が数多く来館する。この民具体験学習では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。学校側との打合せとして、約２時間の下見を実施している。学校と博物館が互いに協力した学習支援体制がスムーズに行えるよう取り組んだ。教師が主体性を持ち、博物館を活用した授業展開の在り方が構築されたと考える。今年度は、29校が学習プログラムを活用した。

【出前授業等】

博物館のもつ資源（もの、情報）を学校教育の場で有効に活用することを趣旨とし、昨年度から出前授業等を実施している。今年度は、小中併置校１校・小学校２校・高等学校７校での授業及び校内研修で出前授業等を実施した。

（大川　剛）

３．博物館体験学習教室

沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。

○平成28年７月28日・24日・８月20日【昆虫標本づくり】講師：山﨑　仁也（博物館学芸員）



７月 23 日（土）昆虫の採集



７月 24 日（日）標本づくり



８月 20 日（土）標本箱づくり

○平成28年８月21日【簡易植物工場】講師：浅賀　宏昭（明治大学教授）



浅賀氏による説明・解説

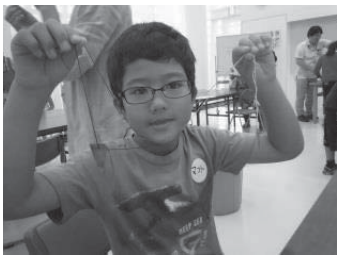




教室では、ペットボトルを使った植物栽培容器の製作が行われた

○平成28年11月19日【貝器をつくろう】講師：山崎　真治（博物館学芸員）







教室では、石でできたキリを使った、貝のアクセサリー作りが行われた

○平成29年３月５日【サンゴ礁ウィーク2017】講師：山崎　仁也（博物館学芸員）











サンゴ礁ウィーク関連催事としてワークショップ、サンゴストラップ製作、ランプシェード製作、琉球大学大野良和氏を招いてサイエンスカフェが催された

（大川　剛）

４．博物館文化講座

博物館文化講座は、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、

実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。今年度の総受講者数は、1,511名であった。

（大川　剛）

【文化講座一覧】

回	期日	演題・講師名	場所	参加者
467	2016．4.16（土） 15:00～17:00	「琉球の金工品の世界」 【講師】 久保　智康　（京都国立博物館名誉館員）	講堂	88
講座においては、氏からはご自身の琉球金工との関わりから、琉球における金工の世界について、以下において解説がなされた。 （1）琉球独自の簪（かんざし）について　（2）発掘された甲冑に見られる、日本本土からの影響 （3）仏教の影響による、「禅の教え」からの影響　（4）銅製の鏡の出土による、三山成立以前の琉球の様子についての考察				
468	2016.5.21（土）	「ジョン万次郎琉球上陸の真実」 【講師】 神谷　良昌　（糸満市教育委員会　総務部長）	講堂	197
講座においては、氏からはジョン万次郎の生涯と琉球上陸に関する研究について、以下において解説がなされた。 （1）ジョン万次郎の生涯、時代背景について （2）万次郎の琉球入りについて。その目的と足跡について。（最初の上陸地は伊是名島か） （3）ジョン万次郎と、幕末に活躍した人物達との関わりについて。　（4）ジョン万次郎の生き方から学ぶこと。				
469	2016.6.18（土）	「亜熱帯域のムラの民俗自然誌　―未完の黒島調査―」 【講師】 篠原　徹　（滋賀県立琵琶湖博物館館長）	講堂	79
講座においては、氏の研究テーマである“人と自然の民俗学的関係”の見地から講話が行われた。 （1）自然を生かす　（2）自然をたわめる　（3）自然を変える　（4）自然を創る　（5）３つの環境史と民俗自然史 ①人と人の関係性の先にある自然史をめぐる環境史　②自然との直接的な関係をめぐる環境史※生きる方法としての民俗 ③自然それ自身の構成要素間の関係をめぐる環境史				
470	2016.7.16（土）	「よみがえる国王の肖像画」 【講師】 荒井　経　（東京藝術大学准教授）	講堂	92
講座においては、氏が手がけた修復事業を事例として触れながら、講話が行われた。 修理・・・（大学美術館収蔵品等の修理）　模写・・・（現状模写：古色や剥落までの現状すべてを写し取る模写） （復元模写：描かれた当初の状態（失われる直前の状態）を描く模写） ＜事例１＞　法隆寺金堂壁画の再現模写　＜事例２＞　山津見神社オオカミ天井絵の復元模写　“文化財”とは何か				
471	2016.8.20（土）	「未来の食料生産の一翼を担う植物工場とは？」 【講師】 浅賀　宏昭　（明治大学　教授）	講堂	36
講座においては、氏が研究員として関わっている、「植物工場」による野菜の生産システムについての紹介と現在の課題、今後の世界的人口増加を見据えての食料生産の在り方など、広い視点から講演が行われた。また、公演後には参観者へ「植物工場」で生産された野菜が配られ、珍しい品種や通常の栽培方法で生産された野菜との比較を行っている場面も見られた。				
472	2016.9.24（土）	「柳　宗悦と沖縄の工芸」 【講師】杉山　享司　（日本民藝館　学芸部長）	講堂	214
講座においては、氏が学芸部長としてとして関わっている、日本民藝館および創設者の柳宗悦の生涯に触れ、柳と沖縄の民芸との出会いや関わり・沖縄観など、幅広い視野で講演が成された。				
473	2016.10.15（土）	「沖縄の土を知って、これからの環境を考える」 【講師】金城　和俊　（琉球大学　農学部　准教授）	講堂	73
講座においては、氏が研究されている「沖縄の土壌」に焦点を当てながら、講話が行われた。 （1）土壌とは　（2）沖縄の土壌について　（3）赤土の流出について　（4）農業における土壌について （5）農業と生態系について　（6）土壌が周辺環境に与える影響について　（7）人間と土壌との関わり				
474	2016.11.19（土）	「ホモ・サピエンスのユーラシアへの拡散とアジア人の起源」 【講師】松村　博文　（北海道医科大学教授）	講堂	143
講座においては、氏が研究されている「ホモ・サピエンスのユーラシア大陸における拡散」に焦点を当てながら、講話が行われた。 （1）アウト・オブ・アフリカ　（2）東ユーラシアの初期ホモ・サピエンス （3）携帯データが描き出す東ユーラシア先史時代人の系譜　（4）新石器時代の農耕拡散とホモ・サピエンスの大移動 （5）最大の謎は北東アジア人の起源				
475	2016.12.17（土）	「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」 【講師】石堂　和博（南種子町教育委員会）　西田　巌（佐賀市教育委員会） 島袋　春美（北谷町育委員会）	講堂	130

※『』内は、調査報告演題
石堂氏『種子島の先史文化とその特質』　　西田氏『縄文の奇跡！東名遺跡』−有明海に沈んだまぼろしの縄文文化−
島袋氏『沖縄先史時代の骨角貝文化』
講座においては、3名の講師が研究されている成果について、それぞれ発表が行われたのち、「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」について、盛んな論議が行われた。

476	2017.1.14（土）	「沖縄先史時代の人骨について」 【講師】　土肥　直美　（琉球大学非常勤講師）	講堂	150

講座においては、主に氏が研究されている白保竿根田原洞穴遺跡の調査に焦点を当てながら、講話が行われた。
1　はじめに　　2　洞穴と遺跡の形成
3　調査区の設定　　4　調査の方法
5　調査の成果

477	2017.2.18（土）	「琉球・沖縄の地図」 【講師】安里　進　（沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員） 豊見山　和行（琉球大学教授） 金城　善　（南島地名研究センター代表） 仲原　弘哲　（今帰仁村歴史研究センター　前館長）	講堂	170

※『』内は、調査報告演題
安里氏『琉球の地図製作と鳥瞰図』　　豊見山氏『琉球国の土地政策と絵図』
金城氏『近代の地図』　　仲原氏　『土地整理事業の前後について』
「琉球・沖縄の地図展」関連催事として、講師各位の調査報告の後、本館館長、田名真之をコーディネーターとして、シンポジウムが行われた。

478	2017.3.18（土）	「琉球国図と地図奉納」 講師】渡辺　美季　（東京大学大学院准教授）	講堂	139

講座においては、本館企画展示「琉球・沖縄の地図展」関連催事として、展示資料の一つである『琉球国図』焦点を当て、講話が行われた。
（1）「琉球国図」の世界―何が描/書かれているのか―
（2）記載情報のルーツ―中身のナゾ―
（3）地図成立の事情―外見のナゾ―
（4）まとめ―琉球国図と地図奉納―

5．学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。総受講者数は、630名だった。

（大川　剛）

【学芸員講座一覧】

	日　程	分野	講師名	演　題　内　容	定員	参加者
1	4月9日（土）	民俗	大湾ゆかり	「沖縄の民話　ー寄贈テープの保存と活用についてー」 （1）民話とは　（2）沖縄の民話運動 （3）遠藤庄治先生の功績　（4）民話記録の収集活動 （5）民話記録の活用　（6）民話テープの保存 （7）民話の活用例 （8）博物館に寄贈された伝承話音声テープの保存と活用	80	32
2	5月9日（土）	地学	宇佐美　賢	「海へ行きます！博物館学芸員と行くジオツアー」 （1）沖縄島の地質図　（2）沖縄島の地質年表 （3）嘉陽層・琉球石灰岩 ～観察から見えてくる大地の歴史～ ①宜野座港に見られる嘉陽層 ②嘉陽層と琉球石灰岩 （異なる2つの地層から堆積環境の変化を考える） ③嘉陽層の褶曲・断層・聖痕化石	15	14

	日　程	分野	講師名	演　題　内　容	定員	参加者
3	6月4日（土）	美術 工芸	與那嶺一子	**「田中俊雄と”沖縄織物の研究”」** （1）田中俊雄の人物像・生涯 （2）田中の見た沖縄 （3）沖縄織物の研究 ―何故、バイブルと呼ばれるのか― （4）田中の残したもの	80	64
4	7月9日（土）	考古学	片桐千亜紀	**「台湾原住民ブヌン族の骨考古学的調査」** **―骨に刻まれた生き様―** （1）台湾・アジア調査の草分け、鳥居龍藏氏について （2）台湾の原住民、ブヌン族他の抜歯習俗について （3）頭蓋骨・歯から見る当時の生活背景について （4）ブヌン族と先史沖縄人との骨考古学的比較について	80	47
5	8月6日（土）	教育 普及	大川　剛	**「博物館バックヤードツアー探険！！」** （1）「博物館探険隊」としてﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞﾂｱｰを行った。 （2）各場所に「指令書」「アイテム（シール）」を置き、説明を聞くだけでなく、探す喜びも加えた。 （3）ツアー後はロビーにて、ワークシートを作成	15	11
6	8月27日（土）	自然史	山﨑　仁也	**「実験とは何か～ゾウリムシからSTAP細胞まで～」** （1）実験って何だろう　○人の好奇心　○私の実験体験 （2）理科教育としての実験　○みんなが博士になるわけじゃない　○自分のオリジナル実験を！　○好奇心の芽を摘まない　STAP細胞は本当に捏造か （3）動物実験の是非　○解剖しないとわからないこと ○動物実験の是非（特に小中高） （4）実験し続ける心　○クロードベルナール：1813-1878年フランスの医師、生理学者	80	28
7	10月1日（土）	美術 工芸	外間　一先	**「時空を越えて～柳宗悦と昭和10年代の沖縄～」** （1）日本民藝館80周年沖縄の民芸展について （2）坂本万七について （3）坂本万七と民芸運動 （4）昭和10年代の沖縄風景	80	85
8	11月5日（土）	美術 工芸	園原　謙	**「ウチナーンチュは博物館をいかにして作ってきたか」** **－戦後とともに歩んだ博物館70年のあゆみをふりかえる－** （1）博物館前史 （2）旧博物館時代の博物館活動 （3）21世紀の博物館づくり ―美術館を加えた大規模博物館へ―（おもろまち）	80	44
9	12月3日（土）	人類	藤田　祐樹	**「サキタリ洞むかしばなし（秋）」** 博物館特別企画展の関連催事として、サキタリ洞より発見・発掘された世界最古の釣り針に触れ、それに関連する、沖縄の旧石器人類の生活の様子について、講義が行われた。また、講義修了後には展示解説会が行われ、多くの方々が講師の説明に聞き入っていた。	80	100
10	1月7日（土）	人類	山崎　真治	**「沖縄の貝器分化と西太平洋の先史・民族文化」** （1）　沖縄の貝器分化 （2）　西太平洋の先史文化　　先ラピタ・ラピタ分化 （3）　西太平洋の民族文化　　メラネシア（クラ交易） （4）　まとめ （5）　公演後、特別展会場にて、展示解説会が行われた。	80	78
11	2月4日（土）	歴史	石垣　忍 （本館学芸員） 麻生　伸一 （沖縄県立芸術大学） 奥間　健 （コザ高教諭） 金津　史和 （(株)ユニバーサルデザイン）	**「時空を超えてTSUNAGARU MAP　～過去から未来への地図あり方～」** （石垣）過去の沖縄～現在までの地図　インターネットを、常設展示資料の詳細、発見場所等を表示するシステムの紹介を行った。 （麻生）地図アッチャーのシステムの紹介。首里那覇港図屏風絵に描かれた各場所と、現在の地図との関連表示が行える。 （奥間）「コザ高等学校地域学習プロジェクト」として、TSUNAGARU-MAPを活用しながらの授業作りの紹介及び、高校生2グループによる成果報告が行われた。	80	60

	日　程	分野	講師名	演　題　内　容	定員	参加者
12	３月４日（土）	歴史	崎原　恭子	**「琉球王国時代の古地図～「外」から見た琉球を中心に～」** 博物館企画展の関連として「外」からのまなざしという視点から、下記の内容にて講演が行われた。 （１）中国からのまなざし（２）朝鮮からのまなざし （３）日本からのまなざし（４）西洋諸国からのまなざし また、講義修了後には企画展『琉球・沖縄の地図展』展示解説会が行われ、多くの方々が講師の説明に聞き入っていた。	80	67

６．展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に、学芸員が展示解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介している。参加者の内訳は、博物館ボランティアが全体の約35％を占め、その他年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。常設展の展示解説会は、各学芸員が１回ずつ担当し、全12回129人（定員なし、平均参加人数11人）の参加を集めた。

企画展･特別展における展示解説会では、全10回225人（定員なし、平均参加人数23人）の参加者があった。博物館特別展「港川人の時代とその後 琉球弧をめぐる人類史の起源と展開」では全７回123人（定員なし、平均参加人数18人）が参加し、南城市サキタリ洞を始めとした沖縄における近年の調査研究成果等について、展示物と共にわかりやすく解説した。また、博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」では、全３回102人（定員なし、平均参加人数34人）が参加し、パネル文だけでは補えない情報や展覧会開催にまつわるエピソードなどについて詳しく解説した。

（１）学芸員による展示解説会　定員なし

（２）平成28年度　博物館企画展・特別展付帯催事　展示解説会

	日程	展覧会名	講師名	参加者
1	11月20日（日）	博物館特別展 「港川人の時代とその後　－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開－」	山崎　真治	19
2				11
3	11月23日（水）			18
4				11
5	12月３日（土）		藤田　祐樹	21
6	12月８日（木）		山崎　真治	11
7	１月７日（土）			32
8	２月26日（日）	博物館企画展 「琉球・沖縄の地図展　～時空を超えて沖縄がみえる～」	崎原　恭子	43
9	３月４日（土）		崎原　恭子・石垣　忍	33
10	３月20日（月）		崎原　恭子・石垣　忍	26
合　計				225

７．バックヤードツアー

バックヤードツアーは、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務めた。安全性を考慮し、常に学芸員と文化の杜スタッフの２名体制で臨んだ。

学芸員研究室～研究資料室（書庫）～自然史実験室～トラックヤード～写真撮影室～冷凍室～工作室を基本コースとしたが、収蔵庫は専門分野を中心に案内することにより、資料に関する質問にも的確に対応することができた。また、建物の構造やIPM（Integrated　Pest　Management：総合的病害虫管理）の取り組み、資料の修復について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解してもらうための工夫が担当毎に見られた。参加者層は、県外からの旅行客を含む一般来館者が大多数を占め、夏休み期間中は、親子連れが目立った。全12回107名（定員12名、平均参加人数８名）の参加があった。

	日程	分野	講師名	定員	参加者
1	4 月 23 日	人類	山崎真治	12	5
2	5 月 14 日	人類	藤田祐樹	12	12

	日程	分野	講師名	定員	参加者
3	6月25日	美術工芸	與那嶺一子	12	12
4	7月23日	歴史	石垣　忍	12	12
5	8月27日	歴史	崎原恭子	12	13
6	9月24日	考古	片桐千亜紀	12	13
7	10月22日	民俗	大湾ゆかり	12	0
8	11月26日	教育普及	大川　剛	12	4
9	12月24日	地学	宇佐美　賢	12	12
10	1月28日	生物	山﨑仁也	12	8
11	2月25日	美術工芸	外間一先	12	10
12	3月25日	民俗	大湾ゆかり	12	6
合計人数				144	107

（大濱　萌子）

8．夏休み！博物館学芸員教室

夏休み！博物館学芸員教室は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。10名の学芸員がそれぞれ90分の教室を開講。１日２～３教室、全10回の教室を開講した。

時間帯	7月26日(火)	7月27日(水)	7月28日(木)	7月29日（金）
10：00～11：30	**(人類)藤田祐樹** 動物の歯と食べ物を調べよう	**(美工)與那嶺　一子** 折り紙で琉服をつくろう！	**(民俗)大湾ゆかり** ハブグァーを作ろう！	**(歴史)崎原恭子** オリジナルの家系図をつくろう！
	参加者　16人	参加者　15人	参加者　15人	参加者　6組
13：00～14：30	**(人類)山崎真治** 貝器づくり体験	**(地学)宇佐美　賢** 砂の中から宝を探せ！！	**(考古)片桐千亜紀** 神が宿る石、勾玉を削り出そう！	**(美工)外間一先** 漆喰シーサーを作ろう！
	参加者　10人	参加者　17人	参加者　18人	参加者　18組
15：00～16：30	**(歴史)石垣　忍** 印じゃなぁーい？	**(生物)山﨑仁也** レインボーゾウリムシをつくろう！		
	参加者　7人	参加者　20人		

（大川　剛）

9．博物館ボランティア活動

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入している。平成28年度は、多様化する来館者のニーズに対応し、よりきめ細かなサービスの寄与を目的として、第7期新規のボランティアを募集し、半年間にわたる養成講座をおこない、19名の博物館ボランティアの登録ができた。また、土・日・祝日のみ活動できる、ふれあい体験室専属ボランティアを募集し、３名のふれあい体験室専属ボランティア員の登録ができた。博物館ボランティアと総勢78名のボランティアを登録している。

（大川　剛）

10．ふれあい体験室

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示、部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せもっている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

利用者状況

今年度のふれあい体験室の来場者は、53,480人（１日平均175人）。幼少からのリピーターも多く、37種類の体験キットは、人々の交流の中で子ども達の成長に合わせて利用されている。毎週土曜日に開催している「ふれあい体験室ワークショップ」（指定管理者主催）は、体験キットの学びを深める機会として、子どもから大人まで幅広い世代が参加し、新たなプログラムを楽しみにする参加者も定着しています。ワークショップの充実は、飽きさせない環境づくりや、来館を促すきっかけへと繋がっており、ふれあい体験室は小さな子どもから楽しめる博物館の「学びの場」となっています。

今年度のふれあい体験室ワークショップは、体験キットの充実・発展を目的に、各分野担当学芸員や専門の指導者と協力して４つのプログラムを開催した。未就学児から大人まで広い世代に参加してもらえるよう、難易度を低くすることや、短時間で取り組める内容を選定した。参加者には、講座の要点をまとめた「博士カード」を配布し、カードを集める楽しさを取り入れながら、学びを深めてもらった。（主催：沖縄美ら島財団）

（１）場所：ふれあい体験室前エントランスホール

（２）講師：ふれあい体験室スタッフ１名

（沖縄美ら島財団：前川貴子、平良尚人、比屋定智子、金城絵舞、嶺井良子、小柳果野子）

（３）対象：小さなお子さん～大人（小３以下、保護者同伴）

（４）参加者数：1,149人／一日平均23人

（前川　貴子）

11.　常設展に関する取り組み

博物館常設展の見学の手助けとして、平成23年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、日本語版15,000枚を配布した。また、英語版「ここだけは見逃すな！」は5,000枚、日本語版は12,000枚増刷した。

（前川　貴子）

12.　沖縄県立博物館・美術館のフリーパス

沖縄県立博物館・美術館では、県内の小中学生が博物館・美術館を知る機会とし、また、同館を身近に感じてもらい、何度も足を運んで欲しいとする目的で「沖縄県立博物館・美術館フリーパス」の印刷・作成を小・中学校に依頼している。表紙は沖縄の自然、歴史、文化に関する図案を基本とするが、自らデザインした図柄でもよい。裏面にはマス目があり、来館の際にスタンプが押印できる形になっていて、学校で印刷した上で、裏面に校長印を押印し、来館時に総合案内に提出する。

利用の対象は、県内の小・中学生で、学校の授業の一環、または個人での来館の際に持参して利用する。スタンプの押印数については、遠隔地や離島などの学校の生徒にはスタンプの数を調整するなどとして、配慮を行っている。平成22年度から、ゴールした児童生徒には、情報センターにおいて名前入りの「フリーパス終了証」と記念品（オリジナルクリアファイルと消しゴム）をプレゼントしている。今年度の対象者は０名。

（大濵　萌子）

13. 普及資料の貸出

（１）平成28年度普及資料貸出一覧

博物館の教育普及関係資料等を貸出している。平成28年度の貸出団体数は12件であった。

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
1	デイサービス うらら	豆腐づくり	実習おける懐古療法	６月 14 日～20 日
2	富山県 中央植物園	ふれあい体験室備品	企画展”沖縄展” 展示・着衣体験	７月 22 日～９月 25 日
3	一般財団法人 沖縄美ら島財団	琉球玉手箱（歴文箱） 琉球玉手箱（自然史箱）	夏休み子ども自由研究 展示・体験資料	７月 29 日～８月２日
4	熊谷 和・着物専門学院	ふれあい体験室着付け体験資料	作品展示会における 参考展示	９月 22 日～ 28 日

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
5	沖縄市立 美原小学校	ふれあい体験室備品 ・染織の道具見本 ・布見本	図画工作授業における 提示資料	10 月 25 日～29 日
6	沖縄アミークス 国際小学校	むかしむんキット	図画工作授業における 提示資料	11 月 14 日～25 日
7	那覇市立 天久小学校	むかしむんキット	授業における 民具体験学習	11 月 28 日～12 月５日
8	那覇市立 松川小学校	むかしむんキット	授業における 民具体験学習	１月 31 日～２月 10 日
9	那覇市立 真嘉比小学校	サトウキビ圧搾機	サトウキビ搾り体験	２月１日～８日
10	那覇市 立松川小学校	民具体験用洗濯板	授業における 民具体験学習	２月 10 日～17 日
11	浦添市立 宮城小学校	むかしむんキット	授業における 民具体験学習	２月 14 日～16 日
12	那覇市立 城岳小学校	民具体験用洗濯キット	授業における 民具体験学習	３月 10 日～17 日

（２）平成28年度普及資料の活用

	開催地	活用資料	活動内容	期日
1	沖縄コンベンション センター	琉球玉手箱（歴文箱） 琉球玉手箱（自然史箱）	夏休み子ども自由研究アウ トリーチ活動	７月 29 日～８月２日
2	沖縄コンベンション センター	主に自然史系体験キット	サイエンスフェスタ アウトリーチ活動	11 月 26 日
3	東風平町運動公園体 育館	琉球玉手箱（歴文箱） 民具体験用資料	八重瀬八景春フェスタアウ トリーチ活動	２月 19 日

博物館の教育普及関係資料等を活用し、学校団体以外にもアウトリーチ活動を展開した。平成28年度の貸出団体数は３件であった。

（大川　剛）

14.　職場体験受入

本年度も沖縄美ら島財団が窓口となり、職場体験およびインターンシップを受け入れた。平成28年度は５校78人を受け入れた。もぎりやミュージアムショップでの接客業務をはじめ、情報センターでの資料整理、ふれあい体験室ではワークショップの下準備をした。また、各校の実施日初日には、博物館・美術館学芸員によるバックヤード見学や学芸業務の見学等も行われ、充実した体験内容となった。

○実施団体

	学校名	日　程	人　数
1	多良間村立多良間小学校	６月 16 日	１人
2	那覇市立金城中学校	６月 29 日～６月 30 日	１人
3	〃	2017 年２月２日～２月３日	３人
4	沖縄県立沖縄工業高等学校	９月 13 日～９月 15 日	２人
5	南風原町立北丘小学校	11 月２日	70 人
6	琉球大学　交換留学生	２月 28 日～３月６日	１人

15.　ボランティアによる展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに、展示解説ガイドがある。これは、来館者サービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」で、ボランティアがわかりやすく解説することを目指し

ている。

まず、民俗部門展示室においては、民俗勉強会のボランティア有志メンバーが中心となり、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）の子供たちを対象に解説ガイドを実施している。来館当日は、指定管理者のスタッフが引率教員と担当ボランティアとを引き合わせるが、＜教員との打ち合わせ～オリエンテーション～展示ガイド～まとめ＞までボランティアが先導し行っている。今年度は、合計５校70人を受け入れた。

そして、総合展示部門解説ガイドは平成26年度から本格実施し、今年度は17団体852人を受け入れた。こちらは、県外の修学旅行や一般団体の他、県内では小学校以外に地域の老人会やデイサービスなど、一般・70歳以上の団体もあり、幅広い年齢層の来館者へガイドを実施した。また、昨年度から引き続き、週３回（８月は週４日）午後に待機型ガイドも実施した。こちらは、2,268人（150日中）に対応した。

広報については、県内外の旅行会社へ向けた説明会の他、ホームページ掲載を行っている。また、団体受付窓口の情報センターから直接案内することもあり、年間を通じて実績を残すことが出来た。これらは、リピーターによる依頼のみならず、口コミなどで情報が発信している様子も窺える。

今後の課題としては、対象に応じた時間配分や言葉選び、コース選定などについてボランティア同士、担当職員間で研究する必要がある。

（大濵　萌子）

Ⅳ. 資料の収集・保存管理

１．収蔵資料現在高

2017年３月31日現在

分類		購入	寄贈	収集	移管	小計	総計
自然史	地学	615	26,694	3,048	1	30,358	56,193
	動物	1,536	18,698	539	141	20,914	
	植物	202	4,716	0	0	4,918	
	菌類	3	0	0	0	3	
人類資料		93	19	6	0	118	118
美術工芸	絵画	97	580	2	4	683	10,471
	書跡	180	494	49	6	729	
	彫刻	6	115	136	7	264	
	陶磁器	431	3,476	465	538	4, 910	
	漆器	231	272	195	19	717	
	染織	1, 290	1,748	51	27	3,116	
	その他	13	39	0	0	52	
歴史資料		2,889	8,987	546	455	12,877	12,877
考古資料		301	3,650	2,821	0	6,772	6,772
民俗資料		633	6,023	1,107	137	7,900	7,900
総計		8,520	75,461	8,965	1,335	94,331	94,331

（注）平成27年度に寄贈された「伝承話音声資料カセットテープ」は、その後50本の追加があり、1,558本に修正しました。

２．2016（平成28）年度新収蔵資料高

2017年３月31日現在

分類		購入	寄贈	収集	移管	小計	総計
自然史	地学	0	19	0	0	19	24
	動物	3	2	0	0	5	
	植物	0	0	0	0	0	
	菌類	0	0	0	0	0	
人類資料		0	0	0	0	0	0
美術工芸	絵画	0	5	0	0	5	94
	書跡	0	0	0	0	0	
	彫刻	0	0	0	0	0	
	陶磁器	0	76	0	0	76	
	漆器	0	2	0	0	2	
	染織	1	6	0	0	7	
	その他	0	4	0	0	4	
歴史資料		10	245	0	0	255	255
考古資料		0	0	0	0	0	0
民俗資料		0	43	0	0	43	43
総計		14	402	0	0	416	416

３．2016（平成28）年度新収蔵資料目録

【購入】

分類		資料名	数量	提供者・所在地	
自然史	生物	ヤギ（ザーネン種）胃袋プラスティネーション標本	1	庄司 直嗣((有)エヌケイ商事)／臓器提供：伊保 俊彦	名護市
		シカ胃袋プラスティネーション標本	1	庄司 直嗣((有)エヌケイ商事)／臓器提供:一般社団法人阿久根市有害鳥獣捕獲協会「いかくら阿久根」	名護市
		ヤギ(ボア種)消化管一式プラスティネーション標本	1	庄司 直嗣((有)エヌケイ商事)／臓器提供：沖縄県農林水産部 畜産研究センター	名護市

分類	資料名	数量	提供者・所在地	
美術工芸	白地流水菖蒲蝶文様紅型型紙	1	(一財)沖縄美ら島財団・(株)国建企業共同体／製作者：知念 績人	那覇市
歴　史	南島探検	1	榕樹書林	宜野湾市
	摂津名所図会	1	榕樹書林	宜野湾市
	万国人物之図	1	榕樹書林	宜野湾市
	リンスホーデン東インド地方図	1	榕樹書林	宜野湾市
	赤地五色浮織冠	1	(一財)８沖縄美ら島財団・(株)国建企業共同体／製作：宝口工房、蕉紙庵、木の工房杢陽、北谷竹細工、組踊道具衣裳製作修理技術保存会	那覇市
	赤地冠（縮緬）	1	(一財)沖縄美ら島財団・(株)国建企業共同体／製作：下村ねん糸、蕉紙庵、花藍社、木の工房杢陽、北谷竹細工、組踊道具衣裳製作修理技術保存会	那覇市
	緑冠	1	(一財)沖縄美ら島財団・(株)国建企業共同体／製作：（株）のむら、蕉紙庵、花藍社、木の工房杢陽、北谷竹細工、組踊道具衣裳製作修理技術保存会	那覇市
	聞得大君御殿雲龍黄金簪	1	(一財)沖縄美ら島財団・(株)国建企業共同体／製作者：(有)松田	那覇市
	三御飾（美御前御揃）・八角銀鋺	6	(一財)沖縄美ら島財団・(株)国建企業共同体／製作者：(有)松田	那覇市
	三御飾（美御前御揃）・托付銀鋺	2	(一財)沖縄美ら島財団・(株)国建企業共同体／製作者：(有)松田	那覇市

※自然史・生物分野は、いずれも委託制作

【寄贈】

分類		資料名	数量	提供者・所在地	
自然史	生物	ウシ胃袋プラスティネーション標本	1	庄司 直嗣（(有) エヌケイ商事）	名護市
		ウシ胎児胃袋プラスティネーション標本	1	庄司 直嗣（(有) エヌケイ商事）	名護市
	地学	南大東島の陸生貝化石（ヘソアキアツマイマイ）	3	新垣 善吉、新垣 和子	南大東村
		沖縄島北部・周辺離島の古生代・中生代化石・岩石標本及び調査・研究資料一式	1	石橋 毅紹	福岡県 福岡市
		島尻層群新里層及び与那原層の貝化石一式	1	宮城　勉	那覇市
		北大東島の燐鉱石	9	金城 勇徳 採集者：　赤嶺 善光	那覇市
美術工芸	染織	絹紺地経緯絣着物	1	荒川 浩和	東京都
		芭蕉経緯絣着物	1	大城 君子	那覇市
		黒留袖（絹黒地紋付）	1	宮平 久美子	那覇市
		苧麻紺地亀甲模様反物(宮古上布)	1	山根 藤策	岡山県
		絹白地経緯絣振袖	1	樋口 光子	那覇市
		木綿浅地格子に絣着物	1	知念 トシ	那覇市
	陶磁器	油壺	3	福田 経子	米国ハワイ州
		魚文壺（金城次郎）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		嘉瓶（ゆしびん）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		壺	3	福田 経子	米国ハワイ州
		古典焼壺	2	福田 経子	米国ハワイ州
		荒焼徳利	1	福田 経子	米国ハワイ州
		荒焼油壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		緑釉壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		白釉角瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		焼締耳付壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		キビ文角瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		盛付酒壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		渡名喜瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州

分類		資料名	数量	提供者・所在地	
美術工芸	陶磁器	アンビン	1	福田 経子	米国ハワイ州
		中壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		黒釉油壺	3	福田 経子	米国ハワイ州
		丁子風炉	1	福田 経子	米国ハワイ州
		チューカー	1	福田 経子	米国ハワイ州
		カラカラ	5	福田 経子	米国ハワイ州
		瓶子	1	福田 経子	米国ハワイ州
		マカイ	8	福田 経子	米国ハワイ州
		もろみ酒入れ	1	福田 経子	米国ハワイ州
		赤絵壺	2	福田 経子	米国ハワイ州
		上焼カラカラ	2	福田 経子	米国ハワイ州
		小瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		花生	1	福田 経子	米国ハワイ州
		青磁酒瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		瓶	3	福田 経子	米国ハワイ州
		コバルト釉花瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		赤絵花瓶（小橋川仁王）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		青磁酒瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		花生	1	福田 経子	米国ハワイ州
		耳付瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		荒焼壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		上焼壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		上焼花生	1	福田 経子	米国ハワイ州
		呉須絵小壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		呉須絵小壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		焼締由壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		焼締壺	2	福田 経子	米国ハワイ州
		上焼小壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		黒釉小壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		染付マカイ	2	福田 経子	米国ハワイ州
		広口壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		染付香炉	1	福田 経子	米国ハワイ州
		苗代川壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		黒釉耳付壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		黒釉花瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		銘入り瓶	1	福田 経子	米国ハワイ州
		花鳥彩色壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		黒釉壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		きび文壺（新垣栄三郎）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		きび文皿	1	福田 経子	米国ハワイ州
	絵画	大城皓也色紙（ハイビスカスと赤瓦屋）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		大城皓也色紙（月桃の花）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		琉球美人（油絵）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		色紙	2	福田 経子	米国ハワイ州
	漆器	透漆弁当重	1	福田 経子	米国ハワイ州

分類		資料名	数量	提供者・所在地	
美術工芸	三線	三線　真壁型	1	福田 経子	米国ハワイ州
	その他	中将様あて書状（中山王）	1	福田 経子	米国ハワイ州
		ヤシの実 壺	1	福田 経子	米国ハワイ州
		ソロバン	1	福田 経子	米国ハワイ州
		硯	1	福田 経子	米国ハワイ州
		黒檀製たばこ盆	1	福田 経子	米国ハワイ州
		木製鐙（あぶみ）	1	福田 経子	米国ハワイ州
歴　史		屋我地尋常小学校　修業證書	1	上地 政春	与那原町
		大正三年乃至九年戦役従軍記章	1	堀野 ふみ子	那覇市
		日中戦争時の満州出征写真	3	堀野 ふみ子	那覇市
		九九式短小銃	1	那覇警察署	那覇市
		沖縄戦直後の写真	64	勝子 ウィルソン	米国ﾊﾞｰｼﾞﾆｱ州
		第６回世界のウチナーンチュ大会関連資料	84	世界ウチナーンチュ大会事務局	沖縄県
		戸籍謄本、裁判判決文、土地所有権保存登記申請書等	40	宮城 節子	那覇市
		壺川松尾墓碑	1	仲里 朝豪	那覇市
		証書類	12	福田 経子	米国ハワイ州
		日本旅行証明書及び身分証明書	6	福田 経子	米国ハワイ州
		Ｂ型軍票及び切手	7	福田 経子	米国ハワイ州
		写真	25	福田 経子	米国ハワイ州
民　俗		友寄英春作 メジロ籠	5	友寄 英康	那覇市
		蒸籠	1	赤嶺 治夫	那覇市
		弁当箱	9	赤嶺 治夫	那覇市
		水筒	3	赤嶺 治夫	那覇市
		ジュラルミン製両手鍋	1	赤嶺 治夫	那覇市
		ジュラルミン製碗	1	赤嶺 治夫	那覇市
		ジュラルミン製タライ	1	赤嶺 治夫	那覇市
		柱時計	1	赤嶺 治夫	那覇市
		枡	2	赤嶺 治夫	那覇市
		しゃもじ	1	赤嶺 治夫	那覇市
		手動ドリル	1	赤嶺 治夫	那覇市
		漏斗	1	赤嶺 治夫	那覇市
		竿秤（分銅付）	1	赤嶺 治夫	那覇市
		Ｔ字ドリル	1	赤嶺 治夫	那覇市
		草かじり鉋	1	赤嶺 治夫	那覇市
		竪杵	1	赤嶺 治夫	那覇市
		鋸	1	赤嶺 治夫	那覇市
		アメリカ製鋸	2	赤嶺 治夫	那覇市
		穴掘り器	1	赤嶺 治夫	那覇市
		三線の棹	1	林 正子	米国ハワイ州
		芭蕉無地着物	1	與那嶺 圭子	那覇市
		桐板絣着物	1	與那嶺 圭子	那覇市
		化繊絣着物	1	與那嶺 圭子	那覇市
		石厨子	1	砂辺 松博	埼玉県
		石厨子	1	砂辺 松博	埼玉県
		緑釉御殿型厨子	1	島袋 健二	那覇市

分類	資料名	数量	提供者・所在地	
民　俗	古酒甕（クースガーミ）	1	高里 盛国	西原町

４．所蔵指定文化財

【国指定文化財（重要文化財）】　　2017年３月31日　現在

種　別	名　　称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	１口	昭53．6．15	沖縄県
	梵鐘（旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘）	３口	〃	〃
典　籍	おもろさうし	22冊	昭48．6．6	〃
	混効験集	２冊	〃	〃
歴史資料	明孝宗勅諭　琉球国中山王尚真宛	１巻	平11．6．7	〃
	間切図	７枚	平28．8．17	〃

【県指定文化財（有形文化財）】　　2017年３月31日　現在

種　別	名　　称	員　数	指定年月日	所有者
絵　画	絹本着色花鳥図殷元良筆	１幅	昭54．４．９	沖縄県
	紙本着色雪中雉子の図殷元良筆	〃	〃	〃
	紙本墨画竹の図殷元良筆	〃	昭57．３．４	〃
絵　画	紙本着色奉使琉球図	１巻	昭57．３．４	沖縄県
	紙本着色冊封使行列図	１巻	平15．７．11	〃
彫　刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	１躯１枚	昭31.12.14	〃
	世持橋勾欄羽目	１括	〃	〃
	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15．７．11	〃
工芸品	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	１合	昭31.12.14	〃
	黒塗堆錦山水絵大文庫	〃	〃	〃
	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	〃	〃	〃
	聞得大君御殿雲龍黄金簪	１本	〃	〃
	三線江戸与那	１丁	〃	〃
	枝梅竹文赤絵碗	１口	昭54．９．３	〃
	線彫染付魚文皿	〃	〃	〃
	色象嵌粟絵菊花皿	〃	〃	〃
	象嵌色差面取抱瓶	〃	〃	〃
	梵鐘（旧霊応寺鐘）	〃	昭60．６．18	〃
	梵鐘（旧普門禅寺鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘（旧天竜精舎鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天尊殿鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天妃宮鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧一品権現鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘　旧大安禅寺鐘（一名　護国寺の鐘）	〃	昭63．１．12	〃
	梵鐘（旧永福寺鐘）	１口	平２．２．６	〃
	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	１基	〃	〃
	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	１枚	〃	〃
	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	１合	〃	〃
	黒漆薔薇堆錦軸盆	１枚	〃	〃
	朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	１合	〃	〃
	三線盛嶋開鐘附胴	１丁	平６．３．15	〃
書　跡	程順則の書	１巻	昭42．４．11	〃
	扁額徳高　鄭元偉書	１面	平元．９．29	〃
	扁額凌雲　林麟焻書	１面	〃	〃
古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	１幅	昭31.12.14	〃
	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	１通	昭53．４．１	〃
	羽地間切の屋我のろへの辞令書	１幅	昭56．３．30	〃

種　別	名　　称	員　数	指定年月日	所有者
典　籍	評定所格護定本　中山世鑑	６冊	昭31.12.14	〃
	評定所格護定本　中山世譜	19冊	〃	〃
歴史資料	銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘）	１点	昭60．６．18	〃
	安国山樹花木記碑	１基	平元．９．29	〃

５．修理事業

○美術工芸・歴史

戦後、沖縄戦を経て収集された博物館資料は、戦禍をくぐってきた希少な資料である。とりわけ、琉球王国時代の美術工芸資料は少なく、唯一無二の資料が多くある。また、寄贈、収集、購入した資料は、適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、経年による変化や収蔵時点においてすでに劣化している資料も少なくない。

当館では、展示公開の頻度や効果の高い資料をはじめ、沖縄の歴史・文化史上不可欠な資料などの優先順位をつけて、限られた予算の範囲で展示公開等の必要な資料の修理事業を実施した。博物館活動のひとつである資料の保存活用を推進するための修理事業についての一層の理解を促すために、平成28年度新収蔵品展で修理コーナーを設けて、これら修理した資料の展示公開を行った。



朱塗孔雀牡丹七宝繋丸橿

【予算執行額】　2,196,979円

【事業内容】

修理件数：３件３点（漆器資料１件１点、絵画資料２件２点、歴史資料１件１点）

○美術工芸（漆器）　　朱塗孔雀牡丹七宝繋丸橿　　（１基）
○美術工芸（絵画）　　山田真山　龍澤池首里城図　　（１幅）
○歴史資料（地図）　　紙本着色　琉球明細総図　　（１巻）



山田真山　龍澤池首里城図

【修理内容】

漆器資料に関しては、経年の汚れ、乾燥による木地の収縮、内部や外部の漆塗膜の亀裂、剥離、劣化や損傷が多く見られる状況にあった。修理の記録を残すよう心がけ、修理期間を2016年（平成28）５月11日から29年３月24日までの間で行った。具体的な作業工程は、修復前写真撮影、調査、クリーニング、漆固め、塗膜調整、塗膜接着、刻苧、防錆、摺漆、修理後写真撮影・報告書を作成した。「朱塗孔雀牡丹七宝繋丸橿」は引き曲げ構造になっており、局面に合わせた剥離止めの道具が必要であった。また、底部にはオリジナルではない白木の杉材が竹釘により固定されていたが、その部分は同資料が持つ歴史であると判断し、あえて黎漆（きゅうしつ）は施していない。

絵画資料は2016年（平成28）７月１日～2017年（平成29）３月24日まで実施。今回の絵画資料「龍澤池首里城図」は、本紙の素材に絹本が用いられているが、裏打ちせずに額装されており強い張りのためか本紙の右側に亀裂が生じていた。また経年による汚れ、額装のゆがみなどがあり、その改善を修理方針とした。具体的な修理は、修復前の写真撮影、絵絹の亀裂破損箇所の補修、汚れの除去、上質の和紙を使用した裏打ち、額装の新調の新調を行った。

歴史資料については企画展「琉球・沖縄の地図展」に出展するため、修理することとなった。期間は2016年（平成28）６月30日～平成28年12月22日である。もともと折り曲げられていた地図を巻子にしたものであり、本紙は強い折れが確認された。修理では、折れ伏せ、虫害箇所への補修、表装具の新調、軸首、軸木、巻き紐、収納箱を新調した。今回の修理で、同資料は、非常に薄い江宣紙という和紙が使用されていることが判明した。



紙本着色　琉球明細総図

【修理業者】　美術工芸資料（漆器）：琉球漆工藝舎、美術工芸資料（絵画）・歴史資料（地図）：石川堂

（外間　一先）

６．資料保存管理事業　レプリカ・剥製製作(生物資料)

資料収集･保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的とし、平成23年度より新たに立ち上げられた事業である。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示を視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作予定の標本は、多くが交通事故死等により滅失したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。遺体は剥製にするまで冷凍室で保存している。現在、冷凍室には数百の標本が保管されているため、状態の良い物や保存価値のあるもの（希少性の高いもの）から順に、剥製（またはレプリカ）として再生してゆく。

平成28年度は「目からウロコの生物実験」展に合わせ、ハンズオン展示用として以下の反芻動物の内臓標本を委託製作した。

○ヤギ（ザーネン種）胃袋プラスティネーション標本	庄司直嗣（有限会社エヌケイ商事） 臓器提供　伊保俊彦氏
○シカ胃袋プラスティネーション標本	庄司直嗣（有限会社エヌケイ商事） 臓器提供　一般社団法人阿久根市有害鳥獣捕獲協会「いかくら阿久根」
○ヤギ(ボア種)消化管一式プラスティネーション標本	庄司直嗣（有限会社エヌケイ商事） 臓器提供　沖縄県農林水産部 畜産研究センター〃
○ウシ胃袋プラスティネーション標本	庄司直嗣（有限会社エヌケイ商事）
○ウシ胎児胃袋プラスティネーション標本	庄司直嗣（有限会社エヌケイ商事）

（山﨑　仁也）

７．資料収集事業

（1）資料収集

資料収集事業は、文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。本事業では、沖縄における文化及び歴史的価値の高い資料を計画的に収集し、展示や研究を深め、教育文化の振興や向上に資する事業を行っている。

平成28年度は、歴史資料の古地図「万国人物之図」及び「リンスホーデン東インド地方図」2件と古文書『摂津名所図会』及び『南嶋探検』２件、合計４件を購入した。

「万国人物之図」は、版元や発刊年は不明であるが、17世紀に日本で刊行された「万国総図」や長久保赤水「地球万国山海輿地全図説」などの系譜を引くと考えられる多色刷木版の資料である。中央に描かれた世界地図の下部に横一列で16ヵ国の人物図が描かれ、なかには琉球人も描かれている。江戸時代の琉球の認識を推し量ることのできる資料である。

「リンスホーデン東インド地方図」は、ポルトガルのリンスホーデンによって1595年にオランダのアムステルダムで出版した『東方案内図』の付図として作成されたものである。日本の南西側にいくつもの島が連なり琉球が大きく描かれており、琉球の認識度合いの高さを伺うことができる。これまで博物館では16世紀に製作された西洋製のアジア地図を所蔵していない。

『摂津名所図会』は、摂津（現在、大阪府及び兵庫県の一部）の名所を絵画と文章で紹介した地誌である。1796年と1798年に分けて刊行された。なかには徳川将軍に派遣された琉球使節が難波に到着する場面を描いた「琉球人難波着岸」の挿絵も含まれている。川御座船にて路次楽を演奏しながら着岸する様子や川岸に詰めかけた多くの見物客の様子が描かれ、琉球使節の関心の高さを伺うことができる。

『南嶋探検』は、1893年、明治政府より派遣された笹森儀助が、沖縄本島や各島を周り、製糖の実情やその他農業・水産業の実態調査を行い明治中期の沖縄の庶民の生活の様子を記録した書物である。これは、笹森地震が自分の見たものを文書や絵図を使って描くという方法を使っており、後の民俗学者に影響を与えた。また、先島諸島の農民の疲弊ぶりを中央政府に告発することになり、宮古島の人頭税廃止運動など社会的政治的に大きな影響を与えた。

資料名：「万国人物之図」、「リンスホーデン東インド地方図」　２点
　　『摂津名所図会』、『南嶋探検』　２冊

８．資料貸出

○事 業 名：文化交流展示「海の道、アジアの路」
主　　催：九州国立博物館
会　　場：九州国立博物館　文化交流展示室
貸出期間：2016年４月１日～2017年３月31日
（2006年度から継続）
貸出資料：厨子甕６点

○事 業 名：常設展示「日本の文化（沖縄のくらし）」
主　　催：国立民族学博物館
会　　場：国立民族学博物館　本館展示場
貸出期間：2013年12月10日～2023年３月31日
貸出資料：黒釉嘉瓶、張り子、農具・漁具等計33件35点及び映像「ウミのワザ」

○事 業 名：市政施行95周年記念展「那覇の誕生祭～那覇の港と沖縄戦」展
主　　催：那覇市歴史博物館
会　　場：那覇市歴史博物館
貸出期間：2016年５月12日（木）～2016年７月５日（火）
貸出資料：首里那覇港図屏風ほか４点

○事 業 名：平成28年度７・８月企画展「王国の染織」
主　　催：那覇市歴史博物館
会　　場：那覇市歴史博物館
貸出期間：2016年６月29日（水）～９月２日（金）
貸出資料：男物帯　他　　計16件

○事 業 名：那覇市歴史博物館10周年記念企画展「王国の染織」
主　　催：那覇市歴史博物館
会　　場：那覇市歴史博物館
貸出期間：2016年７月８日～８月31日
貸出資料：ザグリ（まゆ紡ぎ機）、ハナシ（綿繰り機）、チーシー（真綿かけ）、イェービ（竹挟み）、ワク（枠）、ブーイリマグ（苧麻入れ籠）、ウーバーラ（苧入れ籠）、芭蕉糸、苧麻糸

○事 業 名：沖縄ソフトパワー発信事業 紅型展「BINGATA! Only in Okinawa」
主　　催：沖縄県文化観光スポーツ部（交流推進課）
会　　場：米国　ジョージワシントン大学博物館・テキスタイル博物館
貸出期間：2016年８月29日（月）～2017年２月15日（水）
貸出資料：縮緬黄色地雲鳳凰と松藤に雀竹と牡丹衣裳　他　計70件81点

○事 業 名：九州国立博物館文化交流展示「きらめきで飾る－螺鈿の美をあつめて－」
主　　催：九州国立博物館
会　　場：九州国立博物館４階　文化交流展示室関連第11室
貸出期間：2016年10月１日（土）～11月15日（火）
貸出資料：黒漆螺鈿雲龍文内金箔蓋附椀、螺鈿煙草入れ

○事 業 名：首里城公園企画展「琉球楽器の響き～宮廷で奏でた楽器たち～」
主　　催：(一財)沖縄美ら島財団　首里城公園管理部
会　　場：首里城公園内黄金御殿展示室及び正殿通路
貸出期間：2016年12月15日（木）～2017年3月10日（金）
貸出資料：琉球人坐楽并躍之図より等身大パネル　１点

○事 業 名：平成28年度企画展「きらめきで飾る－螺鈿の美をあつめて－」
主　　催：浦添市美術館
会　　場：浦添市美術館
貸出期間：2017年１月14日（土）～2017年２月19日（日）

貸出資料：黒漆山水楼閣人物螺鈿机、黒漆螺鈿遊雁絵大文庫、黒漆葡萄栗鼠螺鈿食籠ほか７点

○事 業 名：沖縄食文化保存・普及・継続事業展示会「沖縄の食文化展」
主　　催：沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課
会　　場：沖縄県立図書館　3階ホール
貸出期間：2017年３月７日～３月14 日
貸出資料：正月・旧正月の供物一式、ユッカヌヒー・五月五日の供物一式、旧盆の供物一式、清明祭の供物一式　合計27件

９．写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活用の一環として、写真画像等の貸出も行っている。毎年多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2016年度は博物館班に152件の依頼があった。利用目的では、書籍・冊子等の出版物への掲載が多く、これに次ぐテレビ放映と併せて、総数の大半を占めている。

画像の貸出依頼があった資料では、「銅鐘（旧首里城正殿鐘）」が最も多く、「首里那覇港図屏風」「進貢船図」「間切図」が続く。「間切図」は2016年３月に重要文化財として答申、同年８月に指定された。もとより比較的依頼が多い資料であるが、2015年度から連続して高い頻度での依頼があるのは、文化財指定と無関係ではないだろう。これらの歴史・美術工芸資料に依頼が集中する傾向は例年通りだが、2016年度は港川人関係の依頼が「進貢船図」「間切図」と並ぶ多さを見せた。2016年度は、世界最古の釣り針発見の報告や、人類学分野の特別展があり、これらの成果が反映されていると考えられる。

（三枝　大悟）

美 術 館

Ⅰ　調査研究等の活動
Ⅱ　展示活動
Ⅲ　教育普及活動
Ⅳ　資料収集・保存管理

Ⅰ. 調査研究等の活動

1. 調査研究の概要

調査研究事業（以下、以下本事業とする）を美術館活動の根幹と捉え、開館準備の頃より収集作品調査及び、企画展開催に伴う調査研究に重点を置いて積極的に取り組んできた。

2016年度は、前年度に引き続いて美術館紀要の充実を年度目標に掲げるとともに、次年度は開館10周年を迎えるため、展覧会へ向けて準備を行い更なる発展に繋がるよう進めていく。またこの機会に、これまで収集した作品の整理を行い、収蔵品目録を作成し発刊することによって貴重な資料となる。今後とも調査研究を進めながら質の高い展覧会の開催や収蔵品の充実に努めていく。

（1）調査研究の事業内容

① 美術品の収集に関すること
② 美術品の保存科学に関する事
③ 美術品の修復に関する事
④ 展示技術に関する事
⑤ 教育普及に関する事
⑥ 美術情報提供システムの活用に関すること
⑦ ボランティア育成支援に関すること
⑧ 美術館の振興に関すること

（2） 学芸員研究

研究テーマを設定し、一年ないしは数年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

No.	氏　名	研究テーマ
1	前　田　比呂也	永津禎三　モチーフと技法　－絵画という空間への挑戦－
2	島　筒　　格	美術館魅力アップ事業 「子供を対象としたハンズオン体験型遊具の開発及び製作」に係る報告
3	仲　村　　保	平成28年度文化・芸術活動支援事業のまとめ －当館施設利用促進と文化・芸術団体との連携を求めて－
4	仲　里　安　広	①宮城健盛の生涯と絵画の軌跡 －宮城が生きた戦前・戦後と変容する絵画について－ ②安次富長昭の変遷と制作活動について
5	玉那覇　英　人	金城安太郎の描いた《今帰仁城盛衰記》について
6	梶　原　正　史	沖縄県立博物館・美術館における害虫について 開館８年目のデータを通しての考察Ⅰ　～IPM活動再考～
7	大　城　さゆり	沖縄県立博物館・美術館のアジアコレクション

（3）調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び嘱託員で実施、画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないものに限り、外部のレファレンスにも対応するよう心掛けている。その場合は熟覧申請等、正式な申請をふまえている。

（仲里　安広）

2．調査・研究・講演・著作論文等

豊見山　愛（主任学芸員）

○調査・研究

・台湾国立台湾芸術大学学生調査受け入れ（県内・美術館内）（2016年６月８日）
・企画展「山元恵一」展に関する作品及び聞き取り調査（山元文子氏）（2016年６月４日、９月２～４日、９月15日、10月14日）
・アーティスト調査（津田直氏）（2016年５月19日、９月９日）
・アーティスト調査（金氏徹平氏）（2016年７月26日）
・十周年展企画のための調査（南風原朝光氏関係者）（2016年７月13日、10月14日）

・企画展「山元恵一」展に関する聞き取り調査（屋部憲次郎氏）（2016年７月22日）
・企画展「山元恵一」展に関する作品調査（那覇市民ギャラリー）（2016年９月15日）
・企画展「山元恵一」展に関する作品及び聞き取り調査（沖縄平和祈念堂）（2016年９月16日）
・企画展「山元恵一」展に関する作品及び聞き取り調査（佐喜真美術館ほか）（2016年９月21日）
・企画展「山元恵一」展に関する聞き取り調査（星雅彦氏）（2016年９月30日、10月17日）
・企画展「山元恵一」展に関する作品調査（琉球大学附属図書館、名護博物館、沖縄県立芸術大学他）（2016年10月６日～７日）
・企画展「山元恵一」展に関する聞き取り調査（板橋区立美術館、杉全直氏関係者ほか）（2016年９月26日～30日）
・NHK共催復帰記念写真展（仮称）に関する調査及び調整（沖縄県立博物館・美術館ほか）（2016年10月５日、12月15日）
・板橋区美術館主催企画展「二つのアトリエ村」（仮称）調査研究会議（沖縄県立博物館・美術館ほか）（2016年10月13日～14日）
・十周年展企画のための自費調査（韓国／ソウル・釜山・釜山ビエンナーレほか）（2016年９月10日～12日）
・企画展「山元恵一」展に関する聞き取り調査／西村菊雄について（不屈館）（2016年11月15日）
・企画展「山元恵一」展に関する聞き取り調査（板橋区立美術館、福沢一郎記念館ほか）（2016年12月１日～２日
・企画展「山元恵一」展に関する聞き取り調査（前島歯科）（2016年12月９日）
・十周年展企画のための調査（台湾／台北／台湾美術院ほか）（2016年３月12日～14日）

○講師依頼等
・「第９回　なは市民芸術展」実行委員

○講演等
・名　　称：宮良瑛子展記念シンポジウム
　日　　時：2016年４月30日（土）
・名　　称：宮良瑛子展キュレータートーク
　日　　時：2016年５月28日（土）
・名　　称：山元恵一展記念シンポジウム
　日　　時：2017年３月４日（土）
・名　　称：山元恵一展キュレータートーク
　日　　時：2017年３月18日（土）

○著作・論文等
・東京新聞大図鑑「絵で見る沖縄戦」2016年６月16日掲載／琉球新報社「りゅうPON！」2016年６月26日掲載
・「まれびと追考－津田直のパースペクティヴ」『IHEYA・IZENA』　limArt発行　2016年８月
・「山元恵一論：シュルレアリスムと夢のかけら」『沖縄の美術シリーズVI　山元恵一展　まなざしのシュルレアリスム』　沖縄県立博物館・美術館　2017年３月

仲里　安広（主任学芸員）

○調査・研究
①宮城健盛研究紀要に関する調査
・宮城健盛作品調査（南風原町宮平　自宅）（2016年９月26日）
・宮城健盛作品調査及び経歴等の調査（奄美市名瀬　大島高校、県立奄美図書館、石崎正宅（宮城の教え子））（2016年10月５日～７日）
・宮城健盛の調査（南風原町宮平　自宅）（2016年２月7日）
・宮城健盛の調査（長崎県佐世保市　海上自衛隊佐世保資料館）（12月10日）
・宮城健盛の調査（長崎市　県立長崎図書館、南風崎）（2017年２月21日、22日）
②安次富長昭展及び研究紀要に関する調査
・安次富長昭作品調査（那覇市首里石嶺町）（2016年９月２日）
・安次富長昭作品調査（那覇市首里桃原町）（2016年９月14日、20日、23日）
・安次富長昭調査（那覇市首里石嶺町）（2017年１月５日、24日）
③資料収集に関する調査
・金城幸彦作品調査（佐敷町新開　自宅）（2016年７月13日、10月28日）
・岸本一夫作品調査（中城村安谷屋　自宅）（2016年９月28日、10月14日）

○講演等
・名　称：沖縄美術の流れ

日　時：2016年７月２日
場　所：美術館講座室、美術館コレクションギャラリー３
・名　称：「夢の美術館　めぐりあう名画たち」関連催事　美術館と作品収集
日　時：2017年１月15日
場　所：講　堂
・名　称：キュレータートーク「夢の美術館　めぐりあう名画たち」
日　時：2017年１月21日
場　所：美術館講座室、美術館企画ギャラリー
・名　称：「沖縄美術の変遷　明治から70年代まで－沖縄の美術家は何を捉えてきたのか」
日　時：2017年１月28日
場　所：美術館講座室

○著作・論文等
・「宮城健盛の生涯と絵画の軌跡　－宮城が生きた戦前・戦後と変容する絵画について－」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第７号　2017年3月
・「安次富長昭の変遷と制作活動について」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第７号　2017年３月

○その他
・南風原文化センター活性化支援実行委員
・沖展彫刻部門会員（審査員）
・全琉図画、作文、書道コンクール　高校図画審査員

島筒　格（主任学芸員）

○調査・研究
①研究紀要に関する調査
・沖縄アート体験型遊具の開発に関する第１回アドバイザー会議（沖縄県立芸術大学）（2016年８月19日）
・沖縄アート体験型遊具の開発に関する第２回アドバイザー会議（沖縄県立博物館・美術館）（2016年８月25日）
・沖縄アート体験型遊具の開発に関する実地調査（那覇市立真嘉比幼稚園／那覇市）（2016年９月23日）
・沖縄アート体験型遊具に関する調査（稲嶺成祚氏自宅／那覇市）（2016年11月10日）
・沖縄写真史年表に関する第１回調査会議（沖縄県立博物館・美術館）（2017年３月15日）
・沖縄写真史年表に関する第２回調査会議（沖縄県立博物館・美術館）（2017年３月23日）
・沖縄写真史年表に関する第３回調査会議（沖縄県立博物館・美術館）（2017年３月30日）
②美術品収集に伴う作品調査
・真喜志勉作品調査（那覇市）（2016年８月31日）
・真喜志勉作品調査（浦添市）（2016年９月４日）
・真喜志勉作品調査（浦添市）（2016年９月20日）
・真喜志勉作品調査（RBC／那覇市）（2016年10月７日）
・安谷屋正義他作品調査（那覇市）（2016年11月８日）
・喜舎場盛也作品調査（那覇市）（2016年11月21日）
・喜舎場盛也作品調査（浦添市）（2016年11月24日）
・伊志嶺隆作品調査（沖縄県立図書館／那覇市）（2017年３月30日）
・平良孝七作品調査（名護市立博物館／名護市）（2017年３月31日）

○講演等
・名　称：キュレータートーク「真喜志勉展“アンビバレント”TOM MAXとヒコーキ」
日　時：2016年12月３日
場　所：美術館講座室、美術館企画ギャラリー

○著書・論文等
・「美術館魅力アップ事業『こどもを対象としたハンズオン体験型遊具の開発及び製作』に係る報告」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第７号　2017年３月

○その他
・動物愛護週間ポスター・標語審査員
・島尻地区読書感想画教員向け講座講師
・那覇市水難事故防止ポスター・標語審査員

玉那覇　英人（主任）

○調査・研究

①研究紀要に関する調査
・金城安太郎作品調査（福岡県　個人作品所有者）（2016年３月28日～29日）
・今帰仁城跡調査（本部町）（2016年12月30日）
・金城安太郎の調査（沖縄県立図書館等）（2016年９月－２月）
○講演等
・名　称：学芸員講座「金城安太郎《今帰仁城盛衰記》」
日　時：2016年10月22日
場　所：美術館講座室
○著作・論文等
・「金城安太郎《今帰仁城盛衰記》について」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第７号　2017年３月

梶原　正史（美術品保存修復嘱託員）
○調査・研究
・安次富長昭作品調査（那覇市）（2016年９月14日、20日、23日）
・文化財保存修復学会調査（東京都）（2016年６月）
・岸本一夫作品調査（中城村）（2016年10月14日）
・次年度企画展調査（台湾）（2017年３月12日～14日）
○著作・論文等
・「沖縄県立博物館・美術館における虫害について開館８年間のデータを通しての考察Ⅰ～IPM活動再考～」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第７号　2017年３月

大城　さゆり（美術品調査嘱託員）
○調査・研究
・安次富長昭作品調査（那覇市）（2016年９月14日、20日、23日）
・志村ふくみ展覧会調査（東京都世田谷区）（2016年10月11日、12日）
・岸本一夫作品調査（中城村）（2016年10月14日）
・山元恵一新聞記事調査（那覇市・沖縄県立図書館）（2017年１月５日、12日、23日）
○講演・発表等
・名　称：志村ふくみ展ギャラリートーク
日　時：2016年５月14日
場　所：美術館講座室、美術館企画展示室
・名　称：「『島の女』から『紅型の女』へ―ゴーギャンのイメージを基にした大城皓也の女性像に関する一考―」（明翔会第２回研究報告会）
日　時：2017年３月19日
場　所：中央大学駿河台記念館330号室
○著作・論文等
・「沖縄県立博物館・美術館のアジアコレクション」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第７号　2017年３月

Ⅱ　展示活動

１．展示活動概要

本年度のコレクション展示事業については、沖縄県立現代美術館（仮称）基本計画に基づき収集した作品から、沖縄県及び沖縄県ゆかりの作家の近現代美術作品を中心にして、観覧者のニーズに沿った企画を立てて、展示を行っている。

しかし開館して９年目を迎えて、コレクションを並べるだけでは展示への期待感が薄まることから、沖縄の美術作品の体系的な収集と、その展示のありようを再考した結果、前年度に多数の寄贈を受けた、宮良瑛子と真喜志勉の個展「ニューコレクション」（新収蔵品）シリーズの第１回、第２回を企画した。両展ともに、アーティストの制作過程がわかる、密度の濃い展覧会と評された。また、バイリンガルでパンフレットも作成して、外国人観光客へも鑑賞を楽しんでもらうよう配慮した。

企画展については、巡回展「志村ふくみ 母衣への回帰」、「夢の美術館 めぐりあう名画たち」と、貴重な鑑賞の機会を創出し、沖縄の美術シリーズⅥ「山元恵一展」では、当館で初のシュルレアリスム美術の紹介を行った。

（豊見山　愛）

２．コレクション展（常設展）

タイトル：ニューコレクション・シリーズ１「いのち ―　宮良瑛子展」
会　　期：2016年１月26日（火）～10月16日（日）
会　　場：美術館　コレクションギャラリー１・２
担　　当：豊見山　愛
後　　援：沖縄女流美術家協会／社団法人沖縄県美術家連盟／県内マスコミ各社
内　　容：この展覧会は、〈ニューコレクション・シリーズ〉の第１回展として、沖縄を創作活動の拠点とする女性アーティスト、宮良瑛子（1935－）の絵画と彫刻の作品を紹介するものである。平成27年度収蔵作品を含む、24点の絵画と彫刻、絵本原画をあわせて30点の作品と、沖縄女流美術家協会の久場とよ、山元文子の絵画作品、さらに平和をテーマとした儀間比呂志の絵画と木版画十数点も展示したことで、宮良をとりまく沖縄の美術状況も知ることができる構成とした。

（豊見山　愛）

タイトル：ニューコレクション・シリーズ２「真喜志勉展　アンビバレント」
会　　期：2016年11月１日（火）～2017年４月16日（日）
会　　場：美術館　コレクションギャラリー１・２
担　　当：島筒　格
内　　容：真喜志勉は、戦後の沖縄前衛美術を牽引した一人であり、恩師島田寛平氏の教えから、「作家とは作品を発表し続けること」と考え、毎年作品を制作し、個展で発表しつづけた作家であった。本展覧会は、真喜志がアメリカ遊学から戻った1970年代から亡くなる前年の2014年に制作した作品までを展示した。コレクションギャラリー１は、70年代中盤から80年代にかけての飛行機等をモチーフとした作品を中心に、コレクションギャラリー２は90年代から2000年代の様々な素材を組み合わせた抽象的な作品、ホワイエは、2013年から14年に制作した垂直離着陸機をモチーフとした作品群を立体的な構成で展示した。

（島筒　格）

タイトル：沖縄美術の流れ
会　　期：前期　2016年４月26日（火）～2016年10月16日（日）
　　後期　2016年11月１日（火）～2017年４月16日（日）
会　　場：美術館　コレクションギャラリー３
担　　当：仲里　安広
内　　容：沖縄には、本土と異なる風土と歴史の中から育まれてきた独特な文化がある。沖縄の美術もまた、その中から生み出され育まれてきた。現代までのさまざまな時代の変容は、沖縄の美術家とその作風に大きく影響を与えてきたと言える。「沖縄美術の流れ」では、沖縄の画家や沖縄に影響を与えた画家、又は沖縄と交流があった画家の作品を、戦前、戦後、復帰後、現代に章分けし、その変遷を紹介した。また今回は、近年収集した鳥海青児の《修理の家（沖縄）》をはじめ、金城安太郎の《今帰仁城盛衰記》、宮城篤正の《水字貝の詩》、当山進の《島のキビ刈り》は、新収蔵品として初公開である。

３．企画展　「文化勲章受章記念　志村ふくみ　－母衣への回帰－」

会　　期：2016年（平成28）４月12日（火）～５月29日（日）
会　　場：美術館企画展示室１・２
観 覧 料：一般 1200(960)円　高校・大学生 800(640)円　小・中学生 600(480)円　※(　)内は前売り
　　※70歳以上の方に限り、当日券20%割引。身分証の提示が必要。
　　※未就学児は無料
観覧者数：4,664人

【開催趣旨】
現代日本の染織分野に独自の世界を展開する志村ふくみは、1924年（大正13）に滋賀県近江八幡市に生まれ、母・小野豊の影響で織物を始めました。1957年（昭和32）の第４回日本伝統工芸展に初出品で入選し、その後も受賞を重ねます。そして1990年（平成２）には、紬織の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。
草木からの自然染料で染められた糸によって織り上げられた作品は、多くの人を魅了し、国際的にも高く評価

されています。「民衆の知恵の結晶である紬の創作を通して、自然との共生という人間にとって根源的な価値観を思索し続ける芸術家」として、2014年（平成26）に第30回京都賞（思想・芸術部門）を受章し、2015年には文化勲章を受章しました。

このたびの展覧会では、代表作を中心に、初期の作品から最新作までを一堂に展示することで、60年に及ぶ創作のあゆみを紹介するとともに、志村ふくみの魅力とその芸術の核心に迫ります。

【開催形式】

主　　催：沖縄県立博物館･美術館、京都国立近代美術館
特別協力：滋賀県立近代美術館
共　　催：一般財団法人沖縄美ら島財団
協　　力：沖縄県立芸術大学
後　　援：沖縄県教育委員会、沖縄県文化協会、（一社）沖縄県美術家連盟、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、琉球放送、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、ＦＭコザ、ＦＭたまん、タイフーンｆｍ、ＦＭレキオ、美術館支援会happ

【関連催事】

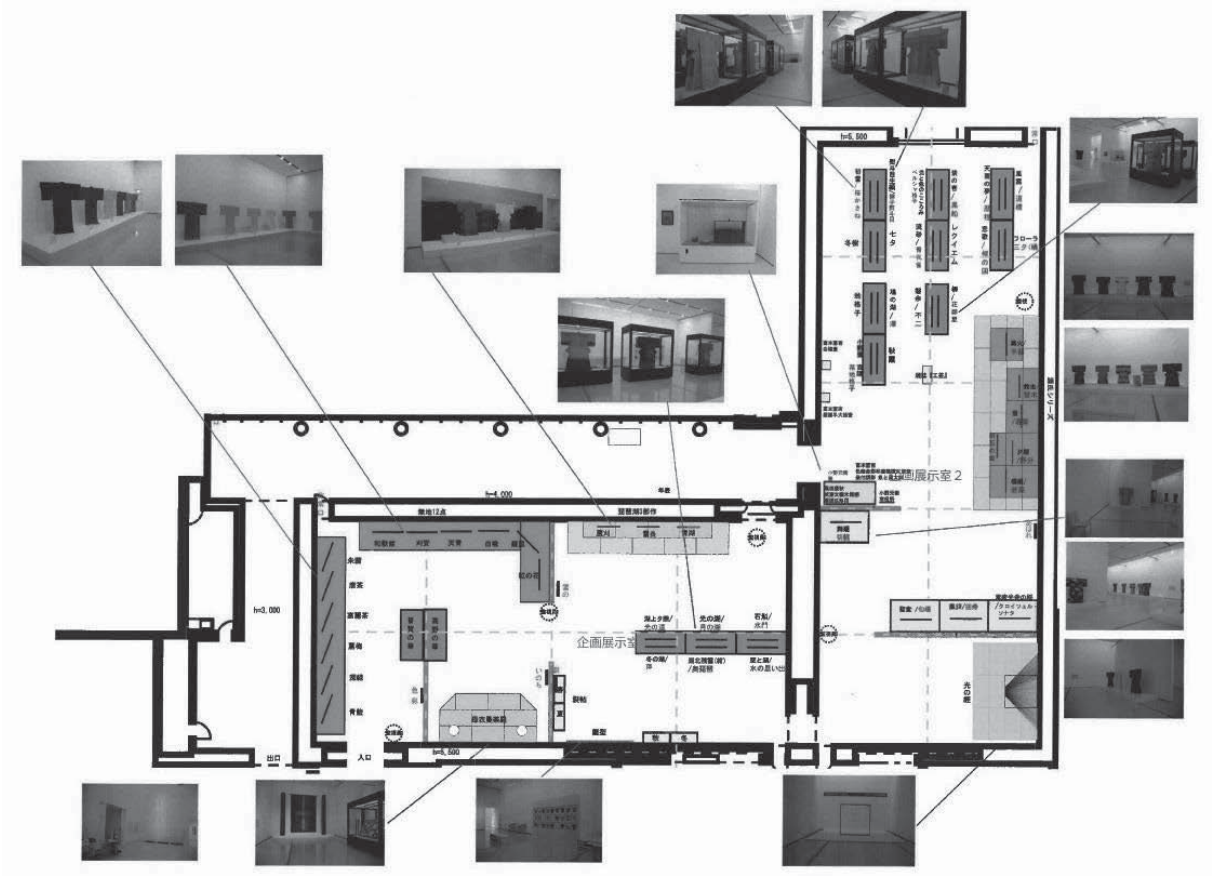
１．開会式
2016年４月12日（火）開会式９：30～
２．講演会
2016年４月12日（火）14:00-15:00　松原　龍一氏（京都国立近代美術館学芸課長）　参加者数：102名
３．上映会「工芸技術記録映画 紬織－志村ふくみのわざ―」
2016年５月８日（日）14:00-15:00　解説：松原　龍一氏（京都国立近代美術館学芸課長）　参加者数：151名
４．ギャラリートーク
2016年５月８日（日）14:00-15:00　松原　龍一氏（京都国立近代美術館学芸課長）参加者数：60名
2016年５月29日（日）15:00-16:00　外山　もえこ氏（都機工房、アルスシムラ講師）参加者数：45名
５．子ども向け鑑賞ツアー
2016年５月14日（土）10:30-11:30　参加者数：５名
６．キュレーター・トーク
2016年５月14日（土）14:00-15:00　大城 さゆり　参加者数：23名

【掲載、放送関連情報】

①新聞
○沖縄タイムス
毎日　情報面　アート・展覧会情報
・４月18日（月）「魚眼レンズ　志村ふくみ創作姿勢語る」
・５月１日（日）催し面　志村ふくみ展上映会
・５月13日（金）友寄寛子「美術月評４月」
・５月19日（木）真栄城興茂「展評　志村ふくみ展」
・５月20日（金）玉那覇英人「唐獅子　心の原風景」
○琉球新報
・４月11日（月）「博物館・美術館　来場者増に意欲　指定管理者『美ら島財団』」
・５月１日（日）特集面　志村ふくみ展上映会
・５月４日（水）黄金忠博「美術月評４月」
○週間レキオ（琉球新報副読紙）
・５月12日（木）展覧会情報
○JAPAN UPDATE(英字新聞)
・５月19日(木)　*Fukumi Shimura’s naturally dyed kimonos on exhibit*
②雑誌
○オキナワグラフ５月号「ギャラリーめぐり」
③ラジオ
・３月24日　FM沖縄　風に吹かれて首里城めぐり
「４月から県立博物館・美術館も美ら島財団が運営します」
・５月２日　RBCiラジオ　MUSIC SHOWER Plus+
志村ふくみ展告知
・５月４日　RBCiラジオ　柳卓のいいんでないかい

ラジオカーレポート「あまくま訪問」
・５月12日　RBCiラジオ　シャキットi
志村ふくみ展告知
・■月■日～５月13日　RBCiラジオ　ラジオCM「志村ふくみ展」（木・金曜日に放送）
・５月15日　ラジオ沖縄　アートパレット「志村ふくみ展①」
・５月22日　ラジオ沖縄　アートパレット「志村ふくみ展②」

【展示平面図】



４．企画展　「夢の美術館　めぐりあう名画たち－福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション」

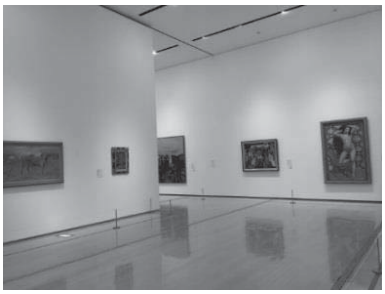
会　　期：2016年（平成28）12月20日（火）～2017年（平成29）２月５日（日）
会　　場：美術館企画ギャラリー１・２
観 覧 料：一般1000円（800）　高校・大学生600円（480）　小・中学生300円（240）
※表示料金は消費税込み
※（　）内は前売りおよび20名以上の団体料金
観覧者数：7,716人

【開催形式】
主　　催：沖縄県立博物館・美術館
特別協力：北九州市立美術館、福岡市美術館
協　　賛：日本通運株式会社、株式会社ライブアートブックス
企画協力：株式会社TNCプロジェクト
後　　援：北九州市、北九州市教育委員会、福岡市
沖縄県教育委員会、一財社団法人沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、沖縄造形教育連盟、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、琉球放送ラジオ、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、タイフーンｆｍ、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ、那覇新都心通り会

【展示構成】

本展示は、第１章から第５章に分けて構成した。第１章から第４章までは世界や日本の美術の変遷を各年代毎に分けて名品を紹介し、第５章では両館を代表する名品10点を展示した。

（１）１章　東と西　－出会いと模索―



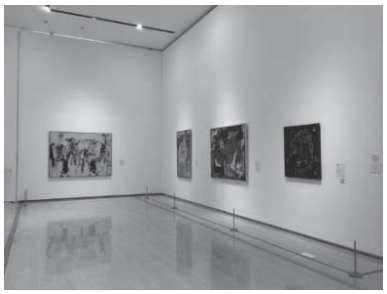
明治以降、西洋画を志す日本人画家たちにとって、西洋体験のあるなしにかかわらず、西洋は創作の指針であった。

法律学を学ぶためにフランスに渡った黒田清輝は、才能を認められた絵の道に進むことになり、ラファエル・コランに師事した。青木繁は、西洋を見る機会はついになかったが、イギリスの世紀末美術を鋭い感受性でわがものにした。岸田劉生はゴッホやマティス、デューラーから出発し、中国・元時代や日本の近世の美にめざめた。古賀春江はセザンヌやピカソ、クレー、さらにシュルレアリズムまで、関心のありかたによって模索を繰り返し、作品をめまぐるしく変えていった。三岸好太郎もまた西洋に行く機会がなかったにもかかわらず、西洋の新しい動きに敏感に反応し作風を変えた画家である。坂本繁二郎と小出楢重は、同じ船でフランスに渡った。児島善三郎と仲村研一は中学修猷館の先輩後輩であるが、活躍の場も西洋のとらえ方も対照的だった。柳瀬正夢と瑛九は、前衛画家として記憶されるが、西洋体験がないということ、油彩画以外にも幅広い分野で才能を発揮したという共通点が見られる。寺田政明も戦前には西洋体験はないが、仲間たちとの交流をとおし、シュルレアリムの手法を取り入れた。

戦後、西洋は、画家たちにとってあこがれの地であることに変わりないが、創作の指針という意味合いは徐々に薄れていくことになる。

第１章では、模索する戦前の作品を紹介した。

（２）２章　ヒトとモノ　－戦後の人物表現と実験的な絵画－



第２次世界大戦の終結は、さまざまな思想と感情が混沌とする「戦後」を生み出した。凄惨な戦争経験は画家の眼をあらためて人間に向かわせてさまざまな人物表現を生み出した。日本人の海外渡航はしばらく許されず、1952年に渡仏した野見山暁治は、フランス滞在によって豊かな色彩とマチエールを得た。

また、戦後の美術には、それぞれの絵画のイメージをくつがえす実験的な表現がいくつも試みられた。

戦後の前衛芸術として国際的な広がりをみせたのは、フランス人批評家のミシェル・タピエの独自な概念「アンフォルメル」（不定形）で論じられた作品群だった。

日本では、海外との文化的交流が復旧して5年ほどたった1956年の「世界・今日の世界展」で実際のアンフォルメル作品がはじめて持ち込まれた。パリの最新の美術動向は「アンフォルメル旋風」として国内を駆け巡り、日本の環境や美意識に適応されながら戦後の美術史を形成していく。

福岡市を中心に活動した前衛集団「九州派」は、活動初期においてアンフォルメルの影響が顕著であり、本展出品作品の桜井孝身や田部光子の作品は、アスファルトの物質感を強調して、社会的現実を強烈に示している。また、九州派脱退後の菊畑茂久馬の《ルーレットＮ０．１》（出品番号47）では、一転して貼り付けられた廃材が本来有していた意味を略奪されている。

第２章では混沌とした戦後の絵画を紹介した。

（３）３章　絶対の領域を求めて　－1960年代以降の前衛と拡張する「絵画」－



第二次大戦後、米国では抽象表現主義が登場し、ニューヨークをパリと並ぶ美術の中心に押し上げた。

大画面を色彩や線が広く覆う抽象表現主義の絵画は、観る者を圧倒しつつ包みこみ、宗教的といってもいい感情を喚起する。

1950年代末に渡米した桑山忠明は、1960年代初頭に単色の色面による絵画を制作し、造形の純粋性を追求したミニマリズムを代表するひとりとなった。

1960年代には大衆消費社会の到来とともにポップアートが米国の美術界を席巻する。

1970年代、東山魁夷は、ものの本質を捉え、深い精神性を表すことのできる水墨画の表現の可能性を追求していた。宇治山哲平は、円や四角、十字形が地の上にリズミカルに配置された幾何学的抽象絵画を描いた。オチオサムによる球体が空間に浮かぶシリーズはより直接的に宇宙的なイメージと結びつけることができるが、同時に

ミクロな原子の世界のようでもある。
1960年代前後に「反芸術」の旗手として活動を始めた中西夏之と菊畑茂久馬は、1980年代には「絵画とは何か」という問いのもと大画面に取り組んだ。
辰野登恵子は、1980年代半ばから10年間、円や丸をモチーフとした作品を制作した。
元々は幾何学的な抽象画を描いていた村上勝は1992年に羽状のオブジェを組み合わせた立体作品を制作し始めた。
第３章では、1960年代以降の美術作品を紹介した。

（4）４章　「物語」の復権　ーシュルレアリスムの系譜、そしてポストモダンから1990年代の新しい「物語」へー



戦後、抽象表現主義が台頭し、以後、造形の純粋性を追求するモダニズムの流れが前衛の方向性を規定していた。一方でシュルレアリスムの系譜は戦後も、具象性と再現的描写、物語的主題を堅持し、欧州を中心に命脈を保っていた。
1980年代は、ミニマリズムやコンセプチュアル・アートなど、思弁的になりすぎた芸術への反発から、ナラティブ（物語的）な要素を持つ具象絵画が脚光を浴びることになった。そうした傾向は1970年代半ばの頃から現れており、旧東ドイツの画家、ペンクの作品はそれをよく示している。そして、1980年代、アメリカ、イタリア、ドイツを中心に前述の傾向が顕在化する。
1990年前後における冷戦構造の崩壊とグローバル化、情報社会の到来は、それ以後の美術に多大な影響を与えた。柳幸典がアメリカ留学時に着手した「アント・ファーム・プロジェクト」はこの時代を象徴するような作品だ。また、デジタル技術の進歩は、新しい表現の可能性をも切り拓いた。やなぎみわは写真とCGを組み合わせ、きらきらした消費空間にクローンのような若い女性たちを配した、ディストピア的人工世界を生み出した。そこにはジェンダーをめぐる問題も重要なテーマとして含まれている。
第４章ではシュルレアリスム絵画から現代作家の作品までを紹介した。

（5）５章　北九州市立美術館、福岡市美術館のコレクションについて



1974年11月３日、建築家磯崎新の設計により、西日本における大規模な公立美術館の先駆けとして北九州市立美術館が開館した。
当館のコレクションは、絵画、彫刻、素描、版画など多岐にわたり、構内外の近現代美術を主軸とした約7500点を所蔵している。美術品の収集活動は前身の八幡市美術工芸館時代から始まっており、新市合併以降も瑛九や山口長男、寺田政明、川端安一など当時一線で活躍する作家や地元ゆかりの作家を中心とする豊かな内容を受け継いだ。
一方、福岡市美術館のコレクションも、その活動と同様に多様である。20世紀以降の作品、すなわち近現代美術と、近世以前、つまり江戸時代以前の古美術とが共存しており、それぞれがまた多様な特徴を有している。紀元前26～24世紀から2000年代の作品まで、収集としている作品の時空間は実に幅広く、その形状も絵画、彫刻から陶磁器、染織と多様であり、代表的なものを挙げるのが難しいほどだ。この他の美術館と比較にならないほどの多様さ、多彩さこそが、福岡市美術館のコレクションの特徴である。こうして収集された福岡市美術館の所蔵作品は、2015年度時点で1万6000点を超えた。リニューアル後は、常設展示室が拡張されるため、コレクション活用のさらなる飛躍が期待されている。
第５章では両館の名品10点を紹介した。

（6）主な展示資料

①　絵画等の平面作品……67点
②　立体作品……１点　　合計68点

【関連催事】
（1）ギャラリートーク
　場　　所：美術館企画ギャラリー１・２
　日　　時：2016年12月20日（火）10:00～11:00
　講　　師：重松知美（北九州市立美術館学芸員）、正路佐知子（福岡市立美術館学芸員）
・演　　題：「北九州市立美術館　コレクション形成の軌跡」
　場　　所：美術館講座室・美術館企画ギャラリー１・２

日　　時：2017年１月15日（日）10:30～12:00
講　　師：重松知美（北九州市立美術館学芸員）
・演　　題：「シュルレアリスムの画家たち」
場　　所：美術館講座室・美術館企画ギャラリー１・２
日　　時：2017年１月29日（日）14:00～15:30
講　　師：与久田健一（画家）



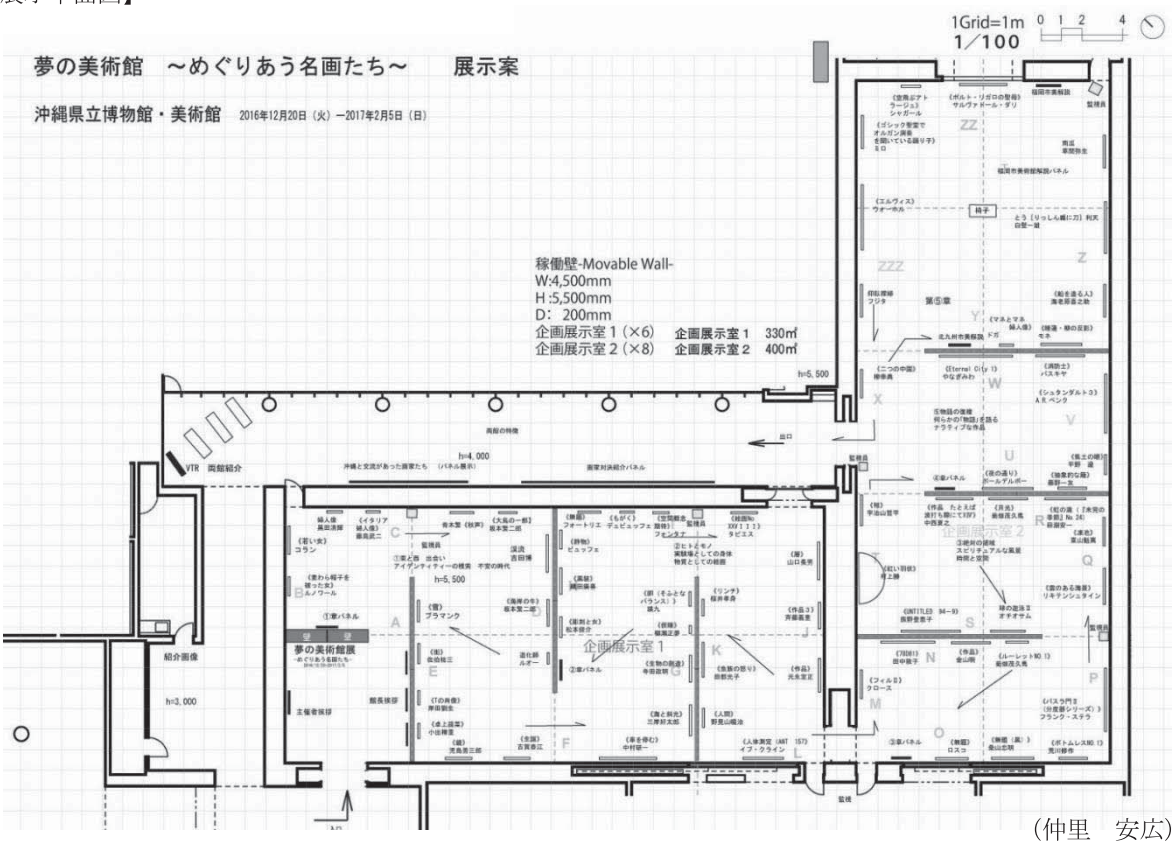
（２）美術館講座
演　　題：「印象派から現代まで　絵画の軌跡」
場　　所：美術館講座室
日　　時：2017年１月８日（日）14:00～15:30
講　　師：土屋誠一（沖縄県立芸術大学准教授）

（３）講演会
演　　題：「福岡市美術館　収集活動の変遷」
場　　所：講堂
日　　時：2017年１月15日（日）　14:00～15:00
講　　師：山口洋三（福岡市美術館学芸係長）

（４）シンポジウム
演　　題：「美術館と作品収集」
場　　所：講堂
日　　時：2017年１月15日（日）　15:00～17:00
講　　師：山口洋三（福岡市美術館学芸係長）、重松知美（北九州市立美術館学芸員）
　　前田比呂也（沖縄県立博物館・美術館副館長）
コーディネーター：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館　主任学芸員）

（５）キュレータートーク
演　　題：「夢の美術館　めぐりあう名画たち」作品解説
場　　所：美術館講座室・美術館企画ギャラリー１・２
日　　時：2017年１月21日（土）　14:00～15:30
講　　師：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館　主任学芸員）

【展示平面図】



（仲里　安広）

５．企画展　「沖縄の美術シリーズⅥ　山元恵一展・まなざしのシュルレアリスム　Le fragment du rêve（夢のかけら）」



会　　期：2017年（平成29）3月3日（金）～4月23日（日）
会　　場：美術館企画ギャラリー１・２
観 覧 料：一般 1,000円（800円）
　　高校生・大学生600円（480円）
　　小学生・中学生300円（240円）
　　※表示料金は消費税込
　　※（　）内は20名以上団体料金
　　※障がい者手帳をお持ちの方と介助者１名は半額
観覧者数：3,100人

【開催趣旨】
本展覧会は、戦後草創期の沖縄の美術家にスポットをあてた「沖縄の美術シリーズ」の第６回で、戦後沖縄画壇でも異色である当館は、戦後沖縄美術の実相を紐解くために美術家の調査研究を行い、企画展「沖縄の美術シリーズ」でその成果を発表してきた。第6回目となる本展覧会では、沖縄でシュルレアリスムの画家と親しまれる山元恵一と、その関連でご紹介する画家の作品158点を展示した。

山元恵一（やまもと・けいいち）は1913（大正２年）年、那覇区西町に警察官の父の長男として生まれ、沖縄県立第二中学校に入学後、図画教師である比嘉景常の下で「樹緑会」に参加し、沖縄の歴史と絵画の両方について学んだ。卒業後は、親の反対を押し切って東京へ渡り、洋画教員として藤島武二がいた川端画学校で木炭の石膏デッサンを習得後、東京美術学校へ入学する。その際に、シュルレアリスムの美術学生らのグループ〈貌（ぼう）〉に参加したことが、山元の画作に影響を与えた。

本展覧会では、福沢一郎をはじめとする池袋モンパルナスのシュルレアリストの画家たちや、〈貌〉同人の杉全直、さらに県立二中で最も親しくしていた西村菊雄らの作品も併せて紹介し、その時代のなかから、山元の美術表現を改めて見直した。

関連出品作家：安谷屋正義、新垣安之輔、石嶺伝郎、大城皓也、大浜英治、大嶺政敏、大嶺信一、大嶺政寛、大村徳恵、小川原脩、川平朝申、川平惠造、喜村朝貞、喜友名朝紀、喜久村徳男、喜久村宏、佐田勝、島田寛平、杉全直、高橋重紀、玉那覇正吉、仲座久雄、西村菊雄、福沢一郎、古沢岩美、比嘉武史、山元文子、屋富祖盛美、山田真山、与久田健一（五十音順）

【開催形式】
主　　催：沖縄県立博物館・美術館
後　　援：沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、沖縄県文化協会、那覇市文化協会、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、（一社）沖縄県美術家連盟、沖縄女流美術家協会、那覇新都心通り会、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ、沖縄タイムス社、琉球新報社、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、NHK沖縄放送局、fm那覇（順不同）
観 覧 料：一般800（640）円、大高生500（400）円、中小生300（240）円
展覧会コピー：寡黙な絵に、饒舌なユーモア。沖縄を愛し抜いた、画家の人生。

【展示構成】
第１章　運命の出会い
山元恵一は、沖縄県那覇市の漆職人が多い若狭町で、警察官の父親の家庭に生まれた。1922年に沖縄県立第二中学校へ入学、美術グループ「樹緑会（じゅりょくかい）」に参加することで、美術学校への進学を胸に秘めるようになった。

この章では、山元恵一が通った県立二中（現・那覇高校）出身者、名渡山愛順（1906-1970）、西村菊雄（1913-2000）大城皓也（1911-1980）、大嶺政敏（1912-1994）、などの作品（1945年以降）を紹介することで、山元の源泉を探る。

第２章　青春の輝き－グループ貌とその時代
念願かなって東京美術学校に進学した山元は、在学中に東京で沖縄美術協会を結成するなど積極的な活動の一方で、国外のシュルレアリスム運動に触発されて結成した、昭和8年入学の同期生中心のグループ「貌（ぼう）」にも加わるなど、さまざまな芸術の影響を受けた。

第３章　帰郷と戦後復興
山元恵一は終戦後、収容所を経て、ニシムイ美術村でアトリエ兼住居を構えます。しかし、台風で飛ばさ

れてしまい、建築家の仲座久雄に依頼して、今も残る石造りのアトリエが評判となった。その頃、制作では≪あなたを愛する時と憎む時≫で、アンデパンダン形式の第3回沖展で専門家投票により首位を獲得し、沖縄の戦後美術におけるシュルレアリスム絵画の先駆けとなった。この作品以降、アンフォルメルなど、さまざまに画風を変容させた。

第４章　失われしものたちへのオマージュ

山元の晩年には、牛骨をモチーフにした作品が多くみられる。メメント・モリ（死を想う）ようなモチーフと、ピンクやオレンジの明るい色彩の背景との対比は、グループ貌同人の杉全直の画風にも共通点が多い。その後、山元はモダンアート協会などに出品する以外は、孤高の画家として、独自の表現を追求しました。その一方で、山元陽牛として俳句も遺しており、ユーモラスな随筆もあわせた山元恵一の多才ぶりは他の追随を許さなかった。

第５章　シュルレアリスムをめぐる後進たち

この展覧会では、山元恵一の全貌を明らかにするとともに、琉球大学で山元恵一と教え子として出会った、石嶺伝郎、下地寛清、喜村朝貞、喜友名朝紀、山城見信の作品と、沖縄のシュルレアリスムの画家、屋富祖盛美、与久田健一、比嘉武史の作品も併せて展示した。このことによって、沖縄の戦後美術におけるシュルレアリスムの作品が、どのような光彩を放っていたのかを感じることができた。

【関連催事】（オープニングを除く）

（１）「ラ・ムジカ」～山元ほるんピアノコンサート～

日　時：2017年３月３日（金）18：30～20：00（開場18：00）
ピアノ：山元ほるん　パフォーマンス：風間龍（美術家）
会　場：３階講堂
定　員：200名（当日先着）　　※入場無料
曲　目：「らっこの上着」「洗髪料による３つの小品」「えるに」

（２）記念シンポジウム

日　時：2017年３月４日（土）14：00～17：00（開場13：30）
講　師：弘中智子氏（板橋区立美術館 学芸員）
コーディネーター：豊見山愛（展覧会担当学芸員）
会　場：３階講堂
定　員：200名（当日先着）　　※入場無料



（３）キュレータートーク

日　時：2017年３月18日（土）14:00～15:00
講　師：豊見山愛（展覧会担当学芸員）
会　場：企画ギャラリー

（４）まーちゃんのゆんたくひんたくミュージアム

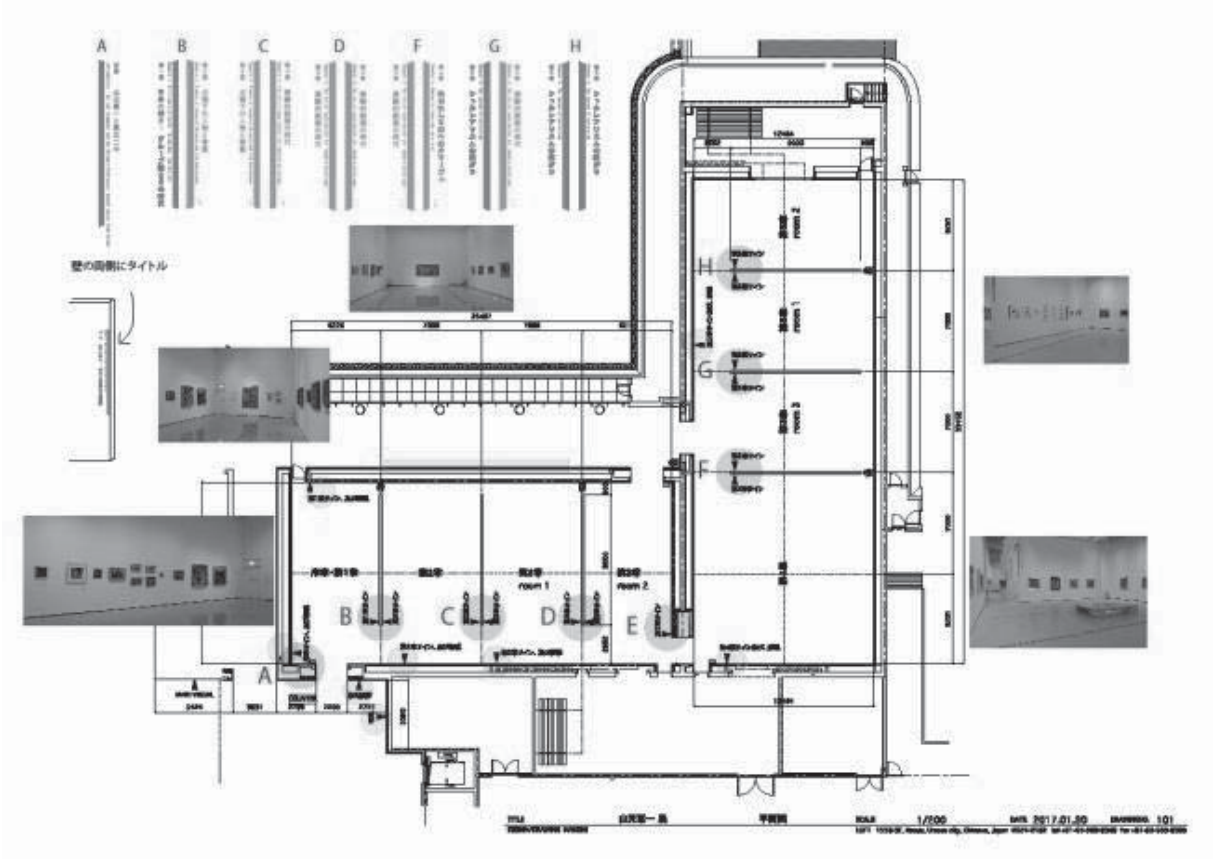
日　時：2017年３月25日（土）10:30 - 12:00
会　場：沖縄県立博物館・美術館　美術館企画展示室・エントランス
講　師：まーちゃん（小波津正光氏）



（５）ギャラリートーク

日　時：2017年４月23日（日）14:00～16:00
講　師：弘中智子氏（板橋区立美術館 学芸員）
会　場：企画ギャラリー

【展示平面図（概要）】



（豊見山　愛）

Ⅲ．教育普及活動

１．美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」「発表活動の支援プログラム」という３つの柱に沿って展開している。

鑑賞活動のプログラムでは、ガイドボランティアによる「対話による鑑賞」を展開し、今年度は学校団体への対応に加え、公民館と連携した新たな親子向け鑑賞プログラムを実施した。

実技体験では、夏休み子どもフェスタにおいて多彩なプログラムで多くの児童生徒が参加し、また、展覧会と関連させたワープショップも多数実施した。その他、学芸員によるキュレータートーク、作品制作者やその関係者によるアーティストトークやギャラリートークなどを美術館講座室と展示室で実施した。

本年度は、新たに「美術館学芸員講座」や児童を対象に年間を通して活動する「アートミュージアムキッズクラブ」、当館のアトリエなどを外部の個人・団体にワークショップなどで活用してもらうことで活性化を図ることを目的とした「平成28年度文化・芸術活動支援事業」を実施した。

２．鑑賞活動支援

開館記念展より継続で、作品の鑑賞をより深めるために各展示担当によるキュレータートークや、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。また来館者に対して鑑賞ボランティアによる「鑑賞ツアー」を、展示室内で作品を観ながら行った。

【キュレータートーク】

ボランティアの方々や一般の方に対し、各展示会担当学芸員がその展示作品や作家、また展示内容について解説を行うことで、展示に対し関心や理解を深めるために行う。



キュレーター・トークの様子

回	月 日	曜	展示会名	担 当	参加者
1	5月14日	土	「志村ふくみ−母衣への回帰展−」	大城さゆり	30人
2	5月28日	土	「宮良瑛子展−いのち−」	豊見山愛	22人
3	7月2日	土	「沖縄美術の流れ」	仲里安広	12人
4	12月 3日	土	「真喜志勉展−アンビバレント−」	島筒格	16人
5	1月21日	土	「夢の美術館−めぐりあう名画たち−」	仲里安広	49人
6	3月 18日	土	「山元恵一展　まなざしのシュルレアリスム」	豊見山愛	12人

【アーティスト（ギャラリー）トーク】

ボランティアの方々及び一般の方に向け、常設展示室（コレクションギャラリー）や企画展示室の展示作家及び作品の理解を深めるための講座。展覧会の展示作家やその関係者等を招き実施。



与久田健一氏のトーク風景

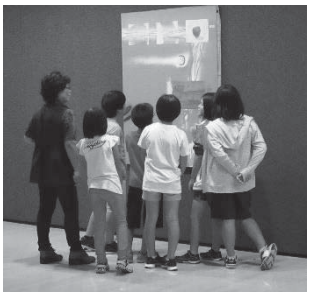
回	月 日	曜	展示会名	講　師	参加者
1	4月26日	火	宮良瑛子展関連① ※宮良瑛子展開会式内覧会として実施	宮良瑛子	20人
2	5月８日	日	志村ふくみ−母衣への回帰展関連①	松原龍一	60人
3	5月29日	日	志村ふくみ−母衣への回帰展関②	外山もえこ	45人
4	8月7日	日	宮良瑛子展関連② 「画像聴覚化装置って何？視覚障がい者を中心とした聴覚・触覚で鑑賞する宮良瑛子絵画の魅力」	黒田昌弘	23人
5	10月2日	日	宮良瑛子展関連③	宮良瑛子	21人
6	11月1日	火	真喜志勉展関連① ※真喜志勉展開会式内覧会として実施	能勢孝二郎	70人
7	11月20日	日	真喜志勉展関連② 「TOM MAXと仲宗根政善」	長元朝浩 前田比呂也	58人
8	12月18日	日	真喜志勉展関連③ 「TOM MAXとアメリカ」	宮城明 翁長直樹	30人
9	１月22日	日	真喜志勉展関連④ 「TOM MAXとぺんとはうす」	古謝･上原 井口･平良･仲里	41人
10	1月29日	日	夢の美術館関連 「シュルレアリスムの画家たち」	与久田健一	32人
11	2月19日	日	真喜志勉展関連⑤ 「TOM MAXと写真家たち」	大城弘明 仲里効	25人
12	3月12日	日	真喜志勉展関連⑥ 「TOM MAXと詩人たち」	中里友豪 仲里効	36人
13	3月19日	日	真喜志勉展関連⑥ 「TOM MAXとOKINAWA」	仲里効・翁長直樹・前田比呂也	36人

【学校団体対応】

学校団体に対して展示作品の鑑賞を支援するプログラムを行った。鑑賞ボランティア員が案内役となり、コレクション展の中から３作品程度をグループ別に「対話による鑑賞」を通してお互いに共感し合いながら作品理解を深めていった。

回	月 日	曜	学校名・学年	参加者
1	６月15日	水	座間味村立阿嘉小学校（４～６年）	７人
2	7月8日	金	沖縄県立浦添工業デザイン科（１年）	80人

回	月 日	曜	学校名・学年	参加者
3	11月8日	火	西原町立西原東小学校（４年）	70人
4	11月11日	金	沖縄市立室川小学校（５年）	50人
5	11月16日	木	尚学院SIBA	５人
6	2月8日	水	北谷町立北谷小学校（３年）	67人
7	2月17日	金	沖縄県立浦添工業デザイン科（２年）	78人



観賞ツアーの様子

３．ミュージアム・ツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。28年度は、コレクションギュラリーの鑑賞と合わせて行い、前年度までの名称「バックヤードツアー」から「ミュージアムツアー」に変更した。

回	月 日	担 当	参加者
1	５月14日	島筒　格	５人
2	５月21日	仲村　保	８人
3	８月27日	仲村　保	11人
4	11月26日	仲村　保	１人
5	１月28日	仲村　保	８人



ミュージアム・ツアーの様子

４．美術館講座

今年度は展覧会「夢の美術館～めぐりあう名画たち～」に合わせた美術講座として、沖縄県立芸術大学の土屋誠一氏に、「印象派から現代までの絵画の軌跡」と題し、展示作品を引き合いに出しながら印象派から現代までの美の流れを解説してもらった。

回	月 日	曜	名　称	講　師	参加者
1	1月8日	日	「印象派から現代までの絵画の軌跡」	土屋誠一	52人



美術館講座の様子

５．コレクション・企画展関連催事

（1）パブロ・ピカソ　ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考える－
【会　期：2016年（平成28）３月19 日（土）～４月17日（日）】



□開催記念講演『ゲルニカと沖縄』」
日　時：平成28年４月９日（土）14:00～15:00
講　師：土江真樹子氏（フリージャーナリスト）
　　前田比呂也（当美術館副館長）
会　場：美術館講座室
参加者：30人

（2）「夢の美術館～めぐりあう名画たち～」
【会　期：2016年（平成28）12月20日（火）～2017年（平成29）２月５日（日）】

□夢の美術館展関連　講演会・シンポジウム
・第１部《講演会》「福岡市美術館　収集活動の変遷」
日　時：平成29年１月15日（日）14:00～15:00
講　師：山口洋三氏（福岡市美術館）

会　場：講　堂
参加者：40人
・第２部《シンポジウム》「美術館と作品収集」
日　時：平成29年１月15日（日）15:00～17:00
講　師：山口洋三氏（福岡市美術館）
重松知美氏（北九州市立美術館）
前田比呂也（当美術館副館長）
コーディネーター：仲里安広（当館担当学芸員）
会　場：３階講堂
参加者：40人

□キュレータートーク
日　時：平成29年１月21日（土）14:00～15:30
講　師：仲里安広（当館担当学芸員）
会　場：美術館講座室・企画展示室
参加者：49人

□ギャラリートーク①
日　時：平成29年１月15日（日）10:30～12:00
テーマ：「北九州美術館コレクション形成の軌跡」
講　師：重松知美氏（北九州市立美術館学芸員）
会　場：美術館講座室・企画展示室
参加者：45人


ギャラリートークの様子

□ギャラリートーク②
日　時：平成29年１月29日（日）14:00～15:30
テーマ：「シュルレアリスムの画家たち」
講　師：与久田健一氏（画家）
会　場：美術館講座室・企画展示室
参加者：32人

□美術館講座
日　時：平成29年１月８日（日）14:00～15:30
テーマ：「印象派から現代までの絵画の軌跡」
講　師：土屋誠一氏（沖縄県立芸術大学准教授）
会　場：美術館講座室
参加者：52人


ワークショップの様子

□ワークショップ《色の中で遊ぶ》
日　時：平成29年１月14日（土）14:00～16:00
講　師：上原成美氏（画家）
会　場：美術館県民・こどもアトリエ
参加者：12人

（３）「山元恵一展―まなざしのシュルレアリスム」
【会期：平成29年３月３日（金）～平成29年４月23日（日）】

□山元恵一展関連　講演会・シンポジウム
・第１部《講演会》「山元恵一の東京時代」
日　時：平成29年３月４日（土）14:00～15:00
講　師：弘中智子氏（板橋区立美術館学芸）
会　場：３階講堂
参加者：43人
・第２部《シンポジウム》「山元恵一と沖縄をめぐる現実と幻想」
日　時：平成29年３月４日（土）15:00～17:00
講　師：喜久村徳男氏（画家）

与久田健一氏（画家）
川平惠造（画家）
前田比呂也（当美術館副館長）
コーディネーター：豊見山愛（当館担当学芸員）
会　場：３階講堂
参加者：43人



□「ラ・ムジカ　～山元ほるんピアノ演奏会～」
日　時：平成29年３月３日（金）18:30～
講　師：山元ほるん氏（ピアノ）
風間龍（身体表現）
会　場：３階講堂
参加者：200人

□山元恵一展開会式内覧会
日　時：平成29年３月３日（金）10:30～11:30
講　師：豊見山愛（当館担当学芸員）
会　場：美術館企画展示室
参加者：62人



□キュレータートーク
日　時：平成29年３月18日（土）14:00～15:00
講　師：豊見山愛（当館担当学芸員）
会　場：美術館企画展示室
参加者：12人

□まーちゃんのゆんたくひんたくミュージアム
日　時：平成29年3月25日（土）10:30～12:00
講　師：まーちゃん（小波津正光）
会　場：美術館企画展示室、エントランス
参加者：48人

（４）美術館ニューコレクションシリーズ「宮良瑛子展―いのち」
【会期：2016年（平成28）４月26日（火）～10月16日（日）】

□「宮良瑛子展関連シンポジウム」
日　時：平成28年４月30日（土）14:00～16:00
講　師：宮良瑛子氏（画家）
岡村幸宣氏（原爆の図丸木美術館学芸員）
上原誠勇氏（画廊沖縄主宰）
山川さやか氏（画家）
コーディネーター：豊見山愛（当館担当学芸員）
会　場：３階講堂
参加者：79人



□キュレータートーク
日　時：平成28年５月28日（土）14:00～15:00
講　師：豊見山愛（当館担当学芸員）
会　場：美術館講座室、コレクションギャラリー１・２、ホワイエ
参加者：22人

□ギャラリートーク①
日　時：平成28年４月26日（火）10:30～
講　師：宮良瑛子氏（画家）
会　場：コレクションギャラリー１・２、ホワイエ
参加者：20人

□ギャラリートーク②
日　時：平成28年８月７日（日）14:00～17:00
講　師：黒田昌弘氏（画像聴覚化研究所代表）
会　場：美術館講座室
参加者：23人


機器を説明する黒田氏

□ギャラリートーク③
日　時：平成28年10月２日（日）14:00～15:30
講　師：宮良瑛子氏（画家）
会　場：コレクションギャラリー１・２、ホワイエ
参加者：21人

□読み聞かせ①
日　時：平成28年６月18日（土）10:00～12:00
講　師：佐渡山安博
　　金児由紀子
会　場：コレクションギャラリー２
参加者：30人


慰霊の日　絵本読み聞かせ

□読み聞かせ② ※慰霊の日特別プログラム（博物館との共同開催）
日　時：平成28年６月23日（木）14:00～16:30
講　師：崎山律子氏（フリーアナウンサー）
　　石垣　忍（当博物館歴史担当学芸員）
会　場：コレクションギャラリー２
　　博物館コレクションギャラリー
参加者：35人

□読み聞かせ③
日　時：平成28年８月13日（土）14:00～15:30
講　師：山川喜美子氏（菜の花文庫主宰）
会　場：コレクションギャラリー２
参加者：29人

（５）　美術館ニューコレクションシリーズ「真喜志勉展―アンビバレント」
【会　期：平成28年４月26日（火）～平成28年10月16日（日）】

□「真喜志勉展関連シンポジウム」
日　時：平成28年11月５日（土）14:00～16:00
講　師：土屋誠一氏（沖縄県立芸術大学准教授）
　　能勢裕子氏（彫刻家）
　　仲里効氏（映像批評家）
　　前田比呂也（当美術館副館長）
コーディネーター：島筒格（当館担当学芸員）
会　場：３階講堂
参加者：72人


真喜志勉展関連シンポジウム

□「真喜志勉展　開会式ジャズ演奏」
日　時：平成28年11月１日（火）10:00～
講　師：山下洋輔氏（ジャズピアニスト）
会　場：美術館コレクションギャラリーホワイエ
参加者：120人


真喜志展山下洋輔ジャズ演奏会

□キュレータートーク
日　時：平成28年12月３日（土）14:00～15:30
講　師：島筒　格（当館担当学芸員）
会　場：美術館コレクションギャラリー１・２

参加者：16人

□ギャラリートーク①
日　時：平成28年11月１日（火）10:30～11:30
講　師：能勢孝二郎氏（彫刻家）
　　前田比呂也（当美術館副館長）
会　場：美術館コレクションギャラリー１・２、ホワイエ
参加者：70人

□ギャラリートーク②「TOM MAXと仲宗根政善」
日　時：平成28年11月20日（日）14:00～15:30
講　師：長元朝浩氏（沖縄タイムス論説員）
　　仲里効氏（映像批評家）
会　場：美術館コレクションギャラリー１
参加者：58人

□ギャラリートーク③「TOM MAXとアメリカ」
日　時：平成28年12月18日（日）14:00～15:30
講　師：宮城明氏（画家）
　　翁長直樹氏（美術批評家）
会　場：美術館コレクションギャラリーホワイエ
参加者：30人


真喜志展関連ギャラリートーク

□ギャラリートーク④「TOM MAXとぺんとはうす」
日　時：平成29年１月22日（日）14:00～15:30
講　師：古謝肇氏
　　上原則雄氏
　　井口春治氏
　　平良和宏氏（ぺんとはうす修了者）
　　仲里効氏（映像批評家）
会　場：美術館コレクションギャラリーホワイエ
参加者：33人

□ギャラリートーク⑤「TOM MAXと写真家たち」
日　時：平成29年２月19日（日）14:00～15:30
講　師：大城弘明氏（写真家）
　　仲里効氏（映像批評家）
会　場：美術館コレクションギャラリー１
参加者：25人

□ギャラリートーク⑥「TOM MAXと詩人たち」
日　時：平成29年３月12日（日）14:00～15:30
講　師：中里友豪氏（詩人）
　　仲里効氏（映像批評家）
会　場：美術館コレクションギャラリー１
参加者：36人

□ギャラリートーク⑦「TOM MAXとOKINAWA」
日　時：平成29年３月19 日（日）14:00～15:30
講　師：仲里効氏（映像批評家）
　　翁長直樹氏（美術批評家）
　　前田比呂也（当美術館副館長）
会　場：美術館コレクションギャラリー１
参加者：36人

□ワークショップ①《墨絵で描く秋》

日　時：平成28年11月５日（土）10:00～12:00
講　師：仲本京子（画家）
会　場：県民・こどもアトリエ
参加者：11人



□ワークショップ②《Dog Tagを作ろう》
日　時：平成29年２月11日（土）10:00～12:00
講　師：喜舎場智子　平澤尚子（cicafu metal works）
会　場：県民・こどもアトリエ
参加者：９人

６．ワークショップ

（１）美術館夏休み子供ワークショップ①「中庭が水族館」
日　時：平成28年８月13日(土)　第１回 9:30～10:00　第２回　10:30～11:00
内　容：中庭の窓ガラスに好きな魚などを彩色して水族館にする
講　師：仲村保（当館学芸員）
対　象：小学生以下（親子同伴）
会　場：美術館中庭
参加者：36組40人

（２）美術館夏休み子供ワークショップ②「写生大会」
日　時：平成28年８月13日(土) 9:00～12:00
内　容：屋外展示場や周辺の公園の風景を講師の指導のもと水彩画を描く
講　師：屋良朝彦氏
　　大城譲氏
　　當間よしの氏
　　崎枝静子氏（沖縄県美術家連盟）
対　象：小学１年～中学３年
会　場：博物館・美術館周辺
参加者：20人

（３）美術館夏休み子供ワークショップ③「版画体験」
日　時：平成28年８月13日(土) 14:00～16:00
内　容：木版画の手法をとおして色を重ねるとどんな色が生まれるかを体験
講　師：河辺志保氏（琉球大学付属小学校）
　　琉球大学教育学部の大学生のみなさん
対　象：未就学児～小学校２年
会　場：県民・こどもアトリエ
参加者：親子13組

（４）美術館夏休み子供ワークショップ④「似顔絵教室」
日　時：平成28年８月13日(土) 13:00～16:00
内　容：参加者が互いに似顔絵を描き、相手の特徴を見つけて描く方法を学ぶ
講　師：又吉浩氏（沖縄県立芸術大学）
　　沖縄県立芸術大学大学生のみなさん
対　象：幼稚園児～高校生
会　場：講堂前ホワイエ、博物館講座室前
参加者：25人

（５）美術館夏休み子供ワークショップ⑤「中庭は動物園」
日　時：平成28年８月14日(日) 第１回目9:30～10:00　第２回目10:30～11:00
内　容：絵の具を使って中庭の窓ガラスに好きな動物を描き動物園にする
講　師：仲本賢氏（沖縄県立芸術大学）
　　沖縄県立芸術大学大学生のみなさん
対　象：幼稚園児～大人

会　場：美術館中庭
参加者：36組46人

（6）美術館夏休み子供ワークショップ⑥「キッズカメラマン」
日　時：平成28年８月14日（日）13:00～16:00
内　容：子どもがカメラマンとなり、指導を受けながら家族写真を撮影する
講　師：高野大氏
　　沖縄県立芸術大学大学生のみなさん
対　象：小学校１年～高校３年
会　場：県民・こどもアトリエ
参加者：５組
（7）美術館夏休み子供ワークショップ⑦「美術館にねんどのキノコを植えよう」
日　時：平成28年８月14日（日）13:00～16:00
内　容：紙粘土で色とりどりのキノコをつくり、館入口や屋外展示上の芝生の上に置く
講　師：仲本賢氏（沖縄県立芸術大学）
　　沖縄県立芸術大学大学生のみなさん
対　象：小学校１年～高校３年
会　場：県民・こどもアトリエ
参加者：33人

７．　美術館招待事業（美術館へ行こう）

（1）児童生徒をバスで送迎し、コレクション展示作品を使って鑑賞学習指導を行う
対　象：県内小中学校、特別支援学校　学年単位で5～7校程度
方　法：公募により学校を決定
場　所：コレクション展示室
内　容：鑑賞ボランティアによる鑑賞学習支援
参加者：617人

回	月　日	曜	学校名	見学者
1	2016年９月28日	水	豊見城市立上田小学校（５年）	104人
2	2016年10月５日	水	うるま市立中原小学校（６年）	120人
3	2016年10月14日	金	名護市立東江小学校（６年）	87人
4	2016年11月８日	火	宜野湾市立普天間中学校（特別支援学級）	21人
5	2016年11月22日	火	読谷村立古堅南小学校（５年）	99人
6	2016年11月25日	金	うるま市立平敷屋小学校（３年）	42人
7	2016年11月30日	水	糸満市立兼城小学校　（６年）	107人
8	2016年12月９日	金	美咲特別支援学校はなさき分校（中・高）	84人

８．図工・美術担当教職員等講座

（1）図工・美術担当教職員等講座①
日　時：平成28年５月21日（土）14:00 ～16:00
内　容：アートカード活用例と対話による鑑賞の体験
講　師：仲村保（当館教育普及担当）
会　場：県民アトリエ・こどもアトリエ、コレクションギャラリー
参加者：10人

（2）図工・美術担当教職員等講座②
日　時：平成28年８月12日（金）9:30 ～16:10
内　容：講師による授業実践報告とアートカード活用例と対話による鑑賞の体験
講　師：安里愛
　　峯村和美（名護市立東江小学校）

岸本綾乃（名護市立名護小学校）
前田比呂也（当美術館副館長）
仲村保（当館教育普及担当）
会　場：美術館講座室、コレクションギャラリー
参加者：36人

９．「移動展in座間味」

会　期：2016年（平成28）12月16日（金）・17日（土）・18日（日）（３日間）
開催地：座間味村
内　容：映像作品の展示、小・中学校への出前授業、ワークシップの実施
ワークショップ①：「身近ものを錫にしてしまおう」講師：上原展俊　参加18名
ワークショップ②：「けらまいろ染料で描く海と空」講師：児玉美咲　参加78名
入場者：508人

10．研修対応

（１）学芸員実習
期　間：平成28年８月15日（月）～８月26日（金）10日間（土、日を除く）
参加者：９名（沖縄県立芸術大学８名、九州産業大学１名）
内　容：保存保管環境、展示方法、絵画、彫刻、写真等作品の取り扱いに関する美術館学芸員業務全般

（２）校内研修①
期　間：平成28年８月２日（火）
参加者：那覇市立銘苅小学校
内　容：前田副館長の講話とコレクションギャラリーでのワークショップ

（３）校内研修②
期　間：平成28年８月23日（火）
参加者：東村立高江小中学校
内　容：前田副館長の講話とコレクションギャラリーでのワークショップ

（４）那覇教育事務所教職10年経験者研修
期　間：平成28年７月29日（金）
参加者：那覇地区小・中学校教員
内　容：当美術館の学校団体受入解説とコレクション展鑑賞

（５）社会教育主事現地研修
期　間：平成29年２月17日（金）
参加者：社会教育主事講習者
内　容：バックヤードとコレクション展鑑賞

11．学校団体見学対応

回	月　日	曜	学校名	見学者
1	2016年６月15日	水	座間味村立阿嘉小学校（４～６年）	7
2	2016年７月８日	金	沖縄県立浦添工業デザイン科（１年）	80
3	2016年11月８日	火	西原町立西原東小学校（４年）	70
4	2016年11月11日	金	沖縄市立室川小学校（５年）	50
5	2016年11月16日	木	尚学院SIBA	5
6	2016年２月８日	水	北谷町立北谷小学校	67
7	2016年２月17日	金	沖縄県立浦添工業高校デザイン科（２年）	78

12. 社会教育団体見学対応

回	月　日	曜	学校名	見学者
1	2016年７月23日	土	銘苅小学校PTCA	21
2	2016年８月９日	火	県女性経営者協会	41
3	2016年12月４日	日	那覇市立牧志駅前ほしぞら公民館	16

13. 出前授業

回	月　日	学校名	回	月　日	学校名
1	2016年９月20日	豊見城市立上田小学校（５年）	5	2016年11月９日	沖縄市立室川小学校（５年）
2	2016年９月27日	うるま市立中原小学校（６年）	6	2016年11月17日	うるま市立平敷屋小学校（３年）
3	2016年10月11日	名護市立東江小学校（６年）	7	2016年11月24日	糸満市立兼城小学校（６年）
4	2016年10月28日	宜野湾市立普天間中学校特別支援学級	8	2017年12月７日	県立美咲特別支援学校はなさき分校
9	2016年12月13日	座間味村立阿嘉小学校	12	2017年１月20日	北谷町立北谷小学校（３年）
10	2016年12月13日	座間味村立阿嘉中学校	13	2017年１月30日	北中城村立島袋小学校（４年）
11	2016年12月15日	座間味村立座間味小学校	14	2017年２月２日	北中城村立島袋小学校（３年）

14. アートミュージアムキッズクラブ

今年度新たに「アートミュージアムキッズクラブ」を小学生を対象に実施したプログラム。より美術に親しみ楽しで活動できるように、年間を通して行った。今年度は小学校３年生から５年生の児童９名が参加し、作品鑑賞、造形ワークショップなどに取り組んだ。





回	月　日	曜	プログラム	講師
1	2016年５月15日	日	説明会・バックヤードツアー	教育普及担当
2	2016年５月28日	土	アートミュージアムキッズクラブＴシャツ作り	真喜志康一氏
3	2016年６月18日	土	「宮良瑛子展」読み聞かせ・鑑賞ツアー	教育普及担当
4	2016年８月14日	日	○○さんにしか作れないカブリモノ	吉田俊景氏
5	2016年10月15日	日	「沖縄美術の流れ」鑑賞ツアー・アートカード体験	教育普及担当
6	2016年11月19日	土	錫で豆皿をつくっちゃおう！！	上原俊展氏
7	2016年12月11日	日	ガラス窓にクリスマスを描こう	教育普及担当
8	2017年１月22日	日	紙すきで修了書づくり	県立芸術大学生
9	2017年１月29日	日	ジブンニガオエを描いてみよう・修了式	教育普及担当

15. その他の取組

１．魅力アップ事業

著名人招聘①

日　時：2017年３月12日（日）

催事名：「OKINAWA STREET ART EXHIBITION-BACK to BACK-」

講　師：花城武史

内容①：ライブペイント：木製壁面へのライブペイント（公開制作）を２日間に渡って行う。

場　所：当館３階ミュージアムカフェ「茶花」屋外
内容②：作品展示とトークイベント：当館前田副館長とグラフティーライターとの対談
場　所：当館エントランス
参加者：234名





著名人招聘②
日　時：2017年３月25日（土）
催事名：「まーちゃんのゆんたくひんたくミュージアム」
講　師：まーちゃん（小波津正光氏）
内容①：山元恵一展作品を参加者と一緒にゆんたくしながら作品鑑賞をする。
内容②：山元恵一が描いた牛骨をモチーフにした「牛骨シール」の吹き出しに、参加者が思い思いのことばを書き入れ、その言葉に対しまーちゃんがコメントする。
場　所：美術館企画展示室、エントランス
参加者：48名





Ⅳ.　資料収集・保存管理

１．収蔵作品現在高

2017年３月31日現在

分　類	購　入	寄　贈	移　管	その他	小　計	寄　託	総　計
平　面	366	1,298	64	2	1,730	171	1,901
立　体	29	221	0	8	258	10	268
写真・映像	365 (映像:19)	1,363 (映像:4)	0	0	1,728 (映像:23)	767 (映像:0)	2495 (映像:23)
その他	13	12	1	3	29	41	70
総　計	773	2,894	65	13	3,745	989	4,734

２．2016（平成 28）年度　新収蔵作品高

2017 年３月 31 日現在

分　類	購　入	寄　贈	移　管	小　計	寄　託	総　計
平　面	5	74	0	79	60	139
立　体	0	0	0	0	0	1
写真・映像	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
総　計	5	74	0	79	60	139

３．2016（平成28）年度　新収蔵作品目録

【購入】　2016年４月１日～2017年３月31日

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
平面	絵画	安次嶺　金正	紅い布と少女	1948年	メソナイト、油彩	1
		永津　禎三	Turbulence Series; Jean Duvet No.1	2012年	紙、油彩、テンペラ	1
		永津　禎三	Turbulence Series; Jean Duvet No.2	2012年	紙、油彩、テンペラ	1
		喜舎場　盛也	漢字シリーズ　1	2000年以前	紙、油性ペン	1
		山元　恵一	夜の雨	1967年	キャンバス、油彩	1

【寄贈】　2016年４月１日～2017年３月31日

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	絵画	安次富　長昭	蝶紋	1961 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	少女	1954 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	岩	1960 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	聞得大君の末裔	2003 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	あんがま	1983 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	蝶	1961 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	青	1964 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	若夏	1976 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	民話へのいざない	1969 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	若夏	1979 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	古式の微笑 A	1965 年	キャンバス、油彩、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	古式の微笑	1965 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	民話に憑かれて	1966 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	民話に憑かれて	1966 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	キジムナー	2011 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	民話	1963 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	世果報	2015 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	アグー礼賛	2014 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	八重山カーブヤー	2007 年	キャンバス、アクリル 付属：吊金具	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	南波照間	1990 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	海鳴り	1985 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	若按司	1995 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	首里里之子	2006 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	闘鶏	1956 年	キャンバス、油彩 付属：ヒートン	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	琉球国王尚徳	2004 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	「琉球国王・尚巴志」御後絵	2000 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	琉球弧	1987 年	キャンバス、アクリル	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	版画　1	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	絵画	安次富　長昭	版画　2	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	版画　3	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	版画　4	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	版画　5	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	版画　6	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	版画　7	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	版画　8	1969 年頃	紙、銅版（原版とプリントのセット＋説明書）	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	琉球大学壁画原画	1981 年	紙、水彩 付属：吊紐	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	壷	1955 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	Splendor 「華」	1968 年	紙、エッチング	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	民話へのいざない	1968 年	紙、リトグラフ	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	パパイヤ	1954 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		安次富　長昭	白い雲	1964 年	キャンバス、油彩	1	安次富　長昭
		浦崎　彦志	ダムのある風景Ⅱ	不明	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		浦崎　彦志	ダムのある風景	1982 年	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		浦崎　彦志	高速道路の見える風景	1991 年	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		浦崎　彦志	風景	2004 年	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		永津　禎三	UTAKI Series: Karimata-5	1986 年	キャンバス、テンペラ、油彩	1	真喜志　民子
		永津　禎三	UTAKI Series: Karimata-13	1987 年	キャンバスに紙貼付け、テンペラ、油彩	1	真喜志　民子
		永津　禎三	UTAKI Series: Karimata-18	1989 年	キャンバス、テンペラ、油彩	1	永津　禎三
		永津　禎三	Oval Number 20	1989–90 年	パネル、卵テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Oval Number 21	1989–90 年	パネル、卵テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Oval Number 22	1989–90 年	パネル、卵テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Oval Number 26	1989–91 年	パネル、卵テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Number4	1991 年	パネル、卵テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Genetics 82-8	1982 年	パネル、卵テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Genetics 82-9	1982 年	パネル、卵テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Turbulence Series; Jean Duvet No.3	2012 年	紙、油彩、テンペラ	1	永津　禎三
		永津　禎三	Turbulence Series; Jean Duvet No.4	2012 年	紙、油彩、テンペラ	1	永津　禎三
		喜舎場　盛也	アルファベットシリーズ　1	2000 年以前	紙、クレヨン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	漢字シリーズ　2	2000 年以前	紙、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	漢字シリーズ　3	2000 年以前	紙、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	漢字シリーズ　4	2000 年以前	紙、油性ペン	1	喜舎場　正一

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	絵画	喜舎場　盛也	漢字シリーズ　5	2000年以前	紙、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	漢字シリーズ　6	2003年頃	紙、クーピー	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	漢字シリーズ　7	2003年頃	紙、クーピー	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	ほし	2005年頃	紙、水性ペン、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	ベル	2006年頃	紙、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	ドットシリーズ　1	2011年	紙、水性ペン、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	ドットシリーズ　2	2012年	紙、水性ペン、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	いえ	1998年頃	紙、クレヨン、油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	図鑑シリーズ　1	2000年以前	図鑑に油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	図鑑シリーズ　2	2000年以前	図鑑に油性ペン	1	喜舎場　正一
		喜舎場　盛也	図鑑シリーズ　3	2000年以前	図鑑に油性ペン	1	喜舎場　正一
		与儀　達治	わだつみ笛	1979年	キャンバス、油彩	1	喜舎場　正一
		与儀　達治	うみうた	1975年	キャンバス、油彩	1	喜舎場　正一

【寄託】　　2017年４月１日～2017年３月31日

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	所有者
平面	絵画	名渡山 愛擴	モクレンの花	不明	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		名渡山 愛順	レイトン教会	1951	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		名渡山 愛順	首里の追憶	1946	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		大嶺　實清	不明	不明	パネル、石膏	1	浦崎　桂子
		大嶺　信一	風景	不明	メソナイト、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	静物	1977	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	真珠の涙	1973	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	杜	1954	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	魚	1975	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	月夜	1967	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	生贄	1968	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	静物	不明	メソナイト、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	ペルーの皿	1974	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	無題（フロッタージュ）	1974	紙・鉛筆（フロッタージュ）	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	無題（フロッタージュ）	1974	紙・鉛筆（フロッタージュ）	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	無題	1974	紙、水彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	港	1964	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	愉快な日曜日	1963	ベニヤ板、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	テレビ	1965	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	うの鳥	1963	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	幸福をつかむ手	1966	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		山元　恵一	若夏	1973	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	燈心	1961	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	闘牛	1961	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	墓標への道	1967	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	所有者
平面	絵画	玉那覇　正吉	ある風景	1967	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	厨子甕	1971	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	ふたり静	1968	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	裸婦像	1948	ボード、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	自画像	1945	紙、木炭、水彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	さぼてんの花	1965	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	缸	1965	ボード、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	原画・新聞	不明	紙、水彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	パイプをくわえた男	1950	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		玉那覇　正吉	自画像	1948	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		宮城　健盛	破船	1971	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		宮城　健盛	風景	不明	ボード、油彩	1	浦崎　桂子
		宮城　健盛	不明	1981 年頃	台紙に和紙貼付け、水彩	1	浦崎　桂子
		宮城　健盛	不明	1981 年頃	台紙に和紙貼付け、水彩	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	坐礁	58～63 年頃	紙、水彩	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	城	不明	紙、水彩	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	柵	不明	紙、水彩	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	航路	不明	紙、水彩	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	印象	不明	紙、水彩	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	秋の塔	1958	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	正吉の顔	不明	紙、ペン	1	浦崎　桂子
		安谷屋　正義	不明	不明	紙、ペン	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	階段	1958	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	裸婦	1950	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	道	1973	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	樹木	1971	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	バナナ	1957	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	バナナ	1953	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	弥次馬	1962	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	デッサン	不明	木炭紙、木炭	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	私のあるひ	1986	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	私はつかれた	1950	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	自画像	1950	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	のぼり窯	1953	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子
		安次嶺　金正	薫風	1955	キャンバス、油彩	1	浦崎　桂子

４．作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の文化芸術の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

平成28年度は、１回の美術品等収集委員会を実施し、購入５点、寄贈76点、寄託60点について諮った。作品の収集に当たっては、事前調査を基に、美術館学芸員会議で一次審査、二次審査を行い、県内外の有識者で構成された収集委員会で審議した。その結果を参考に所定の手続きを経て収集した。購入は、安次嶺金正、永津禎三、

喜舎場盛也、山元恵一の作品であった。寄贈は、安次富長昭、永津禎三、喜舎場盛也、与儀達治、浦崎彦志の作品があり、寄託は浦崎彦志が収集した名渡山愛順、玉那覇正吉、安谷屋正義らの作品があった。

（島筒　格）

５．保存管理事業

（１）保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理の徹底による虫菌害予防（ペストコントロールを含む）が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

（２）収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼、招聘を行い、当館保存修復室にて共同で修復作業を行うこととしている。本年度の外部委託の依頼はなかった。

企画及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装及び金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

（３）収蔵品修復(館内処置)

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
真喜志勉	OKINAWA MUSEUM OF COMTEMPORARY ART AS TOM'S DREAM	ミクストメディア	支持体周縁部の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。裏面保護。吊金具変更	常設
真喜志勉	I LOVE MARILYN NOT MARINE1	木製パネル・ミクストメディア	展示方法の改善　作品パーツの接着	常設
真喜志勉	I LOVE MARILYN NOT MARINE2	木製パネル・ミクストメディア	展示方法の改善　作品パーツの接着	常設
真喜志勉	I LOVE MARILYN NOT MARINE3	木製パネル・ミクストメディア	展示方法の改善　作品パーツの接着	常設
真喜志勉	UMBRELLA 01	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設
真喜志勉	UMBRELLA 02	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設
真喜志勉	UMBRELLA 04	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設
真喜志勉	UMBRELLA 05	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設
真喜志勉	イージープリント01	紙・シンナープリント	作品固定方法の改善、ブックマット、吊金具変更	常設
真喜志勉	イージープリント02	紙・シンナープリント	作品固定方法の改善、ブックマット、吊金具変更	常設
真喜志勉	イージープリント03	紙・シンナープリント	作品固定方法の改善、ブックマット、吊金具変更	常設
真喜志勉	版画作品 15 点	シルクスクリーン・洋紙	ブックマット・作品固定方法の改善	常設
真喜志勉	LEFT ARONE	油彩・キャンバス	画面洗浄、付着したカビの殺菌	常設
真喜志勉	UNTITLED.01.1992	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設
真喜志勉	UNTITLED.01.1993	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
真喜志勉	UNTITLED.02.1992	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設
真喜志勉	UNTITLED.01.1993	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・吊金具変更	常設
真喜志勉	UNTITLED.01.1997	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・錆部分へのコーティング剤塗布、接着、吊金具変更	常設
真喜志勉	UNTITLED.02.1997	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄・錆部分へのコーティング剤塗布、接着、吊金具変更	常設
真喜志勉	upon my soul 01	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄,作品展示方法の改善	常設
真喜志勉	upon my soul 02	木製パネル・ミクストメディア	画面の乾式洗浄,吊金具変更	常設
金城安太郎	今帰仁城　盛衰記	半紙・墨・インク・顔彩	ブックマット・マウント	常設
山元恵一	人の祈り	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。	H27 企画展
山元恵一	司祭	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。	H27 企画展
山元恵一	南の島の歌	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。	H27 企画展
山元恵一	女	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。	H27 企画展
山元恵一	旧慣	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。	H27 企画展
山元恵一	版画 27 点	コラージュ・洋紙	ブックマット・マウント、作品固定方法の改善	H27 企画展
山元恵一	夜の雨	ミクストメディア	乾式洗浄、絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。額装の改善	H27 企画展
ナカソネ・エリカ	interior	ミクストメディア	観音開きの蝶番の交換、接着。固化した接着剤の除去、乾式洗浄	館外貸出
宮良瑛子	オモニ・幾星霜	キャンバス・混彩	支持体の変形修正、剥がれの接着、絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着	常設
宮良瑛子	光州 1980 年 5 月 18 日	キャンバス・油彩	絵具層の浮き上がりと剥落周縁への接着剤塗布。キャンバス裏面の汚損の除去。	常設
宮良瑛子	シリーズ焦土より―地底―	キャンバス・油彩	絵具層の浮き上がりと剥落周縁への接着剤塗布。キャンバス裏面の汚損の除去。	常設
宮良瑛子	哭	キャンバス・油彩	額装の新調・作品固定金具変更	常設
宮良瑛子	路傍Ⅰ	キャンバス・油彩	額装の新調・作品固定金具変更	常設
宮良瑛子	絵本原画　15 点	紙・水彩	ブックマット・作品装着方法の改善	常設

注記

・館内処置について

作品における処置は全て当館保存修復嘱託員　梶原正史が行った。

額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

・修復に使用した材料について

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

６．作品貸出

2016年度は、下記のとおり１件の館外貸出を行った。なお美術館では、借用先のファシリティーズレポートの

提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち合い、作品状態の点検を行っている。

展覧会名：第６回ウチナーンチュ大会記念「虹色のかけはし　内間安瑆のARTと浦添の移民100年展」
展覧会場：浦添市美術館（沖縄県）
貸出期間：2016年６月16日～６月26日
貸出作品：26点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材
1	内間　安瑆	Forest Byobu	1980年	油彩､キャンバス
2	内間　安瑆	Light Mirror, Water Mirror	1977年	木版、紙
3	内間　安瑆	Self Portrait With Rose	1982年	銅版、紙
4	内間　安瑆	Nostalgia in Black 黒のノスタルジー	1960年	多色木版、紙
5	内間　安瑆	Katsu! 喝	1960年	多色木版、紙
6	内間　安瑆	Emerald in Crimson	1969-75年	多色木版、紙
7	内間　安瑆	Space Tranquility : Sphere	1972-76年	多色木版、紙
8	内間　安瑆	Blue to White : Cascade	1976年	多色木版、紙
9	内間　安瑆	Six Semi-Spheres	1976-77年	多色木版、紙
10	内間　安瑆	Space Bouquet	1977年	多色木版、紙
11	内間　安瑆	Window Nuance (Red-Ochre) B	1978年	多色木版、紙
12	内間　安瑆	Forest Byobu (Shrub Oak-Autumn)	1979年	多色木版、紙
13	内間　安瑆	Forest Byobu (Autumn)	1979年	油彩､キャンバス
14	内間　安瑆	Forest Byobu (Autumnal Blend B)	1981年	多色木版、紙
15	内間　安瑆	Forest Byobu (Twilight Weave) A	1981年	多色木版、紙
16	内間　安瑆	EarlySummer Rain	1961年	多色木版、紙
17	内間　安瑆	Northern Landscape	1968年	多色木版、紙
18	内間　安瑆	Sky,Sea,Earth	1969年	多色木版、紙
19	内間　安瑆	Into Space	1971年	多色木版、紙
20	内間　安瑆	Space Landscape (B)	1978年	多色木版、紙
21	内間　安瑆	Space Poem A	1974年	多色木版、紙
22	内間　安瑆	In Blue (Dai)	1975年	多色木版、紙
23	内間　安瑆	Towards	1976年	多色木版、紙
24	内間　安瑆	Forest Byobu (Screen) B	1980年	多色木版、紙
25	内間　安瑆	Forest Byobu (Autumn Echo)	1980年	多色木版、紙
26	内間　安瑆	Forest Byobu (Twilight Weave)A	1982年	油彩、キャンバス

（玉那覇　英人・梶原　正史）

一般財団法人
沖縄美ら島財団
（指定管理者）

Ⅰ　沖縄美ら島財団の概要
Ⅱ　運営方針
Ⅲ　組織
Ⅳ　教育・イベント活動
Ⅴ　広報事業に関する業務
Ⅵ　調査・研究・講演・著作論文等の活動

Ⅰ．沿革

＜沿革＞

昭和51年７月16日、海洋博覧会記念公園管理財団発足。同年８月１日、国営沖縄海洋博覧会記念公園維持管理業務受託開始。平成３年８月、首里城基金を設立。平成４年11月、首里城公園（国営沖縄記念公園首里城地区、県営公園の一部、城郭）の維持管理業務受託開始。同年営業契約により特定公園施設（正殿、南殿・番所、北殿、奉神門、御庭等）の管理運営を開始。平成14年11月、営業契約により特定公園施設（沖縄美ら海水族館）の管理運営を開始。平成16年12月、ISO14001認証取得。平成20年12月、総合研究センター発足。平成24年10月１日、一般財団法人沖縄美ら島財団に改称。

＜業務内容＞

昭和51年８月開園以来海洋博公園の維持管理業務、平成４年11月開園以来首里城公園国営公園部分と首里城城郭を含む県営公園部分の維持管理業務の受託を行っている他、首里城有料区域及び沖縄美ら海水族館等特定公園施設については独立行政法人都市再生機構との営業契約で運営している。平成18年度からは指定管理者として県営首里城公園、平成25年度から県立名護青少年の家、平成26年からなごアグリパーク（名護市農産物６次産業支援拠点施設）の管理運営を行う他、平成27年より名護市の小学校跡地に沖縄の自然に関する調査研究・普及啓発活動の拠点施設として「美ら島自然学校」を開校し運営している。平成26年より国際通りの沖縄美ら海水族館アンテナショップ「うみちゅらら」、平成27年より、なごアグリパーク内に設置された沖縄本島北部の農産物加工品や健康食品等を扱うショップ「しまちゅらら」を開店・運営している。また、平成20年に「総合研究センター」を設立し、海洋生物や亜熱帯植物、海洋文化、首里城等琉球王朝文化の調査・研究普及啓発、社会貢献・地域連携活動を行い、平成26年には文部科学省により科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定された。平成28年４月より沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として同館の管理・運営にあたっている。指定期間は平成28年４月～平成32年３月までの５年間。

Ⅱ．運営方針

Ⅰ．管理運営の基本方針

１．基本的な考え方

沖縄県立博物館・美術館の設置目的及び基本理念等を理解し、業務仕様書に基づき沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課や博物館・美術館との調整を的確に実施し、管理運営上の課題に適切に対応していきます。

また、当財団では以下に示す管理理念の下、６つの基本方針と具体的な取組を展開することで施設が保有する多くの貴重な収蔵品等を守り、育み、伝える使命を果たすとともに、県民をはじめ多くの方に開かれた館となることを目指し21世紀ビジョン等に掲げられた施策目的が達成できるよう努めます。

２．管理理念

理念１：「沖縄の輝き」を守り育み、御万人へ、そして未来へとつなぎます。

沖縄県立博物館・美術館（以降、本館という）が保有する多くの貴重な資料は、守り、育み全ての方へそして未来へつないでいくべき「沖縄の輝き」です。

私たち（一財）沖縄美ら島財団（以下、財団）は「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」等、沖縄県を代表する博物館や文化施設の運営を行うとともに、当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究・普及啓発活動により、沖縄の自然、文化、歴史等の「沖縄の輝き」を守り育み、多くの方へ伝えて参りました。そのノウハウや人材、ネットワークを活かし、本館が行う博物館資料の保管や展示、調査研究普及啓発事業を強力にサポートし、県全体の文化芸術や教育学習の発展、調査研究の発展に寄与します。

理念２：観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝えます。

沖縄県は「唯一無二の素晴らしい」自然文化、歴史を持つ「魅力的な」地域です。博物館・美術館には、その沖縄を代表する沢山の収蔵品がありますが、情報量が多くアカデミックな展示であるため、沖縄の魅力が観覧者の心に伝わりにくいという一面もあります。私たちは心に響く「鮮烈な」展示解説やライブプログラムによる「体験」を充実させることで観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝える管理運営を目指します。

理念３：観光客を誘致し「観光立県おきなわ」の推進に寄与します。

「観光立県」を標榜する沖縄県において「沖縄の自然・歴史・文化・美術作品をトータルに紹介」できる本館の役割は非常に重要です。私たちは沖縄県の観光事業を牽引する「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」

を支えるブランディング力、プロモーションネットワーク、誘客力を活かし、沖縄を訪れる多くのお客様を、積極的に本館に誘致し、地域の活力向上に寄与します。

３．運営方針

方針１：誰もが使いやすい「開かれた博物館・美術館」を目指します。

・法令の遵守と平等性の確保

本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報の保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。

・リスクマネジメント

事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。

・お客様の立場に立った接客

観光施設で培ったホスピタリティ溢れる接客・接遇を行うとともに、お客様の声を収集し、サービスの向上に努めます。

・「利用しやすい」環境の整備

ユニバーサルデザインの推進と海外観光客対応の強化のため、サインやＨＰ等を見直すとともに県民活動の場としても利用しやすい環境を整えます。

・総合案内機能の向上

沖縄県の自然・歴史文化・美術作品に関する案内やレファレンスサービスの強化を図るとともに沖縄の観光案内も行います。

・衛生的で快適な施設の提供

清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整えます。

方針2：沖縄県が目指す「博物館・美術館の将来像の実現」をサポートします。

・関連計画に掲げられた目標達成への努力

「沖縄21世紀ビジョン」や「沖縄県教育振興基本計画」、「沖縄県立博物館・美術館中長期事業計画」等に示された将来像の実現と入館者数の達成を目指します。

・本館の「拠点機能」「ネットワークハブ機能」構築のサポート

本館が目指す沖縄県の教育学習や県内文化芸術関連施設、沖縄県の主要観光資源のネットワークハブ機能構築に向けて当財団が保有する国内外観光・学術ネットワークを最大限に活用し、その構築をサポートします。

方針3：「博物館・美術館の本来機能の向上」を強力にサポートします。

・膨大な標本等資料・美術工芸品を活用した展示サポート

当財団が所有する沖縄の生物・植物標本（役51,000点）や琉球王朝に関連する美術工芸品（約1,400点）を活用し、本館の展示をサポートします。

・調査・研究成果、豊富な普及啓発プログラムの活用

当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究の成果や普及啓発プログラムを活用し、本館の調査・研究や普及啓発事業をサポートします。

・本館での学びを助ける「活動フィールド」と「研究人材」の提供

体験・活動フィールドと、それをサポートする人材の提供により本館での学びをサポートします。

・（独）東京文化財研究所主催の「保存担当学芸員講習受講者」による適切な資料管理

首里城公園で美術工芸品を扱う「保存担当学芸員講習受講者」の指導の下、適切な資料管理をサポートします。

方針4：「沖縄県の主要観光施設」に相応しい経営と運営を行います。

・本館の魅力を引き出し高める「ブランディング・マーケティング」の実施

沖縄観光の二大拠点を支えるブランディング・マーケティングノウハウを基に、「経営戦略会議（仮称）」を実施し本館の企画や運営を総合的に検討します。

・観覧者の心に響く「展示解説」の工夫と「ライブプログラム」の実施

観覧者の心に響く「鮮烈な展示解説」や観覧者が「参加・体験でき、思い出に残るプログラムやイベント」、展示を短時間で分かりやすく解説する「ガイドツアー」、観覧者の興味・注目を引き付ける「誰かに伝えたくなる」情報の発信を行います。

・首里城公園や沖縄美ら海水族館との連携による「新たな沖縄観光」の提案

首里城公園と連携した「琉球王朝文化ガイドツアー」や「催し」を実施し、「首里城公園」連携割引券や「沖縄美ら海水族館」とのセット券（割引券）を導入します。

方針5：県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。

・「県内外広報ネットワーク」を活用した誘客につながる情報発信

国内外での観光プロモーションや県内老人会への個別訪問、お客様の手元に本館の情報が直接届く「スマホアプリ」の活用まで、広域かつ緻密なネットワークを活かした広報・プロモーション展開を行います。

・国内外の観光客に「選ばれるため」に積極的な誘客・広報活動を行います。

旅行社とタイアップした「ツアー等旅行商品」の造成や、修学旅行の誘致、周辺ホテル・商業施設と連携した誘客広報、県外観光客・海外観光客向けの誘致活動を行います。

・質の高い広報を支える「豊富な人材」の活用

沖縄美ら海水族館及び海洋博公園・首里城公園の広報・ＰＲ経験者を「企画広報事業部責任者」に配置します。また、当財団の実績豊富なデザイナーやＩＴ技術者が、デザイン制作及びＩＴを活用したＰＲをバックアップします。

方針6：県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。

・地域コミュニティを育成するイベントや取り組みの実施

お祭りやワークショップ等の「地域と連携したライブイベント」の実施や本館を拠点とした「教室・文化サークル」の運営、カフェやホワイエを活用した「ギャラリー」「定期講演会」等を実施し県民が集い・学び・発表できる「地域活動の舞台づくり」を行います。

・地域産業、アーティスト等と連携した「オリジナルミュージアムグッズ」の開発・販売

地域企業や工房等と連携した「オリジナルグッズ」の開発・販売や、地元アーティスト、沖縄県立芸術大学等と連携した「お土産品パッケージ作成」等を行います

・大学や専門学校、企業等と連携した「人材育成事業」の実施

県民から作品を公募する「美術展」や「写真展」の開催、大人・専門家を対象にした高度な人材育成と啓発活動、学生・児童を対象にした楽しい学習会等を行います。

・地域活動団体、博物館・美術館支援組織との「協働」による館の運営

地域活動団体である「那覇市新都心通り会」へ入会し、団体が行う「アートのまちづくり」活動等を連携して行います。また、博物館支援団体「博物館友の会」、美術館支援団体「NPO happ」「博物館・美術館ボランティア」との「連絡会議」を行い、意見や情報交換の活発化、業務連携による事業効率化、研修会等人材育成事業のサポートを行います。

Ⅲ．組織

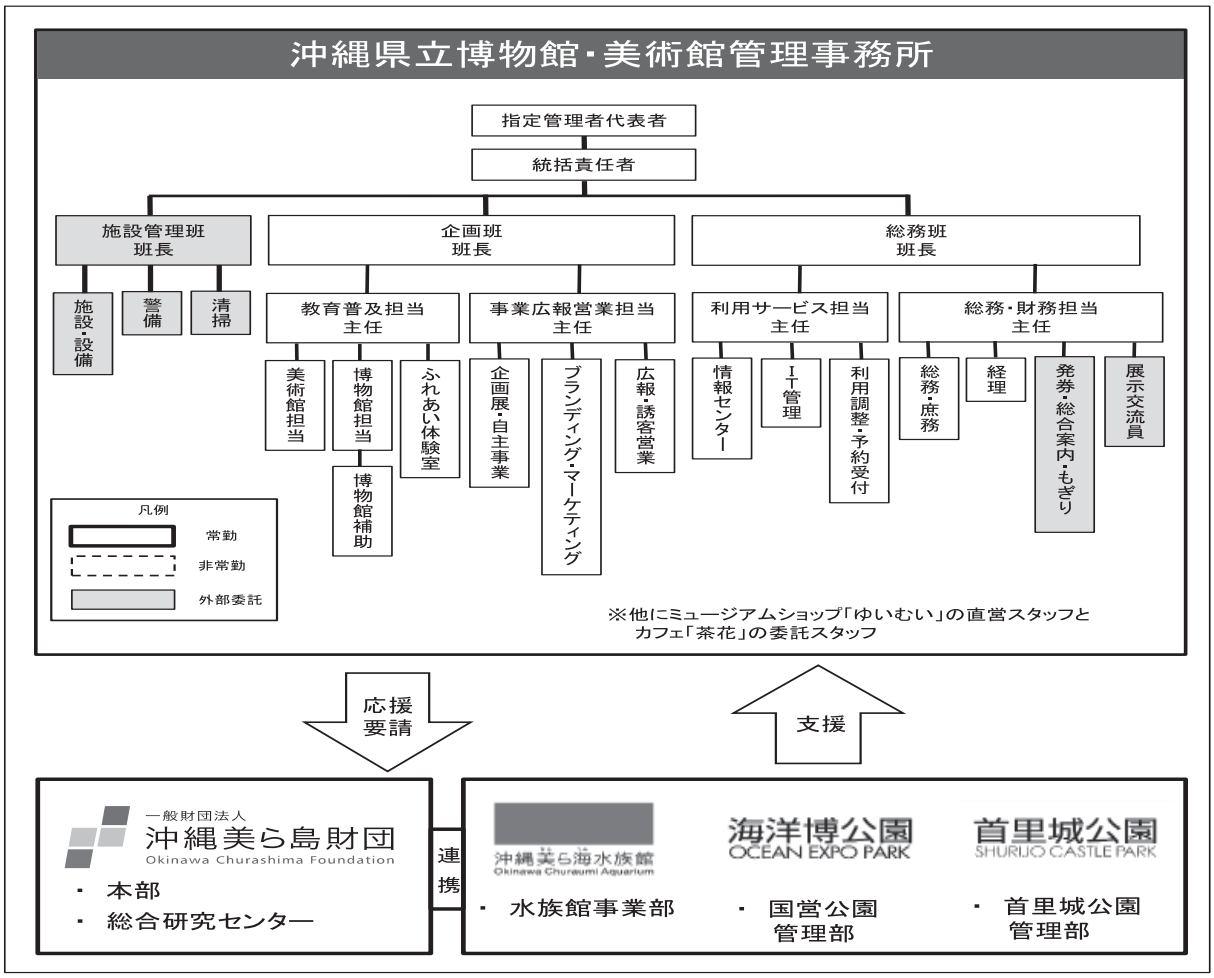
１．管理組織図

誘客に直結する「展示企画・普及啓発事業」と「広報・営業活動」を連携して行えるようこれらを一体的に行う「企画班」を設置し、企画班を統括する責任者を新たに配置します。教育普及、事業広報営業、利用サービス、総務・財務の各部門担当者を新たに配置し組織力を強化し企画提案事項を計画的に推進します。

また施設管理や総合案内・受付・もぎり・発券についてはノウハウ・実績のある事業者へ委託することで指定管理業務全体の合理化を図ります。

展示交流員についても引き続き支援組織である博物館友の会及びNPO happへ委託するとともに事故･緊急時に対応できるよう展示交流員管理担当者を配置し連絡体制を強化します。また各業務の実施に当たっては沖縄2大観光施設と連携しその誘客力やネットワークを活かした広報等を行う他､教育普及事業においては当財団の総合研究センターの技術スタッフが、施設管理部門においては首里城公園のIPM管理実績を持つ「保存担当学芸員講習受講者」等が、業務の実行をそれぞれバックアップします。

管　理　組　織　図



【職員構成】　　2016年４月１日現在

	氏　名	担　当　業　務
統　括	大城　慧	指定管理業務の統括、総務全般、県や博物館・美術館との現場調整に関すること
総務班	平良　亜紀子	予算、料金申請、人事管理（展示交流員等）に関すること
	仲宗根　めぐみ	総務補助、クーポン券やその他総務全般に関すること
	池宮城　啓子	ミュージアムショップゆいむい　店長
	玉城　照美	ショップ、カフェの管理
	喜納　春樹	企画、施設貸出に関すること
	宮里　宗彦	施設管理、県民ギャラリーに関すること
	島袋　百恵	情報センターの管理・運営に関すること
	仲本　美奈子	情報センターの管理・運営に関すること
	新川　恵子	情報センター業務
事業広報営業班	前川　剛	営業、広報業務、自主事業の取りまとめ
	大濵　萌子	教育普及（博物館業務）に関すること
	保久村　智恵	教育普及（美物館業務）に関すること
	中島　アリサ	教育普及（美術館業務）に関すること
	前川　貴子	ふれあい体験室、教育普及に関すること
	金城美奈子	広報業務、自主事業に関すること
	謝花　佐和子	広報業務、自主事業に関すること

	氏　名	担　当　業　務
事業広報営業班	國吉　貴奈	広報業務、自主事業に関すること
	金城　正仁	営業、広報業務に関すること
	福治　広規	営業、広報業務に関すること
展示交流員		展示室における監視業務、誘導、解説等に関すること
ふれあい体験室		ふれあい体験室での来館者諸対応に関すること

【人事異動】　　2017年３月31日現在

部　　署	氏　　名	適　　用
転入		
転出		
退職	新川　恵子 中島　アリサ	2017年3月31日　退職 2017年3月31日　退職

Ⅳ．教育・イベント活動

博物館、美術館のファンの育成を目的とし、大人から子供まで気軽に参加できる楽しいプログラムを企画、立案、実施した。

１．ワークショップ等

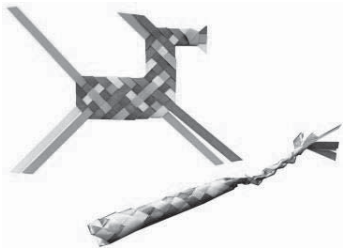
（１）ふれあい体験室ワークショップ

今年度のふれあい体験室ワークショップは、体験キットの充実・発展を目的に、各分野担当学芸員や専門の指導者と協力して４つのプログラムを開催した。未就学児から大人まで広い世代に参加してもらえるよう、難易度を低くすることや短時間で取り組める内容を選定した。参加者には、講座の要点をまとめた「博士カード」を配布し、カードを集める楽しさを取り入れながら学びを深めてもらった。

場　　所：ふれあい体験室前エントランスホール
講　　師：ふれあい体験室スタッフ１名（一財 沖縄美ら島財団：前川貴子、平良尚人、比屋定智子、金城絵舞、嶺井良子、小柳果野子）
対　　象：小さなお子さん～大人（５才以下、保護者同伴）
参加者数：1,149人／一日平均23人

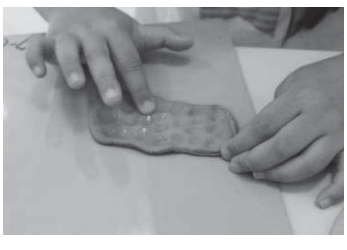
① れたい博士の「てづくりおもちゃ」

内　　容：体験キットNo.19「いろいろな玩具」からマーニー（クロツグ）やアダンの葉でつくった昔のてづくりおもちゃを、カラフルな画用紙やソフトテープで作製した。
日　　時：４月～６月の毎週土曜日
１回目10:00「カジマヤー」　２回目10:30「馬グヮー」
３回目11:00「星コロ」　４回目11:30「ハブグヮー」
参 加 費：100円
参加者数：396人（開催日数13日／一日平均30人／各日定員40人）



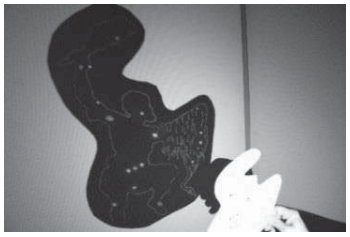
② れたい博士の「土器文様調べ」

内　　容：体験キットNo.12「遺物からわかること」から、土色の紙粘土を使って土器に文様をつけた方法を考え、文様から読み取れる土器の年代を調査しながら、「土器のカケラ風チャーム」を作製した。
日　　時：７月～９月の毎週土曜日　＊９/３(土)休館
１回目10:00　２回目10:30　３回目11:00　４回目11:30
参 加 費：150円
参加者数：228人（開催日数12日／一日平均19人／各日定員40人）



指導協力：片桐千亜紀(考古担当)／山崎真治(人類担当)／崎原恒寿（恩納村教育委員会）

③　れたい博士の「星空影絵」



内　　容：体験キットNo.9「見える星座・見えない星座」から、画用紙とカラーセロファン紙で星座の影絵シートを作成した。暗闇の中で星座の影絵をして星座の形、位置や動き方を学んだ。
日　　時：10月～12月の毎週土曜日
　　１回目10:00　２回目10:30　３回目11:00　４回目11:30
参 加 費：100円
参加者数：198人（開催日数13日／一日平均15人／各日定員40人）
指導協力：宇佐美賢(地学担当)

④　れたい博士の「びんがたデザイン」



内　　容：体験キットNo.21「衣からわかること」から、紅型模様のスタンプでオリジナルの手さげ袋を作製し、色々な紅型の図柄を調べた。
日　　時：１月～３月の毎週土曜日
　　１回目10:00　２回目10:30　３回目11:00　４回目11:30
参 加 費：手さげ袋300円／巾着200円
参加者数：327人（開催日数13日／一日平均27人／各日定員40人）
指導協力：與那嶺一子(美術工芸担当)

（２）ふれあい体験室ワークショップ特別編

①琉球大学留学生クラスのみなさんとハブグヮーづくり



内　　容：団体見学に合わせたワークショップの開催申込を受け、アダン葉細工の「ハブグヮー」をカラフルなソフトテープで作製した。
日　　時：６月１日（水）13：30～15：00
場　　所：博物館実習室
講　　師：前川貴子(沖縄美ら島財団)、博物館ボランティア10人
対　　象：琉球大学留学生クラス沖縄事情の学生
参 加 費：100円
参加者数：57人

②天体望遠鏡で月・惑星・星を見てみよう！



内　　容：10月から12月のふれあい体験室ワークショップ「ふれたい博士の星空影絵」に関連し、天体観測会を開催した。
日　　時：10月８日（土）19：00～20：00
　　11月5日（土）18：00～19：00
　　12月３日（土）17：30～18：30
場　　所：当館屋上（３階講堂側）
講　　師：宇佐美賢（地学担当）学生ボランティア12人
　　（沖縄国際大学、名桜大学、西原高等学校）
対　　象：小さなお子さん～大人(小学生以下、保護者同伴)
参 加 費：無料
参加者数：202人

（３）特別展関連ワークショップ「クリスマスツリーに土器片オーナメントを飾ろう」



開催中の博物館特別展「港川人の時代とその後」展関連催事として、縄文時代の人々が煮炊きの道具や食料を貯蔵する容器として使用した土器の文様を探るワークショップを開催した。
実 施 日：12月23日（金・祝日）13：30～16：00
講　　師：山崎真治（人類担当）
　　前川貴子（沖縄美ら島財団）
場　　所：１階エントランスホール
参 加 者：31人（定員60名）
参 加 費：150円

（4）「親子でムーチーをつくろう！」



現代の家庭へもムーチーの食文化を普及することを目的に旧暦の12月８日（来年の１月５日）の「鬼餅の日」を前に、松本料理学院学院長の松本嘉代子氏と助手の儀間常子氏を講師に迎え、親子でムーチーづくりに挑戦した。

実 施 日：12月24日（土） ９：15～13：00
講　　師：松本嘉代子氏（松本料理学院学院長）
場　　所：１階エントランスホール
参 加 者：17組40人（定員20組）

（5）お正月企画

①新春島唄ライブ



古典音楽や八重山・琉球民謡をベースに新たな沖縄音楽を追求する若き唄者の共演による新春島唄ライブ

実施日：１月１日（日）14：00～14：45
場　所：博物館屋外展示場　民家
出　演：大城建大郎（ギター・笛）、大城悠（三線）
参加者：約90名（定員なし）
参加費：無料
※13：00～ナーントゥのお振る舞いあり（先着100人）

②「アダン筆づくりと書初めアート」



アダンの木根から各自2本の筆を作り、今年の目標や干支などお正月を感じさせるイラストなど思い思いに布に書いた。

実施日：１月２日（月） ９：15～12：00
場　所：実習室・民家横
講　師：伊江隆人氏（書道家・アーティスト）
参加者：13組34名（定員15組）
参加費：500円

③お正月企画「特大かるた会」



豊永盛人氏の「沖縄おもしろカルタ」を使って実施。予想以上の参加者が集まり、うちなーぐちに親しみながらカルタ会を楽しむ参加者の様子と盛り上がりをみせた。

実施日：１月３日（火）14：00～15：00
場　所：１階エントランスホール
カルタ読み手：末吉弘勝氏（博物館ボランティア）
参加者：40名（定員なし）
参加費：無料

④「トコトコ歩くトリのおもちゃづくり」



正月催事として毎年開催している干支にちなんだおもちゃ作りは、今年も上運天研成先生とおもちゃの会ピノキオのみなさんと博物館ボランティアの皆さんに協力いただき実施した。参加者は電気やバネを使わずに坂道を歩く木製のトリのおもちゃづくりに挑戦した。

実施日：１月９日（月・祝）１回目14：00～15：00
　　２回目16：00～17：00
場　所：正面玄関入口
講　師：上運天研成氏とおもちゃの会ピノキオのみなさん
参加者：１回目30名　２回目32名（各回定員30名）
参加費：無料
博物館ボランティア：桑江千鶴子、石津陽子、高倉規矩子

２．展示会等

（１）沖縄県立博物館・美術館コレクション展ニューコレクションシリーズⅡ

「真喜志勉展　アンビバレント」関連催事コンサート「山下洋輔 meets Tom Max」

日　　時：平成28年11月１日（火）　19:00～21:00（18:30から開場）
場　　所：沖縄県立博物館・美術館　エントランス
出　　演：山下洋輔（ピアノ演奏）、徳田陽子（司会）
チケット：2,000円（コレクションギャラリー観覧料も含む）
主　　催：一般財団法人沖縄美ら島財団
共　　催：絵画教室ぺんとはうすOB、OG
内　　容：コレクション展「真喜志勉展　アンビバレント」の開幕を祝うコンサートを真喜志勉氏の友人で世界的なピアニストである山下洋輔氏を招いて開催し、コレクションギャラリー展示への誘客を促すことを目的とした。
入場者数：473人





（２）あなたとつくる夢のアート☆ツリー関連バレンタインイベント

「音楽とともに楽しむ大人のアートトーク～西洋美術にみる愛のテーマ～」

日　　時：平成29年２月11日（土）　18：00～20：00
場　　所：ミュージアムカフェ茶花
絵画解説：前田比呂也（当館副館長）
出　　演：大湾宗定（テノール）、大湾絹江（ソプラノ）、渡具知愛（ピアノ）
内　　容：参加者数絵画と音楽を楽しむ企画とした。普段は展示室や画集をとおして一人で鑑賞する西洋絵画を、おいしいお酒とおつまみをいただきながら、そしてフランス歌曲やシャンソン、オペラ聴きながら楽しむことを目的とし、芸術鑑賞の楽しさを伝える機会とした。
入場者数：49名





（３）あなたとつくる夢のアート☆ツリー関連バレンタインイベント「バレンタイン来場特典」

日　　時：平成29年２月14日（水）、15日（木）　9:00～18:00（開館時間中）
特　　典：チョコちんすこう25個、14日の観覧券の半券を持っている来場者に、ミュージアムショップゆいむいで配布。
内　　容：「美術館コレクション展」および「琉球・沖縄の地図展」に来場したカップルのお客様25組に、「チョコちんすこう」をプレゼントするという企画を行ない、展覧会への集客をはかった。
参 加 者：13名（14日）、10名（15日）

（４）ニューコレクションシリーズⅡ「真喜志勉展　アンビバレント」関連コンサート「TOM MAX Ambivalent, Free You’n Talk～ふりゆんたく～」

日　　時：2017年４月８日（土）　16:00～18:00（開場15:30）
場　　所：沖縄県立博物館・美術館　講堂
チケット：2,000円（コレクションギャラリー観覧料も含む）
主　　催：株式会社Teras、一般財団法人沖縄美ら島財団

出　　演：テリー重田（サックス）、西川勲（ベース）、屋良朝秋（ピアノ）、津嘉山善栄（ドラム）、与世山澄子（ヴォーカル）、徳田陽子（司会）
入場者数：122名
内　　容：美術館コレクション展「真喜志勉展　アンビバレント」が閉幕するのを前に、コンサートを自主企画として開催した。真喜志勉氏に縁のあるジャズメンを集め、画家のお気に入りを含めた楽曲を演奏した。




（5）「顔ヨガin夢の美術館」



日　　時：平成29年１月29日（日）　15：00～17：00
場　　所：県民アトリエ・子どもアトリエ、企画ギャラリー１・２
講　　師：顔ヨガ／森あゆみ氏（顔ヨガインストラクター）、展示解説会／國吉貴奈（一般財団法人　沖縄美ら島財団　学芸員）、金城美奈子（一般財団法人　沖縄美ら島財団　学芸員）
参 加 費：大人1,300円、高校・大学生1,000円、小・中学生230円
※未就学児無料、「夢の美術館」鑑賞券含む
内　　容：美術館企画展「夢の美術館」の会期後半の話題作り及び集客対策として、メディア等で話題の顔ヨガワークショップと美術館企画展「夢の美術館」展示鑑賞会を組み合わせたイベントを実施した。イベントの最後に参加者にはアンケートとSNSによる情報発信協力を呼びかけ、特典としてオリジナル缶バッジをプレゼントした。
参加者数：28人　※内訳/大人21人、小学生6人、未就学児1人（定員50人）




３．しまくとぅばプロジェクト

県民のしまくとぅば復興への機運を盛り上げる一助となるため、しまくとぅばの継承・普及・発展を担う事業を実施した。開館当初から実施の自主企画事業「しまくとぅばプロジェクト」の流れを汲む。沖縄で生活する人々が、自分の生まれ育った地域の世界観・価値体系の源となる、古くから伝えられてきた「ことば（言葉）」を理解し、発展的に継承していくために、身近に感じ、聞き話し、楽しみながら理解し学ぶ環境を提供する必要がある。沖縄文化の発信拠点として、またその世界観－歴史・民俗・自然・芸術等－を概観できる環境を生かし、しまくとぅばの文化・社会的背景を理解し表現できる場において、その復興、普及、発展的継承することを目的とした。今年度は9月から事業始め、10催事、延べ309人が参加した。

（1）シンポジウム「『しまくとぅばの日』条例制定10年を迎えて その課題と可能性－次代につなぐために私達が考える継承のあり方－」

実 施 日：９月22日（木・秋分の日）14：00～17：00
場　　所：博物館 講座室
参加人数：80人（定員100人）
参 加 費：500円
登 壇 者：
・開会挨拶：宮里朝光（沖縄県沖縄語普及協議会 名誉会長）

・『しまくとぅばの日』条例制定当時の状況とその背景を語る：照屋義実（沖縄県政策参与）、
・「制定後10年の歩み」これまでのしまくとぅばプロジェクトの活動状況報告
　コーディネーター：狩俣繁久（琉球大学）
　　比嘉豊光（写真家）
・『しまくとぅば』をこれからも継承していくために私達ができること、そしてやっていきたいこと
　パネリスト：比嘉陽花（演劇集団比嘉座 座長）
　　親川志奈子 （琉球大学大学院・しまくとぅば連絡協議会 事務局長）
　　當山奈那（沖縄国際大学/日本学術振興会）
　　安慶名達也（沖縄ハンズオンNPO 理事長）

実施内容：自主企画「しまくとぅばプロジェクト2016」のオープニングシンポジウムとして開催。『しまくとぅばの日』が条例制定されて10年が経過した。その一方、話者の高齢化やことばの記憶の希薄化等の現状がある。そこで、しまくとぅば（沖縄の世界観）の継承などを意識し、表現や実践しているパネリストを迎え、今後10年を見据えた意見や課題について、さらに次代につなぎ伝えるための支援などの取り組みについて考える契機として企画した。



「開会挨拶」として、宮里朝光氏（沖縄県沖縄語普及協議会名誉会長）が沖縄の歴史・文化におけるしまくとぅばの重要性を講話。続いて、照屋義実氏（沖縄県政策参与）が「『しまくとぅばの日』条例制定当時の状況とその背景を語る」と題し、当時の新聞記事や条例案提出文を紹介し、その経緯を解説した。さらに比嘉豊光氏と狩俣繁久氏が「制定後10年の歩み」と題し、これまでのしまくとぅばプロジェクトの活動状況を基調情報として解説。続く「『しまくとぅば』をこれからも継承していくために私達ができること／そしてやっていきたいこと」では、比嘉陽花氏（演劇集団比嘉座 座長）、親川志奈子氏 （琉球大学大学院・しまくとぅば連絡協議会 事務局長）、當山奈那氏（沖縄国際大学/日本学術振興会）、安慶名達也氏（沖縄ハンズオンNPO 理事長）が各自の実践的な継承への取り組みを紹介した。クロストークでは、各パネリストの立場における、今後の目指す方向性等が述べられた。

（2）「『方言札』世代ぬハナシむぬ語い」

実 施 日：10月12日（水）、11月９日（水）、12月14日（水）、2017年１月11日（水）、２月８日（水）、３月８日（水）　※時間はいずれも14：00～16：00
場　　所：博物館 実習室
進　　行：上原美智子（しまくとぅばプロジェクト）
参 加 費：300円
実施内容：指定管理者自主事業として2012年から開催の催事を、10月から自主事業として開催。参加者の心の奥にある「しまくとぅば」を呼び覚まし思考とつなげながら、語り合うゆんたく会。毎回テーマを決め自らの「しまくとぅば」で発言し、また「沖縄の昔話」等をしまくとぅばで読み替える。これらのプロセスを通して、「しまくとぅば」の表現の広がりや日本語の表現範囲との違いを認識し実感・共有する等、参加者が心置きなく意見を交換する機会となった。
参加人数：51人

（3）「鼎談　ないるかじり　しまくとぅばっし　かたてぃ んじゃびら　伊波 普猷」

実 施 日：１月15日（日）14：00～17：00
場　　所：博物館 講座室
登 壇 者：伊佐眞一（沖縄近代史家）、屋嘉宗彦（法政大学名誉教授）、比嘉豊光（写真家、琉球弧を記録する会）
コーディネーター：仲田幸司（大阪大学大学院人間科学研究科 在学中）
参加人数：114名（定員100名）
参 加 費：500円
実施内容：しまくとぅばで思想や学問を語ることで、その表現の豊かさや可能性を認識し生かす取り組みとして企画。まず、伊佐眞一氏（沖縄近代史家）が「伊波普猷と『沖縄学』といまのわたしたち」と題し、伊波普猷が生きた歴史・社会的背景や研究について解説した。鼎談では「沖縄の歴史、経済、文化をしまくとぅばで語る」と題し、屋嘉宗彦氏（法政大学名誉教授）が琉球古典音楽や芸能、琉歌などを取り上げた伊波の研



究について解説した。また比嘉豊光氏（写真家、琉球弧を記録する会）は、沖縄の写真について解説した。さらに、伊佐眞一氏が伊波普猷の研究の視点を分かりやすく整理・解説した。鼎談では、リンガフランカとしてのuchinaaguchiの研究視点を交えながら仲田幸司氏がコーディネートした。会場からは、しまくとぅばや伊波普猷の研究など多岐にわたる質問が寄せられた。しまくとぅばの可能性を参加者が共有できる催事となった。

（4）「しまくとぅわ・すまふつリーディング」

実 施 日：１月22日（日）14：00～15：50
場　　所：美術館 講座室
講　　師：宮里健一郎、島尻澤一
参加人数：19人（定員50人）
参 加 費：400円





実施内容：「しまくとぅばを少しは聞き取れるけど話せない」または「沖縄の各地域のことばの多様性を学んでみたい」という人を対象に「しまくとぅば」を「読む・朗読（リーディング）」することを目的とした講座。名護市久志出身と宮古島野原出身の話者を講師に招き、二部構成で開催。内容は、講師がしまくとぅばに訳した山之口貘の詩や民話などを朗読し、都度発音について解説する流れで進めた。

第一部は、宮里健一郎氏（名護市久志出身）が講師を務めた。しまくとぅばで表現した山之口貘の詩を朗読した。続いて、かりまたしげひさ氏が発音について解説した。参加者は聴くことと実際に発音する際の違いを実感した。次に、世界の民話「おおきなかぶ」の訳文と久志観音堂の由来をしまくとぅばで紹介した。第二部は、島尻澤一氏（宮古島市野原）が野原の山之口貘の詩六編を朗読した。学生時代に沖縄島のしまくとぅばの発音と野原の違いを実感したエピソードを交えながら、発音について解説し、参加者もその違いと難しさを共有した。参加者を含め講師もしまくとぅばの多様性を実感する講座となった。

（5）「いへやくとぅばのもつ楽しさを音楽で」

実 施 日：３月５日（日）15：00～16：30
場　　所：美術館 講座室
講　　師：野甫英芳（伊平屋島在住・伊平屋方言シンガーソングライター）
参加人数：45人（定員50人）
参 加 費：400円



実施内容：生まれ育った地域のしまくとぅばで表現している方々を招聘し、ことばの表現の豊かさや音の楽しさなどを共有する機会提供を目的とした講座。伊平屋島在住で「いへやくとぅば」で創作しているシンガーソングライター野甫英芳氏を招き、しまくとぅばの持つ楽しさを音楽で表現した楽曲を鑑賞した。伊平屋の日常生活を表現した作品から、島の生活の豊かさを紹介する機会にもなった。最後に参加者と一緒に唄い、「いへやくぅとば」の楽しさを全員で楽しむ催事となった。

Ⅴ．　広報事業に関する業務

広報業務では、（一財）沖縄美ら島財団本部と連携し財団のネットワークや管理施設を活用した広報及び、有料・無料の媒体利用により当館の展覧会や事業・活動を県民や観光客に広くアピールし、博物館・美術館活動への理解を深めてもらうとともに一層の集客を図った。

当館で開催される展示会と関連イベント、教育普及事業、講演会、県民ギャラリー等の催しについては「県立博物館・美術館　週間展示会・イベント情報」及びニュースリリースを作成し、県内の主要マスコミ各社※へFAXやメールで配信し、情報の告知や取材を依頼した。

※マスコミ各社
新聞社（沖縄タイムス社、琉球新報社）

テレビ局（NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ、沖縄ケーブルネットワーク）
ラジオ局（RBCiラジオ、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、FM沖縄）
沖縄タイムス紙面の朝刊情報面に当日開催の展覧会情報を発信している（休館日を除く）。また文化面・社会面等に随時展覧会や講演会、県民ギャラリーの催事情報を掲載。琉球新報でも情報面や文化面、社会面で展覧会や催事情報を掲載。沖縄タイムスの副読誌「週刊ほーむぷらざ」や琉球新報の副読誌「週刊レキオ」、そのほか県内外で発行される観光・ガイド・情報関連誌、Facebook（当館FB及び財団FB）も幅広く活用し、館情報の発信に努めた。
今年度から一般財団法人沖縄美ら島財団(以下､沖縄美ら島財団)が指定管理業務をスタートしたことに伴い、沖縄美ら島財団の二大観光施設である「沖縄美ら海水族館」「首里城公園」と連携した告知も可能となり県内、観光客向けのPR強化を図った。

○年間行事案内…年度初めに展覧会の会期や内容、講座や解説会の日時等の年間の行事案内を掲載した「平成28年度 沖縄県立博物館・美術館 行事案内」（リーフレット、２万５千部）を作成し、県内外の文化・観光施設、ホテル、レンタカー会社、那覇空港案内所、旅行会社等へ配布・設置の依頼をし、配布に努めた。さらにパンフレット配布業者へ委託し全島の観光施設、ホテル等にも設置した。また沖縄県教職員互助会・退職互助部に依頼し会員個々人に行き渡るようにした。

○チラシ・ポスター…県内の小・中・高校、図書館、文化施設、教育機関には展覧会ごとにチラシ、ポスターを配布し、展覧会の告知を行った。また、県内の観光施設、レンタカー会社、那覇市内外の主要ホテル、県内書店、観光案内所、モノレール駅、那覇空港等にもチラシやポスターの設置協力を求めた。また個々人に行き渡るようにコープ配達会員へのチラシ折込みを活用し、誘客に努めた。さらに沖縄美ら島財団独自のネットワーク約1,300ヶ所にも毎月チラシ、ポスターを郵送し全島にPRした。

○広報誌…９月から季刊広報誌として「はくび通信」（８Ｐ・カラー）を発行し、展覧会やイベント情報、他様々な取組みなどをわかりやすく掲載し当館の活動をPRした。今年度は秋号（９～12月）2,000部、冬号（１～３月）4,000部と２号発刊した。配布場所は県内の図書館、文化施設、銀行、病院等に送付し県内全域に行き渡るようにした。

○懸垂幕…館外正面入口側に横２ｍ×縦６ｍの懸垂幕を設置し、博物館企画展、美術館企画展の告知を行った。

○館内外ターポリン…館内は博物館企画展示室入り口付近に横３ｍ×縦３．８ｍ、美術館企画展示室入り口に付近に横３．６ｍ×縦３．４ｍのターポリンを掲出した。館外ターポリンは多目的広場付近に博物館企画展、美術館企画展２ヶ所に横２．８５ｍ×縦３．４ｍを掲出した。次年度からは開催前の企画展館外ターポリンは次回予告を目的として館外正面入口付近に設置予定。

○沖縄美ら島財団・首里城公園との連携（トートトリップキャンペーン）…沖縄美ら島財団の二大観光施設である「沖縄美ら海水族館（年間363万人）」「首里城公園（年間273万人）」と連携しノベルティグッズ（トートバッグ、クリアファイル）を制作。両施設のどちらかの半券提示でミュージアムショップゆいむいでガチャを回してノベルティグッズが当たるキャンペーンにより両施設からの誘客促進を図り4,123の来館者増に繋がった。また「沖縄美ら海水族館」内にあるレストランでの「トートトリップキャンペーンのポップ」告知、「首里城公園」では「首里杜館県内文化施設情報コーナー」を設置し展覧会、全館告知を実施しレストランには「トートトリップキャンペーンのポップ」を設置した。


首里城公園特設情報コーナー


当選者の様子



チラシ

○モノレール駅内広告…沖縄都市モノレール（ゆいレール）では県庁前駅ドアステッカー広告で全館、展覧会情報を告知した。またおもろまち駅構内はで沖縄美ら島財団の保有する構内のイベント告知スペースに専用ラッ

クを設置し、パンフレット、チラシを自由に配布出来るようにした。おもろまち駅構内では自由なプロモーションが可能になっており駅利用者に向けてチラシやノベルティを配布した。またプラットホームの階段壁面広告（２箇所）や、改札前床面広告を掲出し、おもろまち駅に下車する人々に告知を行った。沖縄美ら島財団広告枠の活用により、多様な媒体への掲出が可能になっている。次年度より改札出口付近、駅構内出入口付近に導線看板を設置予定。


専用ラックを設置


プラットホーム



改札入口

○新聞紙面（無料）・新聞広告（有料）　掲載797回…無料告知では展覧会や開幕式、関連催事やワークショップの取材依頼や、沖縄タイムス「インフォ」副読誌「ほーむぷらざ」、琉球新報「情報市場」副読誌「週間レキオ」に毎週の情報掲載を依頼した。

有料広告では沖縄タイムス、琉球新報の両紙に夏休み特集号「目からウロコの生物実験展」全５段３分の２カラーを沖縄美ら島財団の広告費で出稿した。

○テレビ（無料）・テレビCM（有料）　放送353回…無料告知では展覧会や開幕式、関連催事やワークショップの様子等を取材依頼しニュース等で報道してもらえるように努めた。今年度の実績では琉球放送「ザ・ニュース」「金曜日のゆうわく」「沖縄BON!!」、琉球朝日放送「スパイス」「ニュースQプラス」、沖縄テレビ「お昼のニュース」「FNNみんなのニュースおきコア」「パブピポ！」「コレパチ」「金７」があり、またパブリシティでの無料告知枠で視聴者向けにプレゼント企画を実施し誘客を図った。また琉球朝日放送「ゲルニカ展」、琉球放送「巨匠たちの奇跡」ではテレビ局が共催ということもありキャスターデスク上の告知板の設置によるPR、テレビCM、生中継での会場内の紹介等の共催者媒体での広報ができた。その他当館屋上で撮影したオリオンビール商品「オリオンスタイル」のテレビCMが８月上旬からH29年３月末まで放映された。CM放送期間中は外観映像が露出することによる当館のPRが出来た。

有料でのテレビCM展開については、制作費・放映料共に経費がかかるが、効果も大きいので広告出稿を行った。テレビCMを放映した企画展は「目からウロコの生物実験展」「港川人の時代とその後」「夢の美術館」「琉球・沖縄の地図展」。

○ラジオ（無料）・ラジオCM（有料）　放送443回…無料告知では展覧会や開幕式、関連催事やワークショップの様子等を取材依頼しニュース等で報道してもらえるように努めた。今年度の実績では、RBCiラジオ「柳卓のいんでないかい！」「RBCiラジオスペシャル」、FM沖縄「Fine！」、ラジオ沖縄「カラフル」「アートパレット」「Island To Day」等。パブリシティ、ラジオカーを手配での無料告知枠を活用。その他、コミュニティFM等も展覧会告知のため担当学芸員が出演する取り組みも実施した。

有料でのラジオCMは「志村ふくみ展」のみ。全館告知CMでは沖縄美ら島財団のスケールメリットを活かし「首里城と博物館・美術館のコラボCM」を毎日放映した。またラジオCMでも共催企画の琉球朝日放送「ゲルニカ展」、琉球放送「巨匠たちの奇跡」で共催社媒体のラジオCMで放送ができた。

○雑誌、機関紙　掲載54回…雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努力した。県民へのPRを目的として県内イベント情報誌「おきなわ倶楽部」「オキナワグラフ」「be-o」「箆柄暦」「話くわっちー」「おきなわいちば」等に掲載。県内在住外国人向けの「ジャパンアップデート」で無料告知枠、沖縄美ら島財団の広告枠を利用し展覧会情報等の告知を行った。「オキナワグラフ　６月号」では無料で特集記事「ミュージアムへ行こう」16ページ、「この人に聞く　田名館長インタビュー」３ページの合計19ページで全館をアピールした。

展覧会の有料広告では「オキナワグラフ　５月号」で「志村ふくみ展」１ページ広告を掲載。「おきなわ倶楽部　８月号」では「目からウロコの生物実験展」の１ページ広告を沖縄美ら島財団の広告を活用して掲載。

観光客向けには有料広告で「レンタカードライブマップ」、無料広告「ちゅらナビ」「ココミル沖縄」「沖縄リゾートマップ2016」「るるぶ沖縄ベスト17」「JAFPLUS」「るるぶこどもと行く沖縄17」「沖縄ロードマップ」「楽楽沖縄」「リゾートダイアリー2016」「沖縄観光ガイドブック」「まっぷる沖縄」等では主に博物館常設展や美術館コレクション展を無料で紹介した。県外向けの展覧会の告知について今年度は「新美術

新聞」「美術手帖」「KADOKAWAプレミアムアートブック」「完全ガイド　2015-2016 アートスケジュール」等へ紹介記事を掲載した。また「美術屋・百兵衛 2016年夏号」では12ページの特集を無料で掲載し全国的に当館をアピールした。

○インターネット　掲載277回…無料で全国的に広く展覧会の告知を行えるイベント情報サイトを活用し、様々なサイトで告知活動を展開した。今年度の実績では、館全体のPRを目的としてYahoo!JAPAN「地域情報」「じゃらんnet」「観光ガイド」「JTBるるぶインターネットサイト」等。個別の展覧会の告知を目的として「YahooJAPAN 地域情報」「じゃらんnet」「JTBるるぶインターネットサイト」「ミュージアムカフェ」「CALENDOKINAWA」「筥柄暦」「Art scape」「Internet Museum」「Art Show.jp」「Artgene」等。

また動画共有サイトYouTubeに企画展テレビCMをアップロードし、企画展専用ページに埋め込みをした。通常であればテレビでしか見ることが出来ないが、YouTubeにアップロードすることでいつでも見ることができるようになった。

○地域誌…那覇新都心通り会が発行する「新都心かわら板」で様々な展覧会や催しを告知。

○地域との連携…美術館支援団体happや周辺地域と連携し、那覇新都心地域を巡るゲームMAPを制作。地域活性化及び相互送客を目的としたイベント「Oh,My MAP」を実施した。

○誘客パンフレット…県外観光客向けに当館の魅力を発信する為に博物館、美術館、ふれあい体験室等の見どころを解説する誘客パンフレットを５万部印刷し県内ホテル、レンタカー営業所を中心に配布した。またゆいレールおもろまち駅からの当館までルートをマップで図解し、利用者へわかりやすい導線を案内した。

〈誘客パンフレット〉



表　紙



中　面



見開き中面

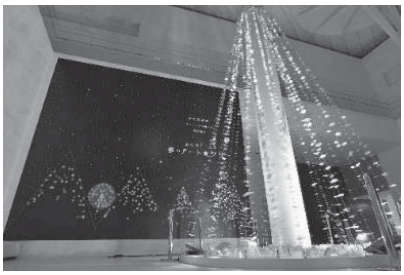


裏表紙

○プレイガイド…前売券の販売およびチラシ・ポスターの設置場所としてプレイガイドで販売を行った。ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぷれ、ファミリーマート各店(イープラス)、ローソン各店、ジュンク堂書店那覇店、TSUTAYA那覇新都心店・首里店、球陽堂書房那覇メインプレイス店・西原シティ店。コープあぷれ発行の「Aple」に前売券販売をしている企画展の情報を無料で掲載し、前売り券の販売促進を行った。また観光客向けには沖縄ツーリストラウンジ・レンタカー営業所で博物館常設展、美術館コレクション展の前売りチケットの販売を行った。

○イルミネーション・夢のアートツリー…12月中旬から当館初となる館外イルミネーション及びエントランスホールに「夢のアート★ツリー」（巨大オーナメントツリー）を設置し、賑わいを作り出すことで「夢の美術館」への誘客促進を図った。イルミネーション機材の全ては沖縄美ら島財団所有物を活用した。「夢のアート★ツリー」では「夢の美術館」観覧者の特典として願い事を記入する付箋を貼ってもらうことで参加型企画にした。合計1,298件（日本語842件、海外238件、絵218件）の願い事を壁面に貼り４本のツリーが完成した。


期間中は 17 時から点灯


タマムシフィルム 2,000 枚使用



観覧者対象に願い事を募集

○SNS…実名登録制ソーシャル・ネットワーキング・サービスFacebookの運用を平成25年度より開始しており、平成27年度末のいいね！（ファン数）は約3,800名程度だったが今年度は約4,800名を超えた。当館ホームページトップへFacebookガジェット機能を貼付けし、まだファンではないユーザー、まだ登録していない未ユーザーに向けて告知した。来年度よりInstagramも開始予定。

また総合案内カウンターで実施したオリジナル缶バッジ『沖縄県立博物館・美術館Facebookページ「いいね！」キャンペーン』では202件の「いいね！」が増えた。キャンペーンを実施する前の２ヶ月間での「いいね！」増は184件だったので短期間で高い効果があり、来年度も実施予定。告知には県内人気タレントの糸数美樹氏を招き「夢の美術館」と併せて同氏のFacebook及びInstagram上でPRした。

○**県外でPR活動**…東京ビッグサイトで開催された「2016ツーリズムEXPOジャパン」（９月23日～25日、３日間の来場者数83,000人）において、沖縄エリアの沖縄美ら島財団のブースにPRコーナーを設け、誘客リーフレットやノベルティグッズ（クリップ）、トートトリップキャンペーンのチラシ等を配布し県外の方へPRを行った。

○**那覇空港新国際線旅客**ターミナルビル…那覇空港新国際線旅客ターミナルビルの手荷物受取り所の電照掲示板に広告を出稿した。手荷物を預けた際は必ず目にする位置にあり、手荷物を預けていない方でも道順として通る位置にあり露出度が高い。10月に純広告（英語版）が完成し、那覇空港新国際線旅客ターミナルの手荷物受取所電照掲示板を差し替えた。海外の観光客向けにモノレール沿線エリア内に当館があるとわかりやすく表示した。



手荷物受取所



純広告

○**誘致セミナーへの参加**…県外客、海外客の誘致を目的とした沖縄観光コンベンションビューロー主催のイベント「タイ市場戦略セミナー」「平成28年度沖縄MICE・教育旅行セミナー＆商談会in福岡」に参加した。得られた知見を今後の広報、誘客に繋げていく予定。

Ⅵ.　調査・研究・講演・著作論文等の活動

１．調査・研究等

金城　美奈子

○調査・研究

・「チームラボ★アイランド踊る！アート展と、学ぶ未来の遊園地」に関する視察及び調査（名古屋市科学館／愛知県）（2016年11月26日）
・山田真山作品調査（愛知県）（2016年11月17日）
・文化財IPMコーディネータ資格取得講習会及び試験（九州国立博物館／福岡市）（2016年12月14～16日）
・「追悼　水木しげる展　ゲゲゲの人生展」に関する視察及び調査（松屋銀座／東京都）（2016年3月8日）

前川　貴子

○調査・研究等

・「第６回ミュージアム・エデュケーター研修（文化庁主催）」（東京都美術館）（2016年９月７日～９日）／（葛飾区郷土と天文の博物館）（2017年２月２日～３日）

全館共同事業

Ⅰ　学芸員実習及び職場体験学習
Ⅱ　国際博物館の日
Ⅲ　移動展
Ⅳ　燻蒸・消毒処理
Ⅴ　刊行物
Ⅵ　展覧会一覧

Ⅰ. 学芸員実習及び職場体験学習

1．博物館実習

当館では、1969年（昭和44）に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年2回（６月、８月）に実施している。

2016年度の学芸員実習は前期（6月13日～27日）、後期（8月16日～29日）とも内容は下記のとおりである。

1．実習内容と指導職員

講義・実習	指導者
博物館施設・事業概要	園原
美術館施設・事業概要	仲村
IPMへの取り組み	大湾
博物館展示の実際	與那嶺
課題研究 実習生は前期では「自然史」、「美工・歴史・民俗・考古」の２班、後期は「自然史」、「美工・歴史」、「民俗・考古」の３班に分かれ、特別展示室とロビーでミニ企画展を実施した。その過程には以下の作業が含まれる。 （展示企画立案 資料調査・選定・借受交渉 展示環境調査（美工・歴史班） パネル・キャプション作成 資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品 資料配置・撤収） 展示解説、観覧者調査、総括発表	「自然史班」 山﨑、宇佐美 藤田、山崎 「美工・歴史班」 與那嶺、外間 石垣、崎原 「民俗・考古班」 大湾、片桐 三枝
教育普及実習	大川、立松

2．実習生

前期			後期		
	氏　名	大学名		氏　名	大学名
1	砂川　暁洸	琉球大学	1	早津　準	琉球大学
2	林　　希奈		2	知念　紫織	
3	安里　聖貴		3	オロンバヤル・トドゲレル	
4	東恩納　ノア		4	野中　春日	
5	佐渡山　佑希		5	渡邊　想楽	
6	伊野波　快	沖縄国際大学	6	宮本　絢世	
7	平良　悟		7	新垣　春香	沖縄国際大学
8	知念　拓哉		8	糸数　未来	
9	山城　篤恭		9	上地　由里佳	
10	浦崎　千都	奈良女子大学	10	知念　沙季	
			11	本永　歩惟	徳島文理大学
			12	玉城　えみ	岐阜女子大学
			13	ウインフィールド･麗美･クリスティーナ	大阪樟蔭女子大学

（園原　謙）

２．美術館実習

美術館では、県内大学や県出身者で県外の大学で学芸員資格所得を目指す実習生を対象に、2016年度は８月15日（月）～８月26日（金）の10日間、学芸員実習を下記の通り実施した。

１．実習内容と指導職員

講義・実習	担当	講義・実習	担当
博物館活動概要及び施設・設備	大川（博）	美術館業務の考え方と実際Ⅱ	仲村
美術館業務の考え方と実際Ⅰ	前田	監視ボランティア体験	仲村
美術館活動概要及び施設・設備	仲村	共通課題研究（ミニ企画展）	仲村
常設展示の実際　Ⅰ	島筒	平面資料の取り扱いⅠ・Ⅱ（版画）	梶原
資料の分類Ⅰ・Ⅱ	島筒	常設展示の実際Ⅱ	仲里
教育普及事業Ⅰ・Ⅱ　・Ⅲ	仲村	資料の保存･修復の実際	梶原
企画展の実際Ⅰ（内間安瑆展）	豊見山	資料の修復実習Ⅰ・Ⅱ	梶原
立体資料の取り扱い（彫刻）	玉那覇	収集事業概要	玉那覇
調査研究概要	仲里	作品調査の方法	大城
資料に関する情報処理	大城	平面資料の取り扱いⅠ（油彩画）	豊見山
企画展の実際Ⅱ	豊見山	平面資料の取扱いⅡ（前半･後半）	梶原

２．実習生

	氏名	大学名		氏名	大学名
1	肥前　新菜	沖縄県立芸術大学	6	清水　知佳	沖縄県立芸術大学
2	和宇慶　紗知		7	松田　絵里	
3	上間　黎亜		8	藤本　つぼみ	
4	長嶺　勝磨		9	幸喜　ひかり	九州産業大学
5	廣川　純一				

（仲村　保）

３．職場体験受け入れ

情報センターでの資料整理やふれあい体験室でのワークショップ準備、もぎりとミュージアムショップでは接客業務を体験した。博物館・美術館の普及担当からバックヤードや展示室の案内、学芸員の仕事について学ぶ時間も設け、より多くの仕事に触れられる内容としている。

①多良間村立多良間小学校　（１名）　2016年６月16日（１日）
②那覇市立金城中学校　（１名）　2016年６月29日～30日（２日）
　（３名）　2017年２月２日～３日（２日）
③沖縄県立沖縄工業高等学校　（２名）　2016年９月13日～15日（３日）
④南風原町立北丘小学校　（70名）　2016年11月２日（１日）
⑤琉球大学　交換留学生　（１名）　2017年２月28日～３月６日（６日）



職場体験　情報センター



職場体験　入場券のもぎり

（保久村　智恵）

Ⅱ．国際博物館の日

名　称：2016年５月18日「国際博物館の日」
会　期：2016年５月10日（火）～５月29日（日）　（20日間）
会　場：パネル展：エントランスホール　ワークショップ：ふれあい体験室前

【開催趣旨】
毎年５月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ICOM：イコム）によって「国際博物館の日」と定められている。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館活動を広く報せ、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行う。

【実施内容】
博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるためにエントランスホールにてパネル展示を実施した。無料入館日の設定や、バックヤードツアー、ワークショップ等を実施した。

○パネル展　2015年５月10日（火）～５月29日（日）
パネル展の目的、ICOM・「国際博物館の日」の説明、今年度の行事や講座などの紹介、沖博協加盟館の紹介、「沖縄の博物館ガイド」の紹介、展示会の様子、学芸員の仕事、ボランティア・友の会・happ等の活動の様子、指定管理者の仕事、過去に実施した展覧会のチラシ展示、

○無料入館日　2016年５月21日（土）（企画展はのぞく）

○バックヤードツアー　2016年５月14日（土）
時　間：博物館　14:00～16:00
受　付：９:00～　総合案内にて
定　員：当日先着24名（各回とも12名まで）
参加料：無　料

○博物館　文化講座「ジョン万次郎・琉球上陸の真実」神谷良昌氏　５月14日（土）14:00～16:00

○美術館　コレクションギャラリー　５月21日（土）10:30～12:00

○美術館　教員向け講座　５月21日（土）　14:00～15:30

○ワークショップ　ふれたい博士の「てづくりおもちゃ」（「うまぐわぁー」「カタツムリ」など
日　時：2016年５月21日（土）
１回目10:00　２回目10:30　３回目11:00　４回目12:00　※各回30分（同一内容）
受　付：９:00～　ふれあい体験室にて
定　員：当日先着40名（各回とも10名まで）
参加料：100円

（石垣　忍）

Ⅲ．移動展

名　　称：平成28年度　沖縄県立博物館・美術館「第９回移動展in座間味」
会　　期：2016年12月16日（金）～18日（日）　９:00～17:00
開 催 地：座間味離島振興総合センター
観 覧 料：無料

【開催趣旨】
ふだん沖縄県立博物館・美術館に足を運ぶことができない離島や遠隔地の方々に、移動展の展示を見てもらうことによって、沖縄の自然・歴史・文化の広域普及を図り、美術作品を鑑賞する機会を提供する。

【開催形式】
主　　催：沖縄県立博物館・美術館、沖縄美ら島財団、座間味村、座間味村教育委員会
後援・協力：沖縄県立博物館友の会、沖縄県立美術館支援会happ

【展示内容】
博物館資料：
①「世界の化石と輝く石」‥‥‥‥恐竜の骨格標本、化石、岩石・鉱物の展示
②「沖縄の自然、歴史、文化」‥‥沖縄の自然・歴史・文化に関する総合展示
美術館資料：
①「沖縄の美術」‥‥アートカード紹介・美術館図録図書展示
②「沖縄の映画」‥‥県出身映画監督作品を上映「吉屋チルー物語」「沖縄列島」「パラダイスビュー」

【関連催事】
○博物館・美術館　田名真之館長　講演会
会　場：座間味コミュニティーセンター
日　時：2016年12月16日（金）19：00～20：30
参加料：無料
講演題「慶良間の歴史と文化」

○博物館学芸員による学芸講座
会　場：阿嘉島離島信仰総合センター
日　時：2016年12月17日（土）19：00～20：00
参加料：無料
演　題「地図からみた慶良間諸島」　崎原恭子（歴史担当）

○ジオツアー　in　阿嘉島
集　合：阿嘉港旅客待合所
日　時：2016年12月17日（土）14：00～17：00
参加料：50円（保険代）
テーマ：「サンゴ礁と黒と緑の石が語る島の成り立ち」　宇佐美賢（地学担当）

○夜の海岸生物観察会
集　合：座間味港緑地公園グラウンド横
日　時：2016年12月16日（金）24：00～26：00
参加料：50円（保険代）
講　師：山﨑仁也（生物担当）

○美術館　移動展アウトリーチ
会　期：平成28年12月13日（火）・15日（木）
開催地：座間味村　阿嘉離島振興総合センター、座間味村立座間味小中学校
・内　容：ワークショップ①「身近ものを錫にしてしまおう」
講　師：上原展俊　参加18名
・内　容：ワークショップ②「けらまいろ染料で描く海と空」
講　師：児玉美咲　参加78名

【出前授業】
美術館出前授業①
日　時：2016年12月13日（火）
対　象：座間味村立阿嘉小学校全学年
内　容：アートカードを活用した鑑賞
授業者：仲村　保（教育普及担当）

美術館出前授業②
日　時：2016年12月13日（火）
対　象：座間味村立阿嘉中学校全学年

内　容：アートカードを活用した鑑賞
授業者：仲村　保（教育普及担当）

美術館出前授業③
日　時：2016年12月15日（木）
対　象：座間味村立座間味小学校全学年
内　容：アートカードを活用した鑑賞
授業者：仲村　保（教育普及担当）

博物館出前授業
日　時：2016年12月16日（金）
対　象：座間味村立慶留間小中学校全学年
内　容：①沖縄の自然を知ろう！
　　②島の生き物を調べよう！
授業者：山﨑　仁也（生物担当）

【展示品リスト－博物館－】

〔地学系〕

No.	名　　称	数量	種 別	No.	名　　称	数量	種 別
1	サウロロフス	1	レプリカ	21	カルサイト	1	資　料
2	サウロロフスの皮膚化石	1	レプリカ	22	重晶石（砂漠のバラ）	1	資　料
3	プロバクトサウルス	1	レプリカ	23	レインボーストーン	1	資　料
4	プロトケラトプス	1	レプリカ	24	黒曜石	1	資　料
5	プロトケラトプスの卵	1	レプリカ	25	メノウ	2	資　料
6	アンモナイト	1	資　料	26	赤鉄鉱	1	資　料
7	マンモスの歯	1	資　料	27	黄鉄鉱	1	資　料
8	マンモスの毛	1	資　料	28	黄銅鉱	1	資　料
9	カルカロドン・メガドロン	1	資　料	29	ガーネット	1	資　料
10	アンモナイト	1	資　料	30	ザクロ石片麻岩（南極）	1	資　料
11	ハロビア	1	資　料	31	蛍光鉱物一式	6	資　料
12	リュウキュウジカ（オス）	1	レプリカ	32	アメジスト	1	資　料
13	リュウキュウムカシキョン（オス）	1	レプリカ	33	琉球石灰岩	1	資　料
14	珪化木	1	資　料	34	黒色千枚岩緑色片岩緑色岩		資　料
15	三葉虫	1	資　料	35	隕石	1	資　料
16	貝化石	1	資　料	36	地質図	1	パネル
17	植物化石	1	資　料	37	蛍光鉱物説明用パネル	1	パネル
18	魚化石	1	資　料	38	地質年表	1	パネル
19	昆虫化石	1	資　料	39	古地理図	1	パネル
20	水晶	1	資　料				

〔生物系〕

No.	名　　称	数量	種 別	No.	名　　称	数量	種 別
1	シロクラベラ	1	本剥製	12	ハブ	1	本剥製
2	スジアラ	1	本剥製	13	ハブ（幼体）	1	本剥製
3	ハマダイ	1	本剥製	14	サキシマハブ	1	本剥製
4	ナミエガエル	1	レプリカ	15	ヨナグニシュウダ	1	本剥製
5	ホルストガエル	1	レプリカ	16	コアホウドリ	1	本剥製
6	イシカワガエル	1	レプリカ	17	シロフクロウ	1	本剥製
7	ハナサキガエル	1	レプリカ	18	ニホンキジ	1	本剥製
8	イボイモリ	1	レプリカ	19	ミサゴ	1	本剥製
9	ヤエヤマセマルハコガメ	1	本剥製	20	カワセミ	1	本剥製
10	リュウキュウヤマガメ	1	本剥製	21	リュウキュウアカショウビン	1	本剥製
11	アカマタ	1	本剥製	22	ホントウアカヒゲ	1	本剥製

No.	名　　称	数量	種 別
23	カンムリワシ	1	本剥製
24	ノグチゲラ	1	本剥製
25	キンバト	1	本剥製
26	ヤンバルクイナ	1	本剥製
27	ヤンバルクイナ（ヒナ）	1	本剥製
28	イリオモテヤマネコ	1	本剥製
29	オリイオオコウモリ	1	本剥製
30	カグラコウモリ	1	本剥製
31	リュウキュウイノシシ	1	本剥製
32	リュウキュウイノシシ（うりぼう）	1	本剥製
33	ケナガネズミ	1	本剥製
34	オキナワトゲネズミ	1	本剥製
35	オキナワトゲネズミ	1	骨格標本
36	アクリル大ケース	3	標本箱
37	アクリル小ケース	6	標本箱

〔人類〕

No.	名　　称	数量	種 別
1	湊川人復元模型	1	模型・背景ﾊﾟﾈﾙ
2	港川人１号頭骨複製	1	複　製
3	山頂洞101号人頭骨	1	複　製
4	クロマニヨン人頭骨	1	複　製
5	ホモサピエンスの拡散	1	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ
6	沖縄県内の出土人骨	1	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ
7	大山盛保氏と港川人の発見	1	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ

〔考古〕

No.	名　　称	数量	種 別
1	荻堂式土器	1	資　料
2	大当原式土器	1	資　料
3	下田原式土器	1	資　料
4	骨製鏃	1	資　料
5	骨製針	1	資　料
6	蝶形骨器	1	資　料
7	蝶形骨器	1	レプリカ
8	蝶形骨器	1	レプリカ
9	ゴホウラ製貝輪（金隅型）	1	レプリカ
10	ゴホウラ製貝輪（立岩型）	1	レプリカ
11	ゴホウラ製貝輪（大友型）	1	レプリカ
12	イモガイ製貝輪（縦型）	1	レプリカ
13	イモガイ製貝輪（横型）	1	レプリカ
14	貝斧	1	資　料
15	貝斧着柄	1	資　料
16	貝符	3	レプリカ
17	ゴホウラ	1	資　料
18	イモガイ	1	資　料
19	ヤコウガイ	1	資　料
20	貝匙	1	レプリカ
21	石斧	1	資　料
22	石斧	1	資　料
23	類須恵器の壺	1	資　料
24	炭化米	1	資　料
25	青磁碗	1	資　料
26	青磁皿	1	資　料
27	白磁小皿	2	資　料
28	染付碗	1	資　料
29	染付皿	1	資　料
30	線刻石版	1	資　料
31	沖縄考古学年表	1	パネル
32	先史時代の生活	1	パネル
33	遺跡から出土する生物の生息域	1	パネル
34	貝が運ばれた道	1	パネル
35	貝輪の製作工程	1	パネル
36	イモガイ・ゴホウラ製品の主な出土地	1	パネル
37	グスクとその時代	1	パネル
38	線刻石版の謎	1	パネル
39	古座間味貝塚出土人骨	1	資　料
40	古座間味貝塚出土遺物	1	資　料
41	古座間味貝塚とは	1	パネル
42	阿護の浦海底遺跡出土品	1	資　料
43	阿護の浦海底遺跡とは	1	パネル

〔美術工芸〕

No.	名　　称	数量	種　別
1	黒漆双龍螺鈿盆	1	資　料
2	沖縄の漆器	1	パネル
3	螺鈿づくり用キット	1	資　料
4	屋根獅子	1	資　料
5	玉陵石彫獅子	2	レプリカ
6	沖縄の彫刻	1	パネル
7	風俗図　王子様図	1	資　料
8	風俗図　芋売人	1	資　料
9	沖縄の絵画	1	パネル
10	木綿白地飛鳥に流水蛇籠葵菖蒲文様衣裳	1	レプリカ
11	紅型について	1	パネル
12	紅型の道具キット	1	資　料
13	芭蕉布	1	資　料
14	芭蕉布について	1	パネル
15	芭蕉の糸づくりキット	1	資　料
16	苧麻の糸づくりキット	1	資　料

〔歴史〕

No.	名　　称	数量	種　別	No.	名　　称	数量	種　別
1	旧首里城正殿鐘（万国津梁の鐘）	1	複　製	7	おもろさうし（巻１・４）	2	複製
2	かんざし	6	資　料	8	渡閩航路図	1	資　料
3	金円通宝・世高通宝・大世通宝	3	資　料	9	首里城開園	1	パネル
4	鳩目銭	10	資　料	10	首里城正殿（鎌倉芳太郎氏撮影）	1	パネル
5	琉球通宝（円形）	2	資　料	11	尚円王御後絵（鎌倉芳太郎氏撮影）	1	パネル
6	琉球通宝（楕円形）	2	資　料				

〔民俗〕

No.	名　　称	数量	種　別	No.	名　　称	数量	種　別
1	ニシチー	1	資　料	7	クムヤーグヮー（張り子）	1	資　料
2	八角凧（八重山凧）	1	資　料	8	クムヤーグヮー（張り子型）	1	資　料
3	風弾	1	資　料	9	虎グヮー（張り子）	1	資　料
4	マッタクー	1	資　料	10	虎グヮー（張り子型）	1	資　料
5	ホートゥグヮー（張り子）	1	資　料	11	チンチン馬グヮー（張り子）	1	資　料
6	ホートゥグヮー（張り子型）	2	資　料	12	ウッチリクブサー（張り子）	1	資　料

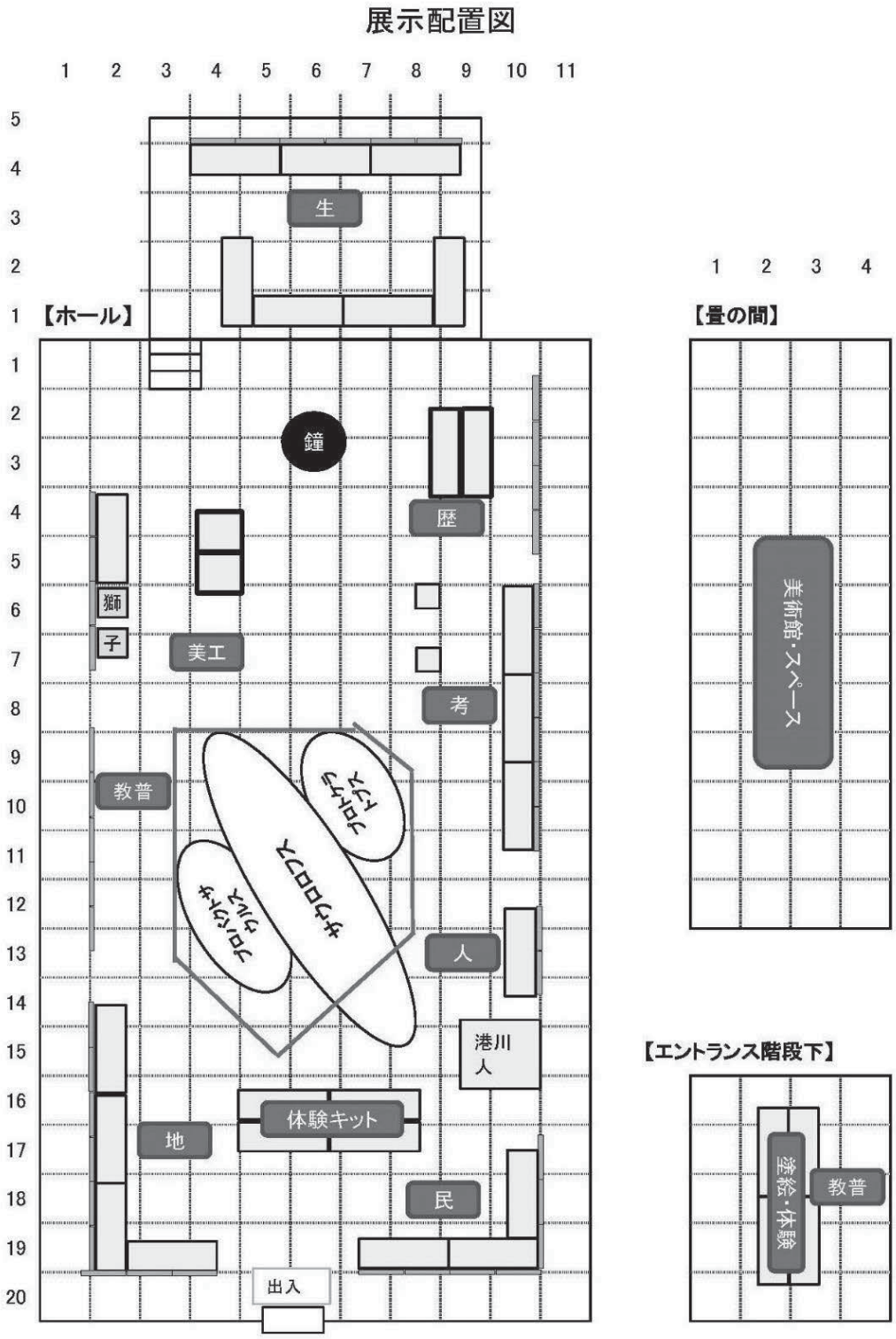
〔教育普及〕

No.	名　　称	数量	種　別	No.	名　　称	数量	種　別
1	ちむドンドン	1ｾｯﾄ	制作物	3	活動紹介パネル	8	パネル
2	骨スーツ	1ｾｯﾄ	制作物				

【展示品リスト－美術館－】

No.	名　　称	作家名	規格	製作年	種別
6	吉屋　チルー物語	金城 哲夫	98分	1962	映像
7	沖縄列島	東 陽一	90分	1969	映像
8	パラダイスビュー	高嶺 剛	113分	1985	映像
9	ウンタマギルー	高嶺 剛	120分	1989	映像
5	活動紹介パネル		数量８枚		パネル

【展示平面図】


展示配置図
【ホール】
【畳の間】
【エントランス階段下】
生
鐘
歴
獅
子
美工
考
教普
人
港川
人
体験キット
地
民
出入
美術館・スペース
塗絵・体験
教普

Ⅳ．燻蒸・消毒処理

2016年度は、2007年度から実施している総合的防害虫管理（IPM）の運用を継続して行い、活動として、年２回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理、簡易燻蒸・消毒処理、IPMモニタリング等を行い、毎月１回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行っている。その目的は、収蔵資料の保存管理のため、定期的な消毒作業を行い、保存環境の適正化に努めている。

（１）2016年度　全館燻蒸・消毒処理

第１回　全館燻蒸・消毒

期　　間：2016年（平成28）９月１日（木）～９月９日(金）９日間
消毒箇所：全館
使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブナガン）
処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

第２回　燻蒸・消毒

期　　間：2017年（平成29）２月21日（火）～２月23日（木）３日間
消毒箇所：収蔵庫・バックヤード（美）・実習準備室
使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブナガン）
処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

（２）簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置（博物館３ヶ所、美術館２か所、県民ギャラリー１か所）を設置、毎日深夜に散布（スミスリン乳剤）開閉する場所の害虫駆除に実施している。

又、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろう君」（二酸化炭素）を実施している。

（宮里　宗彦）

Ⅴ．刊行物

（全体）

	刊　行　物　名	種 類	部 数	規 格(頁)	内　容
1	沖縄県立博物館・美術館　年報No. 9	定 期	400	Ａ４(230)	前年度の博物館・美術館活動報告
2	沖縄県立博物館・美術館　行事案内 －平成28年度－	〃		Ａ３(四折)	博物館・美術館行事案内

（博物館班）

	刊　行　物　名	種 類	部 数	規 格(頁)	内　容
1	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要　第10号	定 期	600	Ａ４(117)	博物館学芸員の調査研究報告書
2	平成28年度博物館教育普及活動	〃		Ａ４(117)	博物館教育普及活動報告
3	博物館企画展 新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－	〃		Ａ４	博物館企画展　図録
4	〃　ポスター	〃		Ａ２	〃告知ポスター
5	〃　チラシ	〃		Ａ４	〃告知チラシ
6	平成28年度博物館特別展　港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類史の起源と展開－	不定期		Ａ４(129)	博物館特別展　図録
7	〃　ポスター	〃		Ｂ２	〃告知ポスター
8	〃　チラシ	〃		Ａ４	〃告知チラシ
9	平成28年度　博物館企画展　目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン	〃		Ａ４(192)	博物館企画展　図録

	刊　行　物　名	種 類	部 数	規 格(頁)	内　容
10	〃　ポスター	〃		Ｂ２	〃告知ポスター
11	〃　チラシ	〃		Ａ４	〃告知チラシ
12	平成28年度　博物館企画展　沖縄の工芸展　柳宗悦と昭和10年代の沖縄　ポスター	〃		Ｂ２	〃告知ポスター
13	〃　チラシ	〃		Ａ４	〃告知チラシ
14	平成28年度　博物館企画展　琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～	不定期		Ａ４(80)	博物館企画展　図録
15	〃　ポスター	〃		Ｂ２	〃告知ポスター
16	〃　チラシ	〃		Ａ４	〃告知チラシ

(美術館班)

	刊　行　物　名	種 類	部 数	規 格 (頁)	内　容
1	沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要第７号	定 期	500	Ａ４(123)	美術館学芸員の調査研究報告書
2	平成28年度美術館教育普及活動	〃			美術館教育普及活動報告
3	宮良瑛子展パンフレット	不定期	3,000	Ａ４縦変形(16頁)	美術館コレクション展パンフレット
4	真喜志勉展パンフレット	〃	3,000	Ａ４縦変形(16頁)	美術館コレクション展パンフレット
5	コレクション展　チラシ	〃		Ａ４	
6	志村ふくみ展　ポスター	〃	500	Ｂ２	告知ポスター
7	〃　ポスター	〃	1,000	Ｂ３	告知ポスター
8	〃　チラシ	〃		Ａ４	告知チラシ
9	平成28年度　美術館企画展　山元恵一展－まなざしのシュルレアリズム－	〃		Ａ４横変形(190)	美術館企画展　図録
10	〃　ポスター	〃		Ｂ２	告知ポスター
11	〃　チラシ	〃		Ａ４	告知チラシ
12	夢の美術館～めぐりあう名画たち～ ポスター	〃		Ｂ２	
13	〃　チラシ	〃		Ａ４	

Ⅵ. 展覧会一覧（2016年度）

	展　示　会　名	場　所	主　催	期　間
1	文化勲章受章記念 志村ふくみ－母衣への回帰－	美術館企画ギャラリー１・２	沖縄県立博物館・美術館、京都国立近代美術館	４/12～５/29
2	ニューコレクションシリーズⅠ 宮良瑛子展－いのち－	美術館コレクションギャラリー１・２	沖縄県立博物館・美術館	４/26～10/16
3	大嶺コレクション展 －美をもとめて－	博物館特別展示室２	沖縄県立博物館・美術館	５/24～７/３
4	新収蔵品展 －平成27年度収蔵資料－	博物館企画展示室	沖縄県立博物館・美術館	５/27～６/26
5	目からウロコの生物実験展	博物館特別展示室１・２、企画展示室	沖縄県立博物館・美術館	７/16～８/28
6	日本民藝館80周年　沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄	博物館特別展示室１・２、企画展示室	沖縄県立博物館・美術館、公益財団法人日本民藝館	９/21～10/23

	展　示　会　名	場　所	主　催	期　間
7	ニューコレクションシリーズⅡ 真喜志勉展－アンビバレント－	美術館コレクションンギャラリー１・２	沖縄県立博物館･美術館	11/１～４/２
8	沖縄県芸術文化祭	美術館企画ギャラリー１・２	沖縄県、公益財団法人 沖縄県文化振興会	11/12～11/20
9	港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－	博物館常設展示室　歴史部門展示室	沖縄県立博物館･美術館	11/15～１/15
10	夢の美術館－めぐりあう名画たち－　福岡市美術館･北九州市立美術館名品コレクション	美術館企画ギャラリー１・２	沖縄県立博物館･美術館	12/20～２/５
11	琉球・沖縄の地図展 ～時空を超えて沖縄がみえる～	博物館特別展示室１・２、企画展示室	沖縄県立博物館･美術館	２/１～４/16
12	沖縄の美術シリーズⅥ 山本恵一展	美術館企画ギャラリー１・２	沖縄県立博物館･美術館	３/３～４/23

その他の活動

Ⅰ　沖縄県博物館協会
Ⅱ　全国組織との関わり
Ⅲ　沖縄博物館友の会
Ⅳ　happ（美術館友の会）
Ⅴ　沖縄ソフトパワー発信事業

Ⅰ．　沖縄県博物館協会

当館からの参加者については「博物館　Ⅰ．調査研究等の活動　７．職員研修」の項を参照のこと。

【総会・春の研修会】

期　日：2016年５月24日（火）～25日（水）
場　所：石垣市立図書館
総　会：議案第１号　平成27年度事業実施報告について
　　議案第２号　平成27年度決算報告　会計監査結果報告
　　議案第３号　平成28年度事業計画案
　　議案第４号　平成28年度予算案
研修会：１日目　テーマ「『観光』からの要望に博物館はどう考えるか」～多様な立場から考える～
　　報告者：目島憲弘（沖縄コンベンションビューロー）「平成28年度国内事業の展開」
　　報告者：宇保朝輝（沖縄美ら島財団・首里城公園）「首里城公園の取り組みについて」
　　２日目　テーマ「亜熱帯・沖縄で博物館資料の保存を考える」
　　講　師：佐々木健志（琉球大学）「小規模博物館でIPMをどうするの？」
　　講　師：薮本学、南舘祐二（日本液炭株式会社）「文化財を後世に残す責務と文化財保存の現状」

【秋の研修会】

期　日：2016年10月27日（木）～28日（金）
場　所：　うるま市立石川地区公民館
研　修：１日目　テーマ「うるま市南風原村文書の修復・保存・活用」
　　講師：山田豊（株式会社Nansei）「南風原村文書のデジタル保存」
　　講師：當間巧（石川堂・修復師）「南風原村文書の修復について」
　　事例報告：國吉康孝（うるま市教育委員会）「南風原村文書整理翻刻事業について」
　　事例報告：輝広志（うるま市教育委員会）「南風原村文書と集落の風景」
　　特別講演会：豊見山和行（琉球大学）「南風原村文書と地割制研究」
現地研修：２日目　うるま市勝連南風原集落見学

Ⅱ．　全国の組織との関わり

１．日本博物館協会

（１）日本博物館協議会参与会・支部長会
日　時：2016年６月７日（火）～８日（水）
参加者：田名　真之

（２）全国博物館館長会議
日　時：2016年６月９日（木）～10日（金）
参加者：村山　剛

２．国立科学博物館主催　S-Net関連研修

（１）第27回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研修会
日　時：平成28年６月10日
場　所：国立科学博物館　上野本館
参加者：山﨑仁也
概　要：自然史標本情報発信を理解するための基礎知識

（２）第28回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研修会
日　時：平成28年６月10日
場　所：兵庫県　伊丹昆虫館
参加者：山﨑仁也
概　要：昆虫標本写真の撮影法

（３）国立科学博物館主催　平成28年度学芸員専門研修アドバンスト・コース
日　時：平成28年11月７日～９日

場　所：国立科学博物館つくば研究所
参加者：山崎仁也
概　要：無脊椎動物の標本採集、保管、研究法

（４）全国科学博物館協議会総会及び研究発表大会
日　時：平成29年２月16、17日
場　所：京都鉄道博物館
参加者：山崎仁也、宇佐美賢
概　要：テーマ「地域の核となる博物館～それを実現する資質能力」

３．九州博物館協議会

（１）九州博物館協議会理事会・総会・現地研修
日　時：2016 年５月 19 日（木）～20 日（金）
参加者：田名　真之

（２）第 46 回九州博物館協議会秋季研修会
日　時：2016 年 11 月 10 日（木）～11 日（金）
場　所：福岡県福岡市
参加者：田名　真之、園原　謙

４．平成28年度地域の各となる美術館・歴史博物館支援事業「みんなでまもる文化財　みんなをまもるミュージアム」

（１）東北地方調査・情報収集
期　日：2016年８月31日（水）～９月３日（土）
場　所：東京都・宮城県・福島県
参加者：大湾　ゆかり

（２）文化財レスキュー
期　日:2016年11月14日（月）～15日（火）
場　所:益白保管庫（14日）・氷川保管庫（15日）
参加者:大川　剛

（３）第４回ワーキング会議
期　日:2017年３月10日（金）
場　所:九州国立博物館
参加者:大川　剛

（４）第４回研修会
期　日:2017年３月11日（土）
場　所:九州国立博物館
参加者:大川　剛

Ⅲ．沖縄博物館友の会

沖縄博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年（昭和55）に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員333名、家族会員51家族（103名）、賛助会員4ヶ所。
博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした研修会を開催し、博物館常設展示室への展示交流員事業を実施した。

2016年度（平成28年度）の事業内容は以下のとおり。

	事業名及び事業内容	
①	【カルチャーウォーキング】 『歴史ロマンと文化の町与那原を巡る』 開催日：2016年７月20日（水） 内　容：御殿山、親川、綱曳資料館、軽便与那原駅舎展示資料館、カトリック聖クララ教会、新島の石獅子 参加者：31名参加（講師含む）	
②	【文化講演会】 『護佐丸と阿麻和利の乱～古琉球を彩る人々～』 開催日：2016年８月27日（土） 講　師：田名　真之（沖縄県立博物館・美術館　館長） 主　催：沖縄博物館友の会 共　催：沖縄美ら島財団 聴　講：295名（モニタースペース含む）	
③	『沖縄芝居鑑賞教育』 開催日：2016年９月16日（金） 場　所：国立劇場おきなわ 演　目：舞踊劇「棒しばり」 参加者：21名	
④	『中城の文化財を見る・学ぶ』 ～ペリーの旗立岩と今春オープンの護佐丸歴史資料図書館での学芸員案内～ 開催日：2016年10月26日（水） 内　容：東太陽橋、ペリーの旗立岩、伊舎堂前の三本ガジュマル、中城村護佐丸歴史民俗資料館、安里のテラ 参加者：24名	
⑤	【交流員研修】 『展示交流員研修・懇親会』 開催日：2016年11月７（月） 講　話：「首里古地図に記された人々」 講　師：金城善氏 参　加：61名 懇親会：健康ダイニング万菜（参加：56名）	
⑥	『首里城お水取り行事　体験見学会』 開催日：2016年12月18日（日） 内　容：奉納舞踊、記念講演会、お水取り見学 参加者：23名	

	事業名及び事業内容	
⑦	【海外研修】 『ベトナム南北縦断６日間』 開催日：2017年２月14日（火）～19日（日） 内　容：ハロン湾、ベトナム国立博物館、ホーチミン廟、グエン王宮、フエ宮中骨董博物館 参加者：24名（添乗員１名含む）	
⑧	【ヒストリーウォーク】 『那覇・泊まち歩き』 開催日：2017年３月７日（火） 内　容：隠居の御願、泊大阿母拝所、黄金森・タカマサリ、ハーリーヤー跡、泊外人墓地、バジルホール記念碑 参加者：28名	

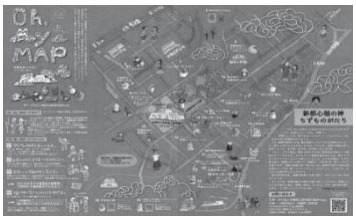
【会誌発行】
年1回　博友
【会員への情報提供】
①友の会通信「ちゃーびら」毎月発行・送付
②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送
【サークル活動】
家譜サークル（毎月1回勉強会実施）
【博物館サポート】
①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
②文化講演会および学芸員講座当日の資料整理と受付
③「ボランティア通信」発送、支援
④博物館・美術館移動展支援

Ⅳ．happ（特定非営利活動法人 沖縄県立美術館支援会happ）

happは2005年（平成17）に沖縄県立美術館の活躍をサポートする組織として誕生した。同年９月に特定非営利活動法人の認証を受ける。happという名称は、happyやhappenの起源となるスカンジナビア語の「happ（幸福）」からきている。h=happiness（しあわせ）・happening（できごと）、a=art（アート）、p=people（人々）、p=place（場所）の意味を込めている。アートを身近に感じ、アートを創造するような活動を通じて、それぞれの「happ＝しあわせ」を見つけられる場所を作っていきたいと考え、主に美術館の教育普及活動をサポートしていく。

（１）平成28（2016）年度　主催事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	鑑賞ツアー	ゆんたくミュージアムツアー 	2016年６月～ 2017年２月 （計13回）	美術館コレクションギャラリー及び企画展示室	のべ 152名
2	教育普及部会	那覇紙ヒコーキ大会2016 似顔絵コーナー出展	2016年11月20日	那覇新都心公園大原っぱ（芝生スペース）	約50名

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
3	地域連携部会	アートなまちまーいマップ Oh,My MAP! 	2017年１月～ ３月	おもろまち、 新都心地域	―
	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
4	情報発信部会	オタカラの発行 	2016年４月～ 2017年３月	happ事務局にて	―
5	情報発信部会	ＦＭレキオ happ step jumpミュージアムアワー	2016年４月～ 2017年３月	ＦＭレキオ	―

（２）平成28（2016）年度　受託事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	受託事業	美術館コレクションギャラリー展示監視業務	2016年４月～ 2017年３月	美術館コレクションギャラリー Happ事務所	40名

（３）平成28（2016）年度　販売事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	販売事業	関連図録、冊子等の販売	2016年４月～ 2017年３月	ミュージアムショップ	―

（４）平成28（2016）年度　共催事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	教育普及部会	沖縄県芸術文化祭　美術体験教室　似顔絵体験教室 【主催】沖縄県文化振興会	2016年11月20日（日）	エントランスホール	45名

（５）平成28（2016）年度　協力事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	鑑賞ツアー	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業･修了作品展（児童作品鑑賞会）天久小学校５年生対象 【主催】沖縄県立芸術大学	2017年２月17日（金）	美術館企画展示室県民ギャラリー他	140名

Ⅴ　沖縄ソフトパワー発信事業

沖縄ソフトパワー発信事業は、沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課が平成26年度から実施してきた事業である。当館はワシントンD.C.で開催する展覧会及び関連イベント等の企画及び実施について、交流推進課、ジョージワシントン大学博物館・テキスタイル博物館と共同で作業を進めてきた。本年度は本事業の最終年度を迎え、ワシントンD.C.における展覧会も盛況のうちに終えることができた。以下は当館と関わりのある事業の概要である。

〔事業目的〕

沖縄の文化や自然、歴史、平和を希求する心を「沖縄のソフトパワー」として位置づけ、主に東海岸を中心とした米国在住者に発信し、人々の興味を喚起し、共感を得ることで、沖縄に対する理解、認知度を高め、21世紀ビジョン基本計画に掲げる「交流と共生の島」の実現に寄与する。

〔平成26年度実施事業〕

外務省の「地方の魅力発信プロジェクト」を活用し、在米国日本国大使館公邸でのキックオフレセプションを９月４日に実施した。その会場に玉那覇有公作紅型衣裳、平良敏子作芭蕉布を展示し、平成28年度開催の紅型展をアピールした（参加：山川優・園原謙）。

〔平成27年度実施事業〕

米国ニューヨークのジャパン・ソサエティと共催で沖縄の情報発信のイベントを開催、当館からは紅型ワークショップ（11月８日）に職員を派遣し、沖縄及び紅型展を広報した（参加：與那嶺一子）。

また、全米桜祭り（３月）の時期にジョージワシントン大学博物館・テキスタイル博物館において沖縄広報につながるイベントを開催し当館も協力した（参加：外間一先）。

〔平成28年度実施事業〕

１．ジョージワシントン大学博物館・テキスタイル博物館（米国ワシントンD.C.）との共催による紅型展「Bingata! Only in Okinawa」の開催にあたり、展覧会の内容、作品リストの作成、パネル原稿、図録作成に協力した。作品の展示及び展示替え、展示撤収には当館の與那嶺と外間が立会をした。

会　期：平成28年11月５日～平成29年１月30日

場　所：ジョージワシントン大学博物館・テキスタイル博物館（米国ワシントンD.C.）

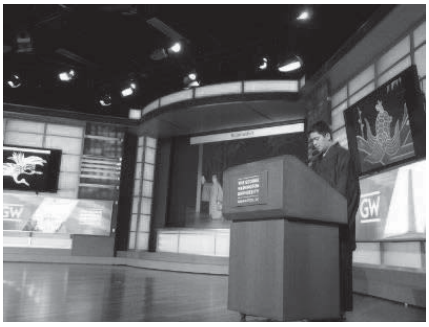
内　容：紅型を通じて、沖縄の歴史や文化について理解を得られる内容とした。沖縄県立博物館・美術館、那覇市歴史博物館、（一財）沖縄美ら島財団が所有する紅型衣裳等100点余りを紹介する展覧会。

２．紅型展「Bingata! Only in Okinawa」関連イベントの実施

11月4日に開催されたオープニングレセプションには館長と担当職員が出席。11月５日のシンポジウムには、沖縄から各専門分野の有識者による沖縄の染物・織物・歴史・民俗・芸能に関する講演が実施された（参加：田名真之館長・與那嶺一子）。



展示の様子（テキスタイル博物館）



シンポジウム（ジャックモートン講堂）

関係法規抄録

○博物館法
○博物館法施行令
○博物館法施行規則
○博物館の登録に関する規則
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則
◯沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
○沖縄県立博物館・美術館管理規則
○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程
○沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
○沖縄県立博物館･美術館共催及び後援等に関する取扱要領

関係法規抄録

○博物館法

昭和26年12月１日法律第285号
〔最終改正〕平成26年６月４日法律第 51号

第１章　総則

（この法律の目的）
第１条　この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。
（定　義）
第２条　この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法 による公民館及び図書館法（昭和25年法律第118号）による図書館を除く。）のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人（独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第２条第１項 に規定する独立行政法人をいう。第29条において同じ。）を除く。）が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。
２　この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。
３　この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。）をいう。
（博物館の事業）
第３条　博物館は、前条第１項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。
（１）実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
（２）分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
（３）一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
（４）博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
（５）博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
（６）博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
（７）博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
（８）当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
（９）社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
（10）他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。
（11）学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。
２　博物館は、その事業を行うに当つては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。
（館長、学芸員その他の職員）
第４条　博物館に、館長を置く。
２　館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
３　博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
４　学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
５　博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
６　学芸員補は、学芸員の職務を助ける。
（学芸員の資格）
第５条　次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。
（１）　学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
（２）　大学に２年以上在学し、前号の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、３年以上学芸員補の職にあつたもの
（３）　文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者
２　前項第２号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。
（学芸員補の資格）
第６条　学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第１項 の規定により大学に入学することのできる者は、学芸員補となる資格を有する。
（学芸員及び学芸員補の研修）
第７条　文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、学芸員及び学芸員補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。
（設置及び運営上望ましい基準）
第８条　文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。
（運営の状況に関する評価等）
第９条　博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
（運営の状況に関する情報の提供）
第９条の２　博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

第２章　登録

（登　録）
第10条　博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会に備える博物館登録原簿に登録を受けるものとする。
（登録の申請）
第11条　前条の規定による登録を受けようとする者は、設置しようとする博物館について、左に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県の教育委員会に提出しなければならない。
（１）　設置者の名称及び私立博物館にあつては設置者の住所
（２）　名称
（３）　所在地
２　前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。
（１）　公立博物館にあつては、設置条例の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び予算の歳出の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面
（２）　私立博物館にあつては、当該法人の定款の写し又は当該宗教法人の規則の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び収支の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面
（登録要件の審査）
第12条　都道府県の教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつた場合においては、当該申請に係る博物館が左に掲げる要件を備えているかどうかを審査し、備えていると認めたときは、同条第一項各号に掲げる事項及び登録の年月日を博物館登録原簿に登録するとともに登録した旨を当該登録申請者に通知し、備えていないと認めたときは、登録しない旨をその理由を附記した書面で当該登録申請者に通知しなければならない。
（１）　第２条第１項に規定する目的を達成するために必要な博物館資料があること。
（２）　第２条第１項に規定する目的を達成するために必要な学芸員その他の職員を有すること。
（３）　第２条第１項に規定する目的を達成するために必要な建物及び土地があること。
（４）　１年を通じて150日以上開館すること。
（登録事項等の変更）
第13条　博物館の設置者は、第11条第１項各号に掲げる事項について変更があつたとき、又は同条第２項に規定する添付書類の記載事項について重要な変更があつたときは、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。
２　都道府県の教育委員会は、第11条第１項各号に掲げる事項に変更があつたことを知つたときは、当該博物館に係る登録事項の変更登録をしなければならない。
（登録の取消）
第14条　都道府県の教育委員会は、博物館が第12条各号に掲げる要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて登録した事実を発見したときは、当該博物館に係る登録を取り消さなければならない。但し、博物館が天災その他やむを得ない事由により要件を欠くに至つた場合においては、その要件を欠くに至つた日から２年間はこの限りでない。
２　都道府県の教育委員会は、前項の規定により登録の取消しをしたときは、当該博物館の設置者に対し、速やかにその旨を通知しなければならない。
（博物館の廃止）
第15条　博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、すみやかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。
２　都道府県の教育委員会は、博物館の設置者が当該博物館を廃止したときは、当該博物館に係る登録をまつ消しなければならない。
（規則への委任）
第16条　この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。
第17条　削除

第３章　公立博物館

（設　置）
第18条　公立博物館の設置に関する事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。
（所　管）
第19条　公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。
（博物館協議会）
第20条　公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。
２　博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。
第21条　博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。
第22条　博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。
（入館料等）
第23条　公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。
（博物館の補助）
第24条　国は、博物館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。
２　前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。
第25条　　削除
（補助金の交付中止及び補助金の返還）
第26条　国は、博物館を設置する地方公共団体に対し第24条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消が虚偽の申請に基いて登録した事実の発見に因るものである場合には、既に交付した補助金を、第三号及び第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。
（１）　当該博物館について、第十四条の規定による登録の取消があつたとき。
（２）　地方公共団体が当該博物館を廃止したとき。
（３）　地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
（４）　地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第４章　私立博物館

（都道府県の教育委員会との関係）

第27条　都道府県の教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。

２　都道府県の教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

（国及び地方公共団体との関係）

第28条　国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

第５章　雑則

（博物館に相当する施設）

第29条　博物館の事業に類する事業を行う施設で、国又は独立行政法人が設置する施設にあつては文部科学大臣が、その他の施設にあつては当該施設の所在する都道府県の教育委員会が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会）が、文部科学省令で定めるところにより、博物館に相当する施設として指定したものについては、第27条第２項の規定を準用する。

附　則（平成23年12月14日法律第122号）　抄

（施行期日）

第１条　この法律は、公布の日から起算して２月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

１　附則第６条、第８条、第９条及び第13条の規定　公布の日

附　則（平成26年６月４日法律第51号）　抄

（施行期日）

第１条　この法律は、平成27年４月１日から施行する。

（罰則に関する経過措置）

第８条　この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

（政令への委任）

第９条　附則第２条から前条までに規定するもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置（罰則に関する経過措置を含む。）は、政令で定める。

○博物館法施行令

昭和27年３月20日　政令第 47号
〔最近改正〕昭和34年４月30日　政令第157号

（政令で定める法人）

第１条　博物館法（以下「法」という。）第２条第１項の政令で定める法人は、次に掲げるものとする。

１　日本赤十字社。

２　日本放送協会。

（施設、設備に要する経費の範囲）

第２条　法第24条第１項に規定する博物館の施設、設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

１　施設費　施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費。

２　設備費　博物館に備えつける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費。

附　則　（昭和34年４月30日　政令第157号）　抄

（施行期日）

１　この政令は、公布の日から施行する。

○博物館法施行規則

昭和30年10月４日　文部省令第24号
〔最終改正〕平成27年10月２日　文部科学省令第24号

第１章　博物館に関する科目の単位

（博物館に関する科目の単位）

第１条　博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第５条第１項第１号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	2

２　博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第６条第３項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもつて、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

（博物館実習）

第２条　前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第２条第１項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第29条の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県の教育委員会の指定した博物館に相当する施設（大学においてこれに準ずると認めた施設を含む。）における実習により修得するものとする。

２　博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

第２章　学芸員の資格認定

（資格認定）

第３条　法第５条第１項第３号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、この章に定める試験認定又は無試験認定（以下「資格認定」という。）の合格者とする。

（資格認定の施行期日等）

第４条　資格認定は、毎年少なくとも各１回、文部科学大臣が行う。

２　資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、官報で公告する。ただし、特別の事情がある場合には、適宜な方法によつて公示するものとする。

（試験認定の受験資格）

第５条　次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。

（１）　学士の学位を有する者

（２）　大学に２年以上在学して62単位以上を修得した者で２年以上学芸員補の職（法第５条第２項に規定する職を含む。以下同じ。）にあつた者

（３）　教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第２条第１項に規定する教職員の普通免許状を有し、２年以上教育職員の職にあつた者

（４）　４年以上学芸員補の職にあつた者

（５）　その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

（試験認定の方法及び試験科目）

第６条　試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。

２　試験認定は、２回以上にわたり、それぞれ１以上の試験科目について受けることができる。

３　試験科目は、次表に定めるとおりとする。

試験科目	試験認定の必要科目	
必須科目	生涯学習概論	上記科目の全科目
	博物館概論	
	博物館経営論	
	博物館資料論	
	博物館資料保存論	
	博物館展示論	
	博物館教育論	
	博物館情報・メディア論	
選択科目	文化史	上記科目のうちから受験者の選択する２科目
	美術史	
	考古学	
	民俗学	
	自然科学史	
	物理	
	化学	
	生物学	
	地学	

（試験科目の免除）

第７条　大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。

第８条　削除

（審査認定の受験資格）

第９条　次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。

（１）　学位規則（昭和28年文部省令第９号）による修士若しくは博士の学位又は専門職学位を有する者であつて、２年以上学芸員補の職にあつた者

（２）　大学において博物館に関する科目（生涯学習概論を除く。）に関し２年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、２年以上学芸員補の職にあつた者

（３）　次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦する者

イ　学士の学位を有する者であつて、４年以上学芸員補の職にあつた者

ロ　大学に２年以上在学し、62単位以上を修得した者であつて、６年以上学芸員補の職にあつた者

ハ　学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第１項の規定により大学に入学することのできる者であつて、８年以上学芸員補の職にあつた者

ニ　その他11年以上学芸員補の職にあつた者

（４）　その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

（審査認定の方法）

第10条　審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

（受験の手続）

第11条　資格認定を受けようとする者は、受験願書（別記第１号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の７第３項の規定により同法第30条の５第１項に規定する本人確認情報の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第３号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。

（１）　受験資格を証明する書類

（２）　履歴書（別記第２号様式により作成したもの）

（３）　戸籍抄本又は住民票の写し（いずれも出願前６月以内に交付を受けたもの）

（４）　写真（出願前６月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの）

２　前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもつて代えることができる。

３　第７条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。

４　審査認定を願い出る者については、第１項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。
（１）　第９条第１号又は同条第２号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
（２）　第９条第３号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類
（３）　第９条第４号により出願する者にあつては、前２号に準ずる資料又は書類

（試験認定合格者）

第12条　試験科目（試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。）の全部について合格点を得た者（試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下、「筆記試験合格者」という。）であつて、１年間学芸員補の職にあつた後に文部科学大臣が認定した者を試験認定合格者とする。

２　筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第３号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

（審査認定合格者）

第13条　第10条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

（合格証書の授与等）

第14条　試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第４号様式によるもの）を授与する。

２　筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第５号様式によるもの）を授与する。

３　合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願い出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

（合格証明書の交付等）

第15条　試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願い出たときは、合格証明書（別記第６号様式によるもの）を交付する。

２　筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第７号様式によるもの）を交付する。

３　１以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第17条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の照明を願い出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第８号様式によるもの）を交付する。

（手数料）

第16条　次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上欄	下欄
１　試験認定を願い出る者	一科目につき1,300円
２　審査認定を願い出る者	3,800円
３　試験認定の試験科目の全部について免除を願い出る者	800円
４　合格証書の書換え又は再交付を願い出る者	700円
５　合格証明書の交付を願い出る者	700円
６　筆記試験合格証明書の交付を願い出る者	700円
７　筆記試験科目合格証明書を願い出る者	700円

２　前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書にはるものとする。ただし、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律（平成14年法律第151号）第３条第１項の規定により申請等を行つた場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。

３　納付した手数料は、これを返還しない。

（不正の行為を行つた者等に対する処分）

第17条　虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行つた者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

２　試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになつたときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

３　前２項の処分をしたときは、処分を受けた者の氏名及び住所を官報に公告する。

第３章　博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第18条　法第22条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

第４章　博物館に相当する施設の指定

（申請の手続）

第19条　法第29条の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定を受けようとする場合は、博物館相当施設指定申請書（別記第９号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第２号第１項に規定する独立行政法人をいう。第21条において同じ。）が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ提出しなければならない。
（１）　当該施設の有する資料の目録
（２）　直接当該施設の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及び図面
（３）　当該年度における事業計画書及び予算の収支の見積に関する書類
（４）　当該施設の長及び学芸員に相当する職員の氏名を記載した書類

（指定要件の審査）

第20条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、博物館に相当する施設として指定しようとするときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。
（１）　博物館の事業に類する事業を達成するために必要な資料を整備していること。
（２）　博物館の事業に類する事業を達成するために必要な専用の施設及び設備を有すること。
（３）　学芸員に相当する職員がいること。
（４）　一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。
（４）　１年を通じて100日以上開館すること。

２　前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

第21条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定する博物館に相当する施設（以下「博物館相当施設」という。）が第20条第１項に規定する要件を欠くに至つたときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

第22条　削除

第23条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設に対し、第20条第１項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

（指定の取消）

第24条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設が第20条第１項に規定する要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて指定した事実を発見したときは、当該指定を取り消すものとする。

第５章　雑則

（学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第25条　第５条第１号及び第９条第３号イに規定する学士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

（１）　旧大学令（大正７年勅令第388号）による学士の称号を有する者

（２）　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第１項第２号から第８号までのいずれかに該当する者

（短期大学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第26条　第５条第２号及び第９条第３号ロに規定する大学に２年以上在学し、62単位以上を修得した者には、次に掲げる者を含むものとする。

（１）　旧大学令、旧高等学校令（大正７年勅令第389号）、旧専門学校令（明治36年勅令第61号）又は旧教員養成諸学校官制（昭和21年勅令第208号）の規定による大学予科、高等学校高等科、専門学校又は教員養成諸学校を修了し、又は卒業した者

（２）　学校教育法施行規則第155条第２項各号のいずれかに該当する者

（修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第27条　第９条第１号に規定する修士の学位を有する者には、学校教育法施行規則第156条各号のいずれかに該当する者を含むものとする。

（博士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第28条　第９条第１号に規定する博士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

（１）　旧学位令（大正９年勅令第200号）による博士の称号を有する者

（２）　外国において博士の学位に相当する学位を授与された者

（専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第29条　第９条第１号に規定する専門職学位を有する者には、外国において専門職学位に相当する学位を授与された者を含むものとする。

附則（平成24年６月29日文部科学省令第24号）

（施行期日）

１　この省令は、住民基本台帳法の一部を改正する法律（平成21年法律第77号）の一部及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律（平成21年法律第79号）の施行の日（平成24年７月９日）から施行する。

（経過措置）

２　この省令の施行の日から起算して６月を経過する日までの間における改正後の博物館法施行規則第11条第１項第3号の規定の適用については、同号中「住民票の写し」とあるのは、「住民票の写し（日本の国籍を有しない者にあつては、住民票の写し又は出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律第４条の規定による廃止前の外国人登録法（昭和27年法律第125号）に規定する登録原票の写し若しくは登録原票記載事項証明書）」とする。

附　則（平成27年10月２日文部科学省令第34号）　抄

（施行期日）

１　この省令は、平成27年10月５日から施行する。

○博物館の登録に関する規則

昭和50年５月８日　教育委員会規則第５号
〔最終改正〕平成６年３月31日　教育委員会規則第２号

（趣　旨）

第１条　この規則は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第16条の規定に基づき博物館の登録に関し、必要な事項を定めるものとする。

（登録原簿等の様式）

第２条　法第10条、第11条第１項及び第11条第２項に規定する登録原簿等の名称及び様式は、次の表に掲げるとおりとする。

根拠条項	名称	様式
法第10条	博物館登録原簿	第１号様式
法第11条第１項	博物館登録申請書	第２号様式
法第11条第２項	博物館資料目録	第３号様式

（博物館登録申請書の添付書類）

第３条　博物館登録申請書には、法第11条第２項に規定する書類のほか、職員名簿（第４号様式）を添付するものとする。

（登録要件の審査）

第４条　法第12条の規定による登録要件の審査及び法第14条第１項の規定による登録の取消しを県教育委員会が行う場合は、当該博物館に対し、必要な資料を求め実地調査及び学識経験者の意見を聴くことができる。

（登録事項等の変更）

第５条　法第13条第１項の規定による変更の届出は、そのつど博物館登録事項等変更届出書（第５号様式）によつて行うものとする。ただし、博物館資料目録の軽微な変更については、毎年３月末日に届け出るものとする。

（博物館の廃止）

第６条　法第15条の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届（第６号様式）により行うものとする。

（公　示）

第７条　県教育委員会は、博物館の登録若しくは登録事項等の変更があつたとき、又は登録の取消し若しくはまつ消を行つたときは、その旨を沖縄県公報により公示するものとする。

附則

（平成６年３月31日教育委員会規則第２号）

この規則は、平成６年４月１日から施行する。

第１号様式
（第２条関係）

No.

博物館登録原簿

備考	所在地	名称	※設置者の名称及び住所	事項		
				記号番号	年月日	登録
				第号	年月日	
				年月日		登録変更
				年月日		
				年月日		登録変更
				年月日		

（※公立の場合は設置者の名称のみ記入）　（A４版）

第２号様式
（第２条関係）

博物館登録申請書

文書番号
年　月　日

沖縄県教育委員会　殿

申請者　氏名　　印

博物館法第11条第１項の規定により、下記施設を博物館として登録されるよう別添関係書類等を添えて申請します。

記

設置者の名称

私立博物館設置者の住所

名称

所在地

備考　この申請書には、次の書類を添付すること。
（１）　公立博物館にあつては設置条例の写し、私立博物館にあつては、法人の定款若しくは寄附行為の写し又は宗教法人の規則の写し
（２）　館則の写し
（３）　直接博物館の用に供する建物及び面積を記載した書面並びにその図面
（４）　当該年度における事業計画書及び公立博物館にあつては予算の歳出の見積もり、私立博物館にあつては収支の見積もりに関する書類
（５）　博物館資料の目録並びに館長の氏名及び学芸員の種類ごとの氏名を記載した書面
（６）　学芸員は、その資格を有することを証するにたる書類

第３号様式
（第２条関係）

博物館資料目録

博物館名

資　料　の　種　別	資料の種類及び数量
自然科学に関する資料	
人文科学に関する資料	

種別	番号	名称	規格	品質	数量	取得年月日	備考

（Ａ４版）

第４号様式
（第３条関係）

職員名簿

博物館名

番号	氏名	職名	最終学歴	博物館職員としての勤務年数	担当職務	備考

（Ａ４版）

第５号様式
（第５条関係）

博物館登録事項変更届出書

文　書　番　号
年　　月　　日

沖縄県教育委員会　殿

施　設　名
届出者氏名　　印

博物館法第１３条第１項の規定により、下記のとおり変更届を提出します。

記

変　更　年　月　日		年　　月　　日
変　更　の　理　由		
変 更 事 項 の 種 類		
変更事項の内容	旧	
	新	

（Ａ４版）

第６号様式
（第６条関係）

博物館廃止届

文　書　番　号
年　　月　　日

沖縄県教育委員会　殿

施　設　名
届出者氏名　　印

博物館法第１５条第１項の規定により、下記のとおり届けます。

記

廃　止　年　月　日	年　　月　　日
廃　止　し　た　理　由	
廃 止 後 の 財 産 処 分	
その他参考となるべき事項	

（Ａ４版）

○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則

平成23年３月31日　教育委員会規則第２号

（趣　旨）

第１条　この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の７の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。

（委　任）

第２条　沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和47年沖縄県条例第32号）第２条第８号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成19年沖縄県教育委員会規則第１号）第２条第３項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。

（１）　沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。

（２）　博物館法（昭和26年法律第285号）第21条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第12条第1項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。

（合議等）

第３条　前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規定により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等をしなければならない。

２　前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

附　則

（施行期日）

１　この規則は、平成23年4月1日から施行する。

（経過措置）

２　この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）

３　沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第１号）の一部を次のように改正する。

第11条第８号を次のように改める。

（８）　博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第２号）により委任される事務に関するものを除く。）。

（沖縄県立教育機関組織規則の一部改正）

４　沖縄県立教育機関組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第２号）の一部を次のように改正する。

第１条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）」を削る。

第４条を削り、第４条の２を第４条とする。

第６条を次のように改める。

（職制等）

第６条　総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。

２　所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。

第７条及び第８条を削り、第９条を第７条とする。

第９条の２の表中「総合教育センター（総務班を除く。）　博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を除く。）」に改め、同条を第８条とする。

第10条を第９条とし、第11条を第10条とし、第11条の２を第11条とする。

第12条第１項中「及び博物館・美術館」を削る。

第21条を第23条とし、第20条を第22条とし、第19条を第21条とする。

第18条中「第７条から第16条まで」を「第６条から第18条まで」に改め、同条の表中

「

学芸員	上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。

」

及び

「

学芸員補	上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。

」

を削り、同条を第20条とする。

第17条を第19条とする。

第16条中「第７条」を「第６条」に改め、同条を第18条とする。

第15条を第17条とし、第14条を第16条とし、第13条を削り、第12条の４を第15条とする。

第12条の３第１項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第14条とする。

第12条の２を第13条とする。

（沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正）

５　沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第22号）の一部を次のように改正する。

第４条第２項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

○沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

平成23年３月31日　規則第８号

（趣　旨）

第１条　この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第２号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第2条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成19年沖縄県条例第72号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

（博物館・美術館の管理に関する事務の所掌）

第２条　博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和49年沖縄県規則第18号。以下「行

政組織規則」という。）第76条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。
２　博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。
（内部組織）
第３条　博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。
（所掌事務）
第４条　総務班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　予算、決算その他会計事務に関すること。
（２）　公印の保管に関すること。
（３）　職員の服務及び福利厚生に関すること。
（４）　博物館・美術館協議会に関すること。
（５）　指定管理者との連絡調整に関すること。
（６）　他班の所掌に属さない事務に関すること。
２　博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　博物館・美術館の博物館施設に係る資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
（２）　博物館資料の利用に関すること。
（３）　博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
（４）　博物館資料の調査研究に関すること。
（５）　博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
（６）　博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
（７）　他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。
（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。
３　美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　博物館・美術館の美術館施設に係る資料（以下「美術館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
（２）　美術館資料の利用に関すること。
（３）　美術館施設の利用に関すること。
（４）　美術館資料の調査研究に関すること。
（５）　美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
（６）　美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
（７）　他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。
（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。
（職の設置）
第５条　博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。
２　博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。
（職の職務内容）
第６条　前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。
（１）　館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
（２）　副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
（３）　班長は、班の事務を処理する。
（４）　主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
（５）　主事は、一般的な事務を処理する。
（６）　学芸員は、学芸業務に従事する。
（７）　主任学芸員は、学芸業務を処理する。
（８）　主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。
（９）　主任は、一般的な事務を分掌する。
（10）　専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。
（その他組織に関する事項）
第７条　第３条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第５条に規定する公の施設とみなして、同規則の規定を適用する。
（委任された事務に係る決裁等）
第８条　教育委員会事務委任規則第２条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規定（昭和48年沖縄県訓令第89号）の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。
２　教育委員会事務委任規則第２条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則（昭和53年沖縄県規則第67号）の規定（第３条、第５条及び第13条を除く。）を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるものとする。
３　前２項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第２条の規定により委任された事務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。
４　館長は、前２項の規定又は教育委員会事務委任規則第３条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。
（委任された事務以外の事務の委任及び決裁）
第９条　博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第２条第１項第１号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じたときは、知事に協議しなければならない。
（委　任）
第10条　この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については官庁がそれぞれ定める。
附　則
この規則は、平成23年４月１日から施行する。

○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例

平成18年12月27日　条例第72号
〔最終改正〕平成26年３月31日　条例第11号

（設　置）

第１条　歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料（以下「博物館・美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法（昭和26年法律第285号）第２条第１項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）を設置する。

（位置及び施設）

第２条　博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち３丁目１番１号とする。

２　博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。

（１）　博物館施設

（２）　美術館施設

（３）　その他施設

（事　業）

第３条　博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。

（１）　博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。

（２）　博物館・美術館資料の利用に関すること。

（３）　博物館・美術館の施設の利用に関すること。

（４）　博物館・美術館資料の調査研究に関すること。

（５）　博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。

（６）　博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。

（７）　他の博物館等との相互協力に関すること。

（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。

（９）　前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

（博物館・美術館の管理）

第４条　博物館・美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の２第３項の規定により、法人その他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第５条　指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

（１）　博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務

（２）　第11条の規定による観覧料の収受に関する業務、第12条の規定による観覧料の減免に関する業務、第13条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務

（３）　第14条の規定による利用の許可に関する業務、第17条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第18条第２項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務

（４）　第19条及び同条第３項において準用する第11条第５項から第７項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第19条第３項において準用する第12条の規定による利用料金の減免に関する業務、第19条第３項において準用する第13条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務

（５）　博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務

（６）　前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

（指定管理者の指定の申請）

第６条　第４条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

（指定管理者の指定）

第７条　教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

（１）　事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。

（２）　事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。

（３）　事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。

（４）　前３号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

（指定管理者の指定等の告示）

第８条　教育委員会は、前条の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

２　前項の規定は、地方自治法第244条の２第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

（休館日）

第９条　博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

（１）　月曜日

（２）　12月29日から翌年の１月３日までの日

２　前項第１号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第２条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。

３　前２項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

（開館時間）

第10条　博物館・美術館の開館時間は、午前９時から午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）までとする。

２　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

（観覧料）

第11条　常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

２　常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第１に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

３　企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,090円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定める

ものとする。
4　前２項の規定にかかわらず、１年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第２に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
5　指定管理者は、第２項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。
6　教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。
7　観覧料は、指定管理者の収入とする。

一部改正〔平成26年条例11号〕

（観覧料の減免）

第12条　指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。
2　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

（観覧料の返還）

第13条　既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

（利用の許可）

第14条　別表第３に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
2　指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めたときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
3　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第１項の許可をしないことができる。
（１）　公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
（２）　公益を害するおそれがあると認められるとき。
（３）　施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
（４）　前３号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

（利用期間）

第15条　施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

（権利の譲渡等の禁止）

第16条　利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（許可の取消し等）

第17条　指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第14条第１項の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
（１）　この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
（２）　偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
（３）　許可に付した条件に違反したとき。
（４）　第14条第３項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

（原状回復の義務）

第18条　利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。
2　指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

（利用料金）

第19条　利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。
2　利用料金は、別表第３に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
3　第11条第５項から第７項まで、第12条及び第13条の規定は、利用料金について準用する。

（事業報告書の提出）

第20条　指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

（博物館・美術館協議会）

第21条　博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2　協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。
3　委員の定数は、15人以内とする。
4　委員の任期は、２年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
5　委員は、再任されることができる。
6　第２項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成24年条例46号〕

（教育委員会規則への委任）

第22条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則

（施行期日）

1　この条例は、公布の日から起算して１年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。　（平成19年６月教育委員会規則第11号で、同19年11月１日から施行）

（準備行為）

2　第７条の規定による指定管理者の指定、第11条第５項の規定による観覧料の承認及び第19条第３項において準用する第11条第５項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第６条から第８条まで、第11条第２項から第６項まで並びに第19条第２項並びに同条第３項において準用する第11条第５項及び第６項の規定の例により行うことができる。

（沖縄県立教育機関設置条例の一部改正）

３　沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年沖縄県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第１条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。

第５条及び第６条を削り、第６条の２を第５条とし、第７条を第６条とし、第７条の２を第７条とする。

第８条中「、第５条及び第６条の２」を「及び第５条」に改める。

（沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正）

４　沖縄県立教育機関使用料徴収条例（昭和47年沖縄県条例第37号）の一部を次のように改正する。

第２条第１項中「別表第１又は別表第２」を「別表」に改め、同条第２項を削る。

別表第１を削り、別表第２を別表とする。

附　則（平成26年３月31日条例第11号抄）

（施行期日）

１　この条例は、平成26年４月１日から施行する。

別表第１（第11条関係）

区分		基準額（１人につき）	
		個人の場合	団体の場合
博物館施設	一般	410円	330円
	大学生及び高校生	260円	210円
	中学生及び小学生	150円（県外の中学生及び小学生に限る。）	120円（県外の中学生及び小学生に限る。）
美術館施設	一般	310円	250円
	大学生及び高校生	210円	170円
	中学生及び小学生	100円（県外の中学生及び小学生に限る。）	80円（県外の中学生及び小学生に限る。）

備考

１　「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

２　「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

３　「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

４　「団体の場合」とは、20人以上の団体で観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第２（第11条関係）

区分		基準額（１人につき）		
		一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生
博物館施設	常設展	1,230円	770円	460円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展、企画展及び特別展	4,320円	2,670円	1,650円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,180円）
美術館施設	常設展	930円	620円	310円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展及び企画展	4,010円	2,670円	1,340円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,030円）

備考

１　「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

２　「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

３　「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第３（第14条、第19条関係）

１　施設利用料金

（１）　博物館施設利用料金

区分		基準額（１日につき）
企画展示室	入場料を徴収しない場合	29,930円
	入場料を徴収する場合	89,790円
特別展示室	入場料を徴収しない場合	39,190円
	入場料を徴収する場合	117,570円
実習室	入場料を徴収しない場合	9,260円
	入場料を徴収する場合	27,770円
講座室	入場料を徴収しない場合	16,350円
	入場料を徴収する場合	49,060円

（２）　美術館施設利用料金

区分		基準額（１日につき）
県民ギャラリー１		8,330円
県民ギャラリー２		7,710円
県民ギャラリー３		7,710円
県民ギャラリースタジオ		8,430円
県民アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,200円
	入場料を徴収する場合	21,600円
子供アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,710円
	入場料を徴収する場合	23,140円
企画展示室１	入場料を徴収しない場合	33,740円
	入場料を徴収する場合	101,210円
企画展示室２	入場料を徴収しない場合	41,860円
	入場料を徴収する場合	125,590円
講座室	入場料を徴収しない場合	9,360円
	入場料を徴収する場合	28,080円

（３）　その他施設利用料金

区分		基準額（１時間につき）
講堂	入場料を徴収しない場合	3,500円
	入場料を徴収する場合	10,490円

２　附属設備利用料金

種別	単位	基準額
舞台器具	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	１時間につき	3,000円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設備	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額

備考

１　「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。

２　利用料金の基準額が１時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。

（１）　午前９時から午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）までの間は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の２分の１の額に100分の120を乗じて得た額

（２）　午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）後は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の２分の１の額に100分の150を乗じて得た額

一部改正〔平成26年条例11号〕

○沖縄県立博物館・美術館管理規則

平成19年３月16日　教育委員会規則第１号

〔最終改正〕　平成27年３月24日　教育委員会規則第４号

（趣　旨）

第１条　この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。）の規定並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条第１号及び博物館法（昭和26年法律第285号）第19条の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（寄贈及び寄託）

第２条　博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書（第１号様式）又は博物館・美術館資料寄託申請書（第２号様式）を提出しなければならない。

２　受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書（第３号様式）又は博物館・美術館資料受託承認書（第４号様式）を交付するものとする。

３　寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）が必要と認めた場合はこの限りでない。

４　第２項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。

５　第２項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

（寄贈資料及び寄託資料の管理等）

第３条　寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

２　寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

（指定管理者の指定の申請）

第４条　条例第６条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第５号様式）によるものとする。

２　条例第６条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

（１）　法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

（２）　法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）

（３）　申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

（４）　最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

（５）　役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

（６）　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

（観覧券の交付）

第５条　指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

（観覧料の免除）

第６条　条例第12条第１項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書（第６号様式）を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

２　条例第12条第２項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

（１）　県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

（２）　県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

（３）　70歳以上の者が常設展を観覧する場合

（４）　身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第４項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

（５）　知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第１項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

（６）　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第２項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

（入館の禁止等）

第７条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

（１）　館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者

（２）　その他指定管理者が適当でないと認める者

（施設利用の許可等）

第８条　条例別表第３に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書（第７号様式）を提出しなければならない。

（利用期間）

第９条　条例第15条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。

（１）　博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室１及び企画展示室２並びにこれらの施設の冷房設備　６月

（２）　前号に掲げる施設等以外の施設　７日

２　条例第15条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願（第８号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

（利用料金の免除）

第10条　条例第19条第３項において準用する第12条第２項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第３条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。

２　条例第19条第３項において準用する第12条第２項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許

可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書（第９号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

３　指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書（第10号様式）を利用者に交付するものとする。

（事業報告書の内容等）

第11条　条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

（１）　博物館・美術館の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況

（２）　業務に係る収支状況

（３）　博物館・美術館の利用状況

（４）　前３号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

（博物館・美術館協議会の組織等）

第12条　博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。

２　協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。

３　会長は協議会を代表し、会務を総理する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

５　協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

６　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

７　協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

８　協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

９　協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。

10　その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮つて定める。

（観覧料の割引）

第13条　条例別表第１備考４に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

（附属設備の利用料金の基準額）

第14条　条例別表第３第２項の表の教育委員会で定める額は、別表に掲げるとおりとする。

（補　則）

第15条　この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月１日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（準備行為として行う申請に必要な申請書等）

２

条例附則第２項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第４条の規定の例による。

（沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止）

３　次に掲げる規則は、廃止する。

（１）　沖縄県立博物館の管理に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号）

（２）　沖縄県立博物館協議会規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号）

（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）

４　沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第１号）の一部を次のように改正する。

第31条第３号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

附　則（平成27年３月24日教育委員会規則第４号抄）

（施行期日）

１　この規則は、平成27年４月１日から施行する第33条第４号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

別表（第14条関係）

１　附属設備（冷房設備を除く。）の利用料金

種別	品名	単位	基準額
舞台器具	演台	１台	310円
	花台	１台	100円
	司会台	１台	150円
音響器具	メインスピーカー	１式	1,030円
	コンデンサーマイク	１本	310円
	ワイヤレスマイク	１本	620円
	ダイナミックマイク	１本	210円
	ビデオテープレコーダー	１台	720円
	ＤＶＤプレーヤー	１台	1,290円
	ＣＤ、ＭＤプレーヤー	１台	410円
	ＨＤ／ＤＶＤレコーダー	１台	1,290円
照明器具	ボーダーライト	１列	310円
	サスペンションライト	１列	510円
	アッパーホリゾントライト	１列	720円
	シーリングライト	１列	620円
	センターピンスポットライト	１台	410円
その他	書画カメラ	１台	820円
	ビデオプロジェクター	１台	1,440円
	電動スクリーン	１式	1,130円
	35ミリフィルム映写機	１式	5,140円

備考　附属設備利用料金の基準額は、１ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、４時間ごとに１ステージとみなす。

２　冷房設備の利用料金

区分		単位	基準額
博物館施設	企画展示室	１時間までごとに	650円
	特別展示室	１時間までごとに	850円
	実習室	１時間までごとに	200円
	講座室	１時間までごとに	350円
美術館施設	県民ギャラリー１	１時間までごとに	180円
	県民ギャラリー２	１時間までごとに	170円
	県民ギャラリー３	１時間までごとに	170円
	県民ギャラリースタジオ	１時間までごとに	190円
	県民アトリエ	１時間までごとに	150円
	子供アトリエ	１時間までごとに	170円
	企画展示室１	１時間までごとに	730円
	企画展示室２	１時間までごとに	910円
	講座室	１時間までごとに	210円
その他施設	講堂	１時間までごとに	610円

第１号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料寄贈申込書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

申込者　住　所
氏　名　　印

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。

記

１　種　　別
２　作　者　名
３　作　品　名
４　製作年月日
５　附　属　品
６　資料所在地
７　時価見積額
８　寄贈の理由

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第２号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料寄託申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

申請者　住　所
氏　名　　印

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。

記

１　種　　別
２　作　者　名
３　作　品　名
４　製作年月日
５　附　属　品
６　資料所在地
７　寄託期間　　年　　月　　日　から
年　　月　　日　まで

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第３号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料受贈受諾書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長　印

　　年　　月　　日付け申込のあつた博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第２条第４項の規定により返却されません。

記

１　種　　別
２　作　者　名
３　作　品　名
４　製作年月日
５　附　属　品
６　資料所在地
７　時価見積額
８　寄贈の理由

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第４号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料受託承認書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長　印

　　年　　月　　日付け申請のあつた博物館・美術館資料の寄託については下記により受託します。

記

１　種　　別
２　作　者　名
３　作　品　名
４　製作年月日
５　附　属　品
６　受託期間　　年　　月　　日　から
　　年　　月　　日　まで
７　備　　考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第５号様式
（第４条関係）

年　　月　　日

沖縄県教育委員会　殿

申請者　所　　在　　地
団体の名称
代表者の氏名　　印

指定管理者指定申請書

沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第６条の規定により申請します。

添付書類
１　事業計画書

２　法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

３　法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る）

４　申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

５　最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日に属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

６　役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

７　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第６号様式
（第６条関係）

観覧料免除申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　殿

申請者　住　所
氏　名　　印
電　話

下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館管理規則第６条第１項の規定に基づき申請します。

記

１　観覧者　団体名
引率者名

２　観覧者数　　人

３　観覧日時　　年　　月　　日（　　曜日）　　時～　　時

４　申請理由

・・・

第７号様式
（第８条関係）

博物館・美術館施設利用許可申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
　指定管理者　　殿

申請者　氏　名　　印
　　電　話

下記により貴館施設を利用したいので、申請します。

記

１　利用者　団 体 名
　　代表者名　　印　　職業（　　）
　　住　　所　　電話

２　利用目的

３　利用する施設

４　利用する日時及び期間
　　自：　　年　　月　　日　　時　　分
　　至：　　年　　月　　日　　時　　分　　（　　）日間

５　予定参加人数　　人

・・・

第９号様式
（第１０条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　殿

申請者　住　　所
団 体 名
代表者氏名　　印
電 話 番 号

次のとおり利用料金の免除を申請します。

記

１　催物の名称

２　利用目的

３　催物の内容

４　利用する日時及び期間
自：　　年　月　日　時　分
至：　　年　月　日　時　分
（　　）日間

５　減額・免除を申請する理由

６　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第１０号様式
（第１０条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　印

次のとおり利用料金の免除を承認します。

記

１　催物の名称

２　利用目的

３　催物の内容

４　利用する日時及び期間
自：　　年　月　日　時　分
至：　　年　月　日　時　分
（　　）日間

５　利用料金免除額

６　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程

平成23年４月１日　訓令第103号
〔最終改正〕　平成25年３月30日　訓令第 63号

（趣　旨）

第１条　沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の館長（以下「館長」という。）を地方公務員法（昭和25年法律第261号）第３条第３項第３号に規定する非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関しては、この訓令によるものとする。

（任命及び任期）

第２条　館長は、博物館・美術館の管理運営に関し識見及び能力を有する者のうちから知事が任命する。

２　館長の任期は、１年以内とし、２回に限り更新することができる。

３　前項の規定にかかわらず、２回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

（報酬等）

第３条　館長の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

（勤務条件）

第４条　館長の勤務場所は、博物館・美術館とする。

２　館長の１月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は文化観光スポーツ部長が別に定める。

３　館長の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

（服　務）

第５条　館長は、その職務の遂行に当たつて、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

２　館長は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

３　館長は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

４　館長は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

（解　任）

第６条　知事は、館長が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、任期内であつても解任することができる。

（１）　館長の職務を怠つたとき。

（２）　前条の規定に違反したとき。

（３）　館長として不適当と認められる行為をしたとき。

（４）　心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなつたとき。

（５）　任命の必要がなくなつたとき。

（補　則）

第７条　この訓令に定めるもののほか、館長を非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

附　則

この訓令は、平成25年４月１日から施行する。

附　則（平成25年３月30日訓令第63号）

この訓令は、平成25年４月１日から施行する。

○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領

平成14年３月14日　教育長決裁
平成28年12月28日　最終改正

（目　的）

第１条　この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

（定　義）

第２条　この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。

（１）　展示会等における原資料等の借用。

（２）　同資料の撮影。

（３）　原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。

（４）　撮影等による複製品の製作。

（５）　原資料等の閲覧。

（６）　教育普及資料の借用。

（許可の基準）

第３条　博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。

（１）　資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。

（２）　好ましくない用途に供されると認められる場合。

（３）　館の事務処理に支障が生じると認められる場合。

（４）　資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。

（５）　過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。

（６）　その他、許可することが適当でないと認められる場合。

（許可申請の手続き）

第４条　資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

（１）　原資料等の借用（第１号様式）

（２）　写真撮影、原板・印画の借用（第２号様式）

（３）　複製品の製作（第３号様式）

（４）　原資料等の閲覧（第４号様式）

（５）　教育普及資料の借用（第５号様式）

（審査及び決定）

第５条　前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

（１）　事業の趣旨及び内容。

（２）　事業の主体者。

（３）　事業計画。
（４）　その他必要な事項。

（許可書の交付）

第６条　資料利用を許可する決定を行つたときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおりの条件を付した資料利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認めた軽微なものについては、その限りでない。

（１）　原資料等の借用（第１－１号様式）
（２）　写真撮影、原板・印画の借用（第２－１号様式）
（３）　複製品の製作（第３－１号様式）
（４）　原資料等の閲覧（第４－１号様式）
（５）　教育普及資料の借用（第５－１号様式）

２　館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

附　則

この要領は、平成14年４月１日から実施する。

附　則

この要領は、平成19年11月１日から実施する。

別表（第６条関係）各申請の資料利用の許可条件

利用申請の内容（各申請様式）	資料利用の許可条件	
	共通条件	個別条件
原資料等の借用（第１号様式）	①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館所蔵」と明記すること。 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。	①資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。 ④借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
写真撮影、原板・印画の借用（第２号様式）		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ③写真原板の貸与期間は３週間以内とする。 ④郵送費は申請者が負担すること。 ⑤資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
複製品の製作（第３号様式）		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。 ③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。 ④製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ⑤写真原板の貸与期間は３週間以内とする。 ⑥資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
原資料等の閲覧（第４号様式）		①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 ②閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。 ③閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
教育普及資料の借用ののの（第５号様式）		①与期間は１週間以内とする。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。 ④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。

第１号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（原資料等の借用）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いします。

記

事　業　名			
借用希望期間	年　月　日 ～　月　日		
目　　的			
展示等場所			
資　料　名		員　数	備　考
１． ２． ３． ４．			

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。
⑨借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第１－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（原資料等の借用）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料の館外利用については、下記により許可します。

記

事　業　名			
借 用 期 間	年　月　日 ～　月　日		
目　　的			
展示等場所			
資　料　名		員　数	備　考
１． ２． ３． ４．			

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。
⑨借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第２号様式　（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（写真撮影、原板・印画の借用）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いします。

記

利　用　区　分		１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む			
希望日時・期間		年　　月　　日　～　月　　日　　時　～　　時			
	事　項	名　　称	部　数	制作予定日	備　　考
目的	出版物				
	映　画				
	テレビ				
	ＤＶＤ				
	Ｃ　Ｄ				
	その他				

資　　料　　名	数　量	仕　様	備　　考
１．			
２．			
３．			

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第２－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（写真撮影、原板・印画の借用）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。

記

利　用　区　分		１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む			
日　時・期　間		年　　月　　日　～　月　　日　　時　～　　時			
	事　項	名　　称	部　数	制作予定日	備　　考
目的	出版物				
	映　画				
	テレビ				
	ＤＶＤ				
	Ｃ　Ｄ				
	その他				

資　　料　　名	数　量	仕　様	備　　考
１．			
２．			
３．			

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第３号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（複製品の製作）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利 用 区 分	１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む				
希望日時・期間	年　　月　　日　～　月　　日　　時　～　　時				
目　　的					
製 作 仕 様					
製作予定日	平成　　年　　月　　日	製作点数	点	販売価格	円

資　料　名	数　量	仕　様	備　考
１． ２． ３．			

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第３－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（複製品の製作）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。

記

利 用 区 分	１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む				
日時・期間	年　　月　　日　～　月　　日　　時　～　　時				
目　　的					
製 作 仕 様					
製作予定日	平成　　年　　月　　日	製作点数	点	販売価格	円

資　料　名	数　量	仕　様	備　考
１． ２． ３．			

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第４号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（原資料等の閲覧）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いします。

記

目　　的			
閲覧希望日時	平成　年　月　日　時～　時	閲覧人員	

資料名	員数	備考
１． ２． ３． ４． ５．		

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。
⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第４－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（原資料等の閲覧）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料の閲覧については、下記により許可します。

記

目　　的			
閲 覧 日 時	平成　年　月　日　時～　時	閲覧人員	
担 当 学 芸 員			

資料名	員数	備考
１． ２． ３． ４． ５．		

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。
⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第５号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（教育普及資料の借用）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利 用 区 分	１学校（学年・学級）行事　　２地域・団体行事　　３その他		
希望日時・期間	年　月　日（　時）～　年　月　日（　時）		
行 事 名		参加人員	
目 的			

資料名	数量	備考
１． ２． ３． ４．		

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は１週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第５－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（教育普及資料の借用）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。

記

利 用 区 分	１学校（学年・学級）行事　　２地域・団体行事　　３その他		
日時・期間	年　月　日（　時）～　年　月　日（　時）		
行 事 名		参加人員	
目 的			

資料名	数量	備考
１． ２． ３． ４．		

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は１週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

○沖縄県立博物館･美術館共催及び後援等に関する取扱要領

平成23年５月23日 部長決裁

(目的)

第１条　この要領は、沖縄県立博物館･美術館が共催又は後援等を行う事業について必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第２条　この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

（１）　共催　　事業の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該事業について責任の一部を負担することをいう。

（２）　後援等　後援、協力、協賛等で、当該事業の趣旨に賛同し、事業の実施について協力することをいう。

(名義)

第３条　この要領による共催又は後援等の名義は「沖縄県立博物館･美術館」とする。

(承認基準)

第４条　共催又は後援等の承認基準は別表１のとおりとする。

２　前項の規定にかかわらず、博物館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

(申請手続き)

第５条　共催又は後援等の承認を受けようとするものは、別記第１号様式又は次の事項を記載した書面を、原則として事業開催の14日前までに、沖縄県立博物館･美術館長に提出するものとする。

（１）　事業の名称、目的及び内容

（２）　主催者の職、氏名及び事務局等連絡先

（３）　開催日時(期間)及び開催場所

（４）　参加対象者及び参加見込者数

（５）　他の共催者及び後援者等(予定者を含む)

（６）　参加料金その他参考事項

(決定)

第６条　前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館･美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは別記第２号様式の回答書により、承認できないときはその旨を、そ れぞれ当該申請者に通知するものとする。

(事業計画の変更)

第７条　共催又は後援を承認した事業であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やかに当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

(承認の取消)

第８条　共催又は後援等を承認した事業であっても、その内容が第４条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。

２　前項の規定による承認の取消については、第６条の規定を準用する。

(事業の完了報告)

第９条　共催又は後援等を承認した事業のうち、必要があると認める場合は、別記第３号様式もしくはそれに変わる書面で報告を求めることができる。

(雑則)

第10条　共催又は後援の承認の手続きを経ずに、第３条に規定する名義を無断使用した場合（承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。）は、警告書を出すとともに、以後の共催又は 後援等の承認は認めないものとする。

附　則

この要領は、平成23年５月23日から施行する。

別表１(第４条関係)

共催又は後援等の承認基準

主催者についての承認基準	１　国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体 ２　教育機関及び教育研究団体 ３　新聞社、放送局等報道関係 ４　公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に 　寄与する事業を行う団体(宗教団体又は政治団体を除く。)
事業内容についての承認基準	１　県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、教育施策上からの効果が期待できるものであること。 ２　博物館･美術館の所掌業務と関連するもので､高い公益性を有すると認められるもの。 ３　政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を意図するものでないこと。 ４　特定の団体の利益を目的とするものでないこと。 ５　事業の内容及び規模からみて、営利を目的とするものでない と客観的に判断されるものであること。

備考

１　主催者については、主催者についての承認基準の１から４までのいずれかに該当するも のでなければならない。

２　事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでな ければならない。

第１号様式

第　　号
平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
館長　殿

申請者
代表者名　　印
団体名
所在地
（電話　　）

行事の共催、後援等について（申請）

次のとおり行事を開催するについて、沖縄県立博物館・美術館の共催（後援）（協力）（協賛）の承認を得たいので、申請します。

記

1　事　業　名	
2　事業の趣旨・内容（なるべく具体的に記入すること。）	
3　主催者、共催者及び後援者	
4　参加者及び参加方法	
5　参　加　者　数	
6　開催日時及び場所	
7　経費負担の区分	
8　その他の必要事項	

第２号様式

博　美　第　　号
平成　年　月　日

殿

沖縄県立博物館・美術館
館長

の　について（回答）

平成年月日付け第号で申請のあった標記のことについては、以下の条件を付して承認します。

記

1　事　業　名

2　名義使用の方法

3　名義使用の期間

4　経　　費

5　実施結果の報告の有無

6　その他

第３号様式

第　　号
平成　年　月　日

沖縄県立博物館･美術館殿

申請者
代表者名
団体名　　印
所在地
（電話　　）

の結果について（報告）

平成年月日付博美第　　号により承認のあった標記の事業の結果について、次のとおり報告します。

記

Ⅰ事業報告

１ 事　業　名	
２ 事業の概要	
３ 参　加　者	
４ 日時及び場所	
５ 所　　見 （事業の効果等を含む）	
６ 備　　考	

Ⅱ収支決算

1）収入の部		2）支出の部	
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
合計	円		円

沖縄県立博物館・美術館年報　No.10

2018 年（平成 30） 3 月 30 日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館
住　　所：〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち３丁目１番１号
Ｔ　Ｅ　Ｌ：098-941-8200（代表）
Ｆ　Ａ　Ｘ：098-941-2392（代表）
ホームページ：http://www.museums.pref.okinawa.jp
（沖縄県立博物館・美術館ホームページ）
印　　刷：（株）東洋企画印刷
住　　所：〒901-0306
沖縄県糸満市西崎町４-21-５

この印刷物は個人情報保護マネジメントシステム
（プライバシーマーク）を認証された事業者が印刷しています。